

令和4年度
久喜市高齢者実態調査報告書

令和5年3月



久喜市

目 次

調査の実施概要

I 調査の概要.....	3
1 調査の概要.....	3
(1) 調査目的.....	3
(2) 調査対象及び調査方法.....	3
(3) 配布数及び回収結果.....	4
2 本調査報告書の基本的な事項.....	5
(1) 数値の基本的な取り扱いについて.....	5
(2) 居住地域区分について.....	5

高齢者実態調査 調査結果

1 回答者について.....	9
(1) 回答者.....	9
(2) 性別.....	9
(3) 年齢.....	10
(4) 居住地域.....	11
(5) 要介護認定状況.....	13
2 家族や生活状況について.....	13
(1) 家族構成.....	13
(2) 日常生活での介護・介助の必要性.....	15
(3) 介護・介助が必要になった主な原因.....	16
(4) 主な介護・介助者.....	18
(5) 主な介護者の年齢.....	19
(6) 経済的にみた現在の暮らしの状況.....	20
(7) 介護保険料について.....	21
(8) 居住形態.....	22
3 からだを動かすことについて.....	23
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか.....	23
(2) 椅子から何もつかまらずに立ち上がれるか.....	24
(3) 15分位続けて歩けるか.....	25
(4) 過去1年間の転倒経験.....	26
(5) 転倒に対する不安.....	27
(6) 週に1回以上の外出.....	28
(7) 外出をする際の移動手段.....	29
(8) 昨年と比べた際の外出の頻度.....	31
(9) 外出を控えているか.....	32
(10) 外出を控えている理由.....	33
4 食べることについて.....	35
(1) BMI.....	35

(2)	半年前と比べて固いものが食べにくくなったか.....	37
(3)	お茶や汁物等でむせることがあるか.....	38
(4)	口の渇きが気になるか.....	39
(5)	6か月で2～3kg以上の体重減少があったか.....	40
(6)	歯の数と入れ歯の利用状況.....	41
(7)	誰かと食事をともにする機会.....	42
5	毎日の生活について.....	43
(1)	物忘れが多いと感じるか.....	43
(2)	自分で電話番号を調べて電話をかけることができるか.....	44
(3)	今日が何月何日かわからない時があるか.....	45
(4)	バスや電車を使って1人で外出しているか.....	46
(5)	自分で食品・日用品の買い物をしているか.....	47
(6)	自分で食事の用意をしているか.....	48
(7)	自分で請求書の支払いをしているか.....	49
(8)	自分で預貯金の出し入れをしているか.....	50
(9)	年金などの書類が書けるか.....	51
(10)	新聞を読んでいるか.....	52
(11)	本や雑誌を読んでいるか.....	53
(12)	趣味の有無.....	54
(13)	終活について.....	55
6	地域での活動について.....	56
(1)	グループ等への参加頻度.....	56
(2)	地域活動への参加者としての参加意向.....	57
(3)	地域活動への企画・運営としての参加意向.....	58
7	たすけあいについて.....	59
(1)	困っていること、手助けが必要だと感じること.....	59
(2)	心配事や愚痴を聞いてくれる人.....	61
(3)	心配事や愚痴を聞いてあげる人.....	63
(4)	看病や世話をしてくれる人.....	65
(5)	看病や世話をしてあげる人.....	67
(6)	家族や友人、知人以外の相談相手.....	69
(7)	友人・知人と会う頻度.....	71
(8)	よく会う友人・知人の関係性.....	72
8	健康について.....	74
(1)	現在の健康状態.....	74
(2)	現在の幸せの程度.....	75
(3)	現在治療中または後遺症のある病気.....	76
(4)	喫煙習慣の有無.....	78
(5)	気分が沈んだりゆううつな気持ちになったか.....	79
(6)	物事に対し興味がわかないこと等があったか.....	80
9	認知症にかかる相談窓口の把握について.....	81
(1)	自分または家族に認知症の症状があるか.....	81
(2)	認知症に関する相談窓口を知っているか.....	82
(3)	認知症について相談する相手.....	83
10	成年後見制度について.....	85
(1)	成年後見制度について.....	85
(2)	市民後見制度について.....	87

(3) 任意後見制度の利用意向.....	88
(4) 成年後見センターについて.....	89
(5) 成年後見制度について思うこと.....	90
11 在宅における医療と介護の連携について	92
(1) 訪問診療をしてくれる医師の有無.....	92
(2) 訪問診療の利用意向.....	93
(3) 在宅における医療や介護について感じる事.....	94
12 自由意見	96
(1) 自由意見.....	96

要介護認定者調査 調査結果

1 宛名の本人について	101
(1) 回答者.....	101
(2) 世帯類型.....	101
(3) 家族等の介護の頻度.....	102
(4) 主な介護者.....	103
(5) 主な介護者の性別.....	104
(6) 主な介護者の年齢.....	105
(7) 介護者が行っている介護.....	106
(8) 介護のための離職の有無.....	108
(9) 利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス.....	110
(10) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス.....	112
(11) 施設等への入所・入居の検討状況.....	114
(12) 現在抱えている傷病.....	115
(13) 訪問診療の利用状況.....	117
(14) 訪問診療の利用意向.....	118
(15) 在宅における医療や介護について感じていること.....	119
(16) 介護保険サービスの利用状況.....	121
(17) 介護保険サービスを利用していない理由.....	122
(18) 自由意見.....	124
2 主な介護者の方について	126
(1) 主な介護者の現在の勤務形態.....	126
(2) 主な介護者の働き方についての調整等.....	127
(3) 効果的な勤め先からの支援.....	128
(4) 介護者の就労継続の可否に係る意識.....	130
(5) 主な介護者が働いていない理由.....	131
(6) 不安を感じる介護.....	132
(7) 自由意見.....	134

介護保険施設等入所者調査 調査結果

1 回答者について	139
(1) 回答者.....	139
(2) 現在の入所施設.....	139
2 宛名の本人について	140
(1) 性別	140
(2) 年齢	140

(3) 入所前の家族の状況.....	141
(4) 現在の施設の利用期間.....	142
(5) 申し込みから入所するまでの待機期間.....	143
(6) 入所した理由.....	144
(7) 希望している施設に入所できたか.....	146
(8) 現在の要介護度.....	147
(9) 介護保険料について.....	148
3 介護保険サービスについて	149
(1) 施設入所前の居宅介護サービスの利用状況.....	149
(2) 自宅での生活が続けられなかった理由.....	150
(3) 居宅介護サービスを利用すれば自宅で生活できたか.....	151
(4) 入所施設はどのように選んだか.....	152
(5) 施設を選んだ時に重視したこと.....	153
(6) 入所施設の本人の居室のタイプ.....	154
(7) 個室での暮らしを希望しているか.....	155
(8) 満足度.....	156
(9) 入所している施設のサービスの全般的な満足度.....	161
(10) 日常生活.....	162
(11) 入所後の身体的な状態の改善.....	166
(12) 要介護状態を改善するための訓練を受けているか.....	167
(13) 入所後の要介護度の変化.....	168
(14) 入所にかかる1か月の費用.....	169
(15) 入所費用について感じる事.....	170
(16) 本人に認知症の症状が見られるか.....	171
(17) 入所後の認知症の改善状況.....	172
(18) 他施設への入所・自宅での生活への意向.....	173
(19) 希望する入所施設.....	174
(20) 自宅などで生活するための必要な条件.....	175
4 自由意見	177
(1) 自由意見.....	177

介護サービス事業所調査 調査結果

1 事業所で実施しているサービスについて	181
(1) 提供している介護サービス.....	181
(2) 施設定員・施設利用希望者数・新規利用者数.....	183
(3) 拡大したい介護サービス.....	184
(4) 新規事業に参入する際に課題となること.....	186
(5) 縮小したい介護サービス.....	187
(6) 家族から虐待が疑われる事例の経験.....	189
(7) 虐待の内容.....	189
(8) 高齢者への虐待の対応についての問題.....	190
(9) 認知症高齢者の介護に必要なこと.....	191
(10) サービス開始当初の見込みと比較した現在の需要.....	192
(11) 職員の技術・知識向上のための外部研修.....	192
(12) 苦情や要望があった場合の対応.....	193
(13) サービス利用者から不当な要求を受けたこと.....	193
(14) 事業展開上の課題.....	194

(15) 1年間の人材の確保の状況.....	195
(16) 人材の確保についての取り組み.....	196
(17) 1年間の離職率.....	197
(18) 人材の定着・育成についての取り組み.....	198
(19) ケアマネジャーとの連携.....	199
(20) 医療機関との連携.....	199
(21) 他のサービス事業所との連携.....	200
(22) 現状の在宅における医療と介護の連携は十分か.....	200
(23) 在宅における医療と介護の連携についての課題.....	201
(24) 自由意見.....	202

ケアマネジャー調査 調査結果

1 回答者について	205
(1) 性別	205
(2) 年齢	205
(3) 勤務形態.....	206
(4) 福祉・保健サービスの従事期間.....	206
(5) ケアマネジャーとしての従事期間.....	207
(6) 他の業務との兼務状況.....	208
(7) 保有している資格.....	209
2 介護支援専門員の業務について	211
(1) 介護支援専門員の業務で難しいこと.....	211
(2) 予防支援者数・介護支援者数.....	213
(3) サービス担当者会議への全員の参加状況.....	213
(4) 充足状況.....	214
(5) 組み合わせたことがある介護保険以外のサービス.....	216
(6) 必要な介護保険以外のサービス.....	218
(7) ケアプラン作成における問題.....	219
(8) 問題解決のための対処.....	221
(9) 在宅生活が困難な事例の有無.....	222
(10) 在宅生活が困難な理由.....	223
(11) 過去1年における虐待の可能性のある事案の有無.....	225
(12) 虐待の種類.....	226
(13) 虐待事案への対応の問題点.....	227
3 業務連携の状況について	228
(1) 認知症について相談できる医療機関の有無.....	228
(2) 認知症に関する相談先.....	229
(3) 認知症高齢者の介護に必要な取り組み.....	230
(4) 成年後見人の選任に至ったケースの有無.....	232
(5) 成年後見人の選任のために連絡した機関.....	233
(6) 成年後見人の選任申立てをした人.....	234
(7) 申立てに至らなかったケースの有無.....	235
(8) 申立てに至らなかった理由.....	236
(9) 成年後見制度が利用しにくい点.....	237
(10) 主治医との連携状況.....	239
(11) 主治医との連携における課題.....	240
(12) 介護保険サービス事業所との連携.....	242

(13) 介護保険サービス事業所との連携における課題.....	243
(14) 在宅医療・介護の連携は十分か.....	244
(15) 在宅医療・介護の連携における課題.....	245
(16) 在宅生活を継続する上で重要なこと.....	246
4 自由意見	248
(1) 自由意見.....	248

調査の実施概要

I 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「久喜市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定にあたり、被保険者や介護サービス事業所等の実態を把握し、計画策定及び高齢者福祉施策の推進のための基礎資料とすることを目的として実施した。

(2) 調査対象及び調査方法

調査対象及び調査方法は以下のとおり。

①市民対象

調査種別	高齢者実態調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	要介護認定者調査 (在宅介護実態調査)	介護保険施設等 入所者調査
調査対象	令和4年11月1日現在、65歳以上で要介護1～5の認定を受けていない被保険者	令和4年1月から令和4年10月までに要介護認定の更新申請・区分変更申請をした被保険者	令和4年11月現在、介護保険施設等に入所している被保険者
配布数	5,000票	1,500票	1,000票
抽出法	日常生活圏域ごとに 無作為抽出	無作為抽出	無作為抽出
調査方法	郵送による配布 ／郵送・Webによる回収	郵送による配布 ／郵送による回収	郵送による配布 ／郵送による回収
調査時期	令和4年12月	令和4年12月	令和4年12月
調査地域	久喜市全域	久喜市全域	久喜市全域

②事業所等対象

調査種別	介護サービス事業所調査	ケアマネジャー調査
調査対象	本市の被保険者が利用している介護サービス事業所	本市の介護保険事業に携わっているケアマネジャー
配布数	116 票	150 票
抽出法	全件抽出	全件抽出
調査方法	メールによる配布 /Web による回答	メール・郵送による配布 /Web・郵送による回収
調査時期	令和4年12月	令和4年12月
調査地域	久喜市全域	久喜市全域

(3) 配布数及び回収結果

①市民対象

調査種別	高齢者実態調査 (介護予防・日常生活 圏域ニーズ調査)	要介護認定者調査 (在宅介護実態調査)	介護保険施設等 入所者調査
配布数	5,000 票	1,500 票	1,000 票
有効回収数	3,673 票	950 票	554 票
有効回収率	73.5%	63.3%	55.4%

②事業所等対象

調査種別	介護サービス事業所調査	ケアマネジャー調査
配布数	116 票	150 票
有効回収数	85 票	119 票
有効回収率	73.3%	79.3%

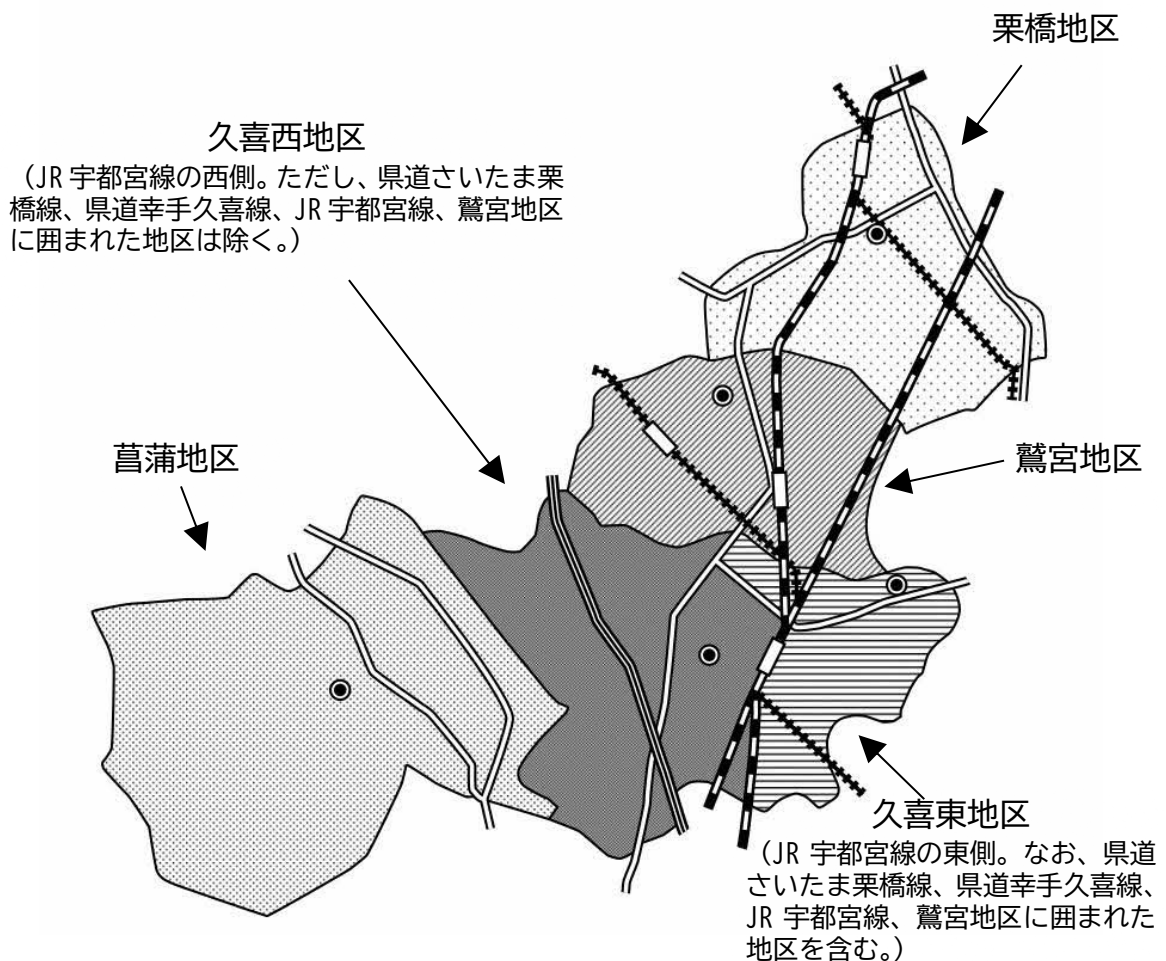
2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問である。従って、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。
- ④複数回答の設問は、属性別のクロス集計において、各属性で第1位となる選択肢の割合に網掛けされている。ただし、「その他」などの一部選択肢、無回答、非該当は網掛けの対象外としている。

(2) 居住地域区分について

設問によっては、市内5つの日常生活圏域別に集計を行っている。日常生活圏域の設定は下図のとおり。



※北青柳・下早見 ⇒久喜西地区
※太田袋・古久喜・野久喜 ⇒久喜東地区

高齡者実態調査 調査結果

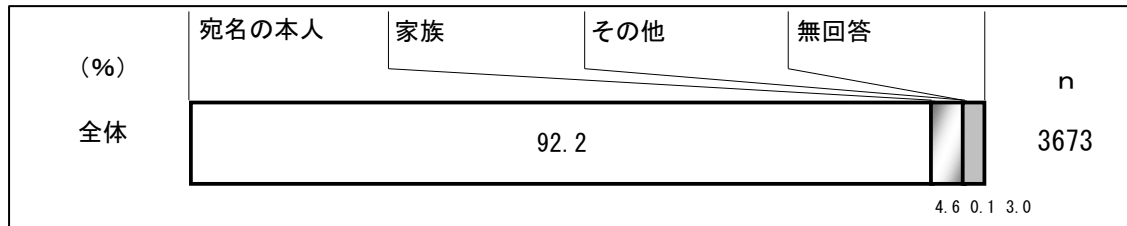
1 回答者について

(1) 回答者

問1 調査票を記入されたのはどなたですか。

回答者については、「宛名の本人」が92.2%、「家族」が4.6%の順となっている。

図表 回答者（全体）

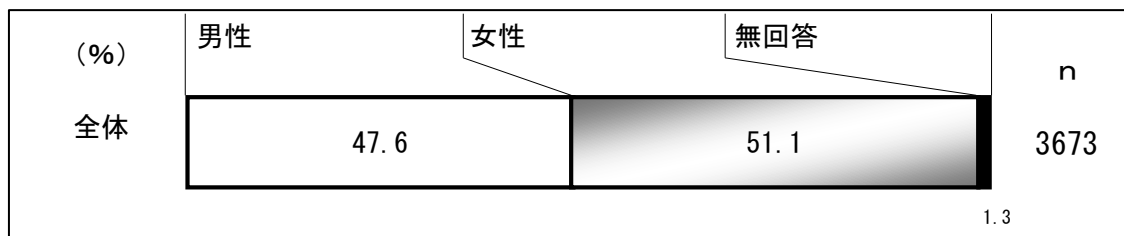


(2) 性別

問2 あなたの性別をお答えください。

性別については、「女性」が51.1%、「男性」が47.6%の順となっている。

図表 性別（全体）

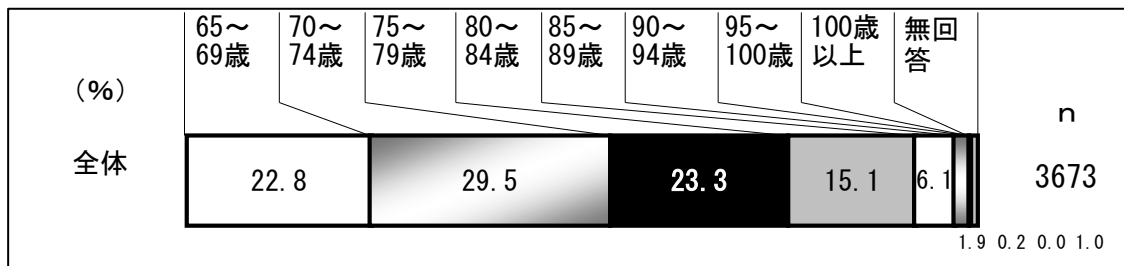


(3) 年齢

問3 あなたの年齢（令和4年12月1日時点）をお答えください。

年齢については、「70～74歳」が29.5%、「75～79歳」が23.3%、「65～69歳」が22.8%、「80～84歳」が15.1%、「85～89歳」が6.1%、「90～94歳」が1.9%、「95～100歳」が0.2%、「100歳以上」が0.0%の順となっている。

図表 年齢（全体）



(4) 居住地域

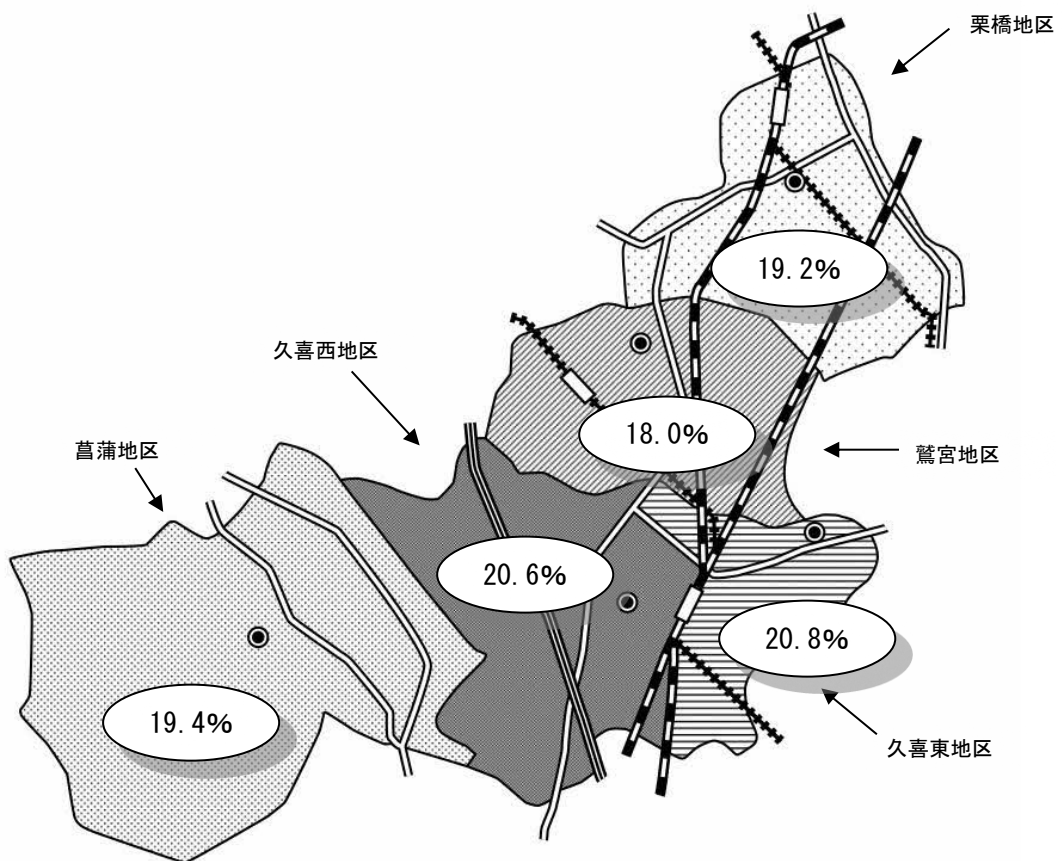
問4 あなたのお住まいの地区をお答えください。

居住地域については、「久喜東地区」が20.8%、「久喜西地区」が20.6%、「菖蒲地区」が19.4%、「栗橋地区」が19.2%、「鷲宮地区」が18.0%の順となっている。

図表 居住地域（全体）

(%)	久喜西地区	久喜東地区	菖蒲地区	栗橋地区	鷲宮地区	無回答	n
全体	20.6	20.8	19.4	19.2	18.0		3673

2.1



図表 居住地域（全体・年齢別）

性別：男性

	合計	居住地域						
		久喜西地区	久喜東地区	菖蒲地区	栗橋地区	鷺宮地区	無回答	
全体	1750 100.0%	369 21.1%	348 19.9%	352 20.1%	341 19.5%	324 18.5%	16 0.9%	
年齢	65～69歳	408 100.0%	81 19.9%	100 24.5%	75 18.4%	80 19.6%	72 17.6%	0 0.0%
	70～74歳	513 100.0%	97 18.9%	89 17.3%	103 20.1%	109 21.2%	109 21.2%	6 1.2%
	75～79歳	417 100.0%	93 22.3%	76 18.2%	86 20.6%	73 17.5%	82 19.7%	7 1.7%
	80～84歳	273 100.0%	65 23.8%	55 20.1%	59 21.6%	56 20.5%	37 13.6%	1 0.4%
	85～89歳	110 100.0%	21 19.1%	22 20.0%	23 20.9%	21 19.1%	21 19.1%	2 1.8%
	90～94歳	26 100.0%	11 42.3%	5 19.2%	5 19.2%	2 7.7%	3 11.5%	0 0.0%
	95～100歳	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	100歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

性別：女性

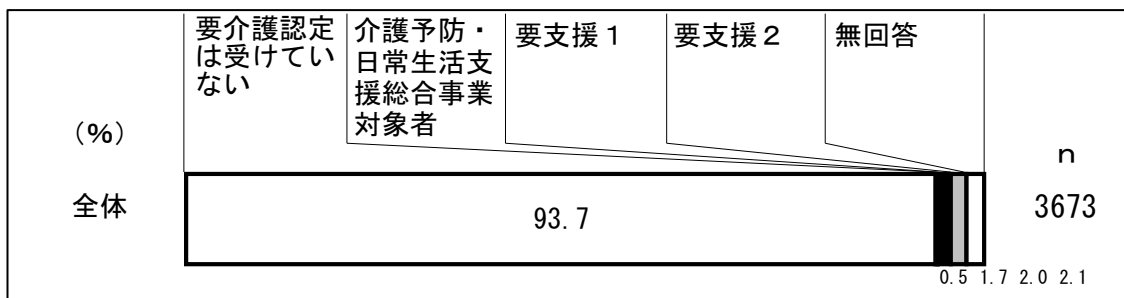
	合計	居住地域						
		久喜西地区	久喜東地区	菖蒲地区	栗橋地区	鷺宮地区	無回答	
全体	1876 100.0%	389 20.7%	411 21.9%	359 19.1%	360 19.2%	334 17.8%	23 1.2%	
年齢	65～69歳	431 100.0%	91 21.1%	90 20.9%	78 18.1%	79 18.3%	91 21.1%	2 0.5%
	70～74歳	566 100.0%	95 16.8%	133 23.5%	124 21.9%	107 18.9%	101 17.8%	6 1.1%
	75～79歳	437 100.0%	101 23.1%	93 21.3%	74 16.9%	89 20.4%	74 16.9%	6 1.4%
	80～84歳	278 100.0%	64 23.0%	66 23.7%	53 19.1%	47 16.9%	44 15.8%	4 1.4%
	85～89歳	114 100.0%	23 20.2%	26 22.8%	17 14.9%	24 21.1%	20 17.5%	4 3.5%
	90～94歳	42 100.0%	14 33.3%	3 7.1%	10 23.8%	11 26.2%	3 7.1%	1 2.4%
	95～100歳	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%
	100歳以上	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

(5) 要介護認定状況

問5 あなたの要介護度について、ご回答ください。

要介護認定状況については、「要介護認定は受けていない」が93.7%、「要支援2」が2.0%、「要支援1」が1.7%、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」が0.5%の順となっている。

図表 要介護認定状況（全体）



2 家族や生活状況について

(1) 家族構成

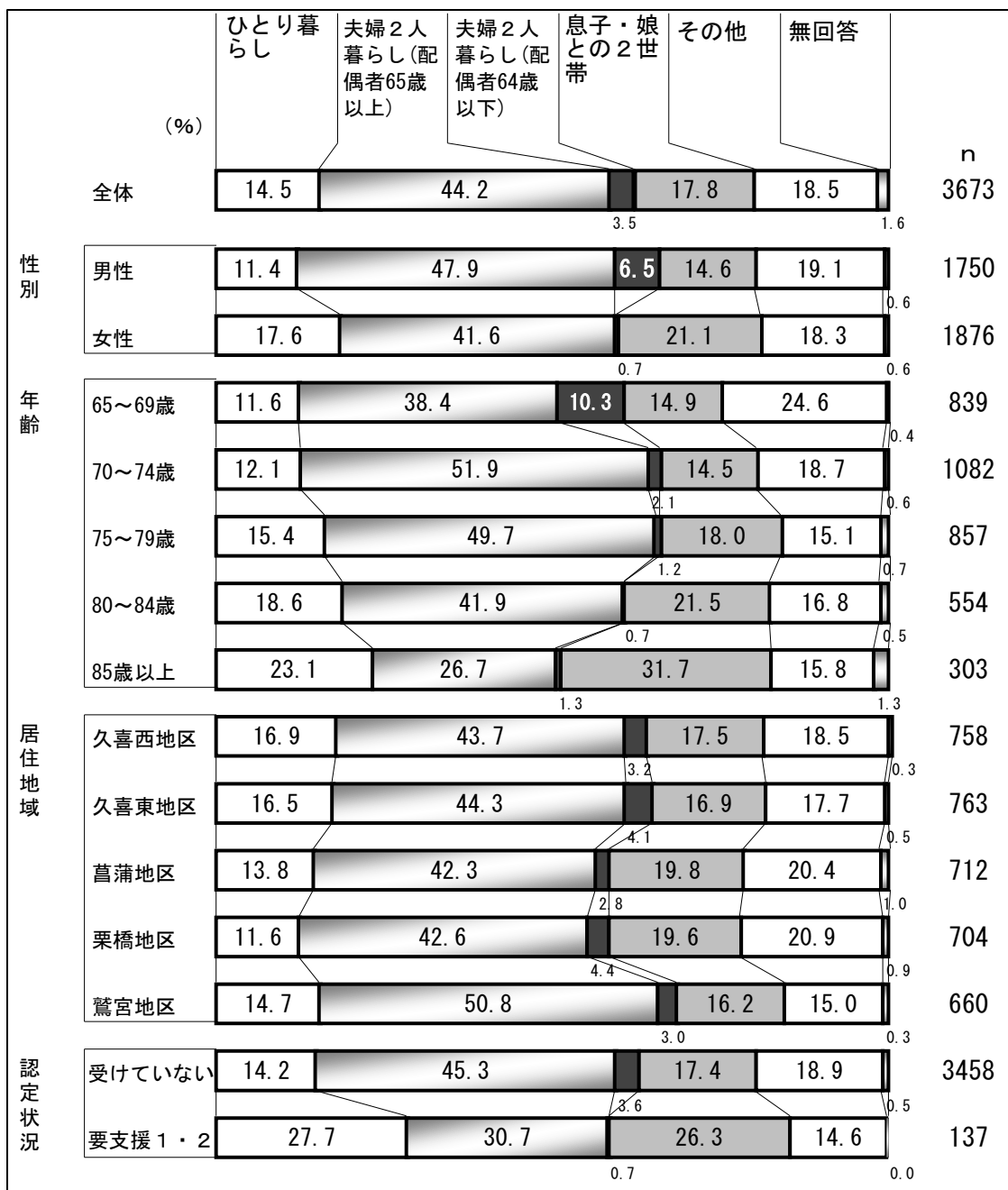
問6 家族構成をご回答ください。

- 「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が4割強を占める。

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が44.2%、「息子・娘との2世帯」が17.8%、「ひとり暮らし」が14.5%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が3.5%の順となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「ひとり暮らし」が27.7%となっている。

図表 家族構成（全体・属性別）



(2) 日常生活での介護・介助の必要性

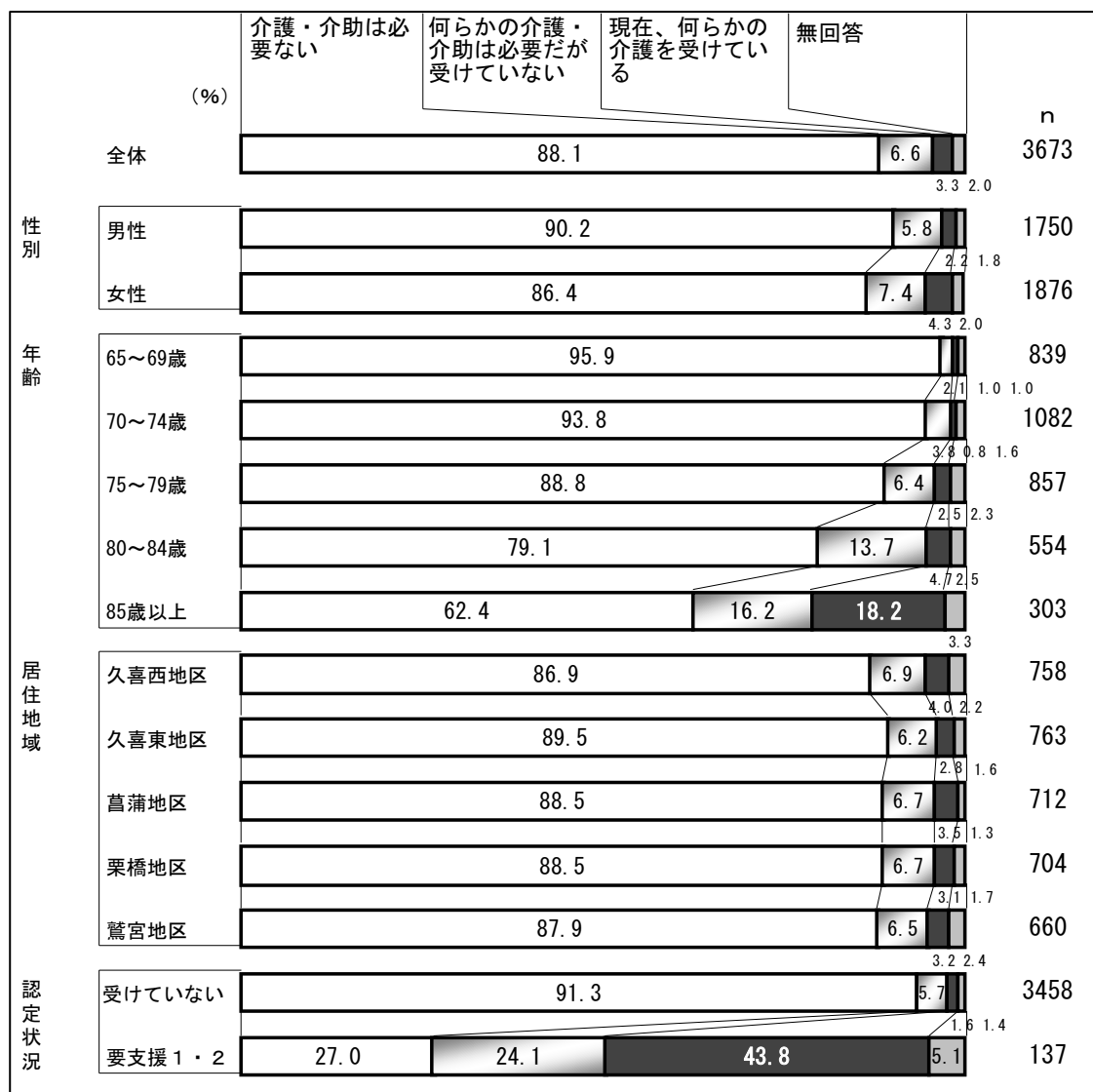
問7 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

● 「介護・介助は必要ない」が9割弱を占める。

日常生活での介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が88.1%、「何らかの介護・介助は必要だが受けていない」が6.6%、「現在、何らかの介護を受けている」が3.3%の順となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「介護・介助は必要ない」の割合が低くなっている。

図表 日常生活での介護・介助の必要性（全体・属性別）



(3) 介護・介助が必要になった主な原因

※問 7-1 は、問 7 で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお聞きします。

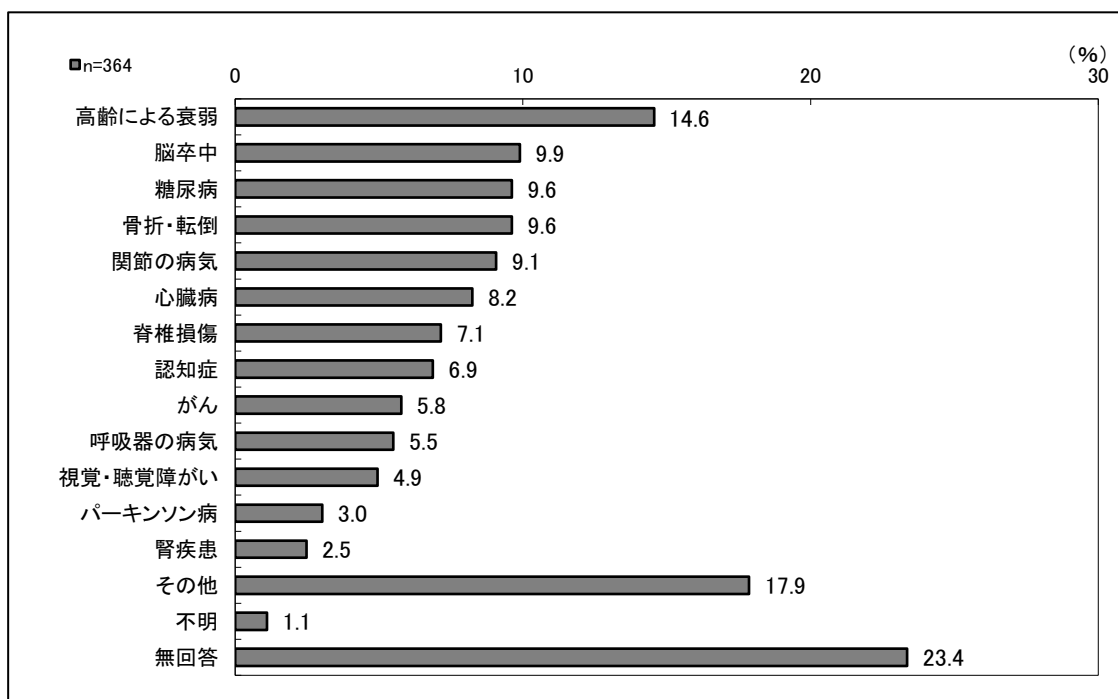
問 7-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。【複数回答】

- 「高齢による衰弱」が第 1 位。「脳卒中」、「糖尿病」、「骨折・転倒」などが続く。

介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」(14.6%) が最も多く、次いで「脳卒中」(9.9%)、「糖尿病」・「骨折・転倒」(同率 9.6%)、「関節の病気」(9.1%)、「心臓病」(8.2%)、「脊椎損傷」(7.1%)、「認知症」(6.9%)、「がん」(5.8%)、「呼吸器の病気」(5.5%)、「視覚・聴覚障がい」(4.9%)、「パーキンソン病」(3.0%)、「腎疾患」(2.5%) の順となっている。

居住地域でみると、久喜西地区では「骨折・転倒」が第 1 位となっている。

図表 介護・介助が必要になった主な原因 (全体/複数回答)



図表 介護・介助が必要になった主な原因（全体・属性別－第1位／複数回答）

	全体	問7-1 介護・介助が必要になった主な原因									
		脳卒中	心臓病	がん	呼吸器の病 気	関節の病 気	認知症	パーキン ソン病	糖尿病	腎疾患	
全体	364 100.0%	36 9.9%	30 8.2%	21 5.8%	20 5.5%	33 9.1%	25 6.9%	11 3.0%	35 9.6%	9 2.5%	
性別	男性	140 100.0%	15 10.7%	15 10.7%	11 7.9%	15 10.7%	6 4.3%	9 6.4%	6 4.3%	18 12.9%	4 2.9%
	女性	219 100.0%	21 9.6%	15 6.8%	10 4.6%	5 2.3%	27 12.3%	16 7.3%	5 2.3%	17 7.8%	5 2.3%
年齢	65～69歳	26 100.0%	4 15.4%	1 3.8%	1 3.8%	2 7.7%	4 15.4%	1 3.8%	1 3.8%	1 3.8%	1 3.8%
	70～74歳	50 100.0%	8 16.0%	5 10.0%	6 12.0%	3 6.0%	8 16.0%	7 14.0%	3 6.0%	5 10.0%	2 4.0%
	75～79歳	76 100.0%	10 13.2%	7 9.2%	4 5.3%	7 9.2%	7 9.2%	9 11.8%	2 2.6%	12 15.8%	1 1.3%
	80～84歳	102 100.0%	7 6.9%	6 5.9%	6 5.9%	2 2.0%	6 5.9%	4 3.9%	3 2.9%	9 8.8%	2 2.0%
	85歳以上	104 100.0%	7 6.7%	11 10.6%	4 3.8%	6 5.8%	7 6.7%	4 3.8%	2 1.9%	8 7.7%	3 2.9%
居住地域	久喜西地区	82 100.0%	9 11.0%	7 8.5%	9 11.0%	8 9.8%	5 6.1%	5 6.1%	2 2.4%	7 8.5%	1 1.2%
	久喜東地区	68 100.0%	7 10.3%	8 11.8%	2 2.9%	6 8.8%	6 8.8%	9 13.2%	1 1.5%	8 11.8%	4 5.9%
	菖蒲地区	73 100.0%	6 8.2%	4 5.5%	5 6.8%	4 5.5%	9 12.3%	2 2.7%	2 2.7%	8 11.0%	1 1.4%
	栗橋地区	69 100.0%	8 11.6%	5 7.2%	3 4.3%	1 1.4%	6 8.7%	4 5.8%	4 5.8%	6 8.7%	2 2.9%
	鷺宮地区	64 100.0%	6 9.4%	6 9.4%	2 3.1%	1 1.6%	6 9.4%	5 7.8%	2 3.1%	5 7.8%	1 1.6%
認定状況	受けていない	252 100.0%	22 8.7%	19 7.5%	17 6.7%	18 7.1%	24 9.5%	22 8.7%	10 4.0%	26 10.3%	8 3.2%
	要支援1・2	93 100.0%	13 14.0%	8 8.6%	4 4.3%	2 2.2%	7 7.5%	3 3.2%	1 1.1%	8 8.6%	0 0.0%

	全体	問7-1 介護・介助が必要になった主な原因								
		視覚・聴 覚障がい	骨折・転 倒	脊椎損傷	高齢による 衰弱	その他	不明	無回答	非該当	
全体	364 100.0%	18 4.9%	35 9.6%	26 7.1%	53 14.6%	65 17.9%	4 1.1%	85 23.4%	3309	
性別	男性	140 100.0%	9 6.4%	10 7.1%	11 7.9%	21 15.0%	19 13.6%	1 0.7%	33 23.6%	1610
	女性	219 100.0%	9 4.1%	25 11.4%	14 6.4%	32 14.6%	45 20.5%	3 1.4%	49 22.4%	1657
年齢	65～69歳	26 100.0%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	0 0.0%	6 23.1%	0 0.0%	6 23.1%	813
	70～74歳	50 100.0%	2 4.0%	3 6.0%	2 4.0%	4 8.0%	9 18.0%	1 2.0%	8 16.0%	1032
	75～79歳	76 100.0%	1 1.3%	8 10.5%	10 13.2%	6 7.9%	13 17.1%	0 0.0%	14 18.4%	781
	80～84歳	102 100.0%	3 2.9%	7 6.9%	5 4.9%	18 17.6%	19 18.6%	2 2.0%	29 28.4%	452
	85歳以上	104 100.0%	12 11.5%	16 15.4%	7 6.7%	24 23.1%	17 16.3%	1 1.0%	26 25.0%	199
居住地域	久喜西地区	82 100.0%	3 3.7%	13 15.9%	6 7.3%	10 12.2%	7 8.5%	1 1.2%	18 22.0%	676
	久喜東地区	68 100.0%	3 4.4%	5 7.4%	3 4.4%	10 14.7%	14 20.6%	3 4.4%	14 20.6%	695
	菖蒲地区	73 100.0%	2 2.7%	2 2.7%	4 5.5%	8 11.0%	14 19.2%	0 0.0%	19 26.0%	639
	栗橋地区	69 100.0%	4 5.8%	8 11.6%	7 10.1%	13 18.8%	15 21.7%	0 0.0%	16 23.2%	635
	鷺宮地区	64 100.0%	6 9.4%	6 9.4%	4 6.3%	12 18.8%	12 18.8%	0 0.0%	15 23.4%	596
認定状況	受けていない	252 100.0%	13 5.2%	20 7.9%	13 5.2%	34 13.5%	40 15.9%	3 1.2%	61 24.2%	3206
	要支援1・2	93 100.0%	5 5.4%	14 15.1%	12 12.9%	18 19.4%	23 24.7%	1 1.1%	15 16.1%	44

(4) 主な介護・介助者

※問7-2は、問7で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお聞きします。
問7-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。

- 「配偶者」が3割弱、「娘」が2割強を占める。

主な介護・介助者については、「配偶者」が28.7%、「娘」が22.1%、「息子」が13.1%、「介護サービスのヘルパー」が9.0%、「子の配偶者」が5.7%、「兄弟・姉妹」が2.5%、「孫」が0.0%の順となっている。

図表 主な介護・介助者（全体・属性）

	配偶者	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答	n
全体	28.7	13.1	22.1	5.7	0.0	2.5	9.0	8.2	10.7	122
性別										
男性	51.3	2.6	10.3	0.0	0.0	12.8	7.7	12.8		39
女性	17.3	17.3	28.4	8.6	7.4	8.6	9.9			81
年齢										
65～69歳	25.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0			8
70～74歳	33.3	0.0	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1			9
75～79歳	52.4	0.0	23.8	0.0	0.0	14.3				21
80～84歳	34.6	0.0	11.5	11.5	7.7	11.5	7.7	15.4		26
85歳以上	16.4	18.2	29.1	7.3	10.9	5.5	10.9			55
居住地										
久喜西地区	20.0	16.7	26.7	10.0	10.0	10.0				30
久喜東地区	23.8	9.5	38.1	9.5	14.3					21
菖蒲地区	40.0	16.0	8.0	8.0	12.0	12.0				25
栗橋地区	22.7	9.1	18.2	18.2	9.1	18.2				22
鷲宮地区	38.1	23.8	14.3	14.3						21
認定状況										
受けていない	43.6	16.4	18.2	7.3	9.1					55
要支援1・2	16.7	8.3	25.0	10.0	16.7	10.0	11.7			60

(5) 主な介護者の年齢

※問7-3は、問7で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお聞きします。
 問7-3 主な介護者・介助者の方の年齢について、ご回答ください。

- 「60代」、「70代」・「80歳以上」がいずれも2割強を占める。

主な介護者の年齢については、「60代」が23.0%、「70代」・「80歳以上」が同率で20.5%、「50代」が18.9%、「40代」が6.6%、「30代」が0.8%、「17歳以下」・「18～19歳」・「20代」が同率で0.0%の順となっている。

図表 主な介護者の年齢（全体・属性別）

	17歳以下	18～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答	n
全体	6.6	18.9	23.0	20.5	20.5	6.6	0.0	0.0	0.0	0.8	3.3	122
性別												
男性	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	15.4	15.4	38.5	15.4	10.3	2.6	39
女性	0.0	0.0	0.0	1.2	8.6	19.8	27.2	12.3	22.2	3.7	4.9	81
年齢												
65～69歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	37.5	25.0	12.5	0.0	8
70～74歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	22.2	44.4	0.0	0.0	9
75～79歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.0	14.3	38.1	14.3	4.8	4.8	21
80～84歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.2	11.5	11.5	50.0	0.0	7.7	26
85歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.6	38.2	12.7	10.9	5.5	7.3	55
居住地												
久喜西地区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	16.7	26.7	16.7	26.7	3.3	30
久喜東地区	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	38.1	9.5	9.5	28.6	4.8	4.8	21
菖蒲地区	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	20.0	24.0	36.0	8.0	4.0	4.0	25
栗橋地区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	9.1	31.8	13.6	22.7	9.1	22
鷲宮地区	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	9.5	19.0	28.6	14.3	14.3	4.8	21
認定状況												
受けていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5	16.4	23.6	27.3	21.8	3.6	55
要支援1・2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	21.7	25.0	15.0	20.0	10.0	3.3	60

(6) 経済的にみた現在の暮らしの状況

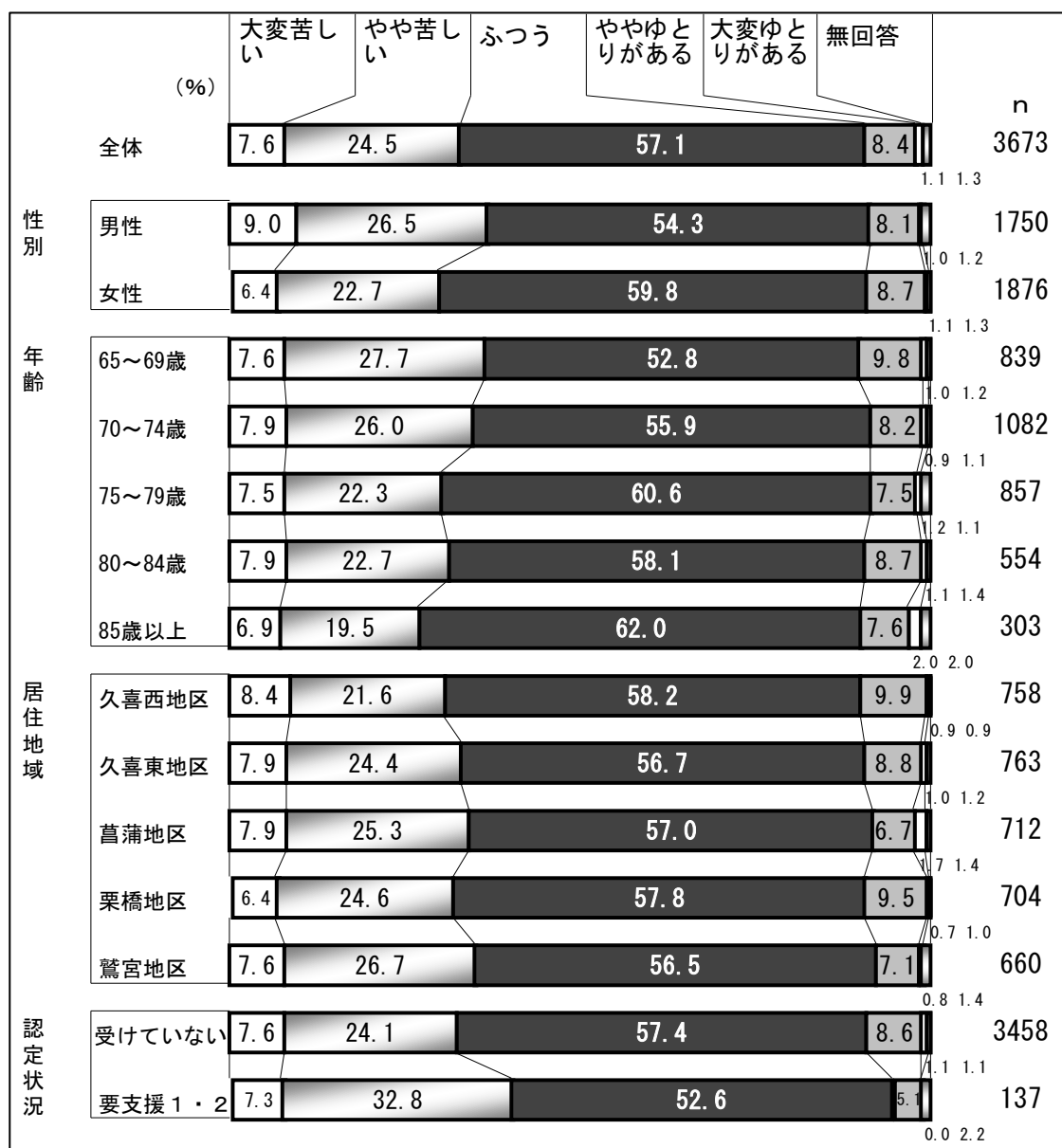
問8 現在の暮らしの状況を経済的に見てどう感じていますか。

- 「ふつう」が6割弱、「苦しい」が3割強を占める。

経済的にみた現在の暮らしの状況については、「ふつう」が57.1%、「大変苦しい」(7.6%)と「やや苦しい」(24.5%)を合わせた“苦しい”が32.1%、「ややゆとりがある」(8.4%)と「大変ゆとりがある」(1.1%)を合わせた“ゆとりがある”が9.5%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて“苦しい”の割合が低くなる傾向がうかがえる。

図表 経済的にみた現在の暮らしの状況 (全体・属性別)



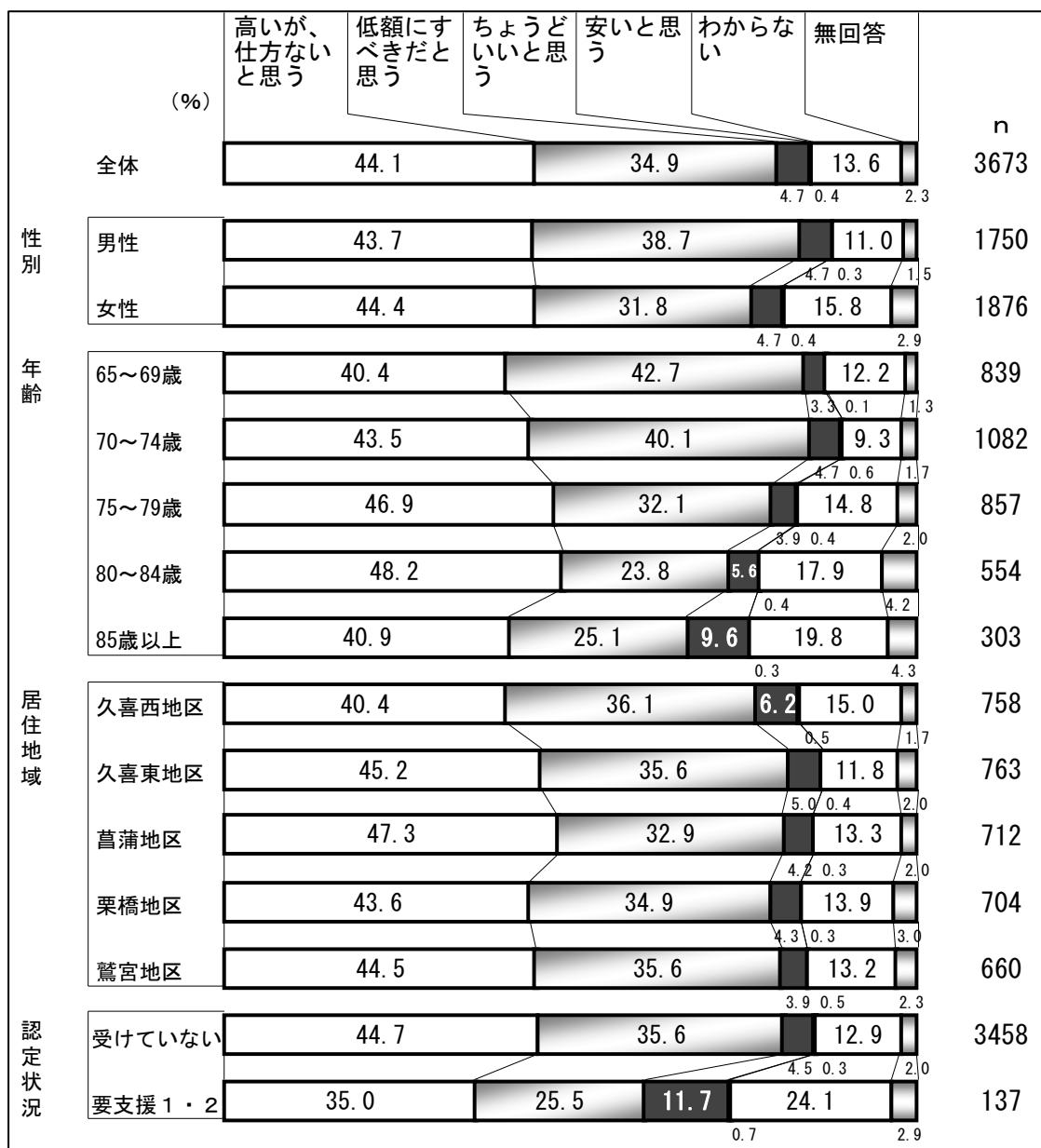
(7) 介護保険料について

問9 介護保険料について、どう思いますか。

- 「高いが、仕方ないと思う」が4割強、「低額にすべきだと思う」が3割強を占める。

介護保険料については、「高いが、仕方ないと思う」が44.1%、「低額にすべきだと思う」が34.9%、「ちょうどいいと思う」が4.7%、「安いと思う」が0.4%の順となっている。なお、「わからない」が13.6%となっている。すべての属性で「高いが、仕方ないと思う」が最も高い割合を占めている。

図表 介護保険料について（全体・属性別）



(8) 居住形態

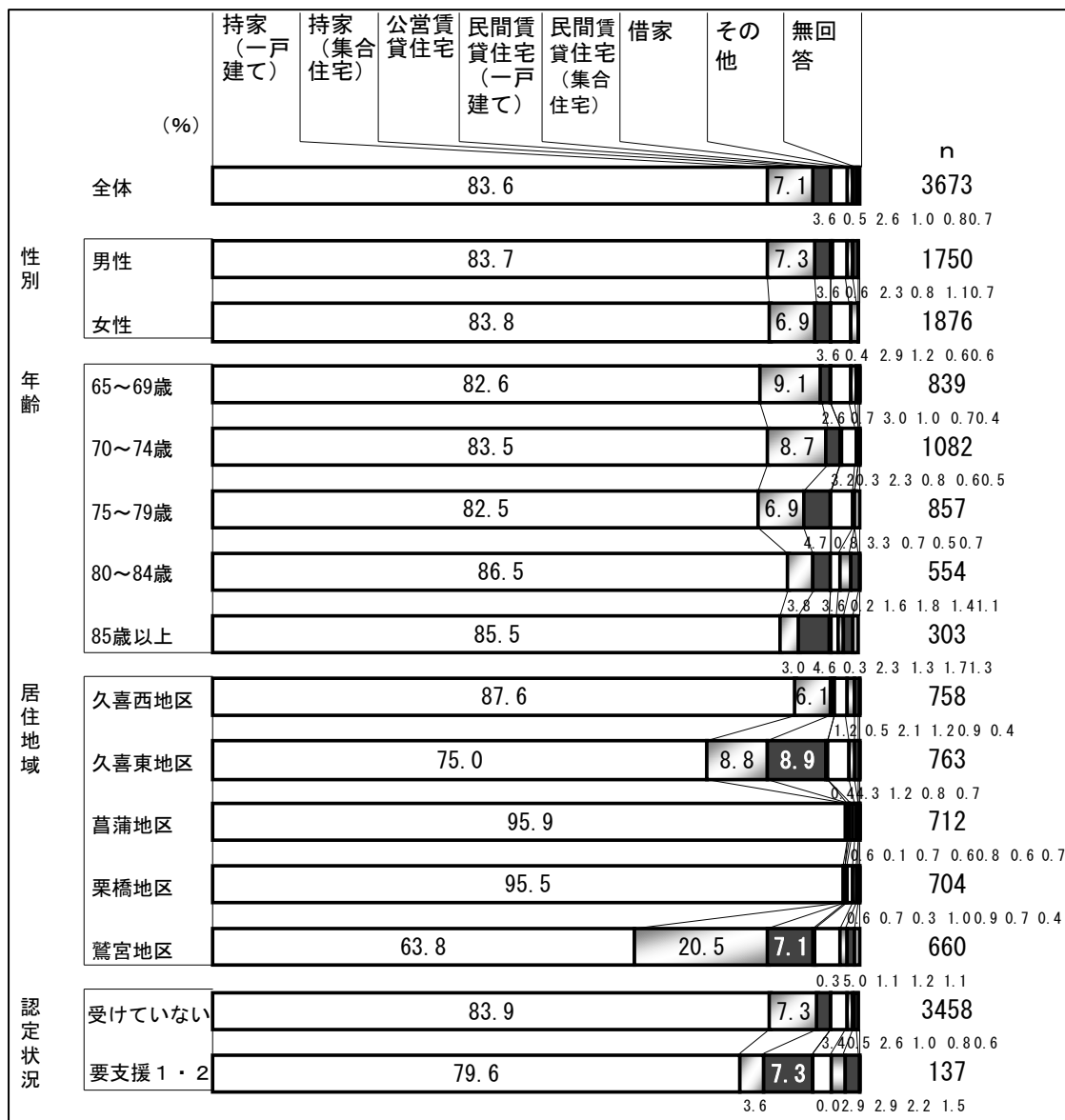
問 10 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

- 「持家（一戸建て）」が8割強を占める。

居住形態については、「持家（一戸建て）」が83.6%、「持家（集合住宅）」が7.1%、「公営賃貸住宅」が3.6%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が2.6%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が1.0%、「借家」が1.0%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が0.5%の順となっている。

居住地域でみると、鷺宮地区では「持家（集合住宅）」が20.5%と他の地区よりも高くなっている。

図表 居住形態（全体・属性別）



3 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか

問 11 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

- 「できるし、している」が7割弱、「できるけどしていない」が2割弱を占める。

階段を手すりや壁をつたわずに昇れるかについては、「できるし、している」が65.6%、「できるけどしていない」が19.2%、「できない」が13.9%の順となっている。

性別でみると、男性では「できるし、している」が71.3%と女性よりも高くなっている。

図表 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか（全体・属性別）

		(%)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答	n
性別	全体		65.6	19.2	13.9		3673
	男性		71.3	17.8	9.7		1750
	女性		60.4	20.5	17.9		1876
年齢	65～69歳		78.3	15.6	5.6		839
	70～74歳		72.7	17.9	8.3		1082
	75～79歳		64.1	21.1	13.3		857
	80～84歳		52.7	24.0	21.7		554
	85歳以上		34.0	20.1	43.9		303
居住地域	久喜西地区		66.4	19.5	13.5		758
	久喜東地区		66.8	18.1	14.2		763
	菖蒲地区		62.9	19.9	15.4		712
	栗橋地区		64.9	19.9	13.8		704
	鷺宮地区		67.4	18.8	12.6		660
認定状況	受けていない		67.7	19.5	11.7		3458
	要支援1・2		23.4	10.9	62.8		137

(2) 椅子から何もつかまらずに立ち上がれるか

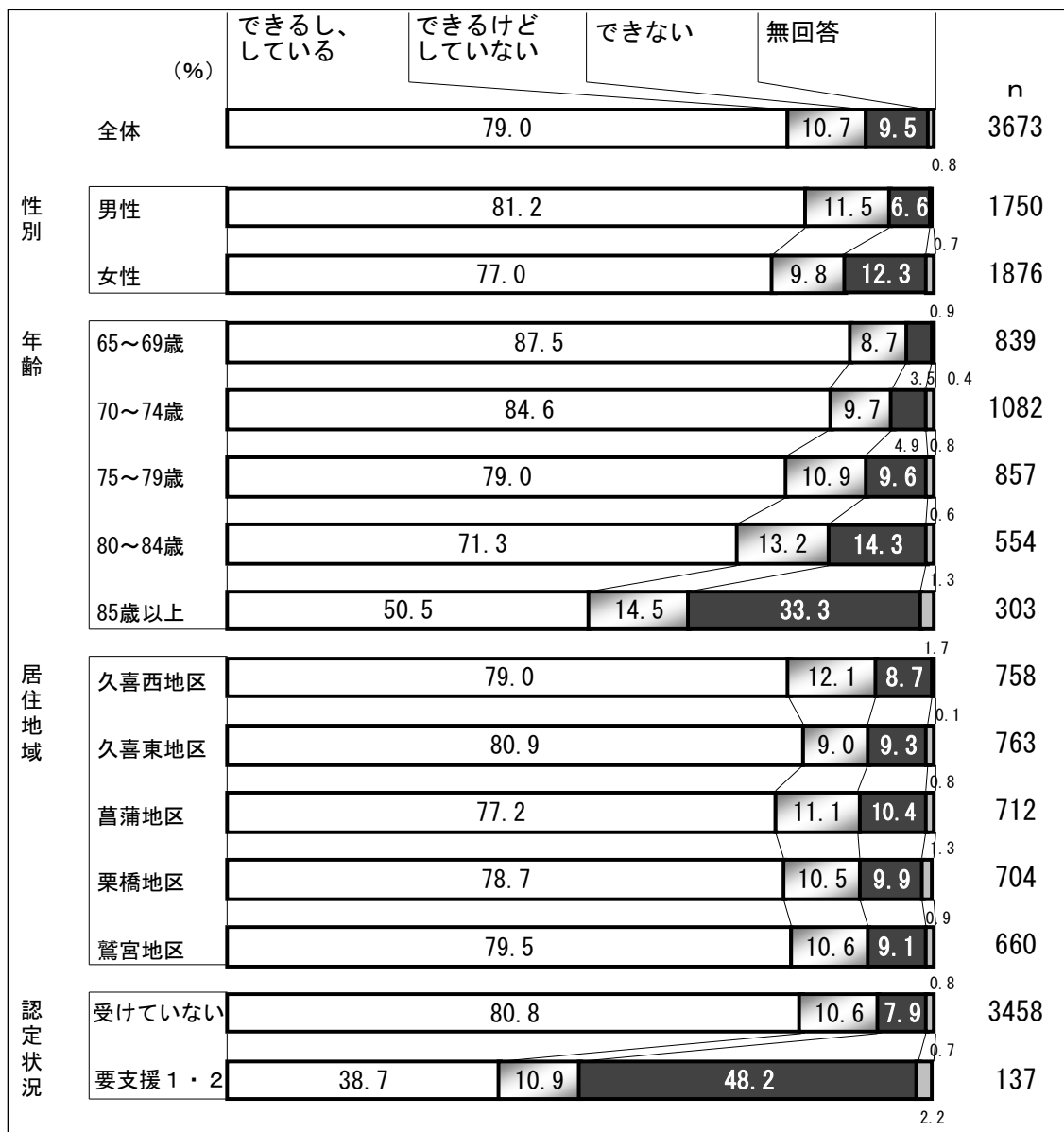
問 12 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

- 「できるし、している」が8割弱を占める。

椅子から何もつかまらずに立ち上がれるかについては、「できるし、している」が79.0%、「できるけどしていない」が10.7%、「できない」が9.5%の順となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「できない」の割合が高くなっており、85歳以上では33.3%となっている。

図表 椅子から何もつかまらずに立ち上がれるか（全体・属性別）



(3) 15分位続けて歩けるか

問13 15分位続けて歩いていますか。

- 「できるし、している」が8割弱、「できるけどしていない」が2割弱を占める。

15分位続けて歩けるかについては、「できるし、している」が76.2%、「できるけどしていない」が15.5%、「できない」が7.6%の順となっている。

年齢で見ると、85歳以上では「できない」が28.4%となっている。

図表 15分位続けて歩けるか（全体・属性別）

	(%)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答	n
全体		76.2	15.5	7.6		3673
性別	男性	77.5	15.9	6.0		1750
	女性	74.9	15.2	9.0		1876
年齢	65～69歳	80.7	17.3			839
	70～74歳	79.9	15.7			1082
	75～79歳	78.2	13.7	7.4		857
	80～84歳	72.2	14.6	12.1		554
	85歳以上	53.5	17.2	28.4		303
居住地域	久喜西地区	75.5	16.1	8.3		758
	久喜東地区	78.6	15.1	5.8		763
	菖蒲地区	72.9	17.7	8.4		712
	栗橋地区	76.8	14.9	7.7		704
	鷺宮地区	77.3	14.2	7.6		660
認定状況	受けていない	77.6	15.8	6.0		3458
	要支援1・2	43.1	12.4	42.3		137

(4) 過去1年間の転倒経験

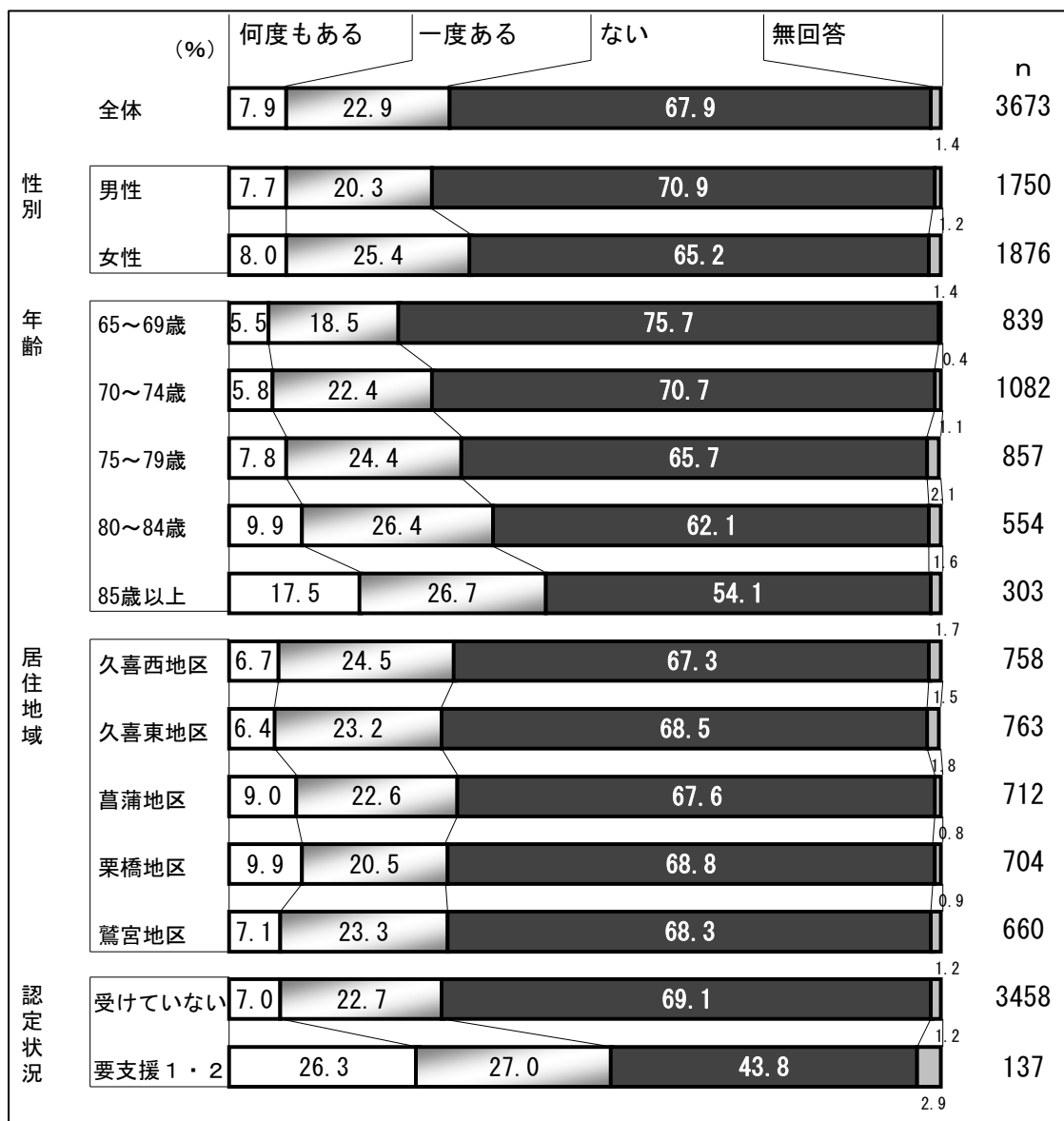
問 14 過去1年間に転んだ経験がありますか。

- 「ない」が7割弱、「一度ある」が2割強を占める。

過去1年間の転倒経験については、「ない」が67.9%、「一度ある」が22.9%、「何度もある」が7.9%の順となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて転倒経験がある人の割合が高くなっている。

図表 過去1年間の転倒経験（全体・属性別）



(5) 転倒に対する不安

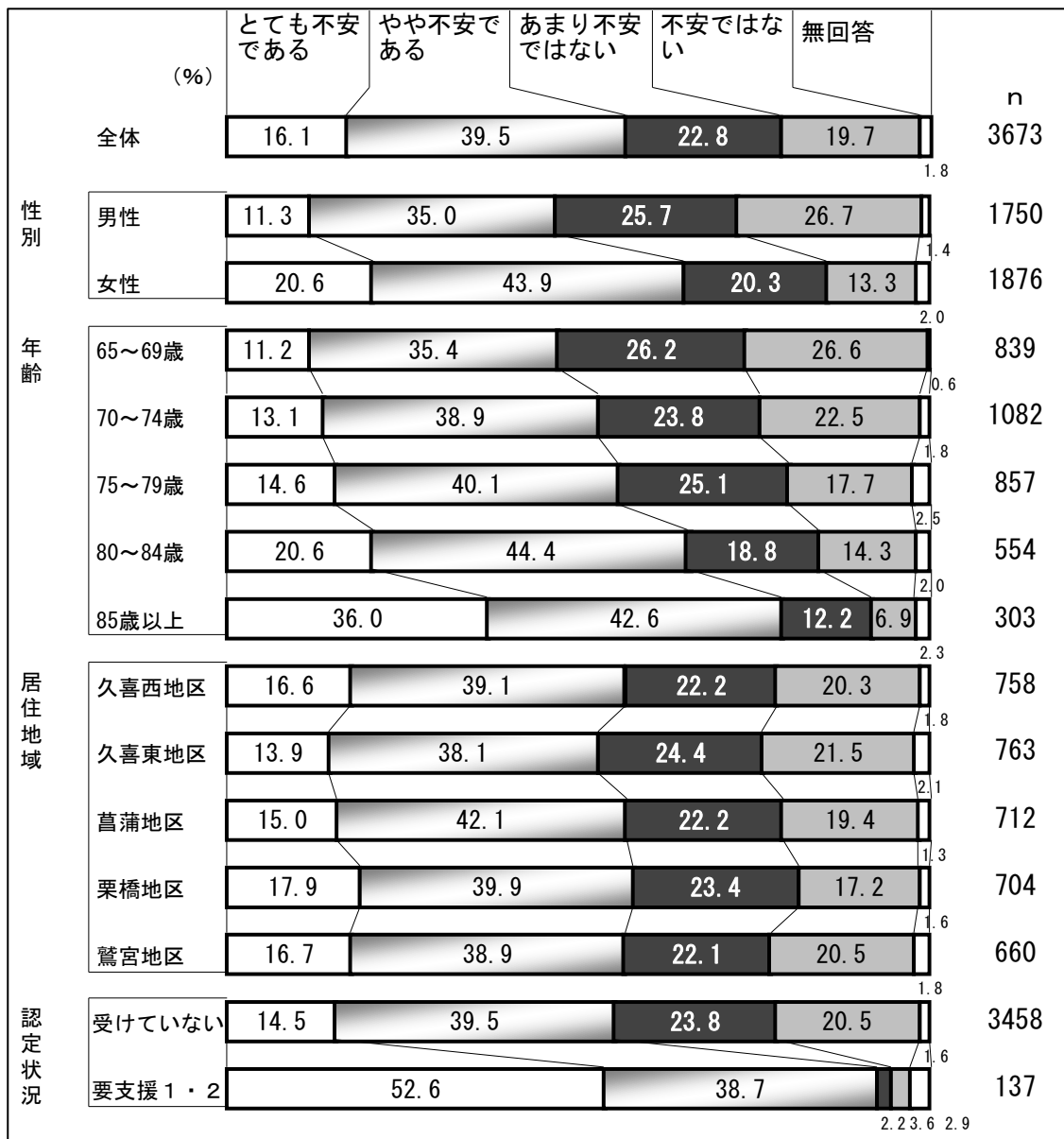
問 15 転倒に対する不安は大きいですか。

- “不安である” が6割弱、“不安ではない” が4割強を占める。

転倒に対する不安については、「とても不安である」(16.1%)と「やや不安である」(39.5%)を合わせた“不安である”が55.6%、「あまり不安ではない」(22.8%)と「不安ではない」(19.7%)を合わせた“不安ではない”が42.5%となっている。

性別でみると、女性では“不安である”が64.5%と男性よりも高くなっている。

図表 転倒に対する不安 (全体・属性別)



(6) 週に1回以上の外出

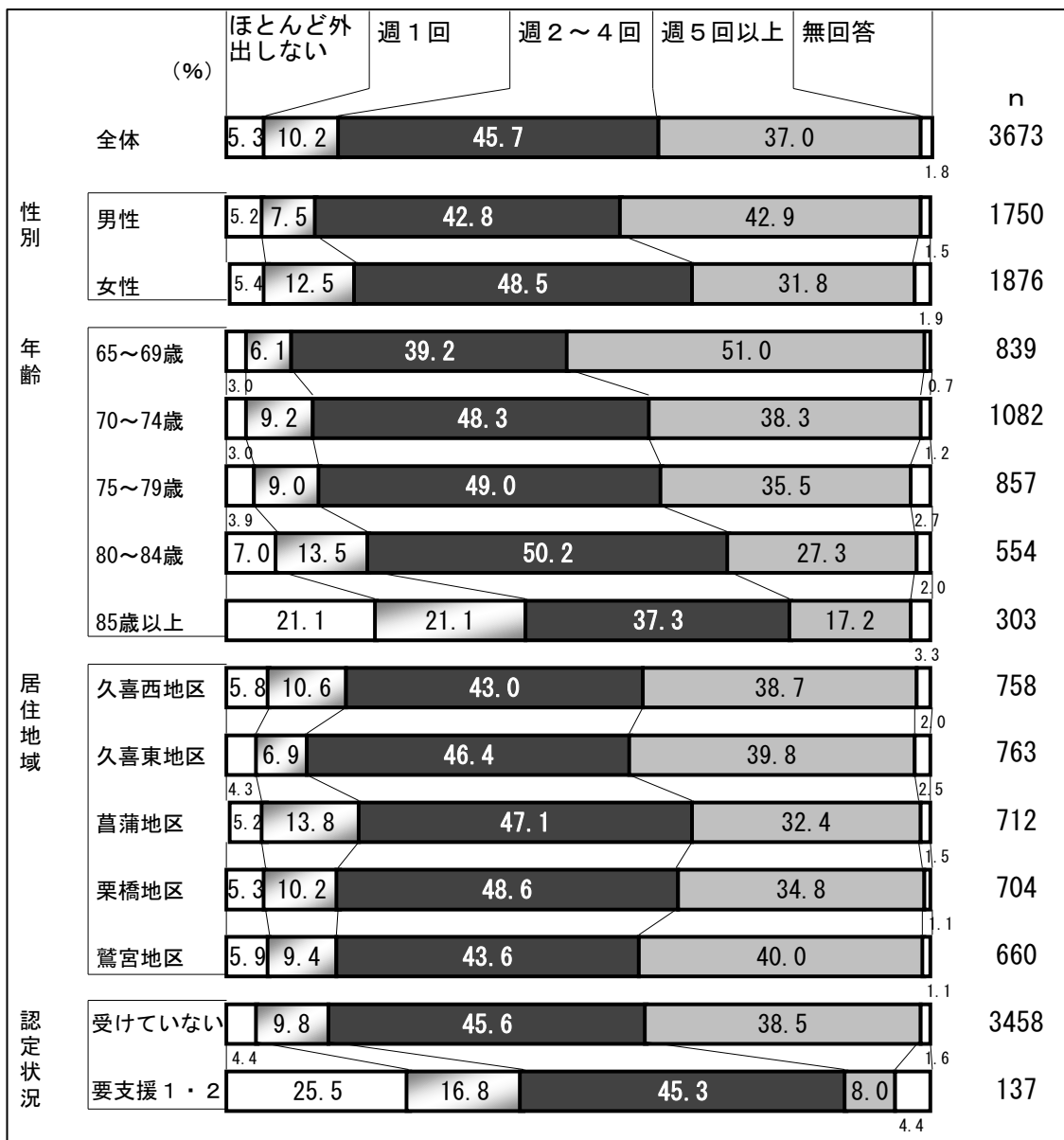
問16 週に1回以上は外出していますか。

- 「週2～4回」が5割弱、「週5回以上」が4割弱を占める。

週に1回以上の外出については、「週2～4回」が45.7%、「週5回以上」が37.0%、「週1回」が10.2%、「ほとんど外出しない」が5.3%の順となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて外出頻度が少なくなっている。85歳以上では「ほとんど外出しない」が21.1%となっている。

図表 週に1回以上の外出（全体・属性別）



(7) 外出をする際の移動手段

問 17 外出する際の移動手段は何ですか。【複数回答】

- 「自動車（自分で運転）」が第1位。「徒歩」、「自転車」などが続く。

外出をする際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」(57.9%) が最も多く、次いで「徒歩」(57.3%)、「自転車」(39.7%)、「電車」(28.2%)、「自動車（人に乗せてもらう）」(25.6%)、「路線バス」(10.7%)、「タクシー」(5.7%)、「デマンド交通（くきまる）」(1.9%)、「バイク」(1.7%)、「歩行器・シルバーカー」(1.2%)、「病院や施設のバス」(0.9%)、「車いす」(0.2%)、「電動車いす」(0.1%) の順となっている。

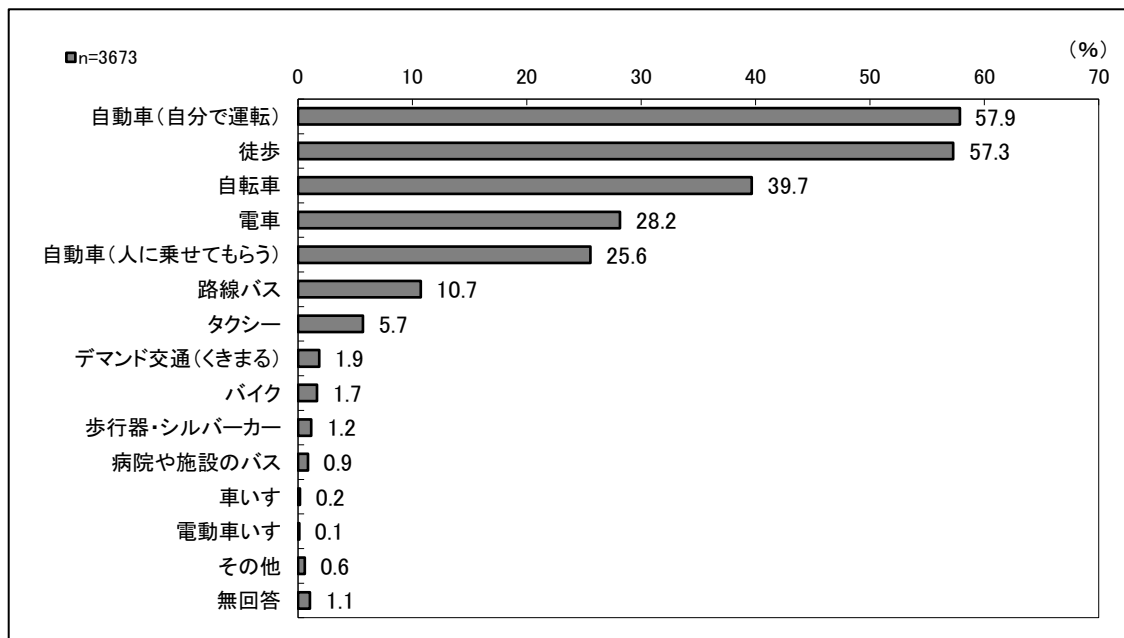
性別でみると、女性では「徒歩」が第1位となっている。

年齢でみると、75歳以上では「徒歩」が第1位となっている。

居住地域でみると、久喜西地区、久喜東地区、鷲宮地区では「徒歩」が第1位となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「自動車（人に乗せてもらう）」が第1位となっている。

図表 外出をする際の移動手段（全体／複数回答）



図表 外出をする際の移動手段（全体・属性別－第1位／複数回答）

	全体	問17 外出の際の移動手段								
		徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で 運転)	自動車 (人に乗 せてもら う)	電車	路線バス	デマンド 交通(く きまる)	病院や施 設のバス
全体	3673 100.0%	2104 57.3%	1457 39.7%	61 1.7%	2126 57.9%	939 25.6%	1034 28.2%	394 10.7%	68 1.9%	32 0.9%
性別	男性	1750 100.0%	1055 60.3%	706 40.3%	38 2.2%	1290 73.7%	222 12.7%	530 30.3%	174 9.9%	15 0.9%
	女性	1876 100.0%	1032 55.0%	737 39.3%	21 1.1%	812 43.3%	705 37.6%	498 26.5%	216 11.5%	51 2.7%
年齢	65～69歳	839 100.0%	493 58.8%	315 37.5%	22 2.6%	629 75.0%	168 20.0%	271 32.3%	82 9.8%	4 0.5%
	70～74歳	1082 100.0%	638 59.0%	422 39.0%	19 1.8%	722 66.7%	255 23.6%	339 31.3%	122 11.3%	5 0.5%
	75～79歳	857 100.0%	500 58.3%	370 43.2%	13 1.5%	473 55.2%	209 24.4%	240 28.0%	87 10.2%	21 2.5%
	80～84歳	554 100.0%	327 59.0%	250 45.1%	5 0.9%	234 42.2%	170 30.7%	144 26.0%	71 12.8%	22 4.0%
	85歳以上	303 100.0%	136 44.9%	91 30.0%	1 0.3%	49 16.2%	125 41.3%	37 12.2%	29 9.6%	14 4.6%
	久喜西地区	758 100.0%	447 59.0%	341 45.0%	13 1.7%	412 54.4%	194 25.6%	217 28.6%	92 12.1%	9 1.2%
久喜東地区	763 100.0%	506 66.3%	349 45.7%	10 1.3%	393 51.5%	173 22.7%	271 35.5%	146 19.1%	6 0.8%	
菖蒲地区	712 100.0%	300 42.1%	207 29.1%	14 2.0%	473 66.4%	180 25.3%	94 13.2%	79 11.1%	11 1.5%	
栗橋地区	704 100.0%	413 58.7%	269 38.2%	11 1.6%	437 62.1%	191 27.1%	214 30.4%	19 2.7%	27 3.8%	
鷺宮地区	660 100.0%	409 62.0%	269 40.8%	12 1.8%	375 56.8%	183 27.7%	228 34.5%	49 7.4%	12 1.8%	
認定 状況	受けていない	3458 100.0%	2019 58.4%	1419 41.0%	55 1.6%	2073 59.9%	842 24.3%	1005 29.1%	368 10.6%	48 1.4%
	要支援1・2	137 100.0%	58 42.3%	17 12.4%	2 1.5%	20 14.6%	73 53.3%	21 15.3%	16 11.7%	8 5.8%

	全体	問17 外出の際の移動手段					
		車いす	電動車い す	歩行者・ シルバー カー	タクシー	その他	無回答
全体	3673 100.0%	7 0.2%	4 0.1%	43 1.2%	209 5.7%	22 0.6%	39 1.1%
性別	男性	1750 100.0%	2 0.1%	1 0.1%	6 0.3%	80 4.6%	7 0.4%
	女性	1876 100.0%	5 0.3%	3 0.2%	37 2.0%	128 6.8%	15 0.8%
年齢	65～69歳	839 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%	16 1.9%	2 0.2%
	70～74歳	1082 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.3%	30 2.8%	3 0.3%
	75～79歳	857 100.0%	1 0.1%	0 0.0%	7 0.8%	51 6.0%	7 0.8%
	80～84歳	554 100.0%	0 0.0%	2 0.4%	9 1.6%	60 10.8%	2 0.4%
	85歳以上	303 100.0%	6 2.0%	2 0.7%	22 7.3%	51 16.8%	8 2.6%
	久喜西地区	758 100.0%	2 0.3%	0 0.0%	9 1.2%	62 8.2%	3 0.4%
久喜東地区	763 100.0%	1 0.1%	2 0.3%	10 1.3%	44 5.8%	4 0.5%	
菖蒲地区	712 100.0%	1 0.1%	1 0.1%	7 1.0%	22 3.1%	3 0.4%	
栗橋地区	704 100.0%	1 0.1%	0 0.0%	13 1.8%	34 4.8%	3 0.4%	
鷺宮地区	660 100.0%	2 0.3%	1 0.2%	4 0.6%	43 6.5%	8 1.2%	
認定 状況	受けていない	3458 100.0%	5 0.1%	2 0.1%	21 0.6%	166 4.8%	19 0.5%
	要支援1・2	137 100.0%	2 1.5%	2 1.5%	20 14.6%	35 25.5%	4 2.2%

(8) 昨年と比べた際の外出の頻度

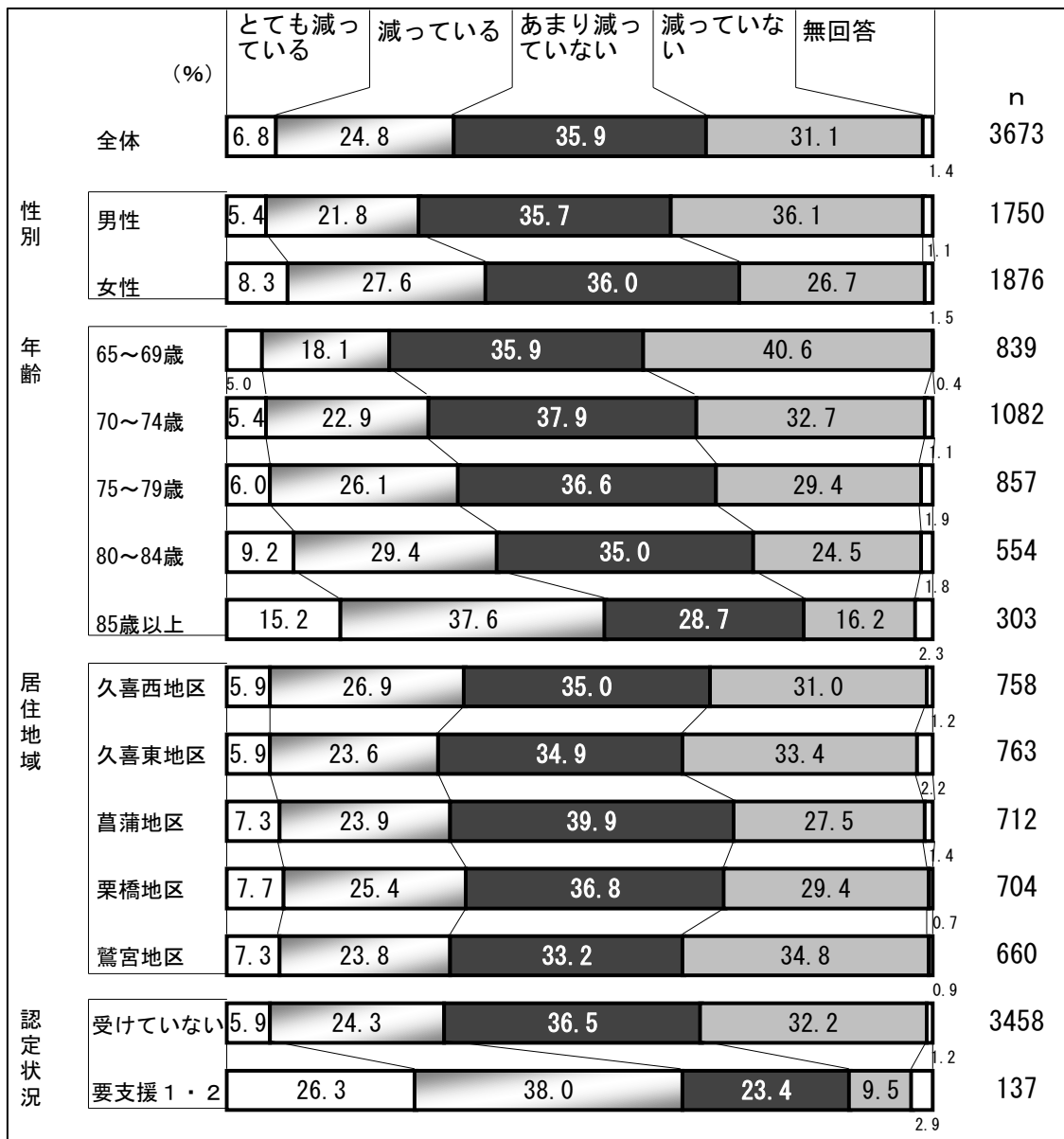
問 18 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

- “減っていない” が7割弱、“減っている” が3割強を占める。

昨年と比べた際の外出の頻度については、「あまり減っていない」(35.9%)と「減っていない」(31.1%)を合わせた“減っていない”が67.0%、「とても減っている」(6.8%)と「減っている」(24.8%)を合わせた“減っている”が31.6%となっている。

性別でみると、女性では“減っている”が35.9%と男性よりも高くなっている。

図表 昨年と比べた際の外出の頻度（全体・属性別）



(9) 外出を控えているか

問 19 外出を控えていますか。

- 「いいえ」が7割強、「はい」が3割強を占める。

外出を控えているかについては、「いいえ」が66.5%、「はい」が30.2%の順となっている。

性別でみると、女性では「はい」が35.3%と男性よりも高くなっている。

年齢でみると、85歳以上では「はい」が52.8%と「いいえ」を上回っている。

図表 外出を控えているか（全体・属性別）

	(%)	はい	いいえ	無回答	n
全体		30.2	66.5	3.3	3673
性別	男性	24.9	72.7	2.4	1750
	女性	35.3	60.7	4.0	1876
年齢	65～69歳	25.9	72.3	1.8	839
	70～74歳	26.6	70.4	3.0	1082
	75～79歳	28.2	67.3	4.4	857
	80～84歳	34.7	62.5	2.9	554
	85歳以上	52.8	41.6	5.6	303
居住地	久喜西地区	31.1	65.0	3.8	758
	久喜東地区	30.9	65.4	3.7	763
	菖蒲地区	29.9	66.7	3.4	712
	栗橋地区	29.1	68.2	2.7	704
	鷺宮地区	30.3	67.4	2.3	660
認定状況	受けていない	28.6	68.3	3.1	3458
	要支援1・2	67.2	29.2	3.6	137

(10) 外出を控えている理由

※問 19-1 は、問 19 で「1. はい」と回答した方にお聞きします。
 問 19-1 外出を控えている理由は何ですか。【複数回答】

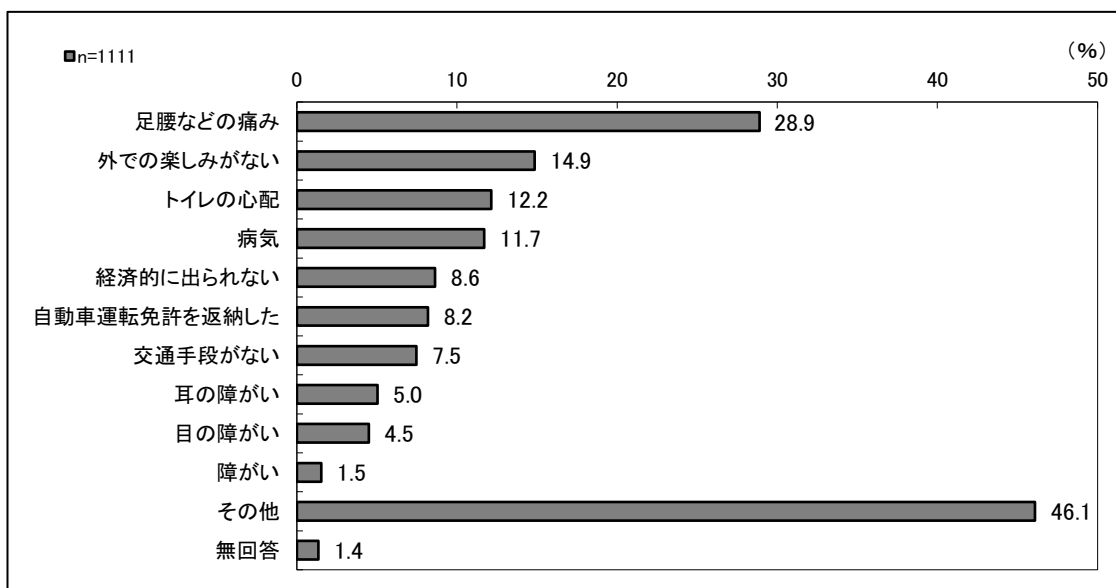
- 「足腰などの痛み」が第1位。「外での楽しみがない」、「トイレの心配」などが続く。

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」(28.9%)が最も多く、次いで「外での楽しみがない」(14.9%)、「トイレの心配」(12.2%)、「病気」(11.7%)、「経済的に出られない」(8.6%)、「自動車運転免許を返納した」(8.2%)、「交通手段がない」(7.5%)、「耳の障がい」(5.0%)、「目の障がい」(4.5%)、「障がい」(1.5%)の順となっている。

なお、「その他」は46.1%となっており、自由回答に記載された理由としては、新型コロナウイルス感染予防のためが多数であり、他に家族の介護のため等の回答があった。

年齢で見ると、70歳以上では「足腰などの痛み」が第1位となっている。

図表 外出を控えている理由（全体／複数回答）



図表 外出を控えている理由（全体・属性別－第1位／複数回答）

	全体	問19-1 外出を控えている理由								
		病気	障がい	足腰などの痛み	トイレの心配	耳の障がい	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない
全体	1111 100.0%	130 11.7%	17 1.5%	321 28.9%	135 12.2%	56 5.0%	50 4.5%	165 14.9%	96 8.6%	83 7.5%
性別	男性	435 100.0%	67 15.4%	11 2.5%	106 24.4%	48 11.0%	16 3.7%	18 4.1%	65 14.9%	26 6.0%
	女性	663 100.0%	61 9.2%	6 0.9%	211 31.8%	87 13.1%	39 5.9%	32 4.8%	98 14.8%	57 8.6%
年齢	65～69歳	217 100.0%	26 12.0%	0 0.0%	29 13.4%	13 6.0%	2 0.9%	3 1.4%	35 16.1%	6 2.8%
	70～74歳	288 100.0%	33 11.5%	4 1.4%	52 18.1%	24 8.3%	2 0.7%	7 2.4%	33 11.5%	16 5.6%
	75～79歳	242 100.0%	35 14.5%	3 1.2%	75 31.0%	38 15.7%	12 5.0%	10 4.1%	44 18.2%	11 4.5%
	80～84歳	192 100.0%	18 9.4%	5 2.6%	82 42.7%	27 14.1%	16 8.3%	13 6.8%	30 15.6%	19 9.9%
	85歳以上	160 100.0%	16 10.0%	5 3.1%	79 49.4%	33 20.6%	23 14.4%	17 10.6%	22 13.8%	3 1.9%
	認定状況	受けていない	989 100.0%	106 10.7%	10 1.0%	257 26.0%	115 11.6%	43 4.3%	36 3.6%	152 15.4%
	要支援1・2	92 100.0%	17 18.5%	7 7.6%	54 58.7%	18 19.6%	11 12.0%	14 15.2%	9 9.8%	8 20.7%
居住地	久喜西地区	236 100.0%	22 9.3%	2 0.8%	75 31.8%	25 10.6%	12 5.1%	6 2.5%	39 16.5%	20 8.5%
	久喜東地区	236 100.0%	20 8.5%	3 1.3%	57 24.2%	27 11.4%	14 5.9%	14 5.9%	34 14.4%	8 3.4%
	菖蒲地区	213 100.0%	25 11.7%	6 2.8%	66 31.0%	25 11.7%	10 4.7%	7 3.3%	42 19.7%	15 7.0%
	栗橋地区	205 100.0%	32 15.6%	5 2.4%	61 29.8%	29 14.1%	9 4.4%	13 6.3%	22 10.7%	20 9.8%
	鷺宮地区	200 100.0%	29 14.5%	1 0.5%	56 28.0%	29 14.5%	10 5.0%	9 4.5%	25 12.5%	16 8.0%
	認定状況	受けていない	989 100.0%	106 10.7%	10 1.0%	257 26.0%	115 11.6%	43 4.3%	36 3.6%	152 15.4%
	要支援1・2	92 100.0%	17 18.5%	7 7.6%	54 58.7%	18 19.6%	11 12.0%	14 15.2%	9 9.8%	8 20.7%

	全体	問19-1 外出を控えている理由				
		自動車運転免許を返納した	その他	無回答	非該当	
全体	1111 100.0%	91 8.2%	512 46.1%	15 1.4%	2562	
性別	男性	435 100.0%	36 8.3%	211 48.5%	3 0.7%	1315
	女性	663 100.0%	52 7.8%	301 45.4%	10 1.5%	1213
年齢	65～69歳	217 100.0%	2 0.9%	150 69.1%	1 0.5%	622
	70～74歳	288 100.0%	16 5.6%	169 58.7%	3 1.0%	794
	75～79歳	242 100.0%	20 8.3%	97 40.1%	5 2.1%	615
	80～84歳	192 100.0%	31 16.1%	53 27.6%	4 2.1%	362
	85歳以上	160 100.0%	19 11.9%	42 26.3%	1 0.6%	143
	認定状況	受けていない	989 100.0%	74 7.5%	489 49.4%	11 1.1%
	要支援1・2	92 100.0%	12 13.0%	16 17.4%	1 1.1%	45

4 食べることについて

(1) BMI

問20 あなたの身長と体重を教えてください。



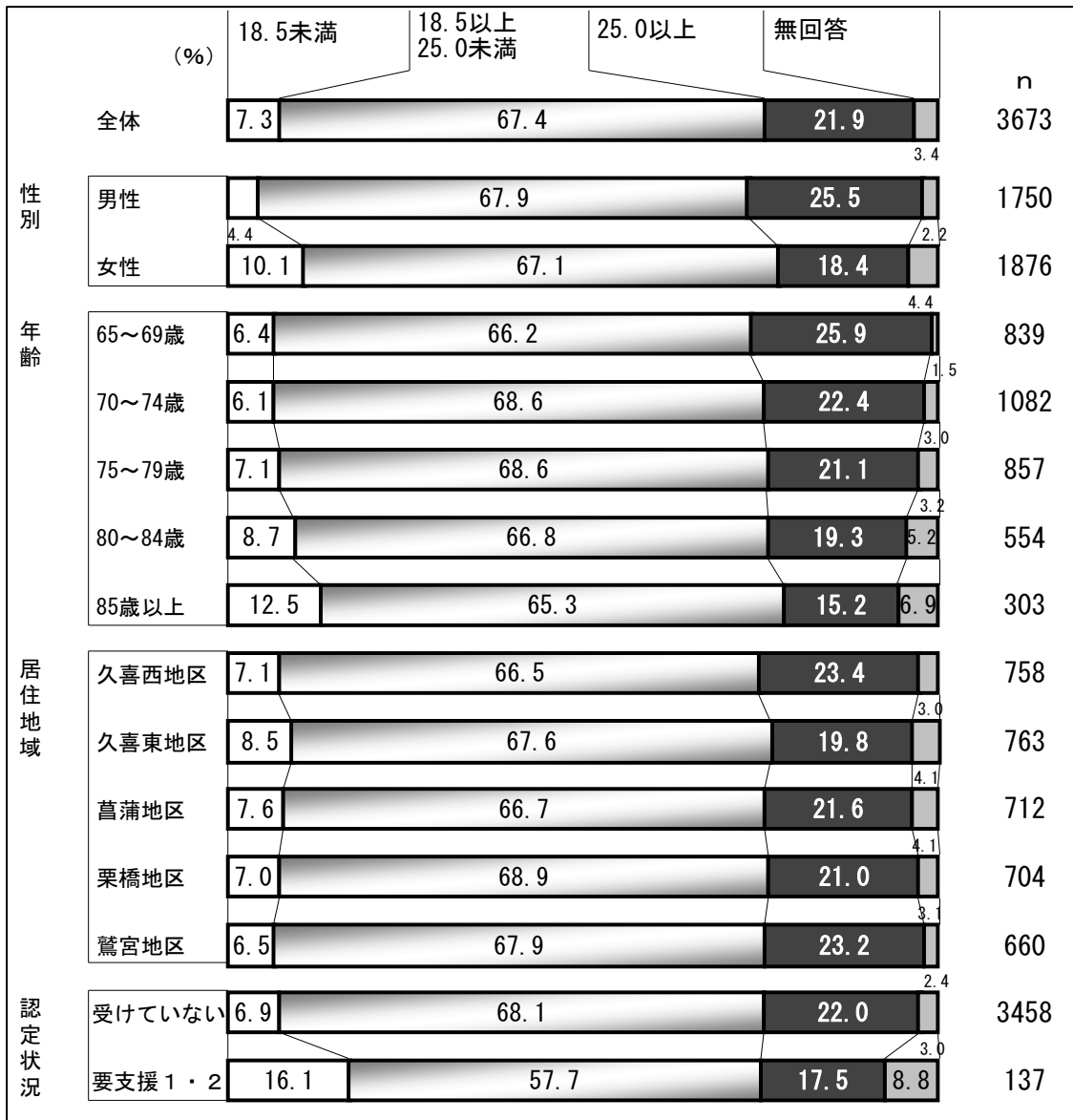
- 「18.5以上25.0未満」が7割弱、「25.0以上」が2割強を占める。

BMI¹については、「18.5以上25.0未満」が67.4%、「25.0以上」が21.9%、「18.5未満」が7.3%の順となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「25.0以上」の割合が低くなっている。

¹ 体重と身長から算出される肥満度を表す体格指数。BMI = 体重 (kg) / 身長 (m)²

図表 BMI (全体・属性別)



(2) 半年前と比べて固いものが食べにくくなったか

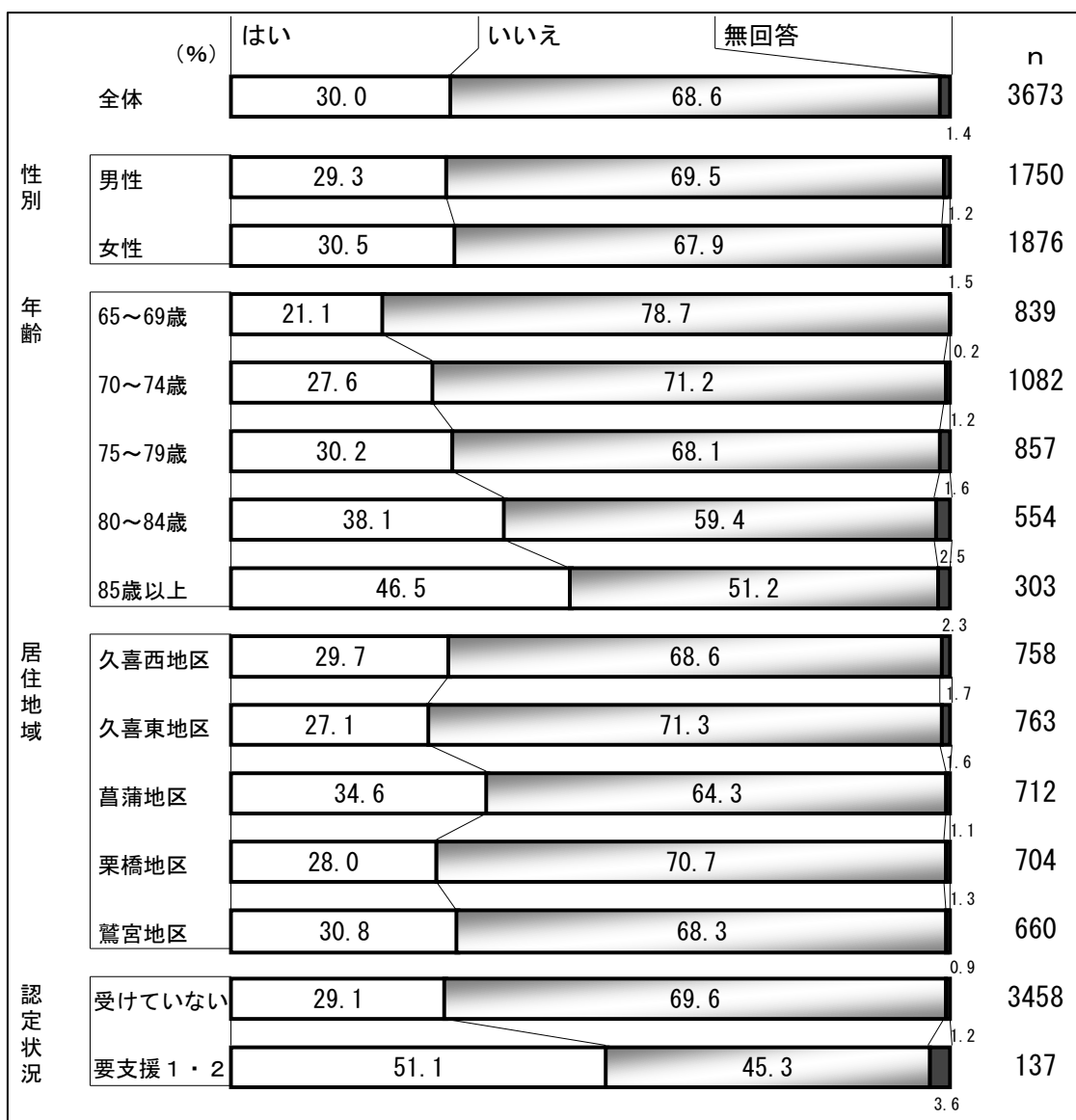
問 21 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

- 「いいえ」が7割弱、「はい」が3割を占める。

半年前と比べて固いものが食べにくくなったかについては、「いいえ」が68.6%、「はい」が30.0%の順となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「はい」の割合が高くなっている。

図表 半年前と比べて固いものが食べにくくなったか（全体・属性別）



(3) お茶や汁物等でむせることがあるか

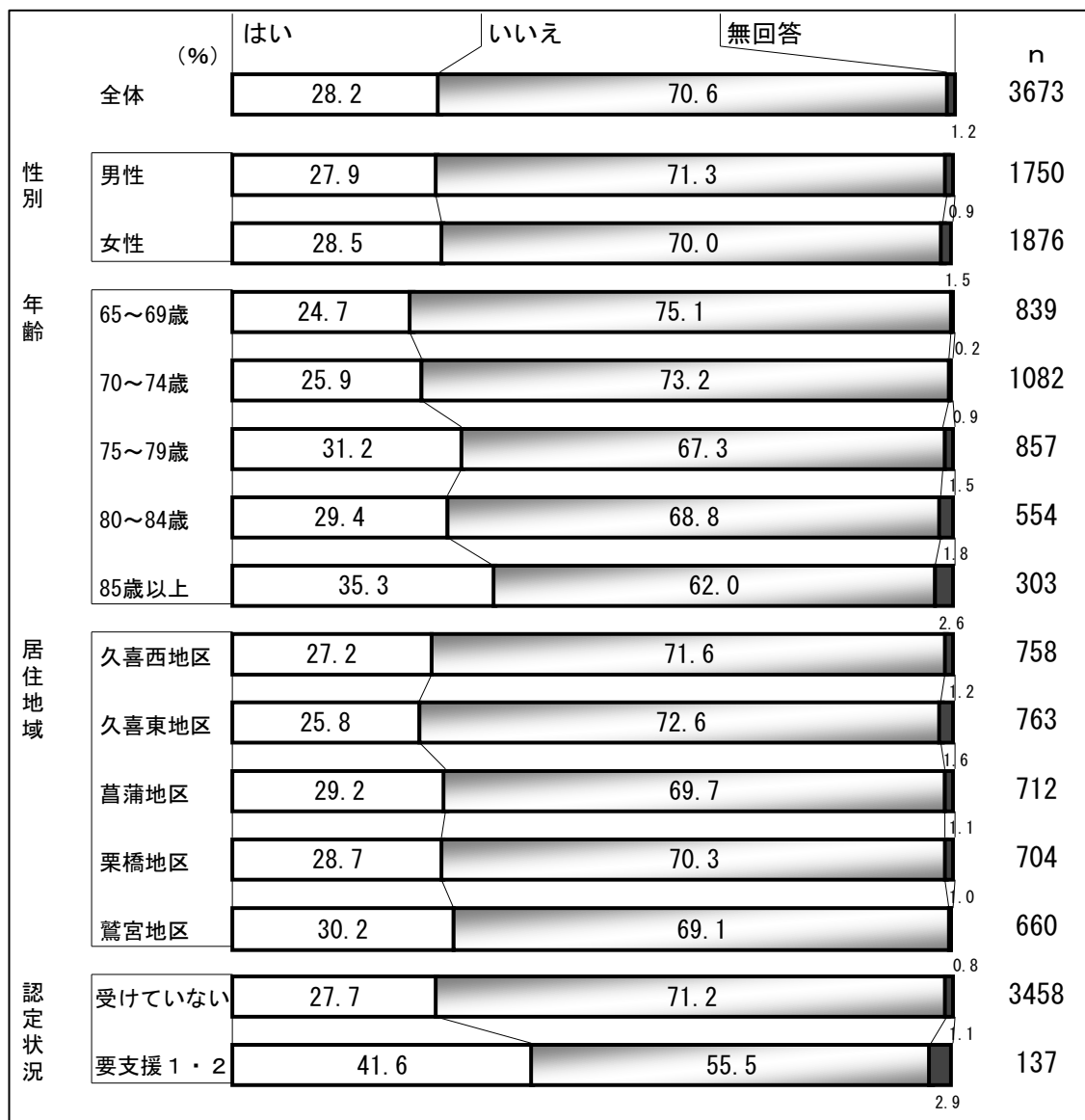
問 22 お茶や汁物等でむせることがありますか。

- 「いいえ」が7割強、「はい」が3割弱を占める。

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「いいえ」が70.6%、「はい」が28.2%の順となっている。

年齢で見ると、75～79歳と85歳以上では「はい」が3割以上を占めている。

図表 お茶や汁物等でむせることがあるか（全体・属性別）



(4) 口の渇きが気になるか

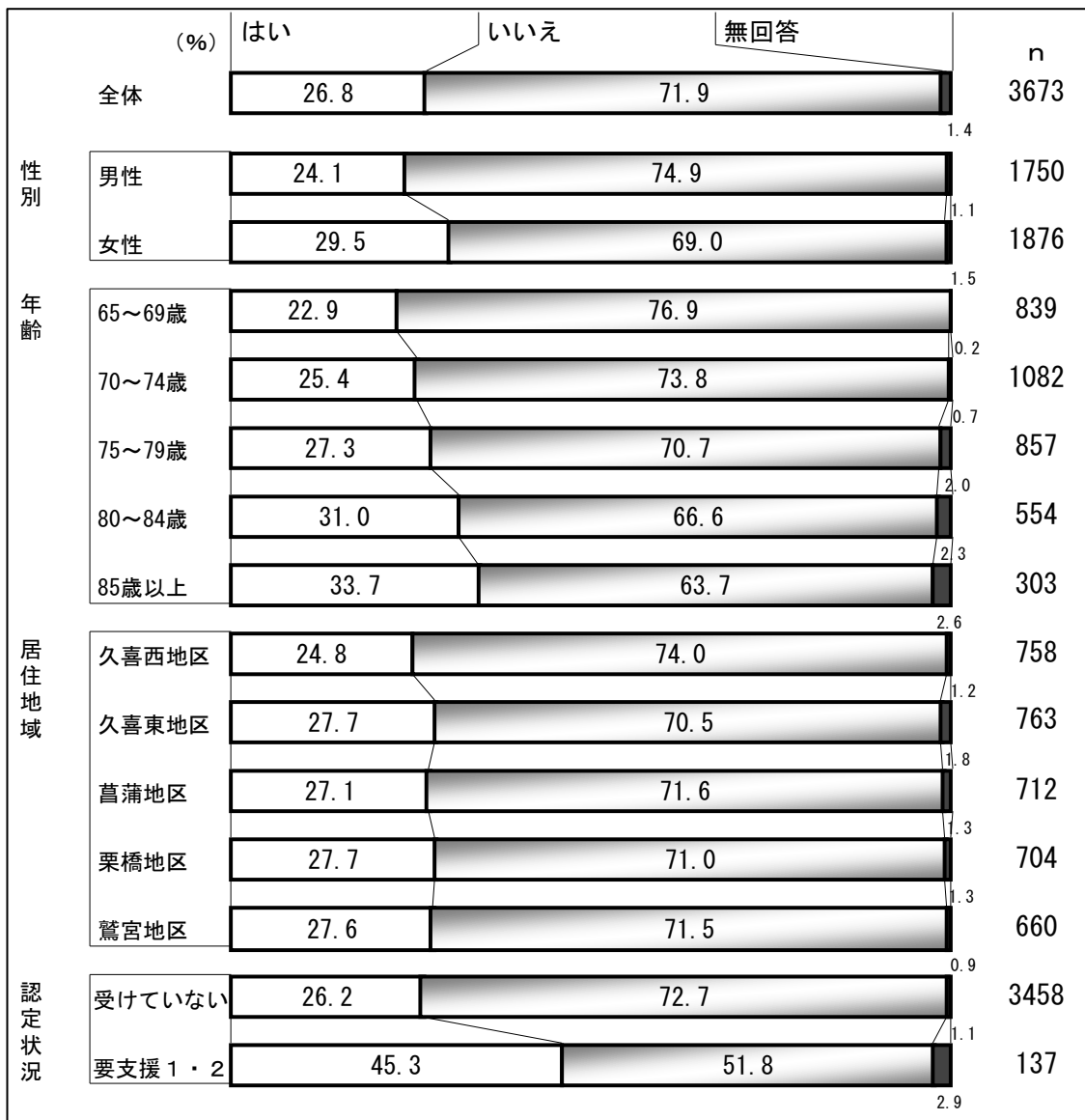
問 23 口の渇きが気になりますか。

- 「いいえ」が7割強、「はい」が3割弱を占める。

口の渇きが気になるかについては、「いいえ」が71.9%、「はい」が26.8%の順となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「はい」の割合が高くなっている。

図表 口の渇きが気になるか（全体・属性別）



(5) 6か月で2～3kg以上の体重減少があったか

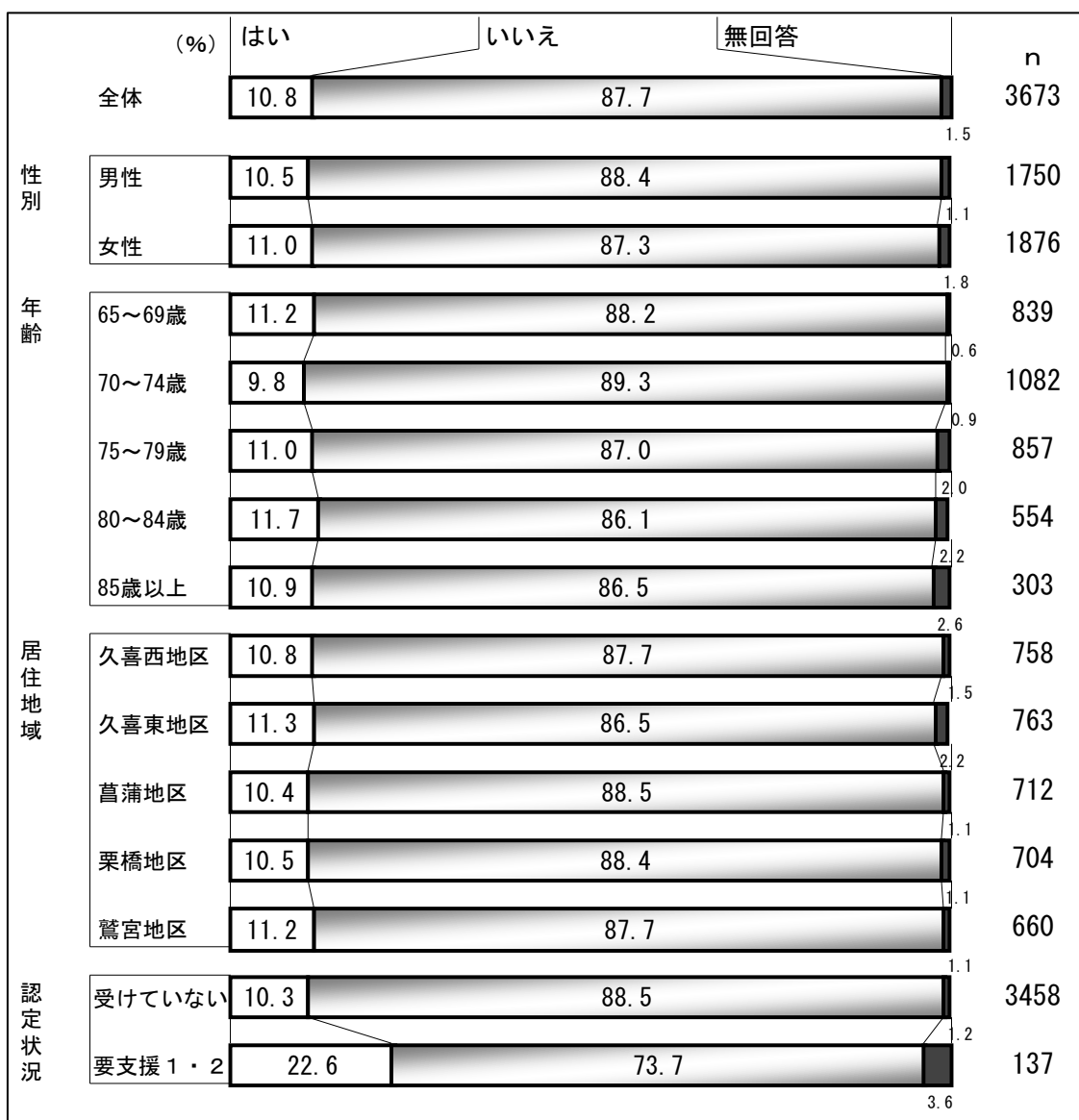
問 24 6か月で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

- 「いいえ」が9割弱、「はい」が1割強を占める。

6か月で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「いいえ」が87.7%、「はい」が10.8%の順となっている。

認定状況で見ると、要支援1・2では「はい」が22.6%となっている。

図表 6か月で2～3kg以上の体重減少があったか（全体・属性別）



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

問 25 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。

- 「20本以上、入れ歯の利用なし」、「19本以下、かつ入れ歯を利用」がともに3割強を占める。

歯の数と入れ歯の利用状況については、「20本以上、入れ歯の利用なし」が34.2%、「19本以下、かつ入れ歯を利用」が33.7%、「20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.2%、「19本以下、入れ歯の利用なし」が11.3%の順となっている。

図表 歯の数と入れ歯の利用状況（全体・属性別）

		（%）					n
		20本以上、 かつ入れ歯 を利用	20本以上、 入れ歯の利 用なし	19本以下、 かつ入れ歯 を利用	19本以下、 入れ歯の利 用なし	無回答	
性別	全体	17.2	34.2	33.7	11.3	3.6	3673
	男性	19.1	31.6	34.9	11.5	2.9	1750
	女性	15.5	36.7	32.5	11.1	4.2	1876
年齢	65～69歳	15.1	49.7	20.3	13.8	1.1	839
	70～74歳	16.1	37.6	32.3	11.0	3.0	1082
	75～79歳	20.1	29.2	35.4	11.1	4.3	857
	80～84歳	19.1	24.0	44.6	7.8	4.5	554
	85歳以上	16.2	11.6	51.2	11.9	9.2	303
居住地	久喜西地区	18.6	35.5	31.3	10.9	3.7	758
	久喜東地区	17.8	36.4	31.5	10.5	3.8	763
	菖蒲地区	15.3	30.5	39.2	11.4	3.7	712
	栗橋地区	19.3	33.7	33.8	9.5	3.7	704
	鷲宮地区	15.5	34.5	32.7	14.1	3.2	660
認定状況	受けていない	17.5	34.8	33.3	11.2	3.2	3458
	要支援1・2	12.4	20.4	43.1	14.6	9.5	137

(7) 誰かと食事をとにもする機会

問 26 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。

- 「毎日ある」が6割弱を占める。

誰かと食事をとにもする機会については、「毎日ある」が56.9%、「年に何度かある」が13.0%、「月に何度かある」が12.7%、「ほとんどない」が8.8%、「週に何度かある」が7.0%の順となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「毎日ある」の割合が低くなっている。

図表 誰かと食事をとにもする機会（全体・属性別）

	(%)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	n
全体		56.9	7.0	12.7	13.0	8.8	1.6	3673
性別	男性	59.5	6.0	9.6	12.2	11.5	1.2	1750
	女性	54.7	8.0	15.5	13.8	6.1	1.9	1876
年齢	65～69歳	67.8	7.2	7.4	9.5	7.5	0.6	839
	70～74歳	60.0	6.8	11.9	12.5	7.2	1.6	1082
	75～79歳	53.0	7.0	16.7	13.3	7.7	2.3	857
	80～84歳	48.0	6.3	17.3	15.0	11.2	2.2	554
	85歳以上	44.2	8.9	10.2	19.8	15.8	1.0	303
居住地域	久喜西地区	55.4	9.2	12.3	12.4	10.2	0.5	758
	久喜東地区	55.6	6.8	14.0	13.0	8.3	2.4	763
	菖蒲地区	55.1	6.7	13.8	14.0	8.0	2.4	712
	栗橋地区	58.8	6.1	10.7	14.3	8.8	1.3	704
	鷺宮地区	60.8	6.2	12.9	11.2	8.0	0.9	660
認定状況	受けていない	57.6	6.9	12.7	12.8	8.6	1.4	3458
	要支援1・2	46.0	10.9	13.9	16.8	10.9	1.5	137

5 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか

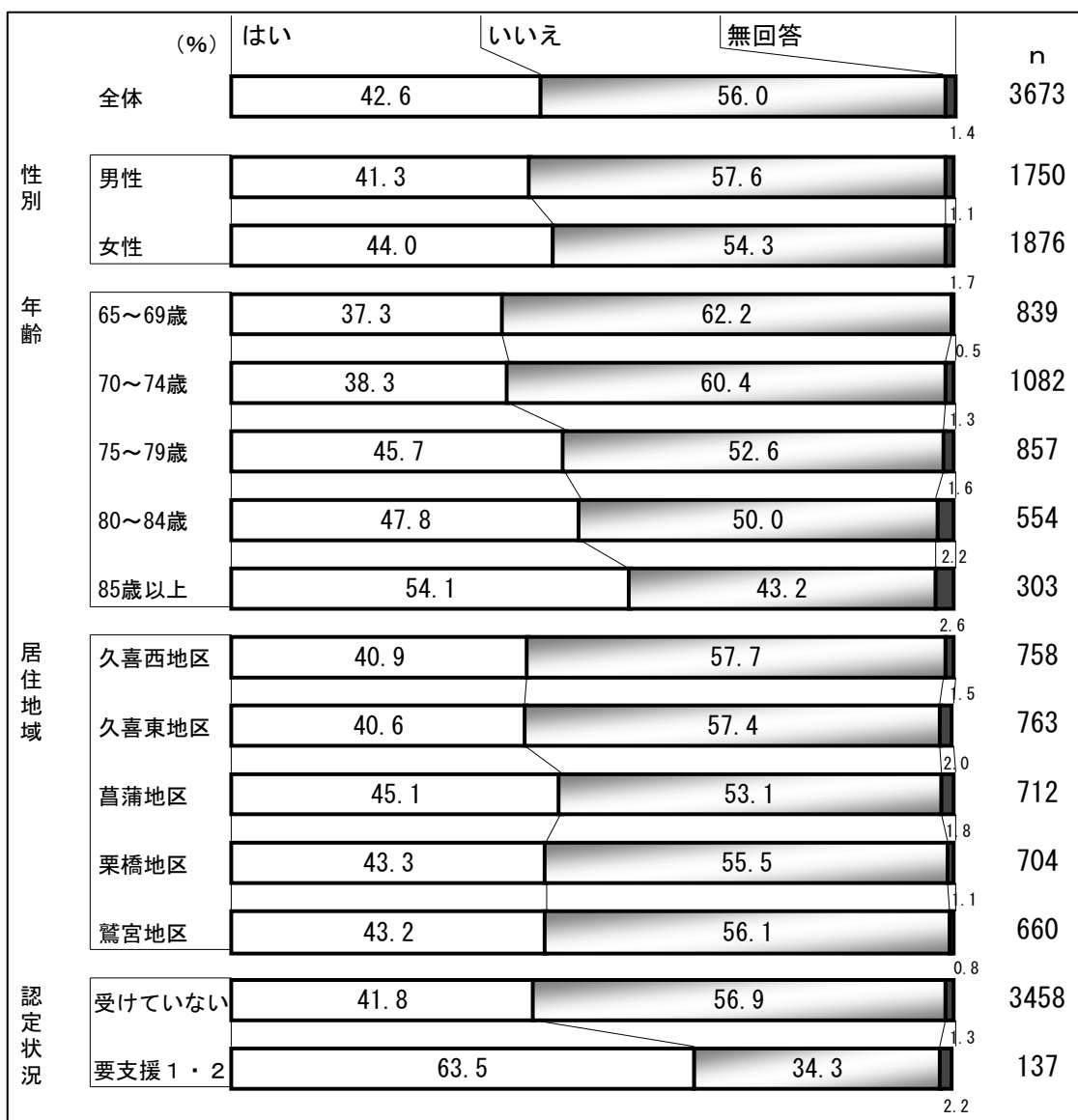
問 27 物忘れが多いと感じますか。

- 「いいえ」が6割弱、「はい」が4割強を占める。

物忘れが多いと感じるかについては、「いいえ」が56.0%、「はい」が42.6%の順となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「はい」の割合が高くなっている。

図表 物忘れが多いと感じるか（全体・属性別）



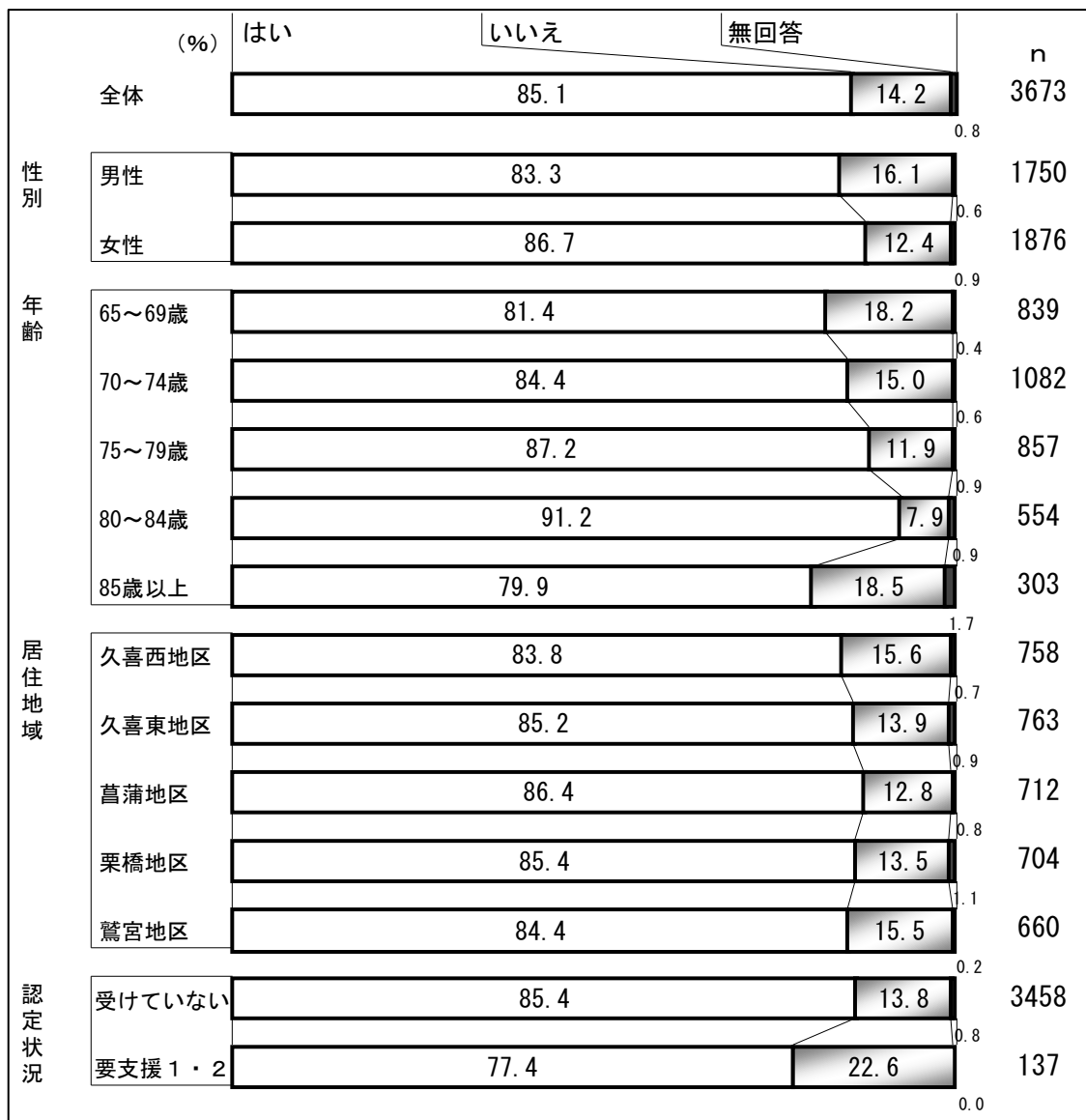
(2) 自分で電話番号を調べて電話をかけることができるか

問 28 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

- 「はい」が9割弱、「いいえ」が1割強を占める。

自分で電話番号を調べて電話をかけることができるかについては、「はい」が85.1%、「いいえ」が14.2%の順となっている。

図表 自分で電話番号を調べて電話をかけることができるか（全体・属性別）



(3) 今日が何月何日かわからない時があるか

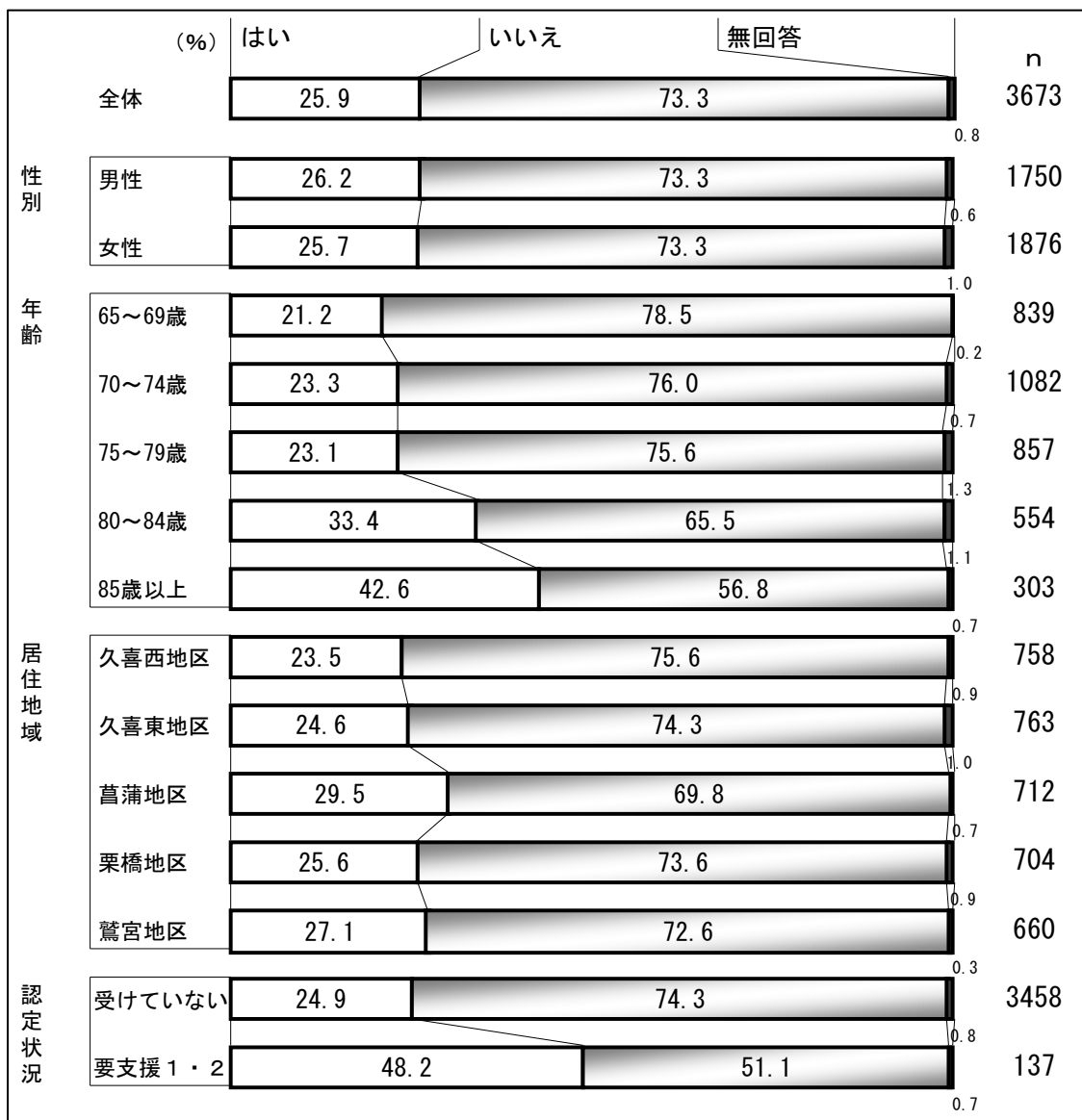
問 29 今日が何月何日かわからない時がありますか。

- 「いいえ」が7割強、「はい」3割弱を占める。

今日が何月何日かわからない時があるかについては、「いいえ」が73.3%、「はい」が25.9%の順となっている。

年齢で見ると、85歳以上では「はい」が42.6%となっている。

図表 今日が何月何日かわからない時があるか（全体・属性別）



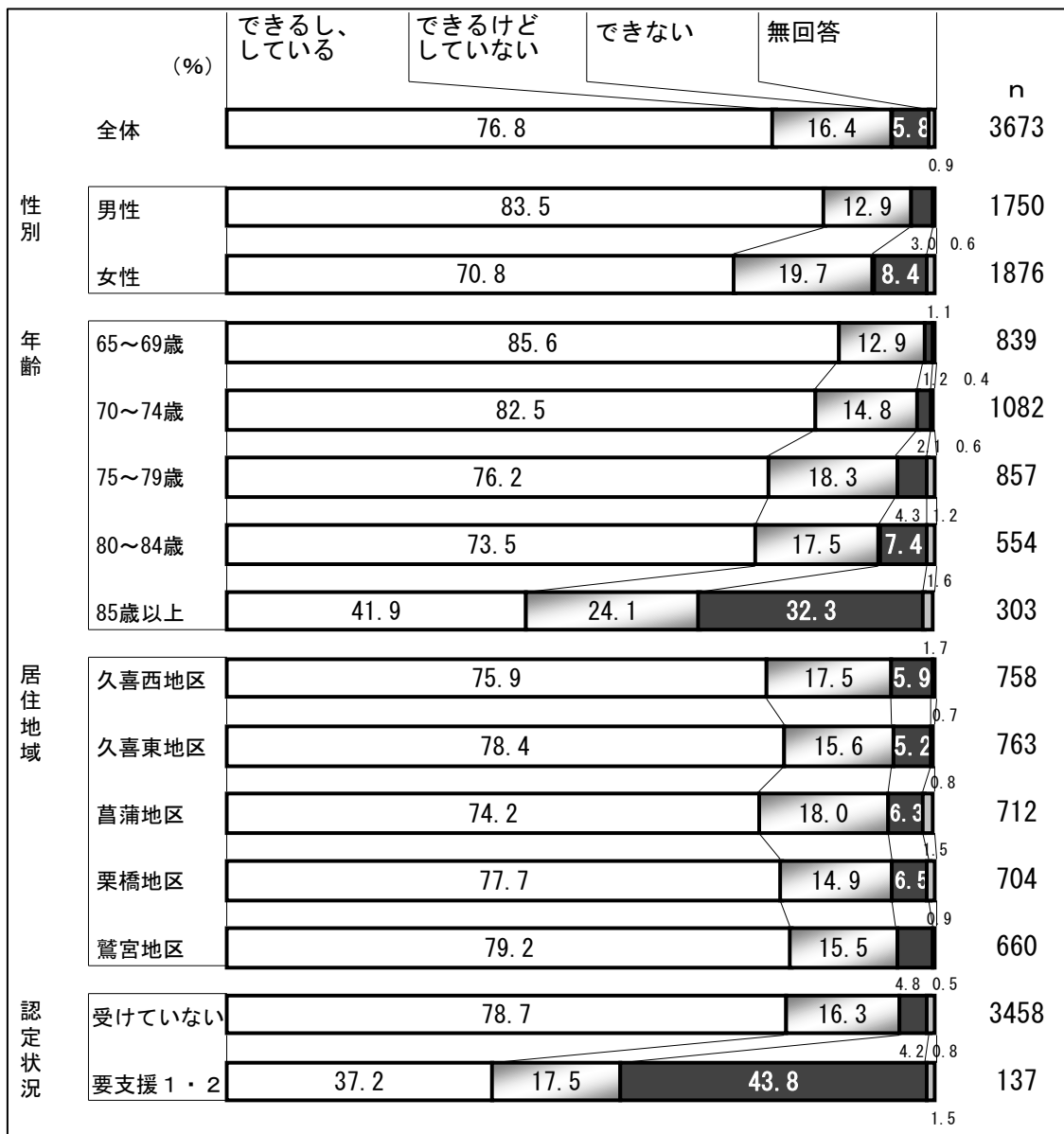
(4) バスや電車を使って1人で外出しているか

問 30 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。

- 「できるし、している」が8割弱、「できるけどしていない」が2割弱を占める。

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が76.8%、「できるけどしていない」が16.4%、「できない」が5.8%の順となっている。年齢で見ると、85歳以上では「できない」が32.3%と他の年齢層よりも高くなっている。

図表 バスや電車を使って1人で外出しているか（全体・属性別）



(5) 自分で食品・日用品の買い物をしているか

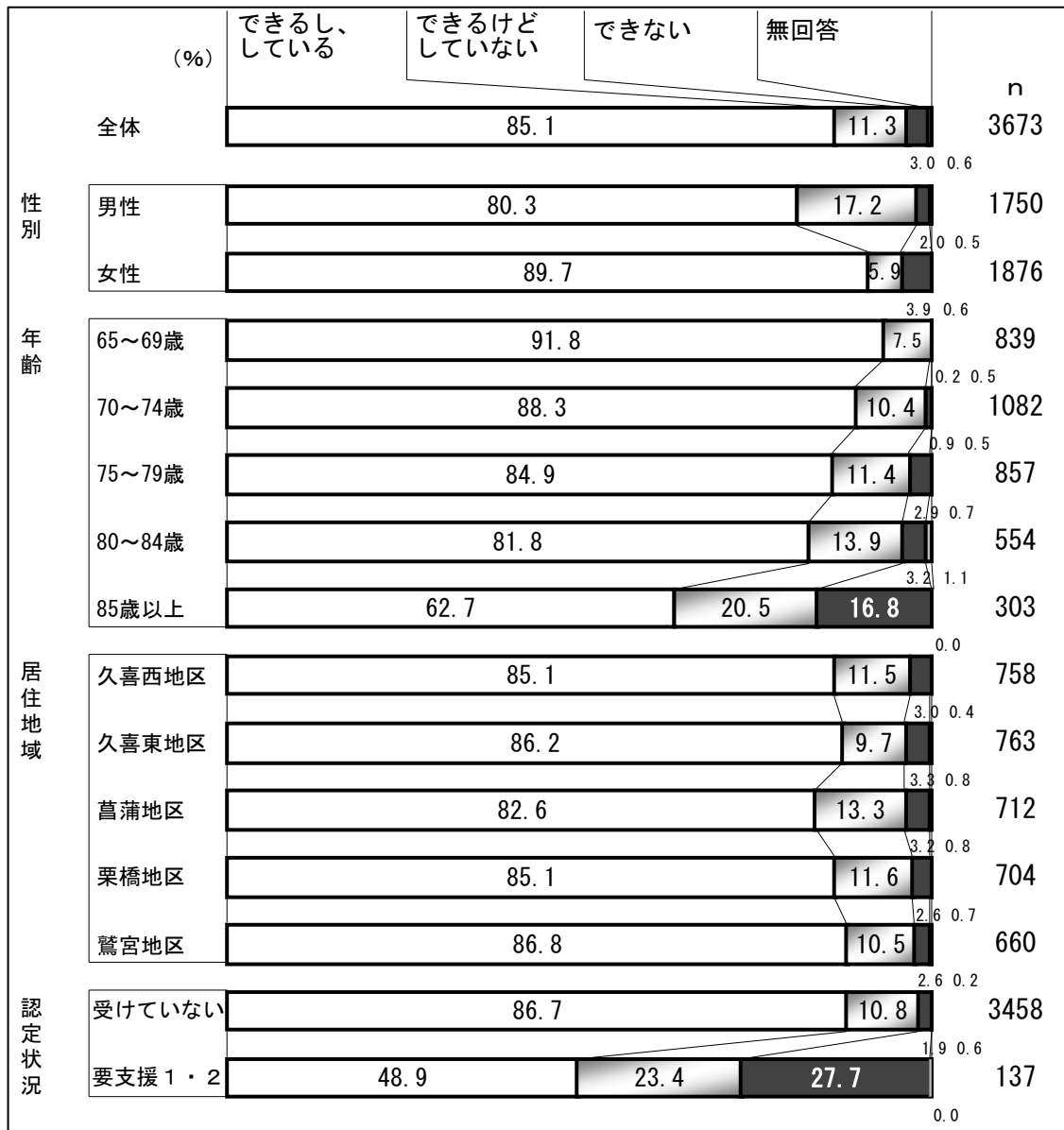
問 31 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。

- 「できるし、している」が9割弱を占める。

自分で食品・日用品の買い物をしているかについては、「できるし、している」が85.1%、「できるけどしていない」が11.3%、「できない」が3.0%の順となっている。

年齢で見ると、85歳以上では「できるし、している」が62.7%と他の年齢層よりも低くなっている。

図表 自分で食品・日用品の買い物をしているか（全体・属性別）



(6) 自分で食事の用意をしているか

問 32 自分で食事の用意をしていますか。

- 「できるし、している」が7割強、「できるけどしていない」が2割強を占める。

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が72.7%、「できるけどしていない」が20.8%、「できない」が5.7%の順となっている。

性別でみると、女性では「できるし、している」が93.3%となっているのに対し、男性では50.5%と低くなっている。男性では「できるけどしていない」が38.9%を占める。

図表 自分で食事の用意をしているか（全体・属性別）

	(%)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答	n
全体		72.7	20.8	5.7	0.9	3673
性別	男性	50.5	38.9	9.8	0.9	1750
	女性	93.3				1876
年齢	65～69歳	77.4	18.7	3.9	1.9	839
	70～74歳	74.4	20.4	3.6	0.4	1082
	75～79歳	72.8	19.8	4.2	1.0	857
	80～84歳	69.1	24.2	5.6	0.9	554
	85歳以上	59.1	24.4	15.2	1.1	303
居住地	久喜西地区	73.4	19.9	6.1	1.3	758
	久喜東地区	74.8	18.9	5.5	0.7	763
	菖蒲地区	69.1	23.2	6.9	0.8	712
	栗橋地区	71.3	22.6		0.8	704
	鷺宮地区	74.4	20.2		5.0	660
認定状況	受けていない	73.3	21.1		5.0	3458
	要支援1・2	55.5	16.8	26.3	4.8	137

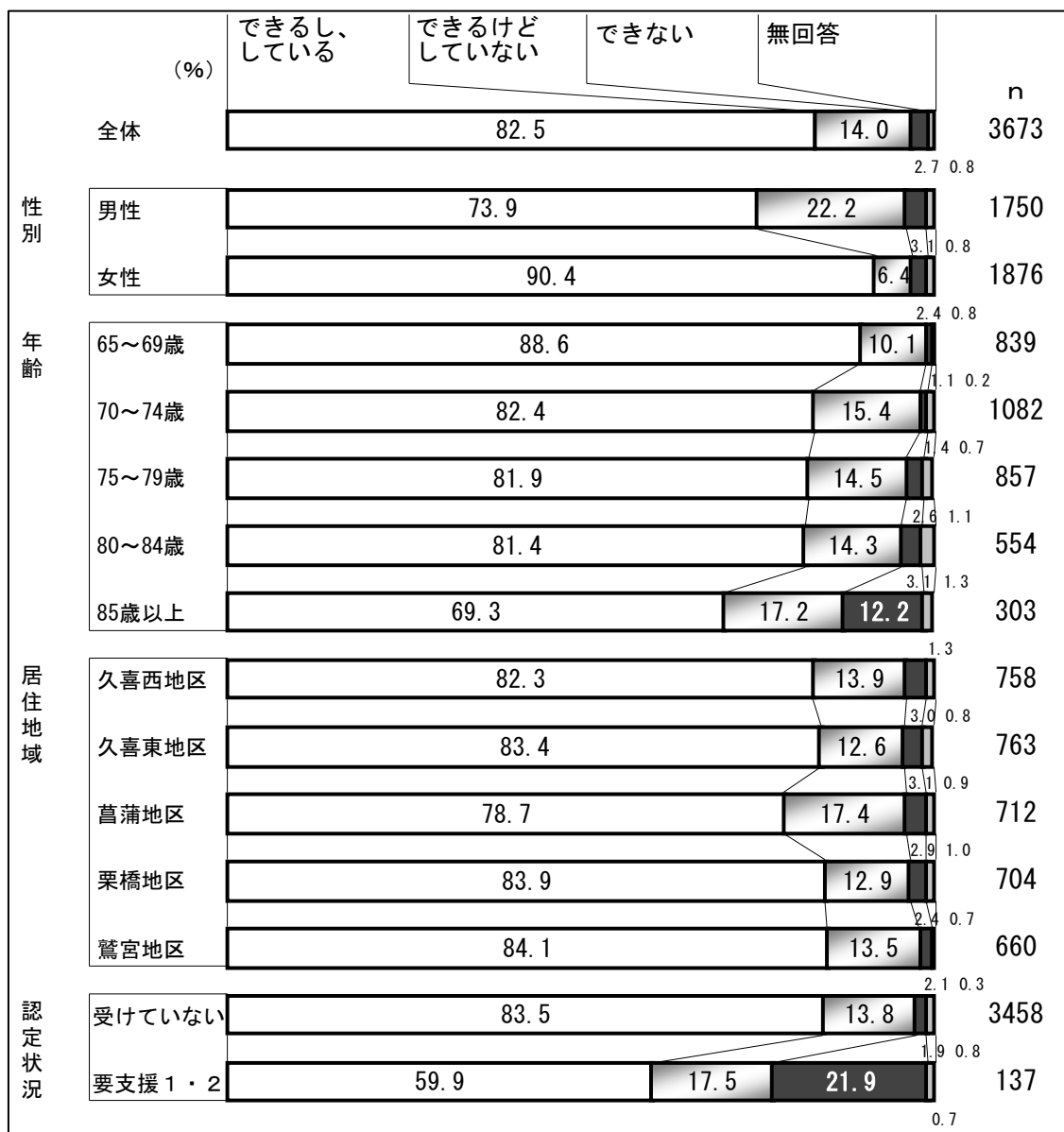
(7) 自分で請求書の支払いをしているか

問 33 自分で請求書の支払いをしていますか。

- 「できるし、している」が8割強を占める。

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が 82.5%、「できるけどしていない」が 14.0%、「できない」が 2.7%の順となっている。
性別でみると、女性では「できるし、している」が 90.4%となっている。

図表 自分で請求書の支払いをしているか（全体・属性別）



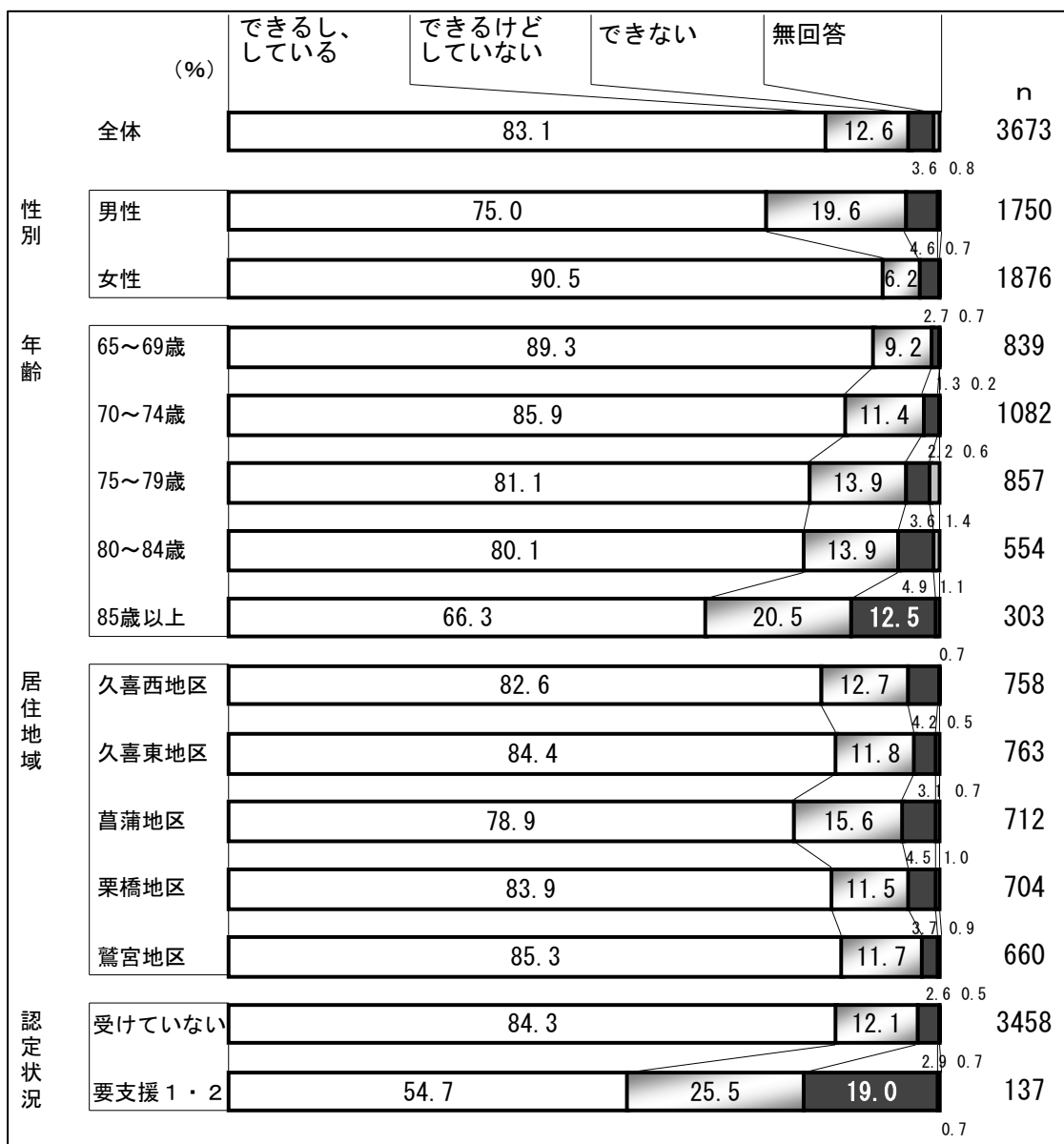
(8) 自分で預貯金の出し入れをしているか

問 34 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

- 「できるし、している」が8割強を占める。

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が83.1%、「できるけどしていない」が12.6%、「できない」が3.6%の順となっている。
性別でみると、女性では「できるし、している」が90.5%となっている。

図表 自分で預貯金の出し入れをしているか（全体・属性別）



(9) 年金などの書類が書けるか

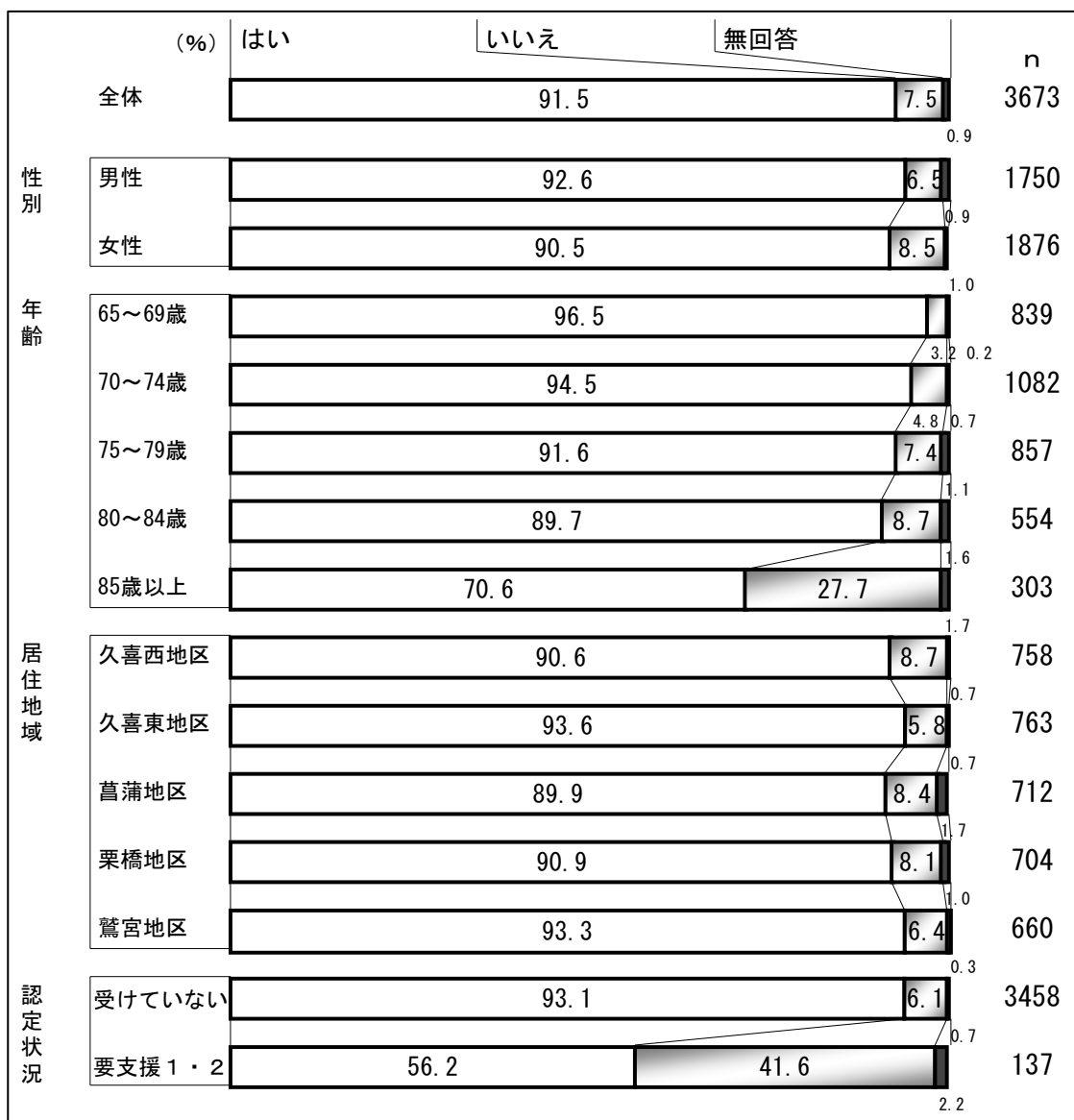
問 35 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

- 「はい」が9割強を占める。「いいえ」は1割に満たない。

年金などの書類が書けるかについては、「はい」が91.5%、「いいえ」が7.5%の順となっている。

年齢で見ると、85歳以上では「いいえ」が27.7%となっている。

図表 年金などの書類が書けるか（全体・属性別）



(10) 新聞を読んでいるか

問 36 新聞を読んでいますか。

- 「はい」が8割弱、「いいえ」が2割強を占める。

新聞を読んでいるかについては、「はい」が76.4%、「いいえ」が22.9%の順となっている。

年齢で見ると、75歳以上では「はい」が8割以上を占めている。

図表 新聞を読んでいるか（全体・属性別）

	(%)	はい	いいえ	無回答	n
全体		76.4	22.9	0.7	3673
性別	男性	80.3	19.0	0.6	1750
	女性	73.0	26.2	0.7	1876
年齢	65～69歳	65.1	34.6	0.4	839
	70～74歳	77.4	22.0	0.6	1082
	75～79歳	81.1	18.1	0.8	857
	80～84歳	83.0	15.9	1.1	554
	85歳以上	80.5	18.2	1.3	303
居住地	久喜西地区	77.2	22.3	0.5	758
	久喜東地区	77.6	21.9	0.5	763
	菖蒲地区	77.0	22.1	1.0	712
	栗橋地区	76.4	22.6	1.0	704
	鷺宮地区	74.1	25.6	0.3	660
認定状況	受けていない	76.7	22.6	0.6	3458
	要支援1・2	72.3	27.0	0.7	137

(11) 本や雑誌を読んでいるか

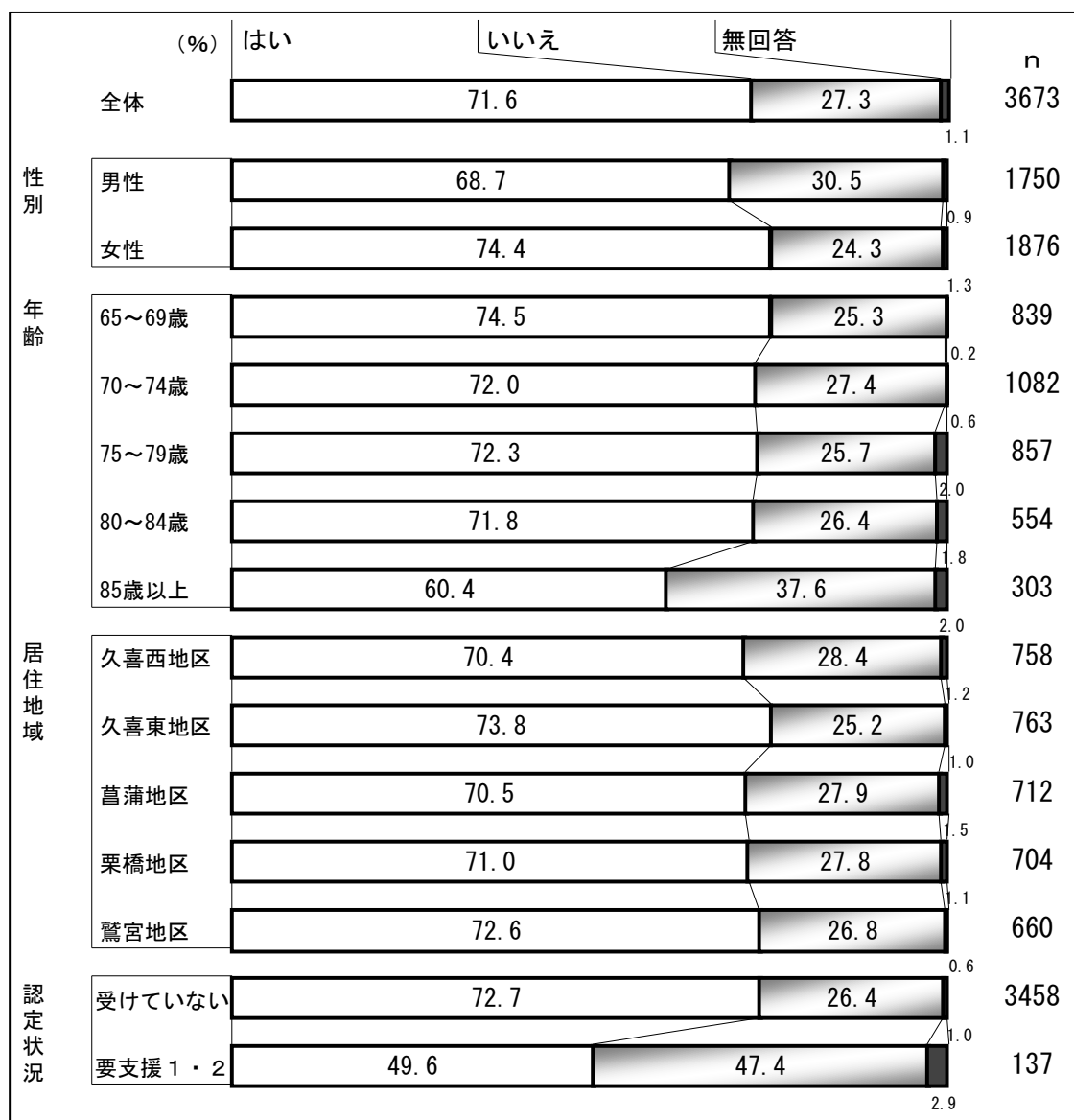
問 37 本や雑誌を読んでいますか。

- 「はい」が7割強、「いいえ」が3割弱を占める。

本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が71.6%、「いいえ」が27.3%の順となっている。

年齢で見ると、85歳以上では「いいえ」が37.6%となっている。

図表 本や雑誌を読んでいるか（全体・属性別）



(12) 趣味の有無

問 38 趣味はありますか。

- 「趣味あり」が7割強、「思いつかない」が3割弱を占める。

趣味の有無については、「趣味あり」が71.4%、「思いつかない」が25.2%の順となっている。

年齢で見ると、85歳以上では「思いつかない」が34.7%と他の年齢層よりも高くなっている。

図表 趣味の有無（全体・属性別）

	(%)	趣味あり	思いつかない	無回答	n
全体		71.4	25.2	3.3	3673
性別	男性	73.3	24.1	2.6	1750
	女性	69.9	26.1	4.0	1876
年齢	65～69歳	71.0	27.3	1.7	839
	70～74歳	73.3	24.3	2.4	1082
	75～79歳	75.6	20.4	4.0	857
	80～84歳	70.0	25.3	4.7	554
	85歳以上	58.4	34.7	6.9	303
居住地域	久喜西地区	72.2	25.2	2.6	758
	久喜東地区	73.1	23.7	3.1	763
	菖蒲地区	67.3	28.8	3.9	712
	栗橋地区	72.2	24.9	3.0	704
	鷲宮地区	73.3	23.0	3.6	660
認定状況	受けていない	72.2	24.7	3.1	3458
	要支援1・2	60.6	35.8	3.6	137

(13) 終活について

問 39 終活について考えたことはありますか。

- 「考えたことがある」が7割強、「考えたことはない」が2割強を占める。

終活については、「考えたことがある」が70.4%、「考えたことはない」が22.4%、「わからない」が6.1%の順となっている。

性別でみると、男性よりも女性の「考えたことがある」の割合が高く、77.9%となっている。

図表 終活について（全体・属性別）

	(%)	考えたことがある	考えたことはない	わからない	無回答	n
全体		70.4	22.4	6.1	1.0	3673
性別	男性	62.4	29.5	7.3	0.7	1750
	女性	77.9	15.7	5.1	1.3	1876
年齢	65～69歳	68.1	25.0	6.7	0.2	839
	70～74歳	70.5	22.8	5.8	0.8	1082
	75～79歳	73.5	19.7	5.1	1.6	857
	80～84歳	73.1	20.2	5.2	1.4	554
	85歳以上	62.7	25.4	10.6	1.3	303
居住地	久喜西地区	72.3	21.9	5.1	0.7	758
	久喜東地区	71.3	21.2	6.3	1.2	763
	菖蒲地区	66.4	25.0	7.3	1.3	712
	栗橋地区	69.3	24.7	5.1	0.9	704
	鷺宮地区	72.7	19.4	7.1	0.8	660
認定状況	受けていない	70.6	22.7	5.8	0.9	3458
	要支援1・2	65.0	19.7	14.6	0.7	137

6 地域での活動について

(1) グループ等への参加頻度

問 40 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

- 比較的参加している人の割合が多いのは、②スポーツ関係のグループ、③趣味関係のグループ、⑧町内会・自治会、⑨収入のある仕事などとなっている。

グループ等への参加頻度については以下のとおり。

図表 グループ等への参加頻度（全体）

グループ	参加頻度 (%)							n	
	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答		
① ボランティアのグループ	0.7	3.1	2.9	3.7	63.2	27.1	3673		
② スポーツ関係のグループ	7.2	2.7	4.7	3.5	2.0	57.0	22.9		
③ 趣味関係のグループ	2.3	5.4	4.1	4.8	54.9	22.3	3673		
④ 学習・教養サークル	0.1	10.5	1.3	2.6	1.9	65.5	28.2		
⑤ 介護予防のための通いの場	0.1	31.0	1.6	1.4	0.5	68.1	27.1		
⑥ 地域のサロン、世代間交流活動	0.1	10.1	0.4	2.1	1.9	67.2	28.2		
⑦ 老人クラブ（彩愛クラブ）	0.1	10.2	0.1	0.7	1.7	69.2	28.1		
⑧ 町内会・自治会	0.2	20.2	0.7	3.8	19.5	50.0	25.5		
⑨ 収入のある仕事	1.2	1.1	2.1	4.1	5.5	12.1	7.6	52.3	23.8

(2) 地域活動への参加者としての参加意向

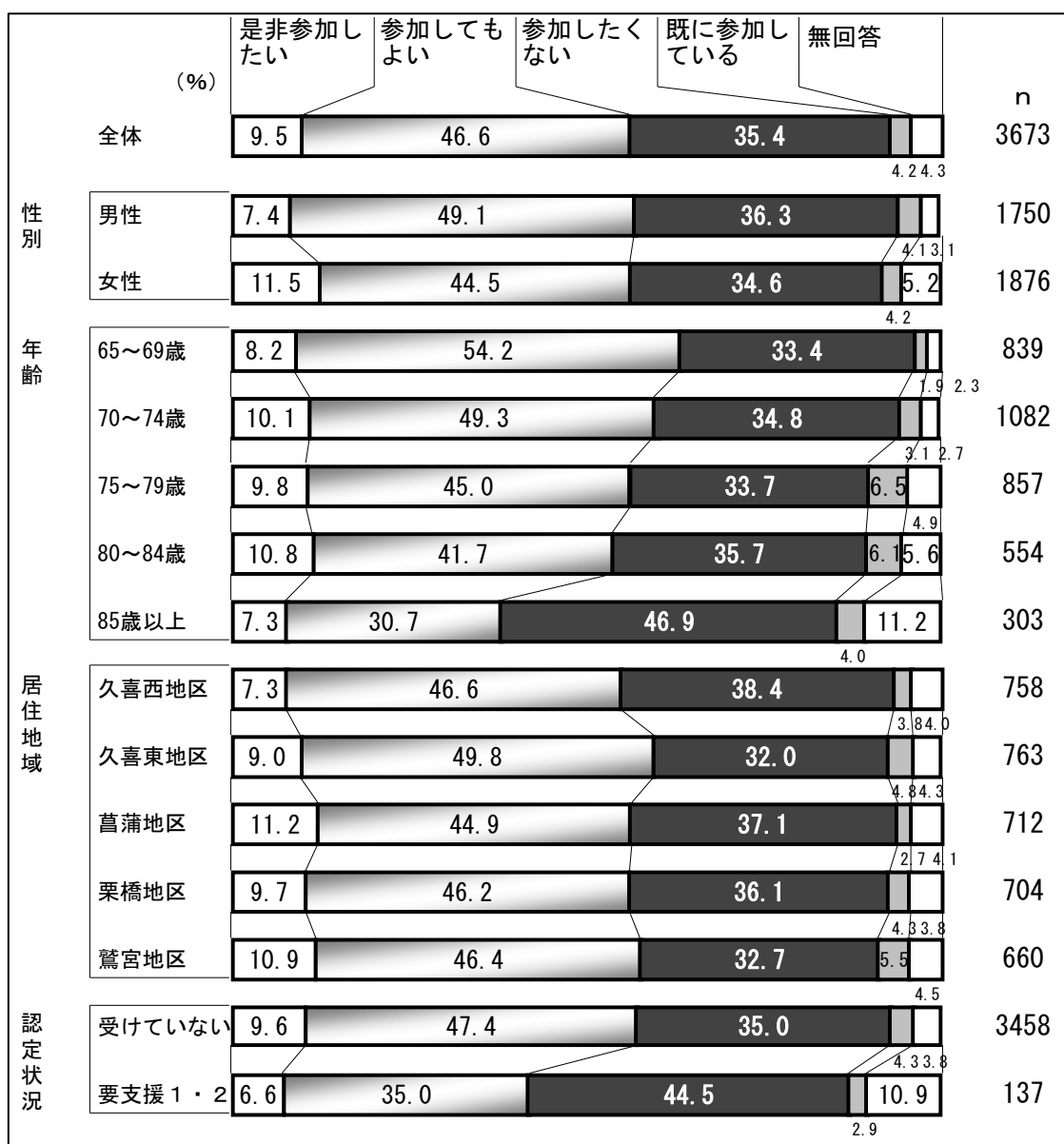
問 41 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

- 「参加してもよい」が5割弱、「参加したくない」が4割弱を占める。

地域活動への参加者としての参加意向については、「参加してもよい」が46.6%、「参加したくない」が35.4%、「是非参加したい」が9.5%、「既に参加している」が4.2%の順となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「参加してもよい」の割合が低くなる傾向がうかがえる。「是非参加したい」はいずれの年齢層でも1割前後となっている。

図表 地域活動への参加者としての参加意向（全体・属性別）



(3) 地域活動への企画・運営としての参加意向

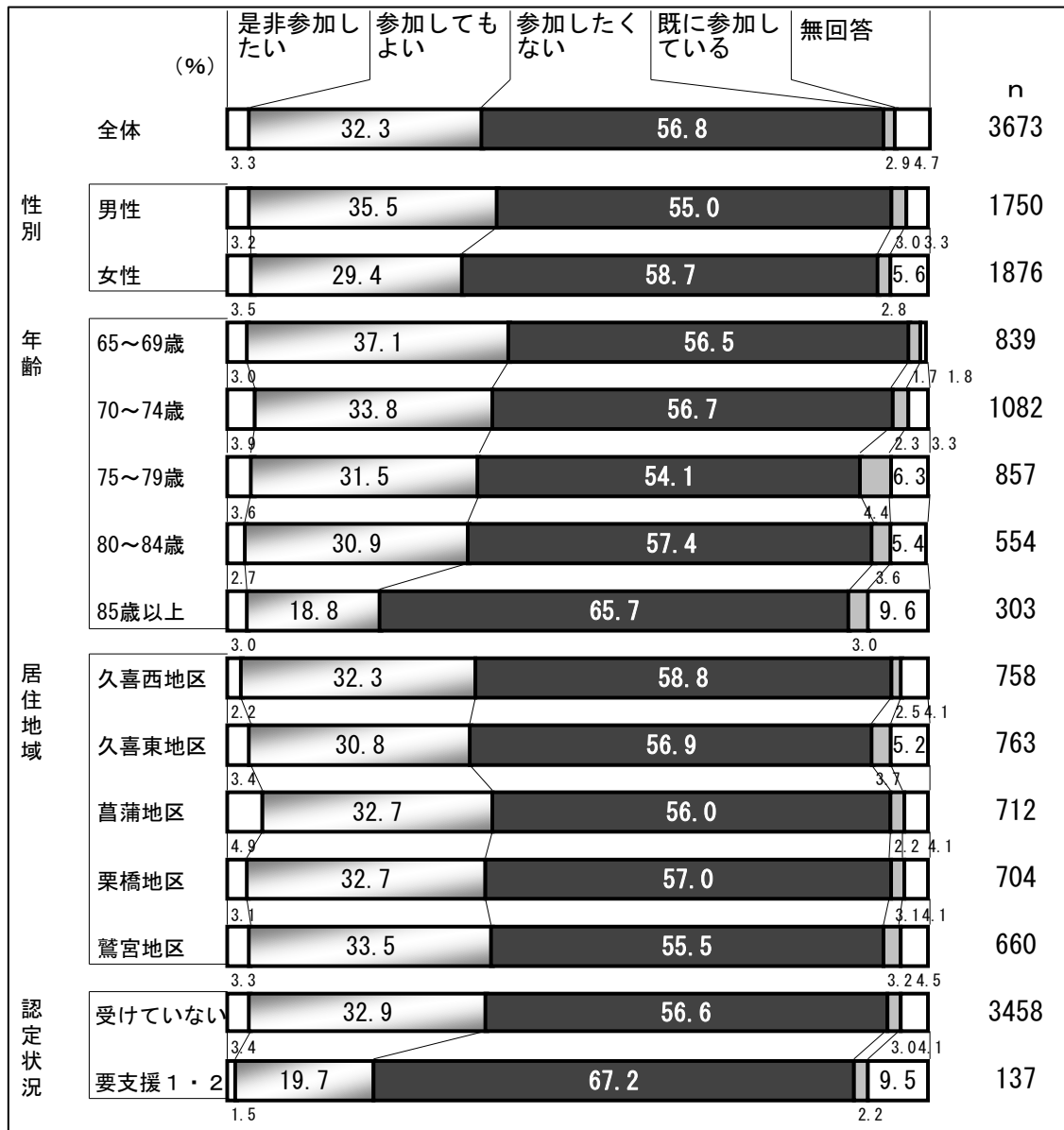
問 42 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

- 「参加したくない」が6割弱、「参加してもよい」が3割強を占める。

地域活動への企画・運営としての参加意向については、「参加したくない」が56.8%、「参加してもよい」が32.3%、「是非参加したい」が3.3%、「既に参加している」が2.9%の順となっている。

年齢で見ると、すべての年齢層で「参加したくない」が5割以上を占める。

図表 地域活動への企画・運営としての参加意向（全体・属性別）



7 たすけあいについて

(1) 困っていること、手助けが必要だと感じること

問 43 現在、あなたが（在宅生活を送る上で）困っていること、手助けが必要だと感じることはありますか。【複数回答】

- 「困りごとはない・手助けは必要ない」が 64.6% を占める。

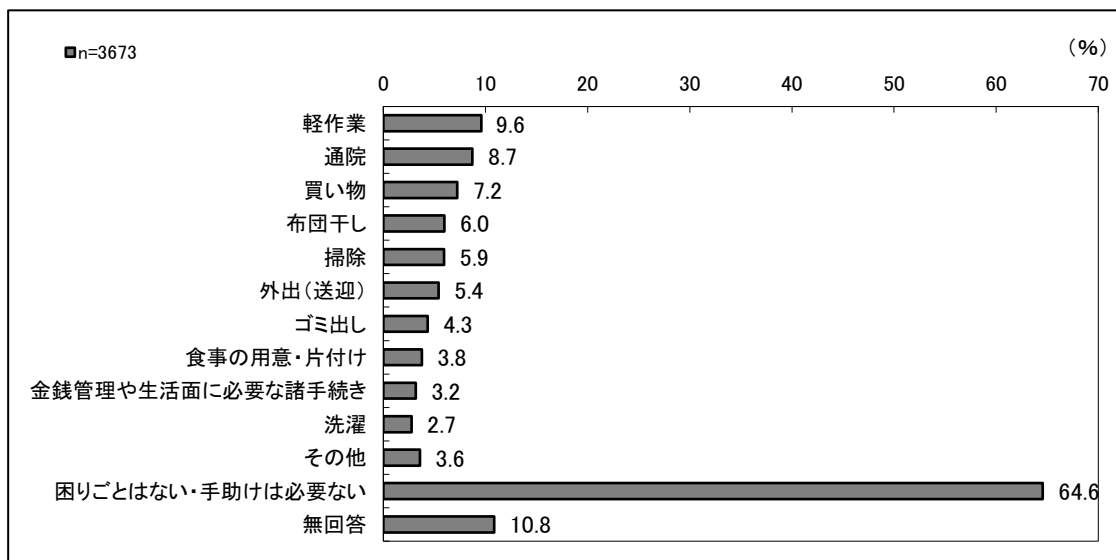
困っていること、手助けが必要だと感じることについては、「軽作業」(9.6%) が最も多く、次いで「通院」(8.7%)、「買い物」(7.2%)、「布団干し」(6.0%)、「掃除」(5.9%)、「外出(送迎)」(5.4%)、「ゴミ出し」(4.3%)、「食事の用意・片付け」(3.8%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(3.2%)、「洗濯」(2.7%) の順となっている。

なお、「困りごとはない・手助けは必要ない」は 64.6% となっている。

年齢で見ると、85 歳以上では「通院」が第 1 位となっている。

認定状況で見ると、要支援 1・2 では「通院」が第 1 位となっている。

図表 困っていること、手助けが必要だと感じること（全体／複数回答）



図表 困っていること、手助けが必要だと感じること

(全体・属性別—第1位/複数回答)

		全体	問43 困っていること、手助けが必要だと感じること								
			買い物	通院	外出(送迎)	食事の用意・片付け	掃除	布団干し	洗濯	ゴミ出し	軽作業
全体		3673 100.0%	266 7.2%	320 8.7%	199 5.4%	138 3.8%	218 5.9%	219 6.0%	101 2.7%	159 4.3%	352 9.6%
性別	男性	1750 100.0%	90 5.1%	97 5.5%	60 3.4%	85 4.9%	98 5.6%	70 4.0%	64 3.7%	65 3.7%	109 6.2%
	女性	1876 100.0%	172 9.2%	219 11.7%	138 7.4%	52 2.8%	117 6.2%	144 7.7%	36 1.9%	92 4.9%	237 12.6%
年齢	65～69歳	839 100.0%	20 2.4%	27 3.2%	15 1.8%	18 2.1%	29 3.5%	24 2.9%	11 1.3%	19 2.3%	50 6.0%
	70～74歳	1082 100.0%	43 4.0%	43 4.0%	31 2.9%	21 1.9%	43 4.0%	36 3.3%	21 1.9%	24 2.2%	80 7.4%
	75～79歳	857 100.0%	56 6.5%	62 7.2%	36 4.2%	28 3.3%	49 5.7%	45 5.3%	22 2.6%	34 4.0%	75 8.8%
	80～84歳	554 100.0%	65 11.7%	82 14.8%	49 8.8%	30 5.4%	43 7.8%	50 9.0%	19 3.4%	35 6.3%	80 14.4%
	85歳以上	303 100.0%	78 25.7%	102 33.7%	67 22.1%	41 13.5%	53 17.5%	60 19.8%	28 9.2%	46 15.2%	63 20.8%
	居住地	久喜西地区	758 100.0%	58 7.7%	63 8.3%	39 5.1%	37 4.9%	50 6.6%	45 5.9%	25 3.3%	33 4.4%
	久喜東地区	763 100.0%	59 7.7%	60 7.9%	41 5.4%	26 3.4%	37 4.8%	47 6.2%	17 2.2%	36 4.7%	73 9.6%
	菖蒲地区	712 100.0%	47 6.6%	68 9.6%	37 5.2%	29 4.1%	45 6.3%	50 7.0%	20 2.8%	26 3.7%	68 9.6%
	栗橋地区	704 100.0%	50 7.1%	73 10.4%	43 6.1%	31 4.4%	50 7.1%	39 5.5%	24 3.4%	31 4.4%	61 8.7%
	鷺宮地区	660 100.0%	49 7.4%	52 7.9%	39 5.9%	14 2.1%	33 5.0%	30 4.5%	15 2.3%	29 4.4%	56 8.5%
認定状況	受けていない	3458 100.0%	200 5.8%	241 7.0%	152 4.4%	105 3.0%	170 4.9%	164 4.7%	73 2.1%	121 3.5%	295 8.5%
	要支援1・2	137 100.0%	57 41.6%	66 48.2%	44 32.1%	30 21.9%	41 29.9%	47 34.3%	24 17.5%	33 24.1%	47 34.3%

		全体	問43 困っていること、手助けが必要だと感じること			
			金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	困りごとはない・手助けは必要ない	無回答
全体		3673 100.0%	116 3.2%	131 3.6%	2371 64.6%	398 10.8%
性別	男性	1750 100.0%	49 2.8%	54 3.1%	1257 71.8%	154 8.8%
	女性	1876 100.0%	66 3.5%	75 4.0%	1094 58.3%	232 12.4%
年齢	65～69歳	839 100.0%	10 1.2%	23 2.7%	663 79.0%	55 6.6%
	70～74歳	1082 100.0%	15 1.4%	29 2.7%	790 73.0%	109 10.1%
	75～79歳	857 100.0%	27 3.2%	38 4.4%	533 62.2%	110 12.8%
	80～84歳	554 100.0%	20 3.6%	27 4.9%	283 51.1%	77 13.9%
	85歳以上	303 100.0%	44 14.5%	14 4.6%	86 28.4%	37 12.2%
	居住地	久喜西地区	758 100.0%	24 3.2%	25 3.3%	482 63.6%
	久喜東地区	763 100.0%	26 3.4%	29 3.8%	511 67.0%	76 10.0%
	菖蒲地区	712 100.0%	20 2.8%	26 3.7%	447 62.8%	83 11.7%
	栗橋地区	704 100.0%	27 3.8%	26 3.7%	452 64.2%	72 10.2%
	鷺宮地区	660 100.0%	18 2.7%	23 3.5%	441 66.8%	70 10.6%
認定状況	受けていない	3458 100.0%	85 2.5%	120 3.5%	2324 67.2%	359 10.4%
	要支援1・2	137 100.0%	30 21.9%	10 7.3%	21 15.3%	15 10.9%

(2) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問 44 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。【複数回答】

- 「配偶者」が第1位。「友人」、「別居の子ども」などが続く。

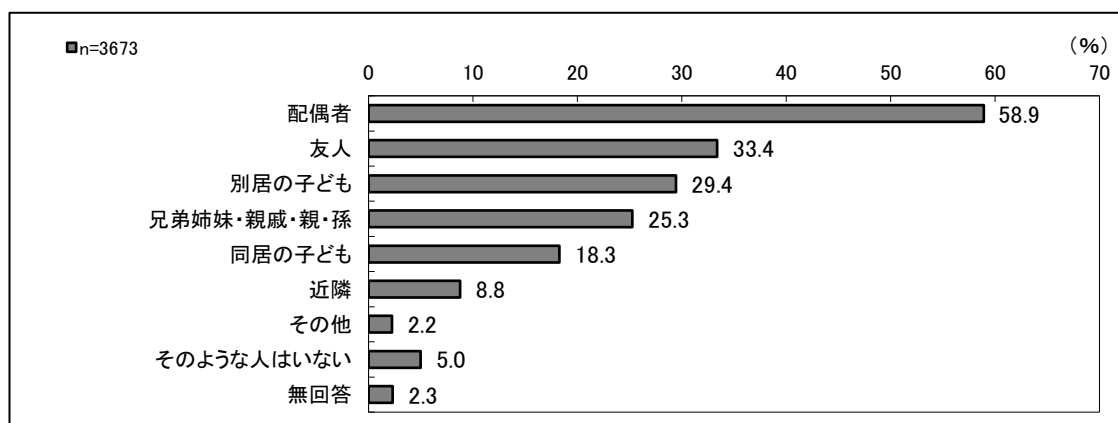
心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」(58.9%)が最も多く、次いで「友人」(33.4%)、「別居の子ども」(29.4%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(25.3%)、「同居の子ども」(18.3%)、「近隣」(8.8%)の順となっている。

なお、「そのような人はいない」は5.0%となっている。

年齢で見ると、85歳以上では「別居の子ども」が第1位となっている。

認定状況で見ると、要支援1・2では「別居の子ども」が第1位となっている。

図表 心配事や愚痴を聞いてくれる人 (全体/複数回答)



図表 心配事や愚痴を聞いてくれる人（全体・属性別－第1位／複数回答）

		全体	問44 心配事や愚痴を聞いてくれる人								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3673 100.0%	2164 58.9%	671 18.3%	1081 29.4%	928 25.3%	322 8.8%	1226 33.4%	82 2.2%	183 5.0%	85 2.3%
性別	男性	1750 100.0%	1265 72.3%	219 12.5%	327 18.7%	289 16.5%	85 4.9%	359 20.5%	36 2.1%	134 7.7%	44 2.5%
	女性	1876 100.0%	879 46.9%	441 23.5%	744 39.7%	627 33.4%	236 12.6%	851 45.4%	46 2.5%	46 2.5%	37 2.0%
年齢	65～69歳	839 100.0%	542 64.6%	151 18.0%	225 26.8%	212 25.3%	65 7.7%	335 39.9%	18 2.1%	44 5.2%	7 0.8%
	70～74歳	1082 100.0%	702 64.9%	171 15.8%	310 28.7%	282 26.1%	96 8.9%	413 38.2%	21 1.9%	46 4.3%	25 2.3%
	75～79歳	857 100.0%	508 59.3%	137 16.0%	271 31.6%	224 26.1%	83 9.7%	277 32.3%	16 1.9%	40 4.7%	21 2.5%
	80～84歳	554 100.0%	290 52.3%	104 18.8%	158 28.5%	145 26.2%	58 10.5%	135 24.4%	12 2.2%	38 6.9%	16 2.9%
	85歳以上	303 100.0%	105 34.7%	97 32.0%	110 36.3%	54 17.8%	18 5.9%	52 17.2%	15 5.0%	13 4.3%	14 4.6%
居住地域	久喜西地区	758 100.0%	421 55.5%	131 17.3%	228 30.1%	215 28.4%	68 9.0%	255 33.6%	21 2.8%	41 5.4%	17 2.2%
	久喜東地区	763 100.0%	439 57.5%	141 18.5%	228 29.9%	203 26.6%	74 9.7%	281 36.8%	16 2.1%	44 5.8%	15 2.0%
	菖蒲地区	712 100.0%	397 55.8%	137 19.2%	203 28.5%	170 23.9%	70 9.8%	214 30.1%	18 2.5%	32 4.5%	16 2.2%
	栗橋地区	704 100.0%	447 63.5%	143 20.3%	209 29.7%	178 25.3%	49 7.0%	228 32.4%	17 2.4%	33 4.7%	20 2.8%
	鷲宮地区	660 100.0%	422 63.9%	107 16.2%	193 29.2%	149 22.6%	56 8.5%	225 34.1%	9 1.4%	29 4.4%	12 1.8%
認定状況	受けていない	3458 100.0%	2088 60.4%	615 17.8%	1020 29.5%	880 25.4%	306 8.8%	1177 34.0%	78 2.3%	171 4.9%	70 2.0%
	要支援1・2	137 100.0%	46 33.6%	38 27.7%	47 34.3%	32 23.4%	13 9.5%	29 21.2%	3 2.2%	9 6.6%	6 4.4%

(3) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問 45 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。【複数回答】

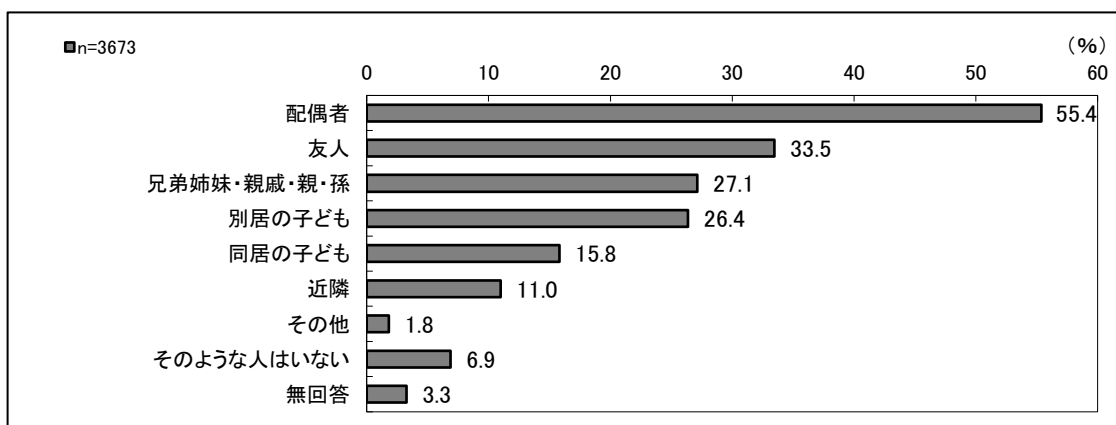
- 「配偶者」が第1位。「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」などが続く。

心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」(55.4%)が最も多く、次いで「友人」(33.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(27.1%)、「別居の子ども」(26.4%)、「同居の子ども」(15.8%)、「近隣」(11.0%)の順となっている。

なお、「そのような人はいない」は6.9%となっている。

性別で見ると、女性では「友人」が第1位となっている。

図表 心配事や愚痴を聞いてあげる人 (全体/複数回答)



図表 心配事や愚痴を聞いてあげる人（全体・属性別－第1位／複数回答）

		全体	問45 心配事や愚痴を聞いてあげる人								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3673 100.0%	2034 55.4%	581 15.8%	969 26.4%	997 27.1%	404 11.0%	1229 33.5%	67 1.8%	253 6.9%	120 3.3%
性別	男性	1750 100.0%	1246 71.2%	215 12.3%	334 19.1%	327 18.7%	110 6.3%	358 20.5%	25 1.4%	155 8.9%	50 2.9%
	女性	1876 100.0%	768 40.9%	359 19.1%	625 33.3%	657 35.0%	291 15.5%	856 45.6%	41 2.2%	96 5.1%	65 3.5%
年齢	65～69歳	839 100.0%	527 62.8%	143 17.0%	223 26.6%	232 27.7%	84 10.0%	320 38.1%	27 3.2%	50 6.0%	10 1.2%
	70～74歳	1082 100.0%	654 60.4%	163 15.1%	289 26.7%	307 28.4%	120 11.1%	424 39.2%	17 1.6%	51 4.7%	30 2.8%
	75～79歳	857 100.0%	471 55.0%	118 13.8%	232 27.1%	239 27.9%	111 13.0%	281 32.8%	13 1.5%	55 6.4%	31 3.6%
	80～84歳	554 100.0%	268 48.4%	86 15.5%	141 25.5%	149 26.9%	59 10.6%	132 23.8%	6 1.1%	53 9.6%	26 4.7%
	85歳以上	303 100.0%	97 32.0%	63 20.8%	77 25.4%	58 19.1%	27 8.9%	59 19.5%	4 1.3%	42 13.9%	20 6.6%
居住地域	久喜西地区	758 100.0%	401 52.9%	122 16.1%	205 27.0%	214 28.2%	82 10.8%	245 32.3%	11 1.5%	50 6.6%	24 3.2%
	久喜東地区	763 100.0%	415 54.4%	122 16.0%	204 26.7%	233 30.5%	102 13.4%	287 37.6%	15 2.0%	54 7.1%	19 2.5%
	菖蒲地区	712 100.0%	371 52.1%	117 16.4%	175 24.6%	176 24.7%	90 12.6%	218 30.6%	16 2.2%	55 7.7%	23 3.2%
	栗橋地区	704 100.0%	418 59.4%	125 17.8%	196 27.8%	193 27.4%	69 9.8%	228 32.4%	15 2.1%	48 6.8%	27 3.8%
	鷺宮地区	660 100.0%	391 59.2%	86 13.0%	175 26.5%	166 25.2%	56 8.5%	230 34.8%	7 1.1%	43 6.5%	19 2.9%
認定状況	受けていない	3458 100.0%	1963 56.8%	540 15.6%	924 26.7%	950 27.5%	383 11.1%	1180 34.1%	67 1.9%	224 6.5%	100 2.9%
	要支援1・2	137 100.0%	42 30.7%	28 20.4%	31 22.6%	27 19.7%	15 10.9%	31 22.6%	0 0.0%	24 17.5%	9 6.6%

(4) 看病や世話をしてくれる人

問 46 あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。【複数回答】



- 「配偶者」が第1位。「別居の子ども」、「同居の子ども」などが続く。

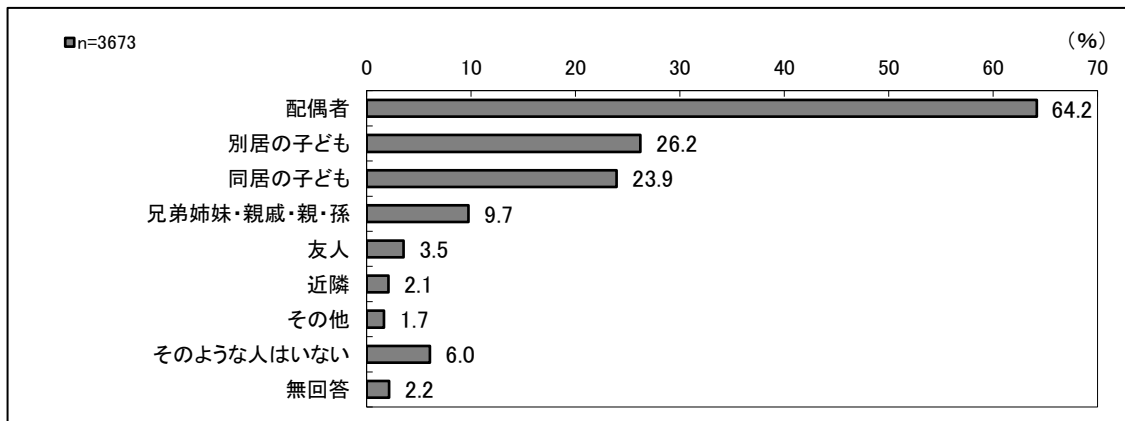
看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」(64.2%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(26.2%)、「同居の子ども」(23.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(9.7%)、「友人」(3.5%)、「近隣」(2.1%)の順となっている。

なお、「そのような人はいない」は6.0%となっている。

年齢で見ると、85歳以上では「同居の子ども」が第1位となっている。

認定状況で見ると、要支援1・2では「同居の子ども」が第1位となっている。

図表 看病や世話をしてくれる人 (全体/複数回答)



図表 看病や世話をしてくれる人（全体・属性別—第1位／複数回答）

	全体	問46 看病や世話をしてくれる人									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	3673 100.0%	2357 64.2%	879 23.9%	963 26.2%	358 9.7%	76 2.1%	130 3.5%	61 1.7%	222 6.0%	79 2.2%	
性別	男性	1750 100.0%	1344 76.8%	306 17.5%	326 18.6%	136 7.8%	14 0.8%	28 1.6%	21 1.2%	119 6.8%	33 1.9%
	女性	1876 100.0%	993 52.9%	561 29.9%	628 33.5%	215 11.5%	61 3.3%	100 5.3%	40 2.1%	101 5.4%	42 2.2%
年齢	65～69歳	839 100.0%	614 73.2%	191 22.8%	175 20.9%	80 9.5%	6 0.7%	17 2.0%	7 0.8%	51 6.1%	10 1.2%
	70～74歳	1082 100.0%	759 70.1%	226 20.9%	276 25.5%	110 10.2%	20 1.8%	48 4.4%	10 0.9%	63 5.8%	21 1.9%
	75～79歳	857 100.0%	552 64.4%	179 20.9%	253 29.5%	71 8.3%	20 2.3%	39 4.6%	19 2.2%	58 6.8%	17 2.0%
	80～84歳	554 100.0%	310 56.0%	152 27.4%	153 27.6%	67 12.1%	23 4.2%	17 3.1%	11 2.0%	33 6.0%	18 3.2%
	85歳以上	303 100.0%	106 35.0%	119 39.3%	101 33.3%	23 7.6%	7 2.3%	7 2.3%	14 4.6%	15 5.0%	11 3.6%
居住地域	久喜西地区	758 100.0%	457 60.3%	184 24.3%	218 28.8%	77 10.2%	14 1.8%	18 2.4%	12 1.6%	61 8.0%	13 1.7%
	久喜東地区	763 100.0%	479 62.8%	175 22.9%	197 25.8%	77 10.1%	23 3.0%	38 5.0%	14 1.8%	48 6.3%	17 2.2%
	菖蒲地区	712 100.0%	457 64.2%	182 25.6%	179 25.1%	64 9.0%	13 1.8%	19 2.7%	17 2.4%	33 4.6%	12 1.7%
	栗橋地区	704 100.0%	470 66.8%	191 27.1%	198 28.1%	83 11.8%	17 2.4%	27 3.8%	9 1.3%	31 4.4%	18 2.6%
	鷺宮地区	660 100.0%	450 68.2%	127 19.2%	159 24.1%	50 7.6%	9 1.4%	26 3.9%	7 1.1%	45 6.8%	14 2.1%
認定状況	受けていない	3458 100.0%	2275 65.8%	808 23.4%	905 26.2%	334 9.7%	71 2.1%	120 3.5%	54 1.6%	211 6.1%	67 1.9%
	要支援1・2	137 100.0%	45 32.8%	49 35.8%	47 34.3%	13 9.5%	4 2.9%	6 4.4%	7 5.1%	8 5.8%	7 5.1%

(5) 看病や世話をしあける人

問 47 反対に、あなたが看病や世話をしあける人はどなたですか。【複数回答】



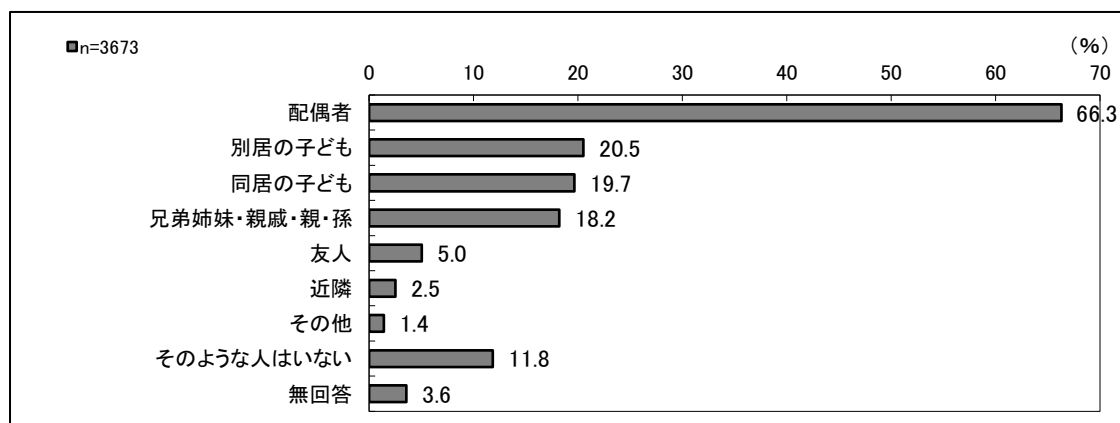
● 「配偶者」が第1位。「別居の子ども」、「同居の子ども」などが続く。

看病や世話をしあける人については、「配偶者」(66.3%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(20.5%)、「同居の子ども」(19.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(18.2%)、「友人」(5.0%)、「近隣」(2.5%)の順となっている。

なお、「そのような人はいない」は11.8%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「そのような人はいない」が第1位となっている。

図表 看病や世話をしあける人 (全体/複数回答)



図表 看病や世話をしあける人（全体・属性別—第1位／複数回答）

		全体	問47 看病や世話をしあける人							そのよう な人はい ない	無回答
			配偶者	同居の子 ども	別居の子 ども	兄弟姉 妹・親 戚・親・ 孫	近隣	友人	その他		
全体		3673 100.0%	2436 66.3%	722 19.7%	754 20.5%	669 18.2%	92 2.5%	185 5.0%	52 1.4%	435 11.8%	131 3.6%
性別	男性	1750 100.0%	1322 75.5%	269 15.4%	256 14.6%	249 14.2%	23 1.3%	53 3.0%	21 1.2%	199 11.4%	45 2.6%
	女性	1876 100.0%	1089 58.0%	443 23.6%	491 26.2%	411 21.9%	67 3.6%	128 6.8%	31 1.7%	231 12.3%	81 4.3%
年齢	65～69歳	839 100.0%	625 74.5%	197 23.5%	189 22.5%	209 24.9%	7 0.8%	24 2.9%	16 1.9%	70 8.3%	9 1.1%
	70～74歳	1082 100.0%	771 71.3%	212 19.6%	254 23.5%	212 19.6%	24 2.2%	69 6.4%	15 1.4%	105 9.7%	26 2.4%
	75～79歳	857 100.0%	574 67.0%	151 17.6%	184 21.5%	132 15.4%	27 3.2%	60 7.0%	11 1.3%	94 11.0%	33 3.9%
	80～84歳	554 100.0%	321 57.9%	98 17.7%	91 16.4%	82 14.8%	21 3.8%	18 3.2%	7 1.3%	85 15.3%	33 6.0%
	85歳以上	303 100.0%	126 41.6%	54 17.8%	32 10.6%	26 8.6%	11 3.6%	11 3.6%	3 1.0%	79 26.1%	26 8.6%
居住地	久喜西地区	758 100.0%	489 64.5%	147 19.4%	159 21.0%	138 18.2%	23 3.0%	40 5.3%	7 0.9%	87 11.5%	24 3.2%
	久喜東地区	763 100.0%	496 65.0%	157 20.6%	162 21.2%	152 19.9%	25 3.3%	46 6.0%	16 2.1%	90 11.8%	24 3.1%
	菖蒲地区	712 100.0%	467 65.6%	150 21.1%	136 19.1%	129 18.1%	10 1.4%	26 3.7%	12 1.7%	93 13.1%	27 3.8%
	栗橋地区	704 100.0%	481 68.3%	140 19.9%	138 19.6%	123 17.5%	18 2.6%	30 4.3%	10 1.4%	85 12.1%	31 4.4%
	鷲宮地区	660 100.0%	455 68.9%	113 17.1%	150 22.7%	118 17.9%	13 2.0%	39 5.9%	4 0.6%	77 11.7%	16 2.4%
認定 状況	受けていない	3458 100.0%	2355 68.1%	685 19.8%	734 21.2%	644 18.6%	85 2.5%	175 5.1%	48 1.4%	384 11.1%	110 3.2%
	要支援1・2	137 100.0%	43 31.4%	22 16.1%	13 9.5%	11 8.0%	5 3.6%	4 2.9%	4 2.9%	44 32.1%	12 8.8%

(6) 家族や友人、知人以外の相談相手

問 48 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手をお答えください。
【複数回答】

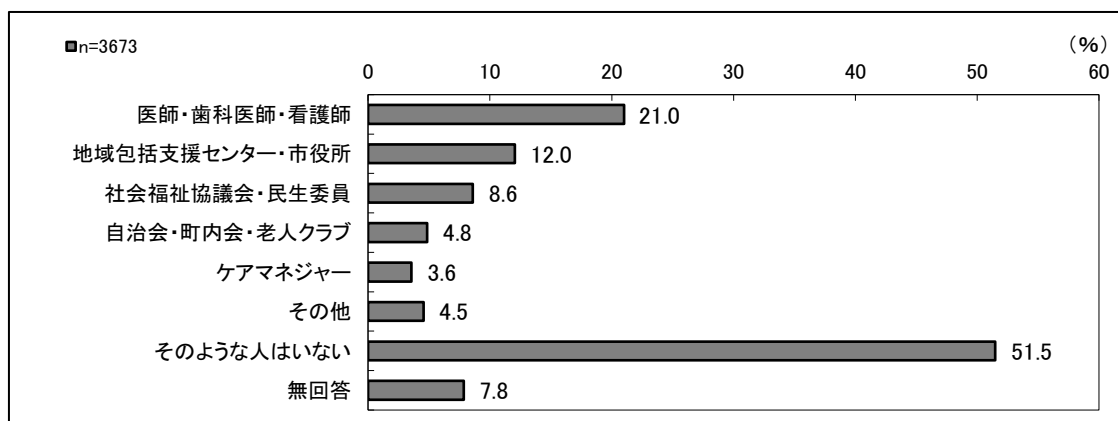
- 「そのような人はいない」が51.5%を占める。

家族や友人、知人以外の相談相手については、「医師・歯科医師・看護師」(21.0%)が最も多く、次いで「地域包括支援センター・市役所」(12.0%)、「社会福祉協議会・民生委員」(8.6%)、「自治会・町内会・老人クラブ」(4.8%)「ケアマネジャー」(3.6%)の順となっている。

なお、「そのような人はいない」は51.5%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「ケアマネジャー」が第1位となっている。

図表 家族や友人、知人以外の相談相手（全体／複数回答）



図表 家族や友人、知人以外の相談相手（全体・属性別－第1位／複数回答）

		全体	問48 家族や友人、知人以外の相談相手							無回答
			自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	
全体		3673 100.0%	178 4.8%	316 8.6%	131 3.6%	772 21.0%	442 12.0%	167 4.5%	1891 51.5%	288 7.8%
性別	男性	1750 100.0%	124 7.1%	125 7.1%	49 2.8%	367 21.0%	177 10.1%	76 4.3%	968 55.3%	98 5.6%
	女性	1876 100.0%	52 2.8%	180 9.6%	80 4.3%	399 21.3%	260 13.9%	87 4.6%	906 48.3%	183 9.8%
年齢	65～69歳	839 100.0%	29 3.5%	28 3.3%	22 2.6%	167 19.9%	92 11.0%	37 4.4%	513 61.1%	29 3.5%
	70～74歳	1082 100.0%	51 4.7%	88 8.1%	19 1.8%	204 18.9%	126 11.6%	55 5.1%	593 54.8%	83 7.7%
	75～79歳	857 100.0%	37 4.3%	81 9.5%	29 3.4%	190 22.2%	124 14.5%	39 4.6%	403 47.0%	75 8.8%
	80～84歳	554 100.0%	40 7.2%	74 13.4%	28 5.1%	134 24.2%	69 12.5%	18 3.2%	245 44.2%	60 10.8%
	85歳以上	303 100.0%	20 6.6%	37 12.2%	31 10.2%	72 23.8%	28 9.2%	17 5.6%	122 40.3%	35 11.6%
居住地域	久喜西地区	758 100.0%	27 3.6%	63 8.3%	35 4.6%	159 21.0%	83 10.9%	28 3.7%	411 54.2%	59 7.8%
	久喜東地区	763 100.0%	39 5.1%	78 10.2%	26 3.4%	184 24.1%	93 12.2%	41 5.4%	359 47.1%	59 7.7%
	菖蒲地区	712 100.0%	28 3.9%	53 7.4%	22 3.1%	138 19.4%	83 11.7%	35 4.9%	375 52.7%	62 8.7%
	栗橋地区	704 100.0%	44 6.3%	60 8.5%	30 4.3%	146 20.7%	93 13.2%	27 3.8%	362 51.4%	52 7.4%
	鷲宮地区	660 100.0%	37 5.6%	51 7.7%	12 1.8%	135 20.5%	87 13.2%	30 4.5%	350 53.0%	43 6.5%
認定状況	受けていない	3458 100.0%	168 4.9%	284 8.2%	86 2.5%	728 21.1%	406 11.7%	156 4.5%	1825 52.8%	260 7.5%
	要支援1・2	137 100.0%	7 5.1%	22 16.1%	42 30.7%	35 25.5%	32 23.4%	7 5.1%	36 26.3%	9 6.6%

(7) 友人・知人と会う頻度

問 49 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

- 「月に何度かある」が3割弱、「週に何度かある」が2割強を占める。

友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が26.6%、「週に何度かある」が24.5%、「ほとんどない」が20.5%、「年に何度かある」が19.3%、「毎日ある」が6.5%の順となっている。

年齢で見ると、85歳以上では「ほとんどない」が35.3%と他の年齢層よりも高くなっている。

図表 友人・知人と会う頻度（全体・属性別）

	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	n
全体	6.5	24.5	26.6	19.3	20.5	2.6	3673
性別							
男性	6.7	21.3	24.0	20.8	25.0	2.2	1750
女性	6.2	27.3	29.3	17.9	16.5	2.8	1876
年齢							
65～69歳	6.3	19.1	27.2	26.1	20.3	1.1	839
70～74歳	6.7	21.8	28.3	20.8	19.9	2.5	1082
75～79歳	5.5	29.5	26.0	18.6	17.3	3.2	857
80～84歳	8.8	29.4	27.1	11.7	19.7	3.2	554
85歳以上	3.6	26.1	21.1	10.6	35.3	3.3	303
居住地							
久喜西地区	4.6	22.3	28.2	20.4	21.2	3.2	758
久喜東地区	7.9	23.7	25.7	19.5	21.4	1.8	763
菖蒲地区	7.3	26.3	26.5	19.0	18.4	2.5	712
栗橋地区	5.7	27.4	26.8	18.5	19.2	2.4	704
鷺宮地区	5.9	23.2	26.2	19.4	23.2	2.1	660
認定状況							
受けていない	6.7	24.5	26.9	19.5	20.0	2.4	3458
要支援1・2	0.7	27.0	21.2	13.9	33.6	3.6	137

(8) よく会う友人・知人の関係性

問 50 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。【複数回答】

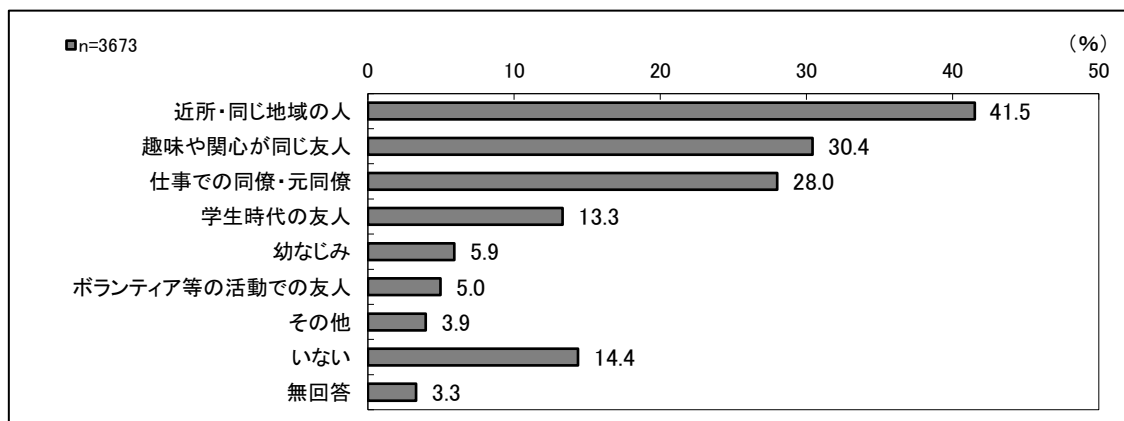
- 「近所・同じ地域の人」が第1位。「趣味や関心が同じ友人」、「仕事での同僚・元同僚」などが続く。

よく会う友人・知人の関係性については、「近所・同じ地域の人」(41.5%)が最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(30.4%)、「仕事での同僚・元同僚」(28.0%)、「学生時代の友人」(13.3%)、「幼なじみ」(5.9%)、「ボランティア等の活動での友人」(5.0%)の順となっている。

なお、「いない」は14.4%となっている。

年齢で見ると、65～69歳では「仕事での同僚・元同僚」が第1位となっている。

図表 よく会う友人・知人の関係性（全体／複数回答）



図表 よく会う友人・知人の関係性（全体・属性別－第1位／複数回答）

	全体	問50 よく会う友人・知人の関係性									
		近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答	
全体	3673 100.0%	1525 41.5%	217 5.9%	489 13.3%	1028 28.0%	1117 30.4%	182 5.0%	145 3.9%	528 14.4%	121 3.3%	
性別	男性	1750 100.0%	565 32.3%	103 5.9%	252 14.4%	559 31.9%	494 28.2%	85 4.9%	56 3.2%	327 18.7%	51 2.9%
	女性	1876 100.0%	941 50.2%	110 5.9%	234 12.5%	454 24.2%	611 32.6%	95 5.1%	87 4.6%	196 10.4%	67 3.6%
年齢	65～69歳	839 100.0%	267 31.8%	50 6.0%	169 20.1%	349 41.6%	224 26.7%	38 4.5%	25 3.0%	120 14.3%	11 1.3%
	70～74歳	1082 100.0%	418 38.6%	57 5.3%	151 14.0%	352 32.5%	336 31.1%	58 5.4%	41 3.8%	142 13.1%	35 3.2%
	75～79歳	857 100.0%	391 45.6%	59 6.9%	101 11.8%	212 24.7%	300 35.0%	55 6.4%	32 3.7%	109 12.7%	31 3.6%
	80～84歳	554 100.0%	285 51.4%	35 6.3%	51 9.2%	87 15.7%	187 33.8%	22 4.0%	29 5.2%	77 13.9%	23 4.2%
	85歳以上	303 100.0%	148 48.8%	13 4.3%	16 5.3%	17 5.6%	63 20.8%	9 3.0%	16 5.3%	77 25.4%	17 5.6%
居住地域	久喜西地区	758 100.0%	297 39.2%	51 6.7%	118 15.6%	229 30.2%	229 30.2%	28 3.7%	27 3.6%	118 15.6%	28 3.7%
	久喜東地区	763 100.0%	296 38.8%	41 5.4%	94 12.3%	224 29.4%	237 31.1%	51 6.7%	40 5.2%	108 14.2%	20 2.6%
	菖蒲地区	712 100.0%	346 48.6%	48 6.7%	76 10.7%	177 24.9%	188 26.4%	19 2.7%	19 2.7%	91 12.8%	24 3.4%
	栗橋地区	704 100.0%	302 42.9%	37 5.3%	104 14.8%	191 27.1%	221 31.4%	46 6.5%	32 4.5%	97 13.8%	26 3.7%
	鷲宮地区	660 100.0%	254 38.5%	34 5.2%	91 13.8%	184 27.9%	226 34.2%	36 5.5%	22 3.3%	107 16.2%	16 2.4%
認定状況	受けていない	3458 100.0%	1424 41.2%	206 6.0%	479 13.9%	999 28.9%	1076 31.1%	177 5.1%	125 3.6%	482 13.9%	109 3.2%
	要支援1・2	137 100.0%	67 48.9%	8 5.8%	5 3.6%	16 11.7%	28 20.4%	4 2.9%	17 12.4%	33 24.1%	5 3.6%

8 健康について

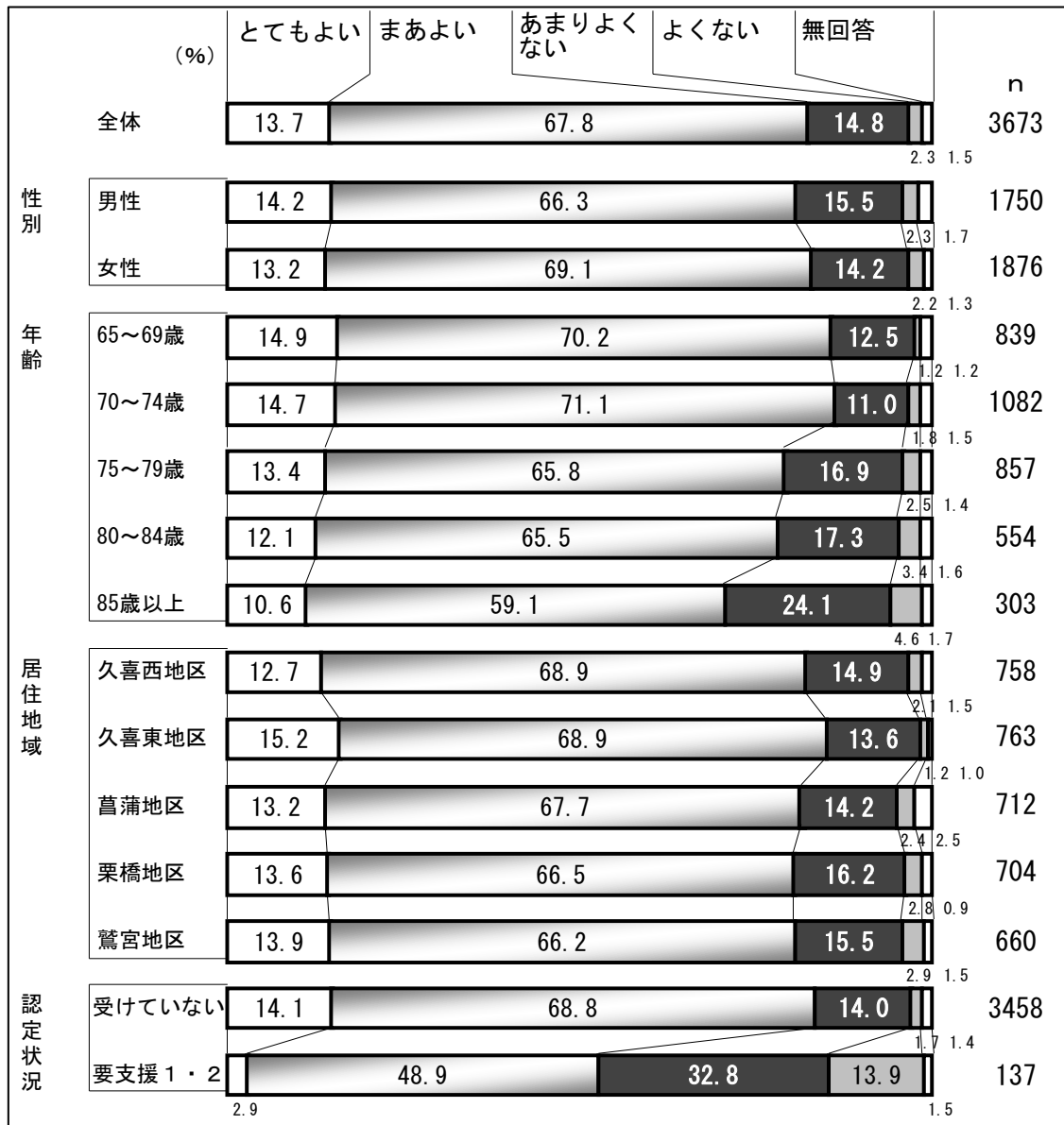
(1) 現在の健康状態

問 51 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

- “よい” が8割強、“よくない” が2割弱を占める。

現在の健康状態については、「とてもよい」(13.7%)と「まあよい」(67.8%)を合わせた“よい”が81.5%、「あまりよくない」(14.8%)と「よくない」(2.3%)を合わせた“よくない”が17.1%となっている。

図表 現在の健康状態 (全体・属性別)



(2) 現在の幸せの程度

問 52 あなたは、現在どの程度幸せですか。

- 「5～7点」が5割弱、「8～10点」が4割弱を占める。

現在の幸せの程度については、「5～7点」が48.5%、「8～10点」が38.7%、「0～4点」が7.9%の順となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「0～4点」が15.3%となっている。

図表 現在の幸せの程度（全体・属性別）

		(%)	0～4点	5～7点	8～10点	無回答	n
性別	全体		7.9	48.5	38.7	4.8	3673
	男性		9.0	52.0	35.3	3.7	1750
	女性		6.7	45.6	41.9	5.8	1876
年齢	65～69歳		8.6	52.3	36.7	2.4	839
	70～74歳		7.1	49.4	39.6	3.9	1082
	75～79歳		8.3	47.7	38.9	5.1	857
	80～84歳		7.9	43.5	41.3	7.2	554
	85歳以上		7.3	47.2	37.0	8.6	303
居住地	久喜西地区		7.0	47.2	41.3	4.5	758
	久喜東地区		6.6	50.3	38.5	4.6	763
	菖蒲地区		8.6	48.6	37.8	5.1	712
	栗橋地区		8.4	47.0	39.3	5.3	704
	鷲宮地区		9.1	49.8	37.4	3.6	660
認定状況	受けていない		7.5	49.0	39.0	4.4	3458
	要支援1・2		15.3	39.4	35.8	9.5	137

(3) 現在治療中または後遺症のある病気

問 53 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【複数回答】

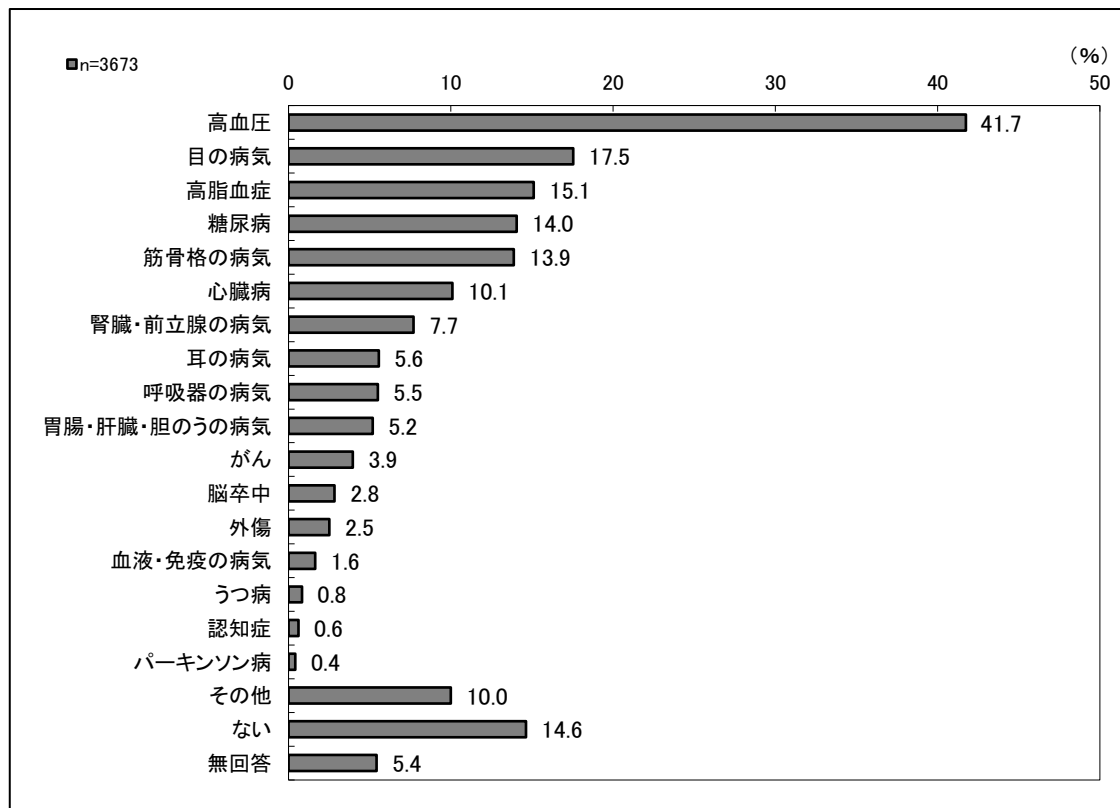
- 「高血圧」が第1位。「目の病気」、「高脂血症」などが続く。

現在治療中または後遺症のある病気については、「高血圧」(41.7%)が最も多く、次いで「目の病気」(17.5%)、「高脂血症」(15.1%)、「糖尿病」(14.0%)、「筋骨格の病気」(13.9%)、「心臓病」(10.1%)、「腎臓・前立腺の病気」(7.7%)、「耳の病気」(5.6%)、「呼吸器の病気」(5.5%)、「胃腸・肝臓・胆のうの病気」(5.2%)、「がん」(3.9%)、「脳卒中」(2.8%)、「外傷」(2.5%)、「血液・免疫の病気」(1.6%)、「うつ病」(0.8%)、「認知症」(0.6%)、「パーキンソン病」(0.4%)の順となっている。

なお、「ない」は14.6%となっている。

いずれの属性でも「高血圧」が第1位となっている。

図表 現在治療中または後遺症のある病気 (全体/複数回答)



図表 現在治療中または後遺症のある病気（全体・属性別－第1位／複数回答）

	全体	問53 現在治療中または後遺症のある病気										
		ない	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気	
全体	3673 100.0%	537 14.6%	1533 41.7%	104 2.8%	371 10.1%	516 14.0%	555 15.1%	202 5.5%	190 5.2%	283 7.7%	510 13.9%	
性別	男性	1750 100.0%	245 14.0%	780 44.6%	61 3.5%	246 14.1%	307 17.5%	221 12.6%	111 6.3%	90 5.1%	251 14.3%	99 5.7%
	女性	1876 100.0%	282 15.0%	736 39.2%	43 2.3%	119 6.3%	201 10.7%	332 17.7%	89 4.7%	97 5.2%	30 1.6%	405 21.6%
年齢	65～69歳	839 100.0%	177 21.1%	305 36.4%	18 2.1%	47 5.6%	126 15.0%	141 16.8%	44 5.2%	41 4.9%	40 4.8%	96 11.4%
	70～74歳	1082 100.0%	194 17.9%	422 39.0%	22 2.0%	94 8.7%	138 12.8%	188 17.4%	46 4.3%	58 5.4%	71 6.6%	113 10.4%
	75～79歳	857 100.0%	87 10.2%	379 44.2%	34 4.0%	88 10.3%	143 16.7%	135 15.8%	53 6.2%	51 6.0%	71 8.3%	135 15.8%
	80～84歳	554 100.0%	41 7.4%	262 47.3%	14 2.5%	85 15.3%	67 12.1%	67 12.1%	39 7.0%	25 4.5%	61 11.0%	100 18.1%
	85歳以上	303 100.0%	33 10.9%	148 48.8%	16 5.3%	51 16.8%	36 11.9%	21 6.9%	18 5.9%	13 4.3%	39 12.9%	62 20.5%
居住地	久喜西地区	758 100.0%	110 14.5%	305 40.2%	15 2.0%	81 10.7%	109 14.4%	107 14.1%	41 5.4%	37 4.9%	59 7.8%	115 15.2%
	久喜東地区	763 100.0%	101 13.2%	301 39.4%	24 3.1%	80 10.5%	93 12.2%	140 18.3%	37 4.8%	43 5.6%	60 7.9%	137 18.0%
	菖蒲地区	712 100.0%	90 12.6%	308 43.3%	22 3.1%	66 9.3%	87 12.2%	86 12.1%	47 6.6%	35 4.9%	67 9.4%	79 11.1%
	栗橋地区	704 100.0%	111 15.8%	313 44.5%	21 3.0%	67 9.5%	104 14.8%	105 14.9%	45 6.4%	43 6.1%	56 8.0%	94 13.4%
	鷺宮地区	660 100.0%	117 17.7%	272 41.2%	21 3.2%	67 10.2%	112 17.0%	111 16.8%	28 4.2%	29 4.4%	39 5.9%	74 11.2%
認定状況	受けていない	3458 100.0%	524 15.2%	1449 41.9%	88 2.5%	333 9.6%	490 14.2%	539 15.6%	188 5.4%	177 5.1%	271 7.8%	455 13.2%
	要支援1・2	137 100.0%	3 2.2%	59 43.1%	15 10.9%	27 19.7%	19 13.9%	13 9.5%	9 6.6%	10 7.3%	6 4.4%	43 31.4%

	全体	問53 現在治療中または後遺症のある病気										
		外傷	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答	
全体	3673 100.0%	92 2.5%	145 3.9%	60 1.6%	30 0.8%	22 0.6%	15 0.4%	644 17.5%	204 5.6%	367 10.0%	199 5.4%	
性別	男性	1750 100.0%	25 1.4%	83 4.7%	30 1.7%	7 0.4%	10 0.6%	9 0.5%	273 15.6%	100 5.7%	160 9.1%	80 4.6%
	女性	1876 100.0%	65 3.5%	62 3.3%	30 1.6%	23 1.2%	12 0.6%	6 0.3%	365 19.5%	102 5.4%	202 10.8%	114 6.1%
年齢	65～69歳	839 100.0%	20 2.4%	27 3.2%	8 1.0%	7 0.8%	0 0.0%	2 0.2%	118 14.1%	28 3.3%	87 10.4%	42 5.0%
	70～74歳	1082 100.0%	19 1.8%	47 4.3%	18 1.7%	8 0.7%	5 0.5%	5 0.5%	160 14.8%	37 3.4%	107 9.9%	59 5.5%
	75～79歳	857 100.0%	28 3.3%	31 3.6%	17 2.0%	7 0.8%	6 0.7%	4 0.5%	184 21.5%	56 6.5%	90 10.5%	52 6.1%
	80～84歳	554 100.0%	9 1.6%	30 5.4%	12 2.2%	8 1.4%	4 0.7%	1 0.2%	117 21.1%	52 9.4%	61 11.0%	32 5.8%
	85歳以上	303 100.0%	14 4.6%	10 3.3%	5 1.7%	0 0.0%	7 2.3%	3 1.0%	59 19.5%	29 9.6%	18 5.9%	10 3.3%
居住地	久喜西地区	758 100.0%	19 2.5%	34 4.5%	16 2.1%	5 0.7%	8 1.1%	3 0.4%	127 16.8%	41 5.4%	77 10.2%	47 6.2%
	久喜東地区	763 100.0%	18 2.4%	36 4.7%	8 1.0%	7 0.9%	6 0.8%	1 0.1%	139 18.2%	47 6.2%	69 9.0%	46 6.0%
	菖蒲地区	712 100.0%	14 2.0%	33 4.6%	17 2.4%	7 1.0%	4 0.6%	0 0.0%	99 13.9%	29 4.1%	73 10.3%	35 4.9%
	栗橋地区	704 100.0%	20 2.8%	21 3.0%	12 1.7%	4 0.6%	1 0.1%	7 1.0%	146 20.7%	40 5.7%	72 10.2%	33 4.7%
	鷺宮地区	660 100.0%	18 2.7%	21 3.2%	7 1.1%	6 0.9%	3 0.5%	4 0.6%	122 18.5%	40 6.1%	71 10.8%	27 4.1%
認定状況	受けていない	3458 100.0%	73 2.1%	137 4.0%	57 1.6%	25 0.7%	17 0.5%	14 0.4%	597 17.3%	187 5.4%	342 9.9%	176 5.1%
	要支援1・2	137 100.0%	15 10.9%	5 3.6%	3 2.2%	5 3.6%	3 2.2%	1 0.7%	36 26.3%	12 8.8%	18 13.1%	9 6.6%

(4) 喫煙習慣の有無

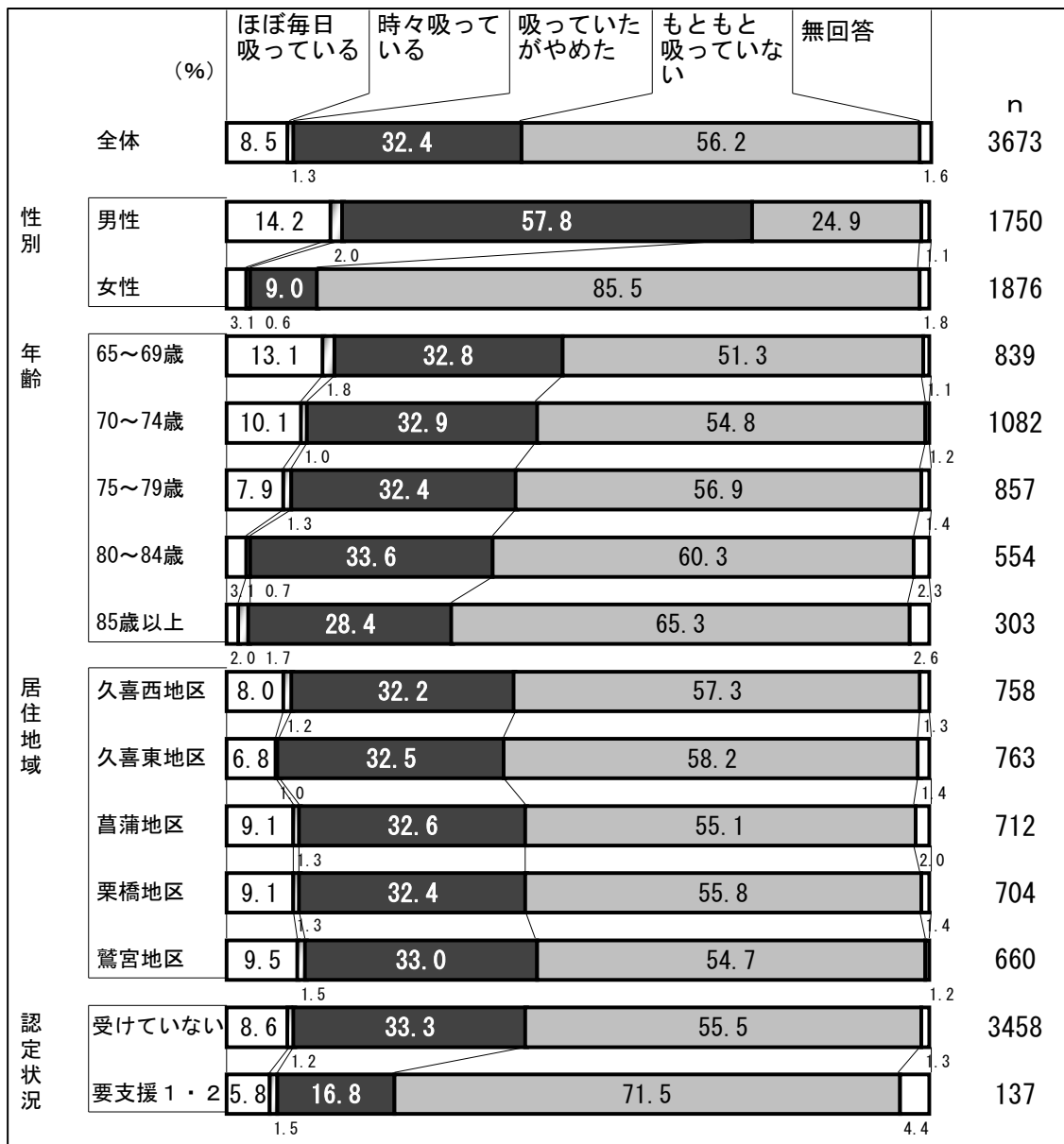
問 54 タバコは吸っていますか。

- 「もともと吸っていない」が6割強、「吸っていたがやめた」が3割強を占める。

喫煙習慣の有無については、「もともと吸っていない」が56.2%、「吸っていたがやめた」が32.4%、「ほぼ毎日吸っている」が8.5%、「時々吸っている」が1.3%の順となっている。

性別でみると、男性では「吸っていたがやめた」が57.8%となっている。

図表 喫煙習慣の有無（全体・属性別）



(5) 気分が沈んだりゆううつな気持ちになったか

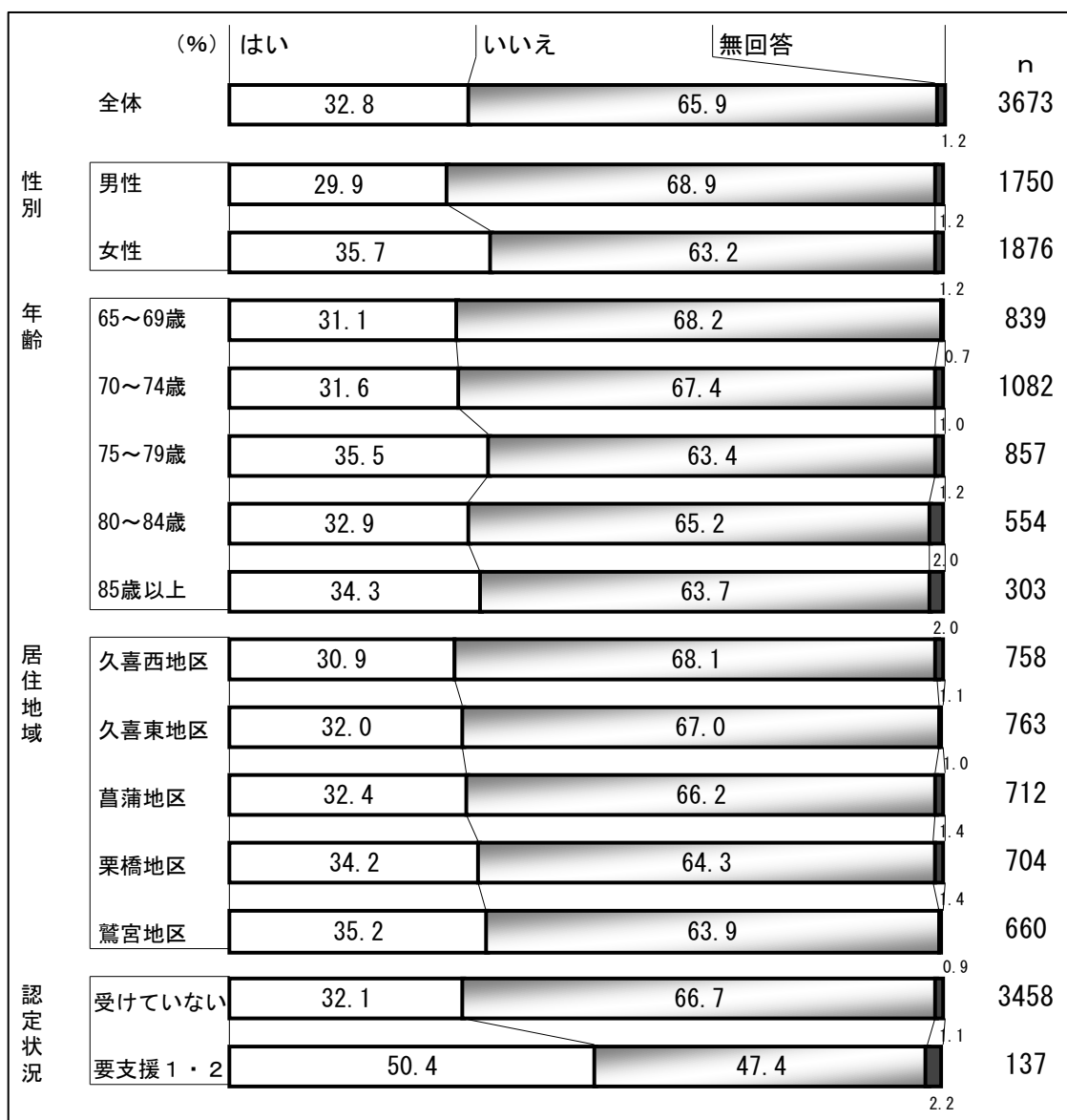
問 55 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

- 「いいえ」が7割弱、「はい」が3割強を占める。

気分が沈んだりゆううつな気持ちになったかについては、「いいえ」が65.9%、「はい」が32.8%の順となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「はい」が50.4%となっている。

図表 気分が沈んだりゆううつな気持ちになったか（全体・属性別）



(6) 物事に対し興味がわからないこと等があったか

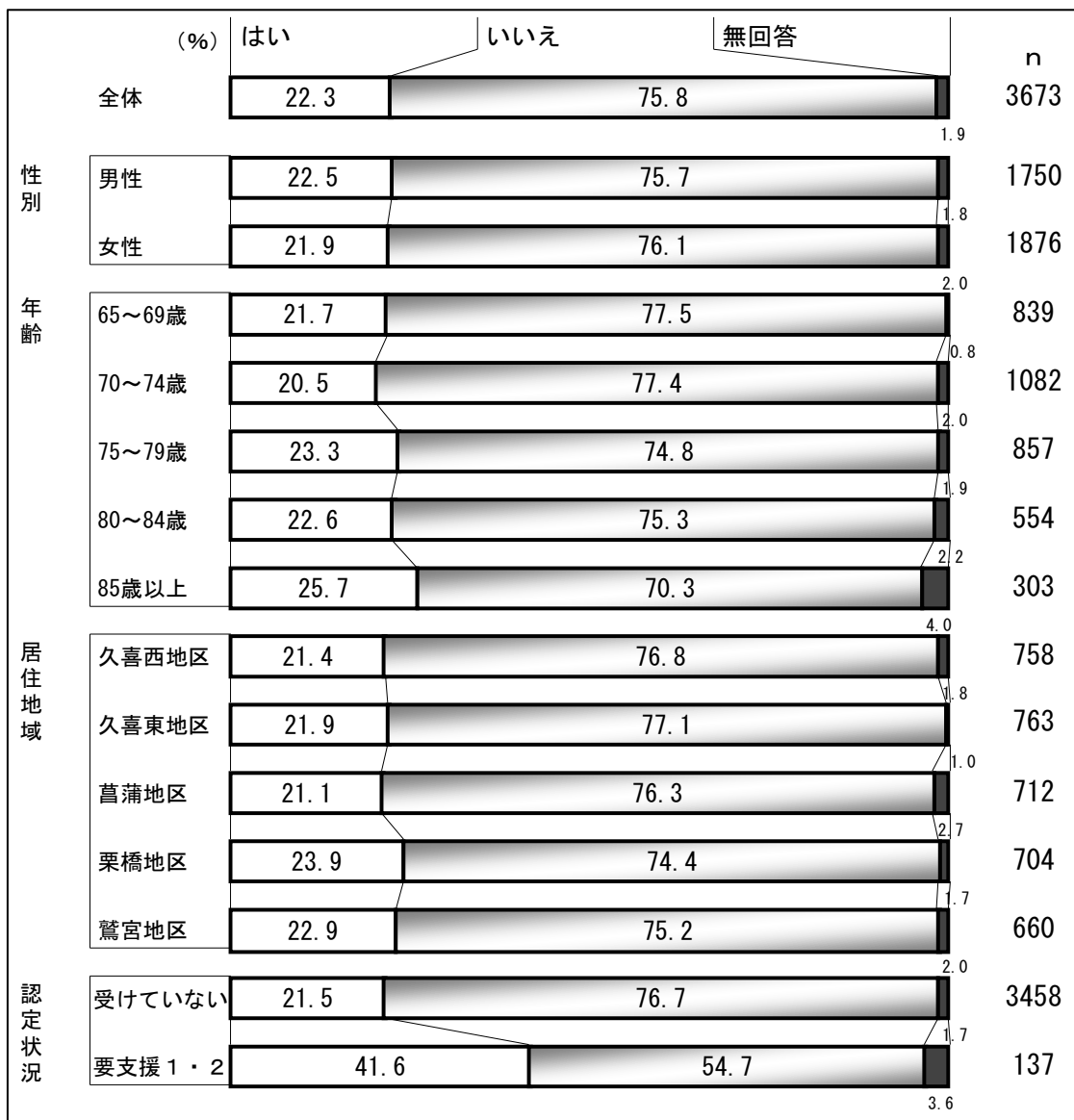
問 56 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

- 「いいえ」が8割弱、「はい」が2割強を占める。

物事に対し興味がわからないこと等があったかについては、「いいえ」が75.8%、「はい」が22.3%の順となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「はい」が41.6%となっている。

図表 物事に対し興味がわからないこと等があったか（全体・属性別）



9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 自分または家族に認知症の症状があるか

問 57 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。

- 「いいえ」が9割弱を占める。「はい」は1割に満たない。

自分または家族に認知症の症状があるかについては、「いいえ」が86.8%、「はい」が9.1%の順となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「はい」が17.5%となっている。

図表 自分または家族に認知症の症状があるか（全体・属性別）

		(%)			n
		はい	いいえ	無回答	
性別	全体	9.1	86.8	4.1	3673
	男性	8.5	87.2	4.3	1750
	女性	9.7	86.6	3.7	1876
年齢	65～69歳	8.9	89.0	2.0	839
	70～74歳	7.8	88.3	4.0	1082
	75～79歳	10.3	85.6	4.1	857
	80～84歳	9.2	85.6	5.2	554
	85歳以上	10.9	82.2	6.9	303
居住地域	久喜西地区	9.4	87.1	3.6	758
	久喜東地区	8.8	87.0	4.2	763
	菖蒲地区	8.6	86.0	5.5	712
	栗橋地区	8.8	87.2	4.0	704
	鷺宮地区	9.4	88.0	2.6	660
認定状況	受けていない	8.8	87.4	3.8	3458
	要支援1・2	17.5	75.2	7.3	137

(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか

問 58 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

- 「いいえ」が7割強、「はい」が2割強を占める。

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「いいえ」が74.3%、「はい」が20.2%の順となっている。

いずれの属性でも「はい」が2割前後を占めている。

図表 認知症に関する相談窓口を知っているか（全体・属性別）

	(%)	はい	いいえ	無回答	n
全体		20.2	74.3	5.5	3673
性別	男性	17.6	77.1	5.3	1750
	女性	22.3	72.2	5.5	1876
年齢	65～69歳	22.5	74.7	2.7	839
	70～74歳	19.2	75.3	5.5	1082
	75～79歳	19.8	74.1	6.1	857
	80～84歳	18.6	74.5	6.9	554
	85歳以上	20.5	71.9	7.6	303
居住地	久喜西地区	18.7	76.1	5.1	758
	久喜東地区	22.0	73.1	4.8	763
	菖蒲地区	19.8	73.5	6.7	712
	栗橋地区	18.6	75.4	6.0	704
	鷺宮地区	21.5	74.4	4.1	660
認定状況	受けていない	20.0	74.8	5.2	3458
	要支援1・2	24.8	67.9	7.3	137

(3) 認知症について相談する相手

問 59 認知症について、相談する相手をお答えください。【複数回答】

- 「配偶者」が第1位。「別居の子ども」、「同居の子ども」などが続く。

認知症について相談する相手については、「配偶者」(52.4%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(36.9%)、「同居の子ども」(21.8%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(19.0%)、「医師・歯科医師・看護師」(17.0%)、「地域包括支援センター・市役所」(16.3%)、「友人」(15.7%)、「社会福祉協議会・民生委員」(7.1%)、「近隣」(3.4%)、の順となっている。

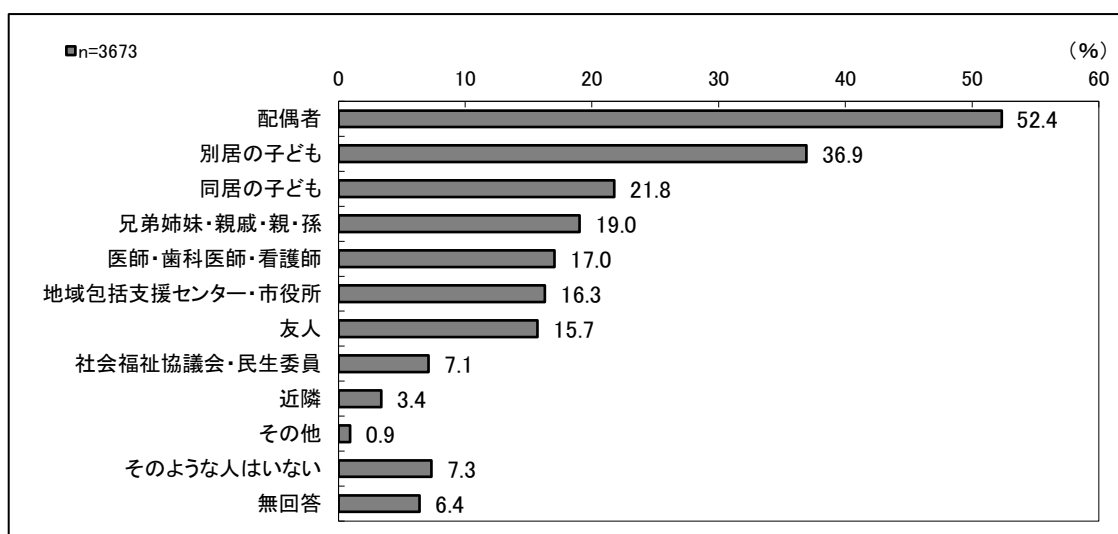
なお、「そのような人はいない」は7.3%となっている。

性別でみると、女性では「別居の子ども」が第1位となっている。

年齢でみると、85歳以上では「別居の子ども」が第1位となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「別居の子ども」が第1位となっている。

図表 認知症について相談する相手（全体／複数回答）



図表 認知症について相談する相手（全体・属性別－第1位／複数回答）

	全体	問59 認知症について相談する相手									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	社会福祉協会・民生委員	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	
全体	3673 100.0%	1923 52.4%	799 21.8%	1356 36.9%	699 19.0%	124 3.4%	577 15.7%	261 7.1%	626 17.0%	598 16.3%	
性別	男性	1750 100.0%	1119 63.9%	296 16.9%	525 30.0%	274 15.7%	35 2.0%	180 10.3%	119 6.8%	298 17.0%	229 13.1%
	女性	1876 100.0%	790 42.1%	492 26.2%	816 43.5%	419 22.3%	86 4.6%	390 20.8%	135 7.2%	321 17.1%	359 19.1%
年齢	65～69歳	839 100.0%	500 59.6%	173 20.6%	281 33.5%	178 21.2%	17 2.0%	148 17.6%	41 4.9%	127 15.1%	156 18.6%
	70～74歳	1082 100.0%	626 57.9%	208 19.2%	421 38.9%	246 22.7%	48 4.4%	202 18.7%	63 5.8%	184 17.0%	183 16.9%
	75～79歳	857 100.0%	441 51.5%	176 20.5%	336 39.2%	140 16.3%	29 3.4%	138 16.1%	73 8.5%	154 18.0%	125 14.6%
	80～84歳	554 100.0%	259 46.8%	131 23.6%	206 37.2%	92 16.6%	21 3.8%	64 11.6%	55 9.9%	97 17.5%	88 15.9%
	85歳以上	303 100.0%	88 29.0%	102 33.7%	103 34.0%	39 12.9%	8 2.6%	21 6.9%	24 7.9%	59 19.5%	38 12.5%
居住地域	久喜西地区	758 100.0%	379 50.0%	171 22.6%	299 39.4%	160 21.1%	29 3.8%	121 16.0%	40 5.3%	120 15.8%	113 14.9%
	久喜東地区	763 100.0%	393 51.5%	165 21.6%	286 37.5%	149 19.5%	23 3.0%	126 16.5%	76 10.0%	162 21.2%	133 17.4%
	菖蒲地区	712 100.0%	373 52.4%	162 22.8%	251 35.3%	130 18.3%	25 3.5%	106 14.9%	41 5.8%	104 14.6%	114 16.0%
	栗橋地区	704 100.0%	377 53.6%	165 23.4%	252 35.8%	153 21.7%	24 3.4%	99 14.1%	47 6.7%	114 16.2%	102 14.5%
	鷺宮地区	660 100.0%	372 56.4%	119 18.0%	246 37.3%	99 15.0%	22 3.3%	119 18.0%	51 7.7%	116 17.6%	122 18.5%
認定状況	受けていない	3458 100.0%	1864 53.9%	740 21.4%	1291 37.3%	668 19.3%	120 3.5%	556 16.1%	239 6.9%	593 17.1%	552 16.0%
	要支援1・2	137 100.0%	35 25.5%	38 27.7%	49 35.8%	21 15.3%	3 2.2%	14 10.2%	16 11.7%	25 18.2%	37 27.0%

	全体	問59 認知症について相談する相手			
		その他	そのような人はいない	無回答	
全体	3673 100.0%	34 0.9%	269 7.3%	235 6.4%	
性別	男性	1750 100.0%	13 0.7%	160 9.1%	105 6.0%
	女性	1876 100.0%	21 1.1%	105 5.6%	122 6.5%
年齢	65～69歳	839 100.0%	15 1.8%	71 8.5%	24 2.9%
	70～74歳	1082 100.0%	7 0.6%	79 7.3%	65 6.0%
	75～79歳	857 100.0%	8 0.9%	50 5.8%	61 7.1%
	80～84歳	554 100.0%	0 0.0%	47 8.5%	39 7.0%
	85歳以上	303 100.0%	4 1.3%	19 6.3%	38 12.5%
居住地域	久喜西地区	758 100.0%	8 1.1%	58 7.7%	45 5.9%
	久喜東地区	763 100.0%	11 1.4%	51 6.7%	50 6.6%
	菖蒲地区	712 100.0%	2 0.3%	43 6.0%	51 7.2%
	栗橋地区	704 100.0%	8 1.1%	56 8.0%	48 6.8%
	鷺宮地区	660 100.0%	5 0.8%	56 8.5%	31 4.7%
認定状況	受けていない	3458 100.0%	32 0.9%	252 7.3%	205 5.9%
	要支援1・2	137 100.0%	2 1.5%	11 8.0%	14 10.2%

10 成年後見制度について

(1) 成年後見制度について

問 60 成年後見制度を知っていますか。



- 「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が5割弱、「以前から制度の内容を知っている」が3割弱、「まったく知らない」が2割弱を占める。

成年後見制度については、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が49.1%、「以前から制度の内容を知っている」が28.8%、「まったく知らない」が17.2%の順となっている。

年齢で見ると、85歳以上では「まったく知らない」が29.0%と他の年齢層よりも高くなっている。

図表 成年後見制度について（全体・属性別）

	(%)	以前から制度の内容を知っている	言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	まったく知らない	無回答	n
全体	28.8	49.1	17.2	4.8	3673	
性別	男性	29.0	48.1	18.3	4.6	1750
	女性	28.7	50.4	16.2	4.7	1876
年齢	65～69歳	31.1	50.7	16.0	2.3	839
	70～74歳	31.6	48.6	15.3	4.4	1082
	75～79歳	28.9	51.2	14.8	5.0	857
	80～84歳	25.1	48.4	20.2	6.3	554
	85歳以上	19.5	43.2	29.0	8.3	303
居住地	久喜西地区	32.2	47.5	16.4	4.0	758
	久喜東地区	29.1	49.1	16.3	5.5	763
	菖蒲地区	22.9	50.3	20.8	6.0	712
	栗橋地区	28.4	52.3	14.9	4.4	704
	鷺宮地区	31.7	47.1	17.9	3.3	660
認定状況	受けていない	29.6	49.2	16.9	4.3	3458
	要支援1・2	16.1	53.3	22.6	8.0	137

(2) 市民後見制度について

問 61 市民後見制度を知っていますか。

- 「まったく知らない」が5割強、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が3割強を占める。「以前から制度の内容を知っている」が1割に満たない。

市民後見制度については、「まったく知らない」が52.4%、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が34.6%、「以前から制度の内容を知っている」が7.6%の順となっている。

いずれの属性でも「以前から制度の内容を知っている」は1割に満たない。

図表 市民後見制度について（全体・属性別）

	(%)	以前から制度の内容を知っている	言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	まったく知らない	無回答	n
全体	7.6	34.6	52.4	5.4	3673	
性別						
男性	6.9	33.8	54.1	5.3	1750	
女性	8.0	35.4	51.4	5.1	1876	
年齢						
65～69歳	6.0	30.5	61.4	2.1	839	
70～74歳	8.0	33.7	53.4	4.8	1082	
75～79歳	9.1	37.1	47.5	6.3	857	
80～84歳	7.8	38.3	47.1	6.9	554	
85歳以上	4.6	36.0	50.5	8.9	303	
居住地						
久喜西地区	7.0	33.0	55.5	4.5	758	
久喜東地区	8.0	34.9	51.6	5.5	763	
菖蒲地区	6.0	36.4	51.4	6.2	712	
栗橋地区	8.8	35.1	50.7	5.4	704	
鷺宮地区	7.7	34.4	53.8	4.1	660	
認定状況						
受けていない	7.6	34.9	52.7	4.9	3458	
要支援1・2	7.3	34.3	50.4	8.0	137	

(3) 任意後見制度の利用意向

問 62 成年後見制度には、法定後見制度のほかに、本人に十分な判断能力があるうちに、将来に備えて自ら代理人と契約する任意後見制度があります。任意後見制度を利用したいと思いませんか。

- 「利用したいとは思わない」が4割弱を占める。「利用したい」は1割に満たない。

任意後見制度の利用意向については、「利用したいとは思わない」が38.8%、「利用したい」が6.2%の順となっている。

なお、「わからない」が49.4%となっている。

いずれの属性でも「利用したい」は1割に満たない。

図表 任意後見制度の利用意向（全体・属性別）

		利用意向 (%)				n
		利用したい	利用したいとは思わない	わからない	無回答	
	全体	6.2	38.8	49.4	5.7	3673
性別	男性	7.0	38.7	49.3	5.0	1750
	女性	5.4	38.8	49.8	6.0	1876
年齢	65～69歳	5.6	38.1	54.0	2.3	839
	70～74歳	5.7	38.9	50.6	4.8	1082
	75～79歳	6.2	40.1	47.6	6.1	857
	80～84歳	7.4	38.8	44.9	8.8	554
	85歳以上	7.3	37.0	46.5	9.2	303
居住地	久喜西地区	7.3	38.0	49.2	5.5	758
	久喜東地区	5.5	39.6	49.1	5.8	763
	菖蒲地区	4.6	40.2	48.2	7.0	712
	栗橋地区	6.8	37.1	50.4	5.7	704
	鷺宮地区	7.1	39.7	50.0	3.2	660
認定状況	受けていない	6.2	39.2	49.5	5.1	3458
	要支援1・2	6.6	37.2	46.0	10.2	137

(4) 成年後見センターについて

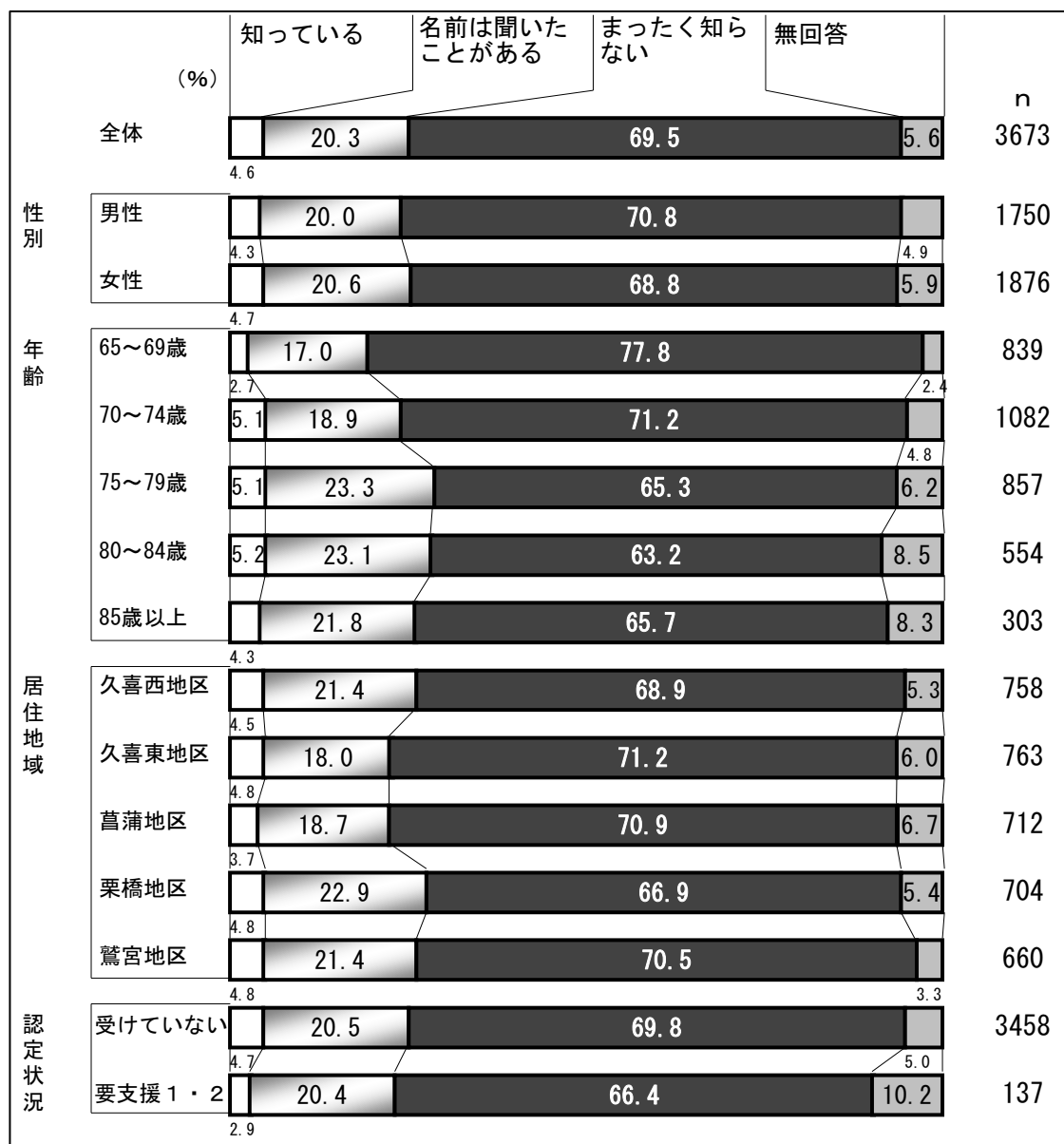
問 63 成年後見センターを知っていますか。

● 「まったく知らない」が7割強、「名前は聞いたことがある」が2割強を占める。「知っている」は1割に満たない。

成年後見センターについては、「まったく知らない」が69.5%、「名前は聞いたことがある」が20.3%、「知っている」が4.6%の順となっている。

いずれの属性でも「知っている」は1割に満たない。

図表 成年後見センターについて（全体・属性別）



(5) 成年後見制度について思うこと

問 64 成年後見制度について思うことはありますか。【複数回答】

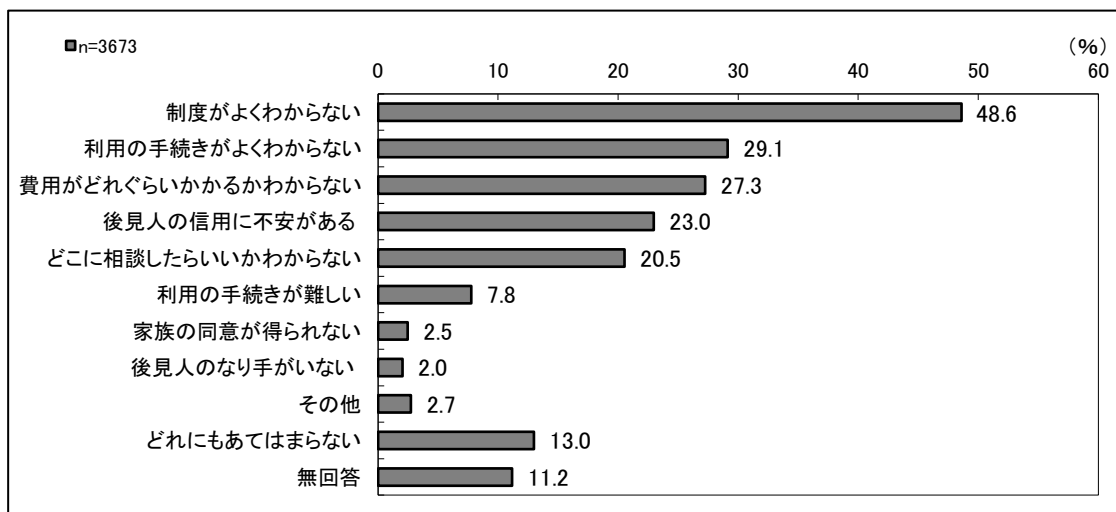
- 「制度がよくわからない」が第1位。「利用の手続きがよくわからない」、「費用がどれぐらいかかるかわからない」などが続く。

成年後見制度について思うことについては、「制度がよくわからない」(48.6%)、「利用の手続きがよくわからない」(29.1%)、「費用がどれぐらいかかるかわからない」(27.3%)、「後見人の信用に不安がある」(23.0%)、「どこに相談したらいいかわからない」(20.5%)、「利用の手続きが難しい」(7.8%)、「家族の同意が得られない」(2.5%)、「後見人のなり手がいない」(2.0%)の順となっている。

なお、「どれにもあてはまらない」は13.0%となっている。

いずれの属性でも「制度がよくわからない」が第1位となっている。

図表 成年後見制度について思うこと (全体/複数回答)



図表 成年後見制度について思うこと（全体・属性別－第1位／複数回答）

	全体	問64 成年後見制度について思うこと									
		制度がよくわからない	利用の手続きがよくわからない	利用の手続きが難しい	費用がどれくらいかかるかわからない	どこに相談したらいいかわからない	後見人の信用に不安がある	後見人のなり手がいない	家族の同意が得られない	その他	
全体	3673 100.0%	1785 48.6%	1070 29.1%	285 7.8%	1001 27.3%	754 20.5%	844 23.0%	75 2.0%	91 2.5%	101 2.7%	
性別	男性	1750 100.0%	918 52.5%	546 31.2%	123 7.0%	475 27.1%	383 21.9%	405 23.1%	48 2.7%	46 2.6%	44 2.5%
	女性	1876 100.0%	847 45.1%	514 27.4%	160 8.5%	519 27.7%	365 19.5%	433 23.1%	26 1.4%	45 2.4%	55 2.9%
年齢	65～69歳	839 100.0%	415 49.5%	267 31.8%	64 7.6%	253 30.2%	197 23.5%	225 26.8%	20 2.4%	9 1.1%	22 2.6%
	70～74歳	1082 100.0%	534 49.4%	327 30.2%	86 7.9%	317 29.3%	221 20.4%	269 24.9%	22 2.0%	30 2.8%	29 2.7%
	75～79歳	857 100.0%	404 47.1%	236 27.5%	65 7.6%	227 26.5%	158 18.4%	201 23.5%	17 2.0%	28 3.3%	25 2.9%
	80～84歳	554 100.0%	263 47.5%	149 26.9%	43 7.8%	144 26.0%	124 22.4%	107 19.3%	12 2.2%	17 3.1%	15 2.7%
	85歳以上	303 100.0%	152 50.2%	83 27.4%	25 8.3%	55 18.2%	50 16.5%	37 12.2%	3 1.0%	7 2.3%	8 2.6%
居住地域	久喜西地区	758 100.0%	347 45.8%	209 27.6%	57 7.5%	193 25.5%	153 20.2%	173 22.8%	9 1.2%	21 2.8%	25 3.3%
	久喜東地区	763 100.0%	367 48.1%	214 28.0%	62 8.1%	206 27.0%	160 21.0%	181 23.7%	10 1.3%	12 1.6%	29 3.8%
	菖蒲地区	712 100.0%	350 49.2%	190 26.7%	57 8.0%	182 25.6%	147 20.6%	160 22.5%	18 2.5%	16 2.2%	15 2.1%
	栗橋地区	704 100.0%	363 51.6%	215 30.5%	54 7.7%	210 29.8%	153 21.7%	164 23.3%	21 3.0%	25 3.6%	19 2.7%
	鷺宮地区	660 100.0%	324 49.1%	227 34.4%	50 7.6%	195 29.5%	128 19.4%	153 23.2%	16 2.4%	17 2.6%	10 1.5%
認定状況	受けていない	3458 100.0%	1679 48.6%	1020 29.5%	270 7.8%	961 27.8%	716 20.7%	819 23.7%	72 2.1%	89 2.6%	97 2.8%
	要支援1・2	137 100.0%	70 51.1%	34 24.8%	11 8.0%	28 20.4%	27 19.7%	18 13.1%	2 1.5%	2 1.5%	2 1.5%

	全体	問64	
		どれにもあてはまらない	無回答
全体	3673 100.0%	477 13.0%	410 11.2%
性別	男性	1750 100.0%	156 8.9%
	女性	1876 100.0%	244 13.0%
年齢	65～69歳	839 100.0%	36 4.3%
	70～74歳	1082 100.0%	106 9.8%
	75～79歳	857 100.0%	110 12.8%
	80～84歳	554 100.0%	97 17.5%
	85歳以上	303 100.0%	52 17.2%
居住地域	久喜西地区	758 100.0%	94 12.4%
	久喜東地区	763 100.0%	89 11.7%
	菖蒲地区	712 100.0%	87 12.2%
	栗橋地区	704 100.0%	75 10.7%
	鷺宮地区	660 100.0%	50 7.6%
認定状況	受けていない	3458 100.0%	365 10.6%
	要支援1・2	137 100.0%	24 17.5%

11 在宅における医療と介護の連携について

(1) 訪問診療をしてくれる医師の有無

問 65 近くに訪問診療（自宅に来て診察すること）をしてくれる医師はいますか。

- 「いない」が5割弱を占める。「いる」は1割に満たない。

訪問診療をしてくれる医師の有無については、「いない」が48.3%、「いる」が7.0%の順となっている。

なお、「わからない」が40.3%となっている。

図表 訪問診療をしてくれる医師の有無（全体・属性別）

		(%)	いる	いない	わからない	無回答	n
	全体		7.0	48.3	40.3	4.4	3673
性別	男性		6.1	52.3	37.2	4.4	1750
	女性		7.7	44.8	43.5	4.0	1876
年齢	65～69歳		6.3	45.9	45.9	1.9	839
	70～74歳		5.9	50.9	39.0	4.2	1082
	75～79歳		7.9	46.9	40.5	4.7	857
	80～84歳		8.7	47.7	38.1	5.6	554
	85歳以上		7.3	51.2	34.7	6.9	303
居住地域	久喜西地区		9.5	42.7	43.4	4.4	758
	久喜東地区		10.9	41.5	42.7	4.8	763
	菖蒲地区		4.2	55.8	34.8	5.2	712
	栗橋地区		4.0	55.7	36.9	3.4	704
	鷺宮地区		6.1	46.1	44.8	3.0	660
認定状況	受けていない		6.9	48.2	40.8	4.0	3458
	要支援1・2		10.2	51.1	33.6	5.1	137

(2) 訪問診療の利用意向

問 66 訪問診療をしてくれる医師がいたら、利用したいと思いますか。



● 「利用したい」が4割強、「わからない」が4割弱を占める。

訪問診療の利用意向については、「利用したい」が44.9%、「利用したいと思わない」が13.0%の順となっている。

なお、「わからない」が37.1%となっている。

年齢で見ると、85歳以上では「利用したい」が52.8%と他の年齢層よりも高くなっている。

図表 訪問診療の利用意向（全体・属性別）

		(%)	利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答	n
全体			44.9	13.0	37.1	5.0	3673
性別	男性		44.7	15.5	35.0	4.8	1750
	女性		45.4	10.6	39.3	4.7	1876
年齢	65～69歳		43.3	15.5	39.3	1.9	839
	70～74歳		43.9	12.6	38.8	4.7	1082
	75～79歳		43.1	14.0	37.8	5.1	857
	80～84歳		48.9	9.9	34.1	7.0	554
	85歳以上		52.8	9.9	29.4	7.9	303
居住地域	久喜西地区		45.6	14.2	35.6	4.5	758
	久喜東地区		43.1	12.2	39.1	5.6	763
	菖蒲地区		46.3	12.1	35.4	6.2	712
	栗橋地区		46.9	11.1	37.8	4.3	704
	鷲宮地区		44.1	15.3	37.6	3.0	660
認定状況	受けていない		44.9	13.1	37.4	4.6	3458
	要支援1・2		51.8	11.7	29.9	6.6	137

(3) 在宅における医療や介護について感じる事

問 67 在宅における医療や介護について感じる事について、ご回答ください。【複数回答】

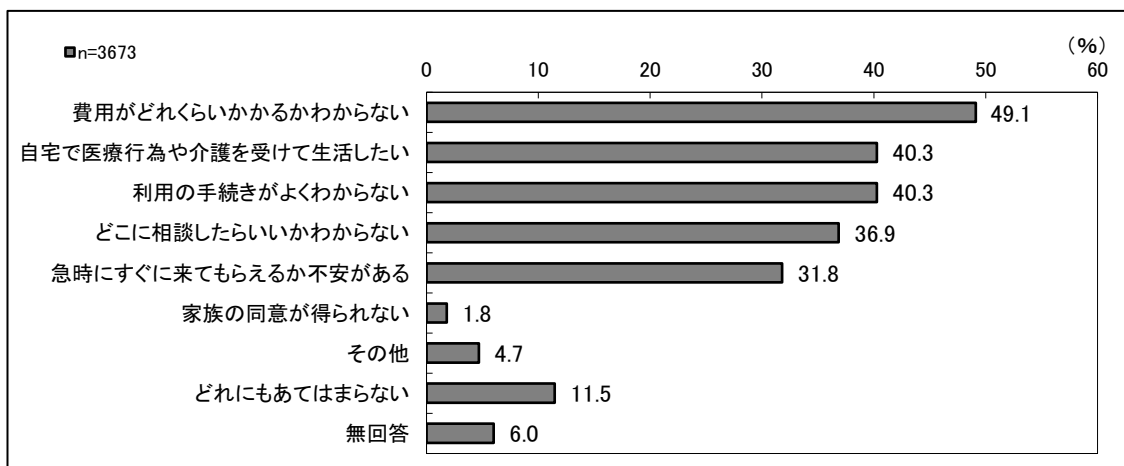
- 「費用がどれくらいかかるかわからない」が第1位。「自宅で医療行為や介護を受けて生活したい」・「利用の手続きがよくわからない」などが続く。

在宅における医療や介護について感じる事については、「費用がどれくらいかかるかわからない」(49.1%)が最も多く、次いで「自宅で医療行為や介護を受けて生活したい」・「利用の手続きがよくわからない」(同率 40.3%)、「どこに相談したらいいかわからない」(36.9%)、「急時にすぐに来てもらえるか不安がある」(31.8%)、「家族の同意が得られない」(1.8%)の順となっている。

なお、「どれにもあてはまらない」は11.5%となっている。

年齢で見ると、85歳以上では「自宅で医療行為や介護を受けて生活したい」が第1位となっている。

図表 在宅における医療や介護について感じる事 (全体/複数回答)



図表 在宅における医療や介護について感じる事(全体・属性別—第1位/複数回答)

		全体	問67 在宅における医療や介護について感じる事								
			自宅で医療行為や介護を受けて生活したい	利用の手続きがよくわからない	費用がどれくらいかわからない	どこに相談したらいいかわからない	家族の同意が得られない	急時にすぐに来てもらえるか不安がある	その他	どれもあてはまらない	無回答
全体		3673 100.0%	1479 40.3%	1479 40.3%	1804 49.1%	1354 36.9%	67 1.8%	1168 31.8%	172 4.7%	421 11.5%	221 6.0%
性別	男性	1750 100.0%	793 45.3%	786 44.9%	904 51.7%	701 40.1%	30 1.7%	490 28.0%	61 3.5%	184 10.5%	81 4.6%
	女性	1876 100.0%	674 35.9%	677 36.1%	882 47.0%	638 34.0%	36 1.9%	666 35.5%	110 5.9%	228 12.2%	132 7.0%
年齢	65～69歳	839 100.0%	281 33.5%	306 36.5%	388 46.2%	271 32.3%	14 1.7%	247 29.4%	52 6.2%	136 16.2%	26 3.1%
	70～74歳	1082 100.0%	430 39.7%	416 38.4%	536 49.5%	396 36.6%	15 1.4%	334 30.9%	47 4.3%	136 12.6%	58 5.4%
	75～79歳	857 100.0%	343 40.0%	352 41.1%	428 49.9%	343 40.0%	18 2.1%	285 33.3%	33 3.9%	88 10.3%	63 7.4%
	80～84歳	554 100.0%	262 47.3%	264 47.7%	298 53.8%	225 40.6%	8 1.4%	191 34.5%	23 4.2%	34 6.1%	46 8.3%
	85歳以上	303 100.0%	154 50.8%	127 41.9%	138 45.5%	107 35.3%	11 3.6%	100 33.0%	15 5.0%	20 6.6%	22 7.3%
居住地域	久喜西地区	758 100.0%	318 42.0%	310 40.9%	359 47.4%	284 37.5%	14 1.8%	225 29.7%	49 6.5%	69 9.1%	49 6.5%
	久喜東地区	763 100.0%	301 39.4%	299 39.2%	373 48.9%	265 34.7%	16 2.1%	246 32.2%	40 5.2%	86 11.3%	45 5.9%
	菖蒲地区	712 100.0%	274 38.5%	273 38.3%	336 47.2%	248 34.8%	14 2.0%	239 33.6%	27 3.8%	86 12.1%	37 5.2%
	栗橋地区	704 100.0%	295 41.9%	301 42.8%	358 50.9%	287 40.8%	12 1.7%	239 33.9%	27 3.8%	78 11.1%	49 7.0%
	鷲宮地区	660 100.0%	272 41.2%	267 40.5%	343 52.0%	245 37.1%	10 1.5%	197 29.8%	24 3.6%	92 13.9%	30 4.5%
認定状況	受けていない	3458 100.0%	1399 40.5%	1396 40.4%	1705 49.3%	1282 37.1%	61 1.8%	1095 31.7%	163 4.7%	401 11.6%	188 5.4%
	要支援1・2	137 100.0%	59 43.1%	55 40.1%	64 46.7%	49 35.8%	4 2.9%	49 35.8%	7 5.1%	11 8.0%	16 11.7%

12 自由意見

(1) 自由意見

問 68 介護保険制度や高齢者福祉について、本市へのご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください。

回答件数は 830 件となっている。以下に主な意見・要望を掲載する。

- 2025 年には団塊の世代の方々が、後期高齢者になってくる時、医療、高齢者施設等が思う様に利用できなくなってくるのではと不安です。現在は健康ですが、先はわかりませんので、福祉関係に携わっている皆様に、大いに期待しておりますので、よろしくお願いします。
- 地域循環バスの利用は、駅、スーパー、役所、医療機関等の大事な箇所は停車し、もっと多く駐車場を設置して欲しい。
- 災害発生の時、高齢者は誰を頼ってどこへ避難するかが一番の心配事です。
- 75 歳以上の団塊世代が今後増える中、ますます介護保険制度が重要視されますが、それ以前の問題として、いかに介護する人を減らすか、対象者（対象者以外の方も）の、健康管理に十分な対策（簡単なスポーツ教室の充実、認知症防止等の教室「各種教養講座等」）が必要ではないかと思われます。
- 近所の高齢者は医療機関や買物など不便な地域の為、思うように行動する事が出来ない。何らかの方法を市として考えてほしい（お金がかからない方法で）。
- 高齢者同志もっともっと交流できるチャンスを作ってほしいです。健康体操教室、料理教室、歩け歩けイベント etc. 介護福祉に頼らない生活が出来る様な生活。
- 高齢者が増加している中で、自分としては、介護保険を使わない様、積極的に社会貢献（仕事、地域活動等）をしている。又、健康管理、趣味等を通じて、自分自身の活性化に心がけて暮らしています。意見として、ボランティア活動を幅広く行動している人達に保険料等の優ぐう処置もあっても良い様な気がします。
- 若い人に負担がかからない様に配慮するべきで何でも無料は感心しないと思う。
- もうしばらく続く少子高齢化で、介護を担う人材の不足や高齢化、保険料の値上げなどの問題が懸念されている。また、介護に携る人の職場環境や待遇の改善が必要と思うが、遅々として進んでいないように見える。介護が必要な人が安心して生きられ、介護を担う人が充実して働けるよう、行政として出来ることを着実に実行してほしい。
- 現在ほぼ健康ですので余り身近に感じないが、今後不調になり要介護等になった場合は非常に不安でならない。又施設等の費用も高額となると入所等も考えざるを得ない。1 人になった場合は特に思う旧栗橋地区の医療の乏しさには大変残念であり、充実させてほしい。合併後 10 年以上も経つが変わってない。
- 久喜市の高齢者福祉課内に成年後見センターを認識しました。困った事がありましたら活用したいと思います。

- 介護保険料は高いですが、これは致し方ないと思っております。現在はまだ現役で働いていますが、いずれ介護や医療でお世話になると思いますので、制度の見直しを行って頂き、充実を図って頂きたいと思えます。
- 施設に入りやすい様にしてほしい。希望してもなかなか入れないと聞いています。年金生活でも、希望すれば入れる様になってほしい。
- 現在はある程度元気なので介護保険のお世話になっていないが、将来的には不安もあるので、市にはいつでも気軽に安心して相談できる態勢づくりを今後共期待します。高齢者がより住みやすい市になることを自慢できることが、全世代の活性化にもつながると思えます。
- 介護制度そのものではないですが、国保料、介護保険料、固定資産税、住民税等公共の支払いのトータルがかなり多額で、収入である年金の多くを奪っていきます。将来が不安です。
- 今元気でもいつ認知症になったり身体が動けなくなるかわかりませんので、介護保険のお世話になると思えます。使いやすく、わかりやすい保険となりますようお願い致します。
- 以前夫が介護保険で大変お世話になりました。他の市に比べて久喜市は福祉に対してとても熱心な活動をしておられる事、とても大変な事と思えます。感謝しております。
- 現在はまだ運転できるがいずれできなくなる時がきた時、病院に行く際の交通手段が非常に心配になりますので、市でバスなどを出していただけたらと思えます。
- 認知症、相談窓口とか、成年後見センター等があることを知り、安心いたしました。お世話にならないよう生活し、安心してゴールに向かいたいと思っております。
- 介護保険料が年々高くなることは、支出と制度利用者の収支バランスの関係であることは理解できるが、国・地方税と同様に後年度負担による子ども達への失望をどう考えているのか理解できない。
- 介護保険制度には非常にありがたく、感謝しております。だれでも介護を受ける様になったら手厚い介護を願うと思えます。医療や設備改修それに介護者（ヘルパー）さんの待遇等を考えると国の支援（税金）を頂くと共に保険料の少々の引き上げが将来あっても仕方ないと思えます。
- 高齢者福祉について、どんな制度があるか、どのように手続するのか、分かりやすく周知して欲しい。
- 今の所は、元気ですが数年すると体が弱わってくると思うので、介護保険制度を利用しなければならないと思えますが、費用がどれくらいかかるのか心配です。
- 少ない年金の中から天引きされる介護保険料、毎回がっかりしてしまいます。久喜市は他の市町村に比べて低額とのこと。有難く思っております。さらなる適正化を図っていただけたらと期待しております。
- 必要が生じた時に市のHPにアクセスしますので、内容をより分かり易く……の配慮をお願いします。

要介護認定者調査 調査結果

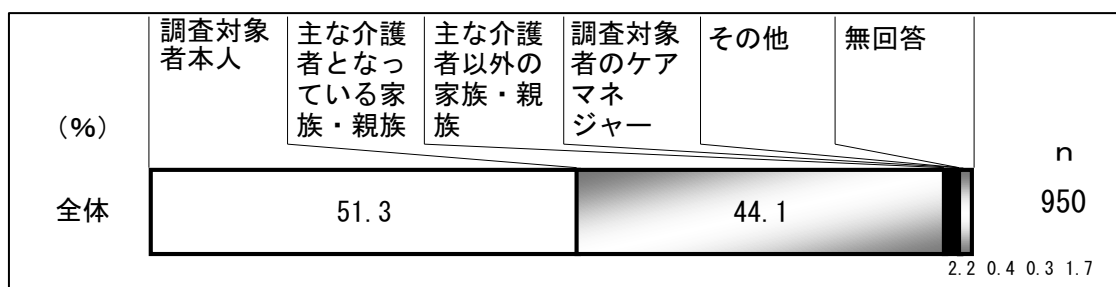
1 宛名の本人について

(1) 回答者

問1 A票にご回答をいただいているのは、どなたですか。

回答者については、「調査対象者本人」が51.3%、「主な介護者となっている家族・親族」が44.1%、「主な介護者以外の家族・親族」が2.2%、「調査対象者のケアマネジャー」が0.4%の順となっている。

図表 回答者（全体）

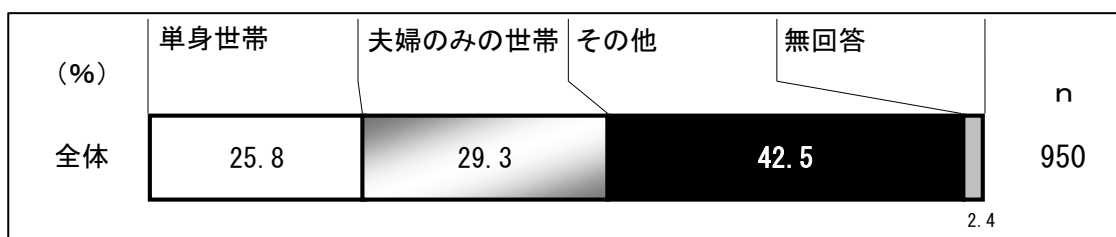


(2) 世帯類型

問2 世帯類型について、ご回答ください。

世帯類型については、「夫婦のみの世帯」が29.3%、「単身世帯」が25.8%の順となっている。

図表 世帯類型（全体）



(3) 家族等の介護の頻度

問3 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。

- 「ほぼ毎日ある」が5割弱、「ない」が2割強を占める。

家族等の介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が45.7%、「ない」が23.6%、「週に1～2日ある」が10.9%、「介護はあるが週に1日よりも少ない」が8.7%、「週に3～4日ある」が5.9%の順となっている。

年齢で見ると、85歳以上では「ほぼ毎日ある」が5割以上を占めている。

図表 家族等の介護の頻度（全体・属性別）

	ない	介護はあるが週に1日よりも少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答	n	
全体	23.6	8.7	10.9	5.9	45.7	5.2	950	
性別								
男性	25.1	9.9	11.6	3.0	43.6	6.9	303	
女性	22.9	8.2	10.7	7.3	46.7		647	
年齢								
65～74歳	29.1	6.8	8.5	4.3	48.7	2.6	117	
75～84歳	30.4	9.5	10.8	4.6	39.4	5.2	388	
85歳以上	16.2	9.2	12.1	6.3	50.3	5.8	445	
居住地区								
久喜西地区	23.0	12.0	13.1	2.1	44.0	5.8	191	
久喜東地区	25.4	9.6	8.8	6.7	45.8	3.8	240	
菖蒲地区	26.0	7.1	11.0	4.7	46.5	4.7	127	
栗橋地区	19.8	9.1	11.2	8.6	47.7	3.6	197	
鷺宮地区	24.1	5.1	11.3	6.7	44.6	8.2	195	
要介護度								
要支援1・2	43.2		13.2	15.0	5.1	15.8	7.7	273
要介護1・2	16.4	7.5	11.3	6.1	54.1	4.6	477	
要介護3～5	14.0	5.5	6.5	4.5	66.5	3.0	200	

(4) 主な介護者

※問3-1から問3-5は、問3で「2.」～「5.」のいずれかを回答した方にお聞きします。
問3-1 主な介護者はどなたですか。

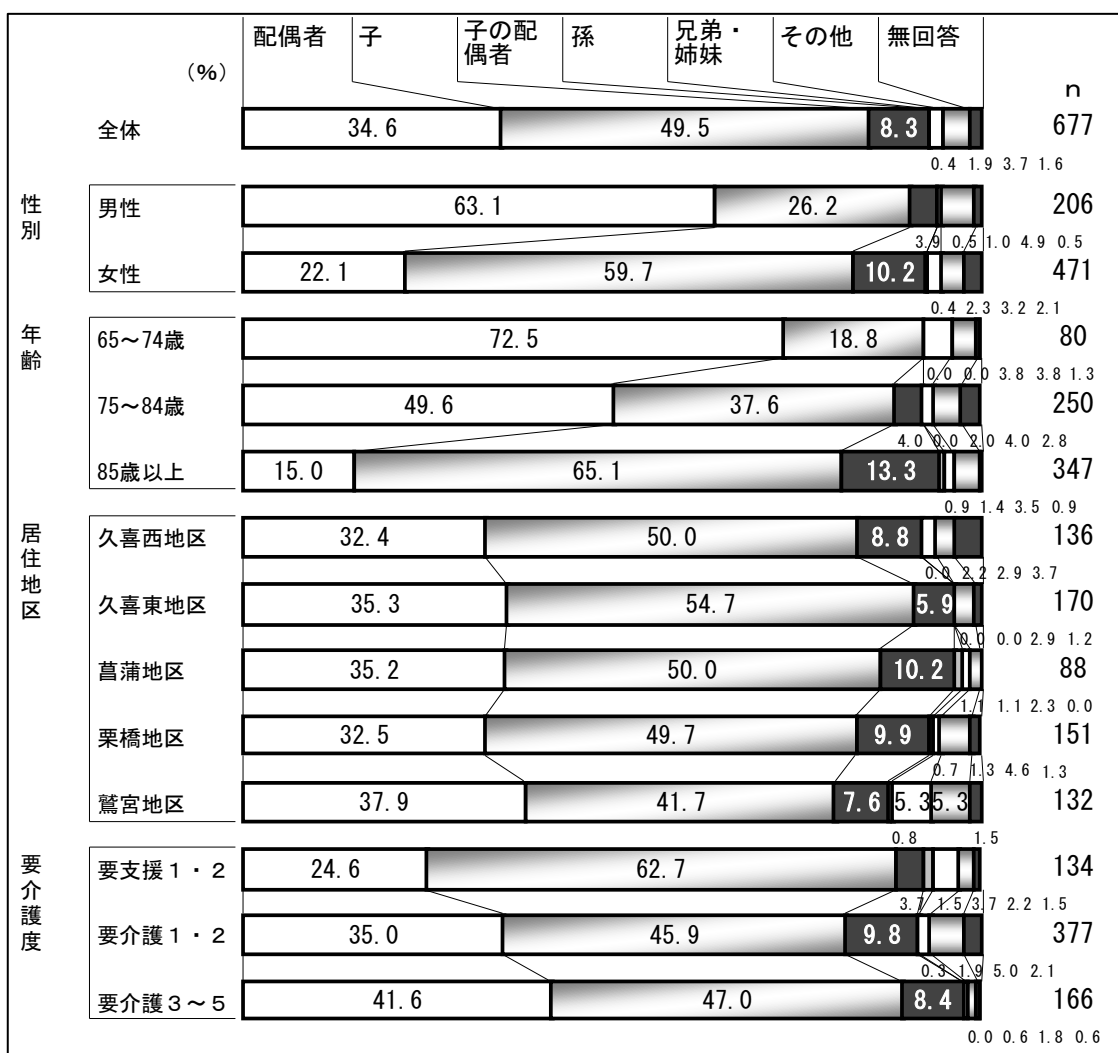
- 「子」が5割弱、「配偶者」が3割強を占める。

主な介護者については、「子」が49.5%、「配偶者」が34.6%、「子の配偶者」が8.3%、「兄弟・姉妹」が1.9%、「孫」が0.4%の順となっている。

性別でみると、男性では「配偶者」が63.1%となっているのに対し、女性では「子」が59.7%とそれぞれ過半数を占めている。

要介護度でみると、要介護度が上昇するにつれて「配偶者」の割合が高くなっている。

図表 主な介護者（全体・属性別）



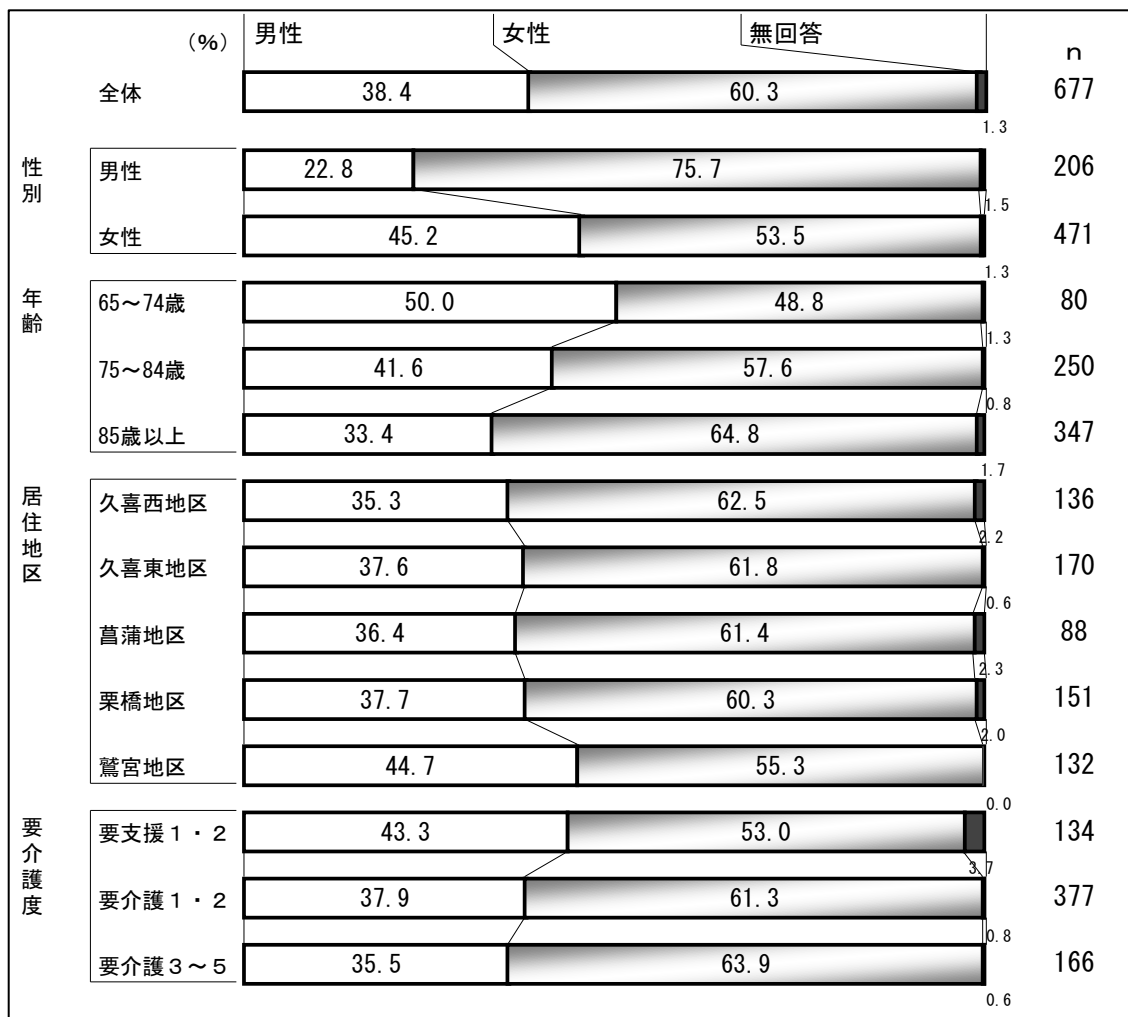
(5) 主な介護者の性別

問 3-2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。

- 「女性」が6割強、「男性」が4割弱を占める。

主な介護者の性別については、「女性」が60.3%、「男性」が38.4%の順となっている。

図表 主な介護者の性別（全体・属性別）



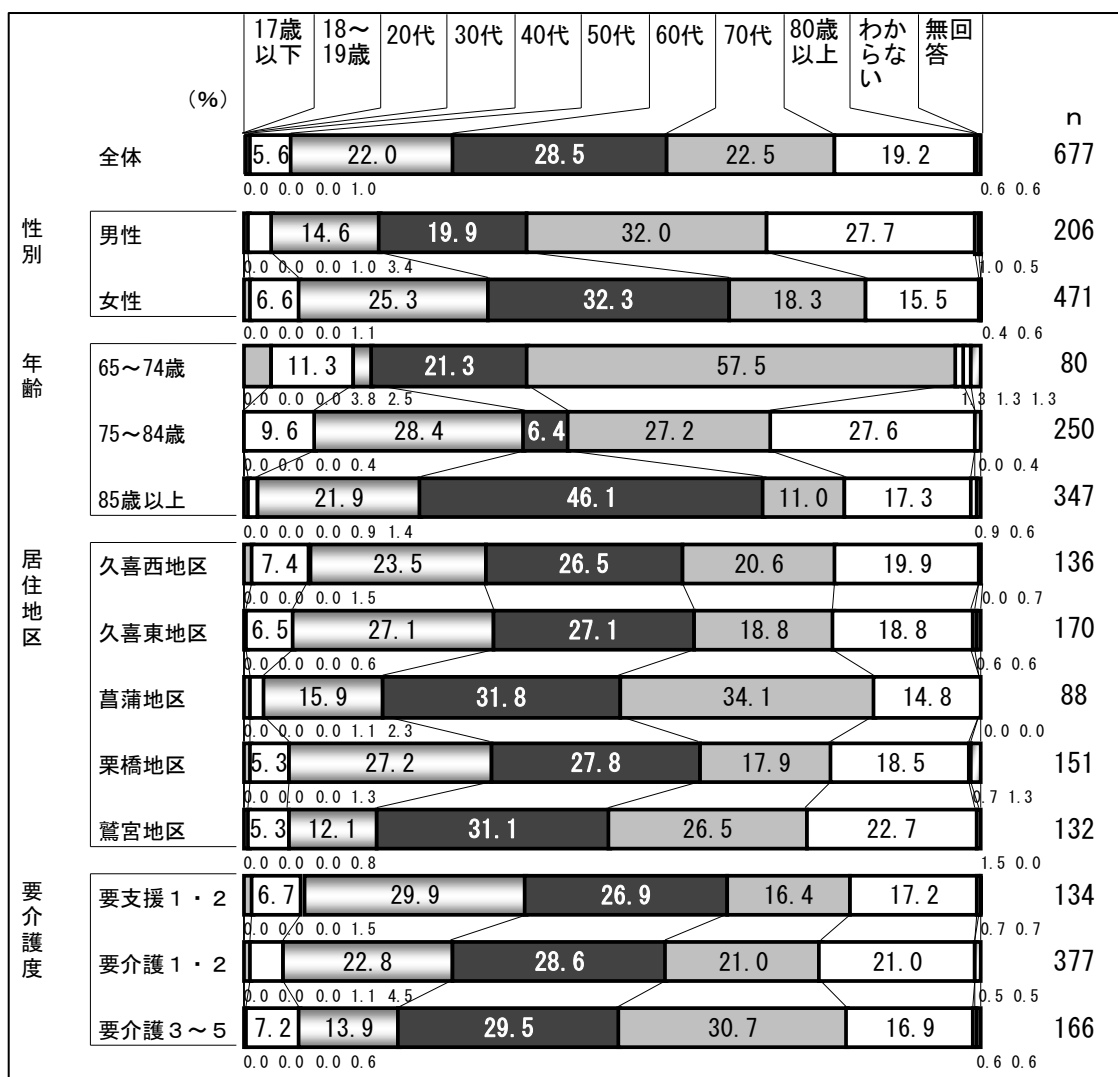
(6) 主な介護者の年齢

問 3-3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。

- 「60代」が3割弱、「70代」、「50代」がともに2割強を占める。

主な介護者の年齢については、「60代」が28.5%、「70代」が22.5%、「50代」が22.0%、「80歳以上」が19.2%、「40代」が5.6%、「30代」が1.0%、「17歳以下」・「18～19歳」・「20代」が同率で0.0%の順となっている。

図表 主な介護者の年齢（全体・属性別）



(7) 介護者が行っている介護

問3-4 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。【複数回答】

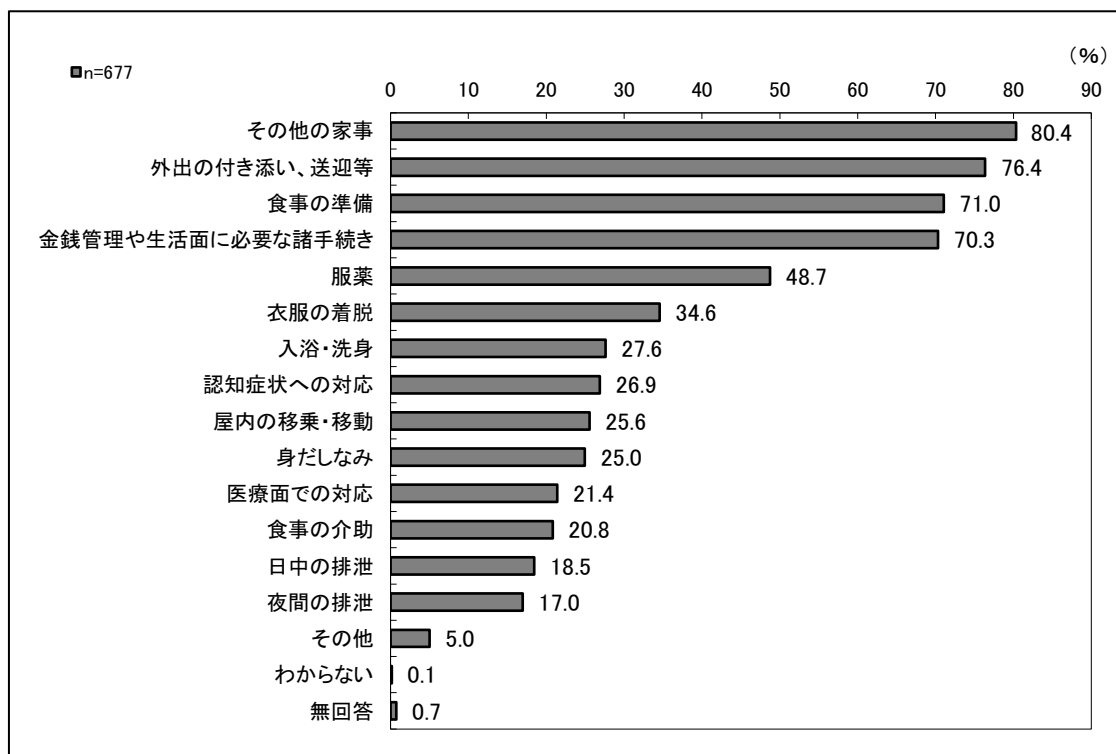
- 「その他の家事」が第1位。「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備」などが続く。

介護者が行っている介護については、「その他の家事」(80.4%)が最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」(76.4%)、「食事の準備」(71.0%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(70.3%)、「服薬」(48.7%)、「衣服の着脱」(34.6%)、「入浴・洗身」(27.6%)、「認知症状への対応」(26.9%)、「屋内の移乗・移動」(25.6%)、「身だしなみ」(25.0%)、「医療面での対応」(21.4%)、「食事の介助」(20.8%)、「日中の排泄」(18.5%)、「夜間の排泄」(17.0%)の順となっている。

居住地区でみると、久喜東地区では「外出の付き添い、送迎等」が第1位となっている。

要介護度でみると、要支援1・2では「外出の付き添い、送迎等」が第1位となっている。

図表 介護者が行っている介護（全体／複数回答）



図表 介護者が行っている介護（全体・属性別－第1位／複数回答）

		合計	問3-4 介護者が行っている介護								
			日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助	入浴・洗身	身だしなみ	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全体		677 100.0%	125 18.5%	115 17.0%	141 20.8%	187 27.6%	169 25.0%	234 34.6%	173 25.6%	517 76.4%	330 48.7%
性別	男性	206 100.0%	40 19.4%	37 18.0%	47 22.8%	77 37.4%	56 27.2%	92 44.7%	55 26.7%	146 70.9%	102 49.5%
	女性	471 100.0%	85 18.0%	78 16.6%	94 20.0%	110 23.4%	113 24.0%	142 30.1%	118 25.1%	371 78.8%	228 48.4%
年齢	65～74歳	80 100.0%	16 20.0%	14 17.5%	17 21.3%	30 37.5%	18 22.5%	33 41.3%	22 27.5%	64 80.0%	32 40.0%
	75～84歳	250 100.0%	50 20.0%	44 17.6%	53 21.2%	73 29.2%	66 26.4%	83 33.2%	57 22.8%	191 76.4%	118 47.2%
	85歳以上	347 100.0%	59 17.0%	57 16.4%	71 20.5%	84 24.2%	85 24.5%	118 34.0%	94 27.1%	262 75.5%	180 51.9%
居住地区	久喜西地区	136 100.0%	25 18.4%	19 14.0%	31 22.8%	34 25.0%	35 25.7%	45 33.1%	31 22.8%	103 75.7%	66 48.5%
	久喜東地区	170 100.0%	24 14.1%	27 15.9%	29 17.1%	56 32.9%	40 23.5%	64 37.6%	38 22.4%	129 75.9%	79 46.5%
	菖蒲地区	88 100.0%	19 21.6%	14 15.9%	19 21.6%	22 25.0%	25 28.4%	32 36.4%	27 30.7%	69 78.4%	48 54.5%
	栗橋地区	151 100.0%	28 18.5%	26 17.2%	29 19.2%	37 24.5%	33 21.9%	48 31.8%	38 25.2%	116 76.8%	70 46.4%
	鷺宮地区	132 100.0%	29 22.0%	29 22.0%	33 25.0%	38 28.8%	36 27.3%	45 34.1%	39 29.5%	100 75.8%	67 50.8%
	要介護度	要支援1・2	134 100.0%	2 1.5%	5 3.7%	7 5.2%	8 6.0%	6 4.5%	8 6.0%	15 11.2%	108 80.6%
	要介護1・2	377 100.0%	29 7.7%	34 9.0%	51 13.5%	108 28.6%	63 16.7%	103 27.3%	68 18.0%	288 76.4%	182 48.3%
	要介護3～5	166 100.0%	94 56.6%	76 45.8%	83 50.0%	71 42.8%	100 60.2%	123 74.1%	90 54.2%	121 72.9%	124 74.7%

		合計	問3-4 介護者が行っている介護								
			認知症状への対応	医療面での対応	食事の準備	その他の家事	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答	非該当
全体		677 100.0%	182 26.9%	145 21.4%	481 71.0%	544 80.4%	476 70.3%	34 5.0%	1 0.1%	5 0.7%	273
性別	男性	206 100.0%	49 23.8%	57 27.7%	154 74.8%	157 76.2%	141 68.4%	8 3.9%	1 0.5%	1 0.5%	97
	女性	471 100.0%	133 28.2%	88 18.7%	327 69.4%	387 82.2%	335 71.1%	26 5.5%	0 0.0%	4 0.8%	176
年齢	65～74歳	80 100.0%	11 13.8%	17 21.3%	62 77.5%	67 83.8%	56 70.0%	5 6.3%	0 0.0%	1 1.3%	37
	75～84歳	250 100.0%	66 26.4%	57 22.8%	165 66.0%	195 78.0%	167 66.8%	10 4.0%	0 0.0%	1 0.4%	138
	85歳以上	347 100.0%	105 30.3%	71 20.5%	254 73.2%	282 81.3%	253 72.9%	19 5.5%	1 0.3%	3 0.9%	98
居住地区	久喜西地区	136 100.0%	39 28.7%	34 25.0%	99 72.8%	114 83.8%	88 64.7%	6 4.4%	0 0.0%	0 0.0%	55
	久喜東地区	170 100.0%	52 30.6%	34 20.0%	113 66.5%	127 74.7%	118 69.4%	10 5.9%	1 0.6%	2 1.2%	70
	菖蒲地区	88 100.0%	19 21.6%	17 19.3%	71 80.7%	72 81.8%	66 75.0%	5 5.7%	0 0.0%	0 0.0%	39
	栗橋地区	151 100.0%	36 23.8%	27 17.9%	104 68.9%	118 78.1%	102 67.5%	7 4.6%	0 0.0%	3 2.0%	46
	鷺宮地区	132 100.0%	36 27.3%	33 25.0%	94 71.2%	113 85.6%	102 77.3%	6 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	63
	要介護度	要支援1・2	134 100.0%	7 5.2%	15 11.2%	61 45.5%	92 68.7%	59 44.0%	10 7.5%	0 0.0%	3 2.2%
	要介護1・2	377 100.0%	107 28.4%	78 20.7%	273 72.4%	301 79.8%	277 73.5%	19 5.0%	1 0.3%	1 0.3%	100
	要介護3～5	166 100.0%	68 41.0%	52 31.3%	147 88.6%	151 91.0%	140 84.3%	5 3.0%	0 0.0%	1 0.6%	34

(8) 介護のための離職の有無

問 3-5 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。【複数回答】



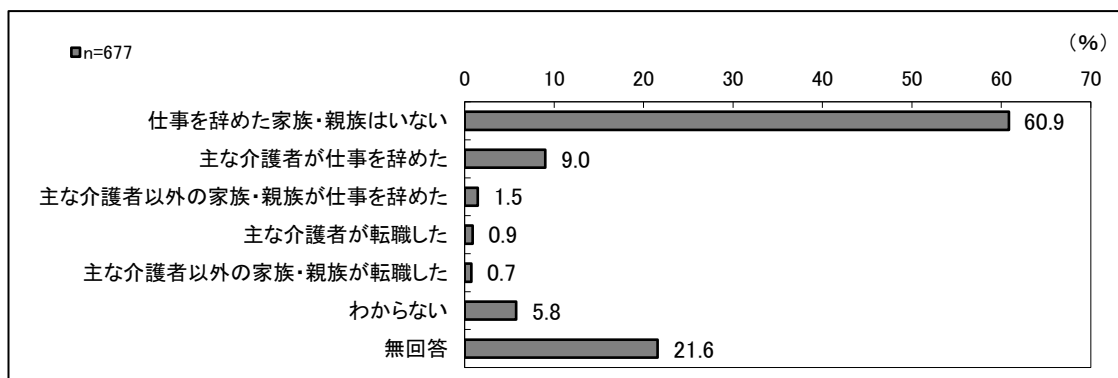
- 「仕事を辞めた家族・親族はいない」が60.9%を占める。

介護のための離職の有無については、「仕事を辞めた家族・親族はいない」（60.9%）が最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた」（9.0%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた」（1.5%）、「主な介護者が転職した」（0.9%）、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」（0.7%）の順となっている。

なお、「わからない」は5.8%となっている。

いずれの属性でも「仕事を辞めた家族・親族はいない」が第1位となっている。

図表 介護のための離職の有無（全体／複数回答）



図表 介護のための離職の有無（全体・属性別－第1位／複数回答）

		合計	問3-5 介護のための離職の有無							無回答	非該当
			主な介護者が仕事を辞めた	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない			
全体		677 100.0%	61 9.0%	10 1.5%	6 0.9%	5 0.7%	412 60.9%	39 5.8%	146 21.6%	273	
性別	男性	206 100.0%	19 9.2%	2 1.0%	2 1.0%	2 1.0%	112 54.4%	13 6.3%	57 27.7%	97	
	女性	471 100.0%	42 8.9%	8 1.7%	4 0.8%	3 0.6%	300 63.7%	26 5.5%	89 18.9%	176	
年齢	65～74歳	80 100.0%	13 16.3%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	42 52.5%	4 5.0%	20 25.0%	37	
	75～84歳	250 100.0%	14 5.6%	3 1.2%	2 0.8%	5 2.0%	144 57.6%	19 7.6%	63 25.2%	138	
	85歳以上	347 100.0%	34 9.8%	6 1.7%	4 1.2%	0 0.0%	226 65.1%	16 4.6%	63 18.2%	98	
居住地区	久喜西地区	136 100.0%	17 12.5%	1 0.7%	2 1.5%	2 1.5%	74 54.4%	6 4.4%	35 25.7%	55	
	久喜東地区	170 100.0%	16 9.4%	2 1.2%	1 0.6%	0 0.0%	107 62.9%	12 7.1%	32 18.8%	70	
	菖蒲地区	88 100.0%	6 6.8%	1 1.1%	2 2.3%	1 1.1%	58 65.9%	6 6.8%	15 17.0%	39	
	栗橋地区	151 100.0%	14 9.3%	4 2.6%	0 0.0%	1 0.7%	90 59.6%	10 6.6%	32 21.2%	46	
	鷺宮地区	132 100.0%	8 6.1%	2 1.5%	1 0.8%	1 0.8%	83 62.9%	5 3.8%	32 24.2%	63	
要介護度	要支援1・2	134 100.0%	5 3.7%	0 0.0%	3 2.2%	0 0.0%	85 63.4%	12 9.0%	29 21.6%	139	
	要介護1・2	377 100.0%	34 9.0%	9 2.4%	2 0.5%	3 0.8%	229 60.7%	18 4.8%	82 21.8%	100	
	要介護3～5	166 100.0%	22 13.3%	1 0.6%	1 0.6%	2 1.2%	98 59.0%	9 5.4%	35 21.1%	34	

(9) 利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス

問4 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。【複数回答】

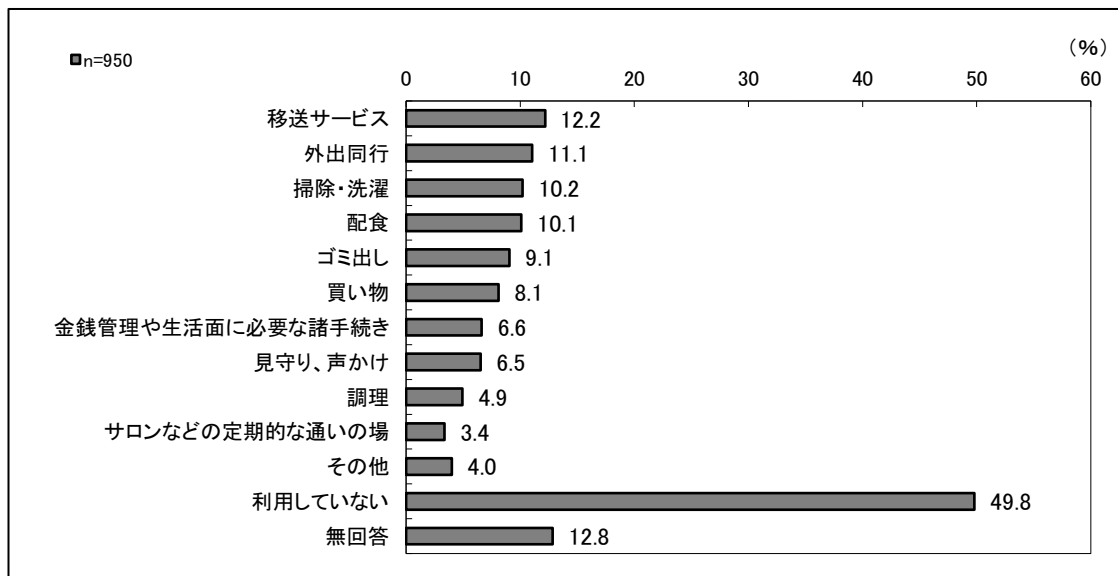
- 「利用していない」が49.8%を占める。

利用中の介護保険サービス以外の支援・サービスについては、「移送サービス」(12.2%)が最も多く、次いで「外出同行」(11.1%)、「掃除・洗濯」(10.2%)、「配食」(10.1%)、「ゴミ出し」(9.1%)、「買い物」(8.1%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(6.6%)、「見守り、声かけ」(6.5%)、「調理」(4.9%)、「サロンなどの定期的な通いの場」(3.4%)の順となっている。

なお、「利用していない」は49.8%となっている。

いずれの属性でも「利用していない」が第1位となっている。

図表 利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス（全体／複数回答）



図表 利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス
(全体・属性別—第1位/複数回答)

	合計	問4 利用中の介護保険以外の支援・サービス									
		配食	調理	掃除・洗濯	買い物	ゴミ出し	外出同行	移送サービス	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	
全体	950 100.0%	96 10.1%	47 4.9%	97 10.2%	77 8.1%	86 9.1%	105 11.1%	116 12.2%	62 6.5%	32 3.4%	
性別	男性	303 100.0%	39 12.9%	22 7.3%	38 12.5%	27 8.9%	33 10.9%	36 11.9%	48 15.8%	22 7.3%	8 2.6%
	女性	647 100.0%	57 8.8%	25 3.9%	59 9.1%	50 7.7%	53 8.2%	69 10.7%	68 10.5%	40 6.2%	24 3.7%
年齢	65～74歳	117 100.0%	8 6.8%	5 4.3%	13 11.1%	10 8.5%	9 7.7%	13 11.1%	6 5.1%	5 4.3%	4 3.4%
	75～84歳	388 100.0%	41 10.6%	22 5.7%	43 11.1%	32 8.2%	36 9.3%	42 10.8%	63 16.2%	28 7.2%	9 2.3%
	85歳以上	445 100.0%	47 10.6%	20 4.5%	41 9.2%	35 7.9%	41 9.2%	50 11.2%	47 10.6%	29 6.5%	19 4.3%
居住地区	久喜西地区	191 100.0%	21 11.0%	12 6.3%	19 9.9%	20 10.5%	19 9.9%	29 15.2%	18 9.4%	19 9.9%	5 2.6%
	久喜東地区	240 100.0%	18 7.5%	9 3.8%	20 8.3%	16 6.7%	18 7.5%	23 9.6%	36 15.0%	15 6.3%	11 4.6%
	菖蒲地区	127 100.0%	11 8.7%	4 3.1%	9 7.1%	8 6.3%	9 7.1%	10 7.9%	14 11.0%	9 7.1%	2 1.6%
	栗橋地区	197 100.0%	23 11.7%	9 4.6%	15 7.6%	13 6.6%	11 5.6%	15 7.6%	25 12.7%	7 3.6%	6 3.0%
	鷲宮地区	195 100.0%	23 11.8%	13 6.7%	34 17.4%	20 10.3%	29 14.9%	28 14.4%	23 11.8%	12 6.2%	8 4.1%
要介護度	要支援1・2	273 100.0%	27 9.9%	13 4.8%	29 10.6%	26 9.5%	26 9.5%	38 13.9%	35 12.8%	20 7.3%	8 2.9%
	要介護1・2	477 100.0%	54 11.3%	23 4.8%	53 11.1%	41 8.6%	44 9.2%	57 11.9%	52 10.9%	29 6.1%	21 4.4%
	要介護3～5	200 100.0%	15 7.5%	11 5.5%	15 7.5%	10 5.0%	16 8.0%	10 5.0%	29 14.5%	13 6.5%	3 1.5%

	合計	問4 利用中の介護保険以外の支援・サービス				
		金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	利用していない	無回答	
全体	950 100.0%	63 6.6%	38 4.0%	473 49.8%	122 12.8%	
性別	男性	303 100.0%	16 5.3%	12 4.0%	139 45.9%	33 10.9%
	女性	647 100.0%	47 7.3%	26 4.0%	334 51.6%	89 13.8%
年齢	65～74歳	117 100.0%	5 4.3%	2 1.7%	63 53.8%	17 14.5%
	75～84歳	388 100.0%	28 7.2%	18 4.6%	176 45.4%	58 14.9%
	85歳以上	445 100.0%	30 6.7%	18 4.0%	234 52.6%	47 10.6%
居住地区	久喜西地区	191 100.0%	18 9.4%	8 4.2%	83 43.5%	29 15.2%
	久喜東地区	240 100.0%	18 7.5%	13 5.4%	122 50.8%	24 10.0%
	菖蒲地区	127 100.0%	7 5.5%	4 3.1%	77 60.6%	15 11.8%
	栗橋地区	197 100.0%	6 3.0%	8 4.1%	98 49.7%	32 16.2%
	鷲宮地区	195 100.0%	14 7.2%	5 2.6%	93 47.7%	22 11.3%
要介護度	要支援1・2	273 100.0%	19 7.0%	11 4.0%	120 44.0%	37 13.6%
	要介護1・2	477 100.0%	34 7.1%	13 2.7%	251 52.6%	52 10.9%
	要介護3～5	200 100.0%	10 5.0%	14 7.0%	102 51.0%	33 16.5%

(10) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問5 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。【複数回答】

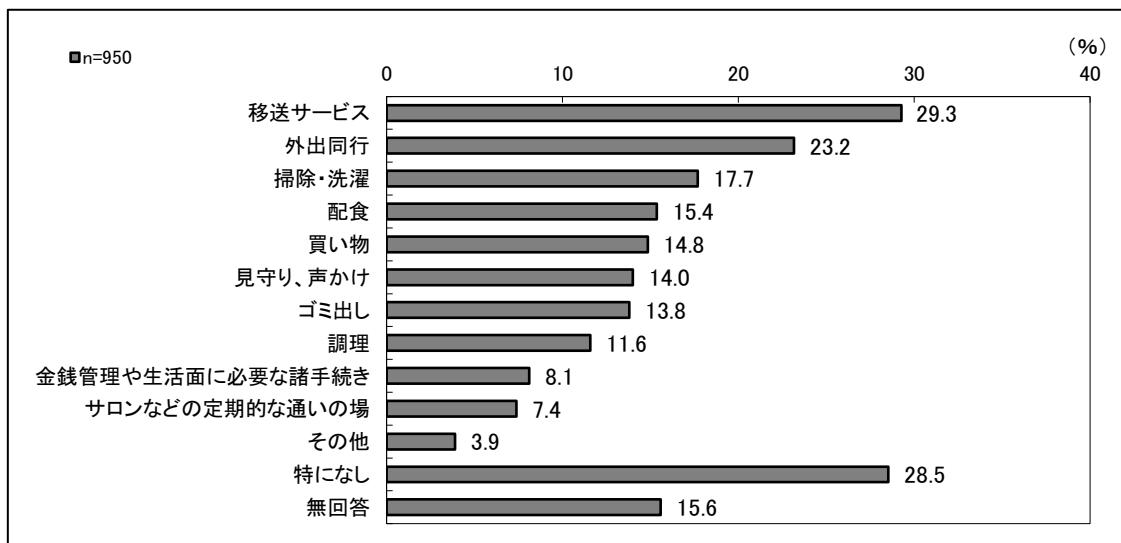
- 「移送サービス」が第1位。「特になし」は28.5%を占める。

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス」(29.3%)が最も多く、次いで「外出同行」(23.2%)、「掃除・洗濯」(17.7%)、「配食」(15.4%)、「買い物」(14.8%)、「見守り、声かけ」(14.0%)、「ゴミ出し」(13.8%)、「調理」(11.6%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(8.1%)、「サロンなどの定期的な通いの場」(7.4%)の順となっている。

なお、「特になし」は28.5%となっている。

居住地区でみると、久喜西地区では「外出同行」が第1位となっている。

図表 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（全体／複数回答）



図表 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス
(全体・属性別—第1位/複数回答)

	合計	問5 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス									
		配食	調理	掃除・洗濯	買い物	ゴミ出し	外出同行	移送サービス	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	
全体	950 100.0%	146 15.4%	110 11.6%	168 17.7%	141 14.8%	131 13.8%	220 23.2%	278 29.3%	133 14.0%	70 7.4%	
性別	男性	303 100.0%	57 18.8%	46 15.2%	56 18.5%	50 16.5%	41 13.5%	68 22.4%	100 33.0%	49 16.2%	15 5.0%
	女性	647 100.0%	89 13.8%	64 9.9%	112 17.3%	91 14.1%	90 13.9%	152 23.5%	178 27.5%	84 13.0%	55 8.5%
年齢	65～74歳	117 100.0%	12 10.3%	13 11.1%	19 16.2%	17 14.5%	12 10.3%	29 24.8%	27 23.1%	11 9.4%	6 5.1%
	75～84歳	388 100.0%	64 16.5%	52 13.4%	76 19.6%	56 14.4%	60 15.5%	96 24.7%	122 31.4%	58 14.9%	29 7.5%
	85歳以上	445 100.0%	70 15.7%	45 10.1%	73 16.4%	68 15.3%	59 13.3%	95 21.3%	129 29.0%	64 14.4%	35 7.9%
居住地区	久喜西地区	191 100.0%	32 16.8%	24 12.6%	36 18.8%	32 16.8%	27 14.1%	57 29.8%	56 29.3%	31 16.2%	21 11.0%
	久喜東地区	240 100.0%	33 13.8%	20 8.3%	29 12.1%	27 11.3%	24 10.0%	44 18.3%	67 27.9%	36 15.0%	18 7.5%
	菖蒲地区	127 100.0%	20 15.7%	22 17.3%	24 18.9%	20 15.7%	16 12.6%	25 19.7%	36 28.3%	15 11.8%	9 7.1%
	栗橋地区	197 100.0%	26 13.2%	18 9.1%	32 16.2%	21 10.7%	26 13.2%	45 22.8%	60 30.5%	23 11.7%	9 4.6%
	鷲宮地区	195 100.0%	35 17.9%	26 13.3%	47 24.1%	41 21.0%	38 19.5%	49 25.1%	59 30.3%	28 14.4%	13 6.7%
	要介護度	要支援1・2	273 100.0%	45 16.5%	32 11.7%	50 18.3%	43 15.8%	40 14.7%	65 23.8%	79 28.9%	40 14.7%
要介護1・2	477 100.0%	70 14.7%	51 10.7%	89 18.7%	70 14.7%	67 14.0%	110 23.1%	134 28.1%	66 13.8%	39 8.2%	
要介護3～5	200 100.0%	31 15.5%	27 13.5%	29 14.5%	28 14.0%	24 12.0%	45 22.5%	65 32.5%	27 13.5%	14 7.0%	

	合計	問5 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス				
		金銭管理 や生活面 に必要な 諸手続き	その他	特になし	無回答	
全体	950 100.0%	77 8.1%	37 3.9%	271 28.5%	148 15.6%	
性別	男性	303 100.0%	23 7.6%	8 2.6%	77 25.4%	43 14.2%
	女性	647 100.0%	54 8.3%	29 4.5%	194 30.0%	105 16.2%
年齢	65～74歳	117 100.0%	6 5.1%	7 6.0%	36 30.8%	19 16.2%
	75～84歳	388 100.0%	28 7.2%	11 2.8%	102 26.3%	67 17.3%
	85歳以上	445 100.0%	43 9.7%	19 4.3%	133 29.9%	62 13.9%
居住地区	久喜西地区	191 100.0%	16 8.4%	4 2.1%	53 27.7%	29 15.2%
	久喜東地区	240 100.0%	20 8.3%	9 3.8%	74 30.8%	37 15.4%
	菖蒲地区	127 100.0%	7 5.5%	2 1.6%	44 34.6%	19 15.0%
	栗橋地区	197 100.0%	10 5.1%	11 5.6%	51 25.9%	29 14.7%
	鷲宮地区	195 100.0%	24 12.3%	11 5.6%	49 25.1%	34 17.4%
	要介護度	要支援1・2	273 100.0%	23 8.4%	4 1.5%	70 25.6%
要介護1・2	477 100.0%	35 7.3%	21 4.4%	138 28.9%	66 13.8%	
要介護3～5	200 100.0%	19 9.5%	12 6.0%	63 31.5%	34 17.0%	

(11) 施設等への入所・入居の検討状況

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてご回答ください。

- 「入所・入居は検討していない」が6割強、「入所・入居を検討している」が2割弱を占める。

施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が64.9%、「入所・入居を検討している」が19.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が8.1%の順となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高くなっている。

図表 施設等への入所・入居の検討状況（全体・属性別）

	(%)	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答	n
全体		64.9	19.4	8.1	7.6	950
性別	男性	65.7	17.5	7.9	8.9	303
	女性	64.6	20.2	8.2	7.0	647
年齢	65～74歳	75.2	13.7	3.4	7.7	117
	75～84歳	70.1	16.0	5.7	8.2	388
	85歳以上	57.8	23.8	11.5	7.0	445
居住地区	久喜西地区	60.7	20.4	8.9	9.9	191
	久喜東地区	68.3	15.8	8.8	7.1	240
	菖蒲地区	65.4	24.4	3.9	6.3	127
	栗橋地区	65.0	19.3	8.6	7.1	197
	鷲宮地区	64.6	19.5	8.7	7.2	195
要介護度	要支援1・2	75.8	12.1	2.2	9.9	273
	要介護1・2	65.8	23.1	4.2	6.9	477
	要介護3～5	48.0	20.5	25.5	6.0	200

(12) 現在抱えている傷病

問7 ご本人（調査対象者）が現在抱えている傷病について、ご回答ください。【複数回答】

- 「筋骨格系疾患」が第1位。「認知症」、「眼科・耳鼻科疾患」などが続く。

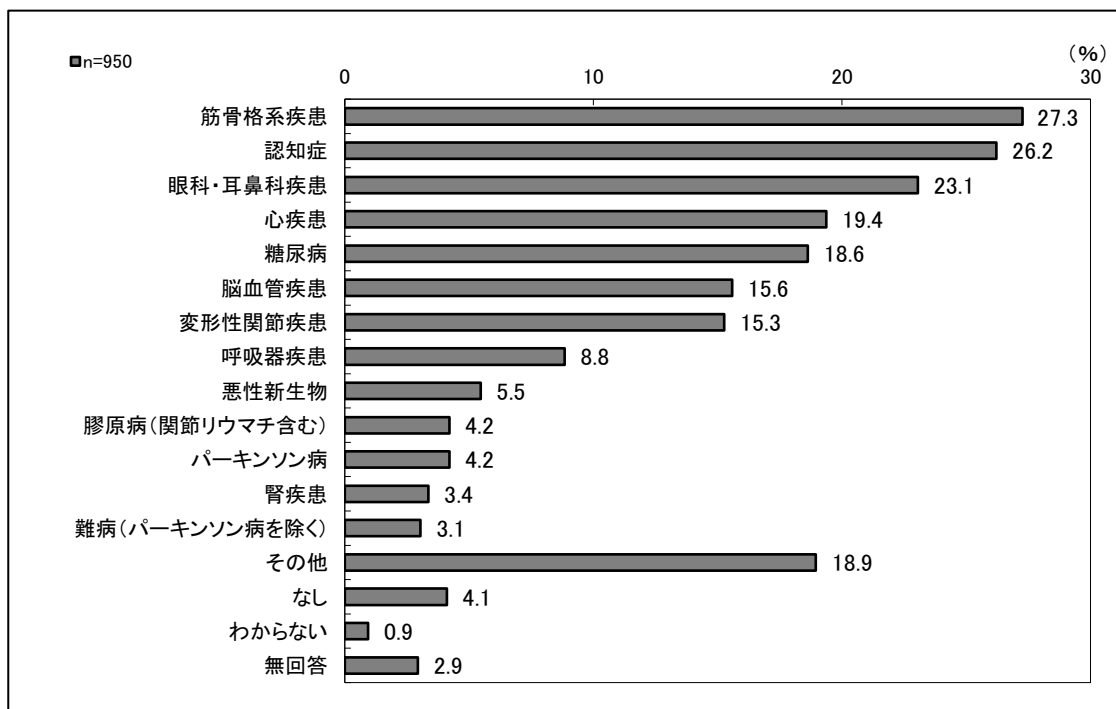
現在抱えている傷病については、「筋骨格系疾患」(27.3%)が最も多く、次いで「認知症」(26.2%)、「眼科・耳鼻科疾患」(23.1%)、「心疾患」(19.4%)、「糖尿病」(18.6%)、「脳血管疾患」(15.6%)、「変形性関節疾患」(15.3%)、「呼吸器疾患」(8.8%)、「悪性新生物」(5.5%)、「膠原病(関節リウマチ含む)」(4.2%)、「パーキンソン病」(4.2%)、「腎疾患」(3.4%)、「難病(パーキンソン病を除く)」(3.1%)の順となっている。

なお、「なし」は4.1%となっている。

性別で見ると、男性では「眼科・耳鼻科疾患」が第1位となっている。

年齢で見ると、65～74歳では「糖尿病」、75～84歳では「筋骨格系疾患」、85歳以上では「認知症」が第1位となっている。

図表 現在抱えている傷病（全体／複数回答）



図表 現在抱えている傷病（全体・属性別－第1位／複数回答）

		合計	問7 現在抱えている傷病								
			脳血管疾患	心疾患	悪性新生物	呼吸器疾患	腎疾患	筋骨格系疾患	膠原病 (関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症
全体		950 100.0%	148 15.6%	184 19.4%	52 5.5%	84 8.8%	32 3.4%	259 27.3%	40 4.2%	145 15.3%	249 26.2%
性別	男性	303 100.0%	70 23.1%	67 22.1%	23 7.6%	33 10.9%	22 7.3%	50 16.5%	6 2.0%	28 9.2%	65 21.5%
	女性	647 100.0%	78 12.1%	117 18.1%	29 4.5%	51 7.9%	10 1.5%	209 32.3%	34 5.3%	117 18.1%	184 28.4%
年齢	65～74歳	117 100.0%	30 25.6%	12 10.3%	4 3.4%	8 6.8%	8 6.8%	25 21.4%	9 7.7%	8 6.8%	13 11.1%
	75～84歳	388 100.0%	71 18.3%	69 17.8%	28 7.2%	34 8.8%	11 2.8%	106 27.3%	19 4.9%	63 16.2%	93 24.0%
	85歳以上	445 100.0%	47 10.6%	103 23.1%	20 4.5%	42 9.4%	13 2.9%	128 28.8%	12 2.7%	74 16.6%	143 32.1%
居住地区	久喜西地区	191 100.0%	31 16.2%	43 22.5%	12 6.3%	16 8.4%	5 2.6%	60 31.4%	5 2.6%	28 14.7%	49 25.7%
	久喜東地区	240 100.0%	36 15.0%	49 20.4%	14 5.8%	19 7.9%	10 4.2%	68 28.3%	8 3.3%	31 12.9%	69 28.8%
	菖蒲地区	127 100.0%	24 18.9%	24 18.9%	5 3.9%	7 5.5%	3 2.4%	25 19.7%	5 3.9%	22 17.3%	34 26.8%
	栗橋地区	197 100.0%	28 14.2%	33 16.8%	11 5.6%	21 10.7%	9 4.6%	57 28.9%	15 7.6%	36 18.3%	52 26.4%
	鷲宮地区	195 100.0%	29 14.9%	35 17.9%	10 5.1%	21 10.8%	5 2.6%	49 25.1%	7 3.6%	28 14.4%	45 23.1%
	要介護度	要支援1・2	273 100.0%	32 11.7%	39 14.3%	21 7.7%	21 7.7%	8 2.9%	100 36.6%	17 6.2%	68 24.9%
要介護1・2	477 100.0%	75 15.7%	102 21.4%	23 4.8%	44 9.2%	14 2.9%	114 23.9%	13 2.7%	58 12.2%	158 33.1%	
要介護3～5	200 100.0%	41 20.5%	43 21.5%	8 4.0%	19 9.5%	10 5.0%	45 22.5%	10 5.0%	19 9.5%	84 42.0%	

		合計	問7 現在抱えている傷病							
			パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患	その他	なし	わからない	無回答
全体		950 100.0%	40 4.2%	29 3.1%	177 18.6%	219 23.1%	180 18.9%	39 4.1%	9 0.9%	28 2.9%
性別	男性	303 100.0%	16 5.3%	15 5.0%	72 23.8%	76 25.1%	45 14.9%	10 3.3%	1 0.3%	11 3.6%
	女性	647 100.0%	24 3.7%	14 2.2%	105 16.2%	143 22.1%	135 20.9%	29 4.5%	8 1.2%	17 2.6%
年齢	65～74歳	117 100.0%	8 6.8%	11 9.4%	31 26.5%	18 15.4%	23 19.7%	4 3.4%	4 3.4%	3 2.6%
	75～84歳	388 100.0%	25 6.4%	14 3.6%	78 20.1%	93 24.0%	69 17.8%	16 4.1%	2 0.5%	11 2.8%
	85歳以上	445 100.0%	7 1.6%	4 0.9%	68 15.3%	108 24.3%	88 19.8%	19 4.3%	3 0.7%	14 3.1%
居住地区	久喜西地区	191 100.0%	6 3.1%	6 3.1%	37 19.4%	42 22.0%	47 24.6%	12 6.3%	2 1.0%	4 2.1%
	久喜東地区	240 100.0%	9 3.8%	12 5.0%	39 16.3%	51 21.3%	41 17.1%	5 2.1%	1 0.4%	7 2.9%
	菖蒲地区	127 100.0%	3 2.4%	4 3.1%	29 22.8%	33 26.0%	23 18.1%	5 3.9%	0 0.0%	2 1.6%
	栗橋地区	197 100.0%	6 3.0%	3 1.5%	36 18.3%	49 24.9%	30 15.2%	5 2.5%	2 1.0%	5 2.5%
	鷲宮地区	195 100.0%	16 8.2%	4 2.1%	36 18.5%	44 22.6%	39 20.0%	12 6.2%	4 2.1%	10 5.1%
	要介護度	要支援1・2	273 100.0%	4 1.5%	5 1.8%	54 19.8%	72 26.4%	46 16.8%	18 6.6%	3 1.1%
要介護1・2	477 100.0%	22 4.6%	14 2.9%	88 18.4%	115 24.1%	97 20.3%	16 3.4%	2 0.4%	14 2.9%	
要介護3～5	200 100.0%	14 7.0%	10 5.0%	35 17.5%	32 16.0%	37 18.5%	5 2.5%	4 2.0%	4 2.0%	

(13) 訪問診療の利用状況

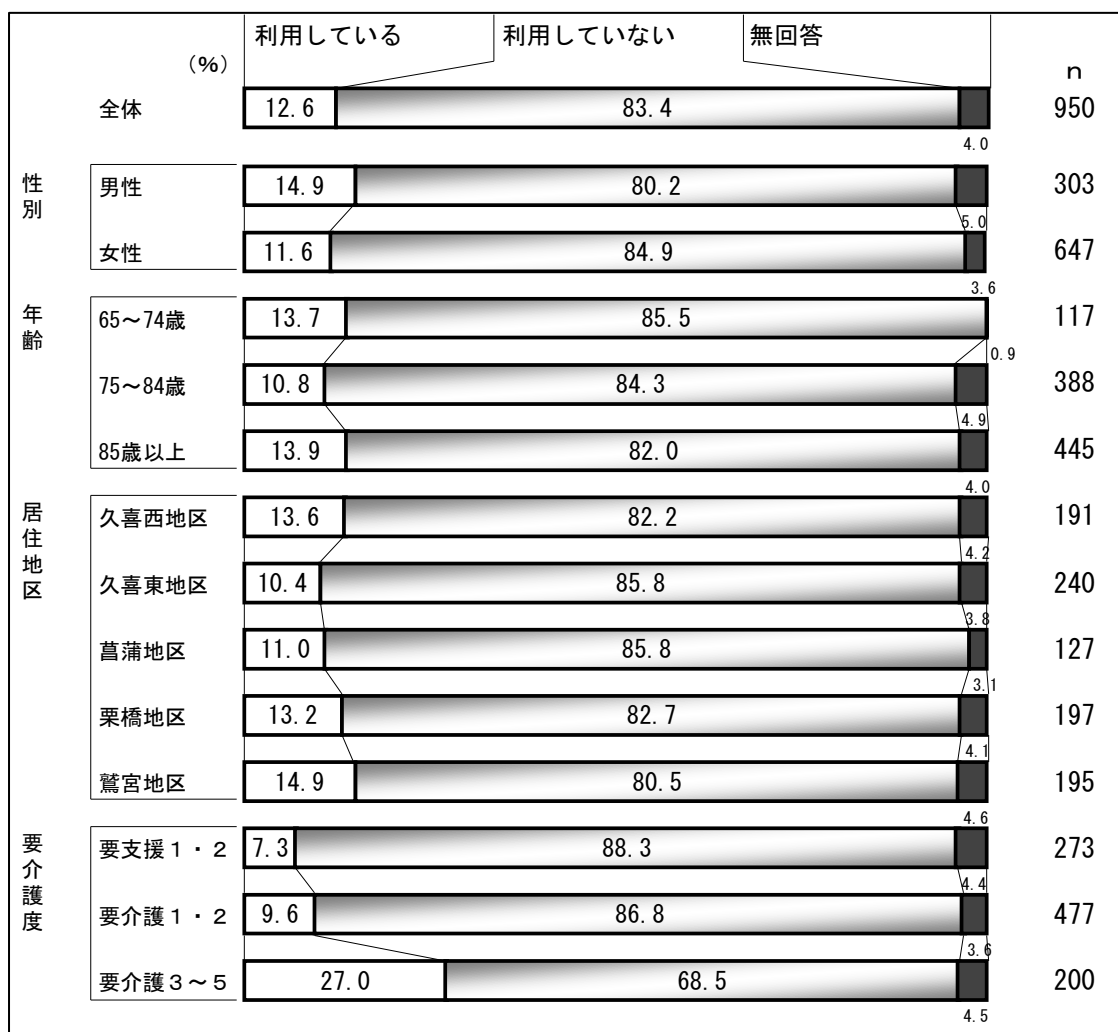
問8 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。

- 「利用していない」が8割強を占める。

訪問診療の利用状況については、「利用していない」が83.4%、「利用している」が12.6%の順となっている。

要介護度でみると、要介護3～5では「利用している」が27.0%となっている。

図表 訪問診療の利用状況（全体・属性別）



(14) 訪問診療の利用意向

問9 訪問診療をしてくれる医師がいたら、利用したいと思いますか。

- 「利用したい」が4割弱、「利用したいとは思わない」が2割弱を占める。

訪問診療の利用意向については、「利用したい」が35.9%、「利用したいとは思わない」が19.6%の順となっている。

なお、「わからない」が33.6%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「利用したい」の割合が高くなっている。

居住地区で見ると、菖蒲地区では「利用したい」の割合が他の地区よりも高く、44.9%となっている。

図表 訪問診療の利用意向（全体・属性別）

		利用したい	利用したいと思 わない	わからない	無回答	n
	(%)					
	全体	35.9	19.6	33.6	10.9	950
性別	男性	37.3	17.8	33.0	11.9	303
	女性	35.2	20.4	33.8	10.5	647
年齢	65～74歳	29.1	28.2	31.6	11.1	117
	75～84歳	30.9	21.1	36.1	11.9	388
	85歳以上	42.0	16.0	31.9	10.1	445
居住地区	久喜西地区	34.6	19.9	34.0	11.5	191
	久喜東地区	32.1	16.7	38.3	12.9	240
	菖蒲地区	44.9	18.1	33.1	3.9	127
	栗橋地区	37.6	22.3	30.5	9.6	197
	鷲宮地区	34.4	21.0	30.8	13.8	195
要介護度	要支援1・2	31.9	24.5	34.4	9.2	273
	要介護1・2	33.5	21.8	35.0	9.6	477
	要介護3～5	47.0	7.5	29.0	16.5	200

(15) 在宅における医療や介護について感じていること

問 10 在宅における医療や介護について感じていることについて、ご回答ください。【複数回答】

- 「自宅で必要な医療行為や介護を受けたい」が第1位。「人生の最期は自宅で迎えたい」、「退院後、病院まで通うことが負担である」などが続く。

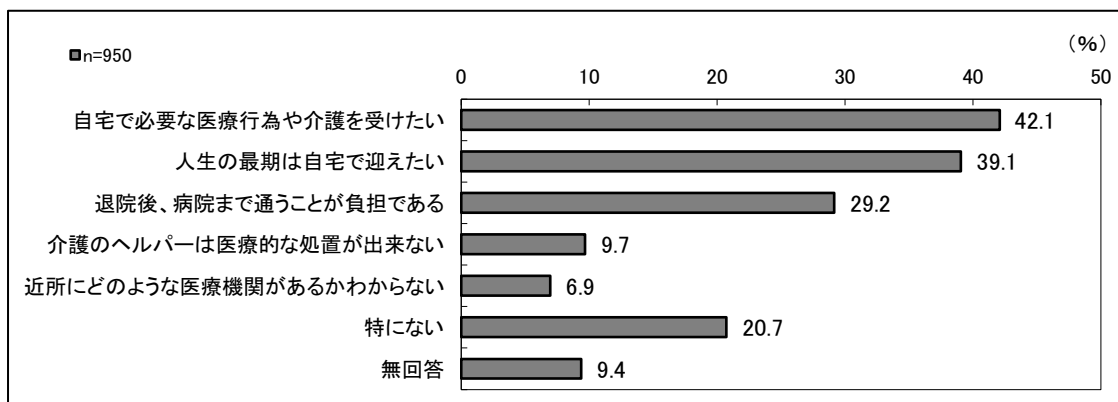
在宅における医療や介護について感じていることについては、「自宅で必要な医療行為や介護を受けたい」(42.1%)が最も多く、次いで「人生の最期は自宅で迎えたい」(39.1%)、「退院後、病院まで通うことが負担である」(29.2%)、「介護のヘルパーは医療的な処置が出来ない」(9.7%)、「近所にどのような医療機関があるかわからない」(6.9%)の順となっている。

なお、「特にない」は20.7%となっている。

年齢で見ると、85歳以上では「人生の最期は自宅で迎えたい」が第1位となっている。

要介護度で見ると、要支援1・2では「人生の最期は自宅で迎えたい」が第1位となっている。

図表 在宅における医療や介護について感じていること（全体／複数回答）



図表 在宅における医療や介護について感じていること
(全体・属性別—第1位/複数回答)

	合計	問10 在宅における医療や介護について感じていること							
		退院後、病院まで通うことが負担である	近所にどのような医療機関があるかわからない	介護のヘルパーは医療的な処置が出来ない	自宅で必要な医療行為や介護を受けたい	人生の最期は自宅で迎えたい	特にない	無回答	
全体	950 100.0%	277 29.2%	66 6.9%	92 9.7%	400 42.1%	371 39.1%	197 20.7%	89 9.4%	
性別	男性	303 100.0%	99 32.7%	25 8.3%	26 8.6%	124 40.9%	114 37.6%	65 21.5%	36 11.9%
	女性	647 100.0%	178 27.5%	41 6.3%	66 10.2%	276 42.7%	257 39.7%	132 20.4%	53 8.2%
年齢	65～74歳	117 100.0%	28 23.9%	8 6.8%	8 6.8%	49 41.9%	34 29.1%	26 22.2%	12 10.3%
	75～84歳	388 100.0%	131 33.8%	30 7.7%	45 11.6%	171 44.1%	153 39.4%	75 19.3%	33 8.5%
	85歳以上	445 100.0%	118 26.5%	28 6.3%	39 8.8%	180 40.4%	184 41.3%	96 21.6%	44 9.9%
居住地区	久喜西地区	191 100.0%	55 28.8%	11 5.8%	18 9.4%	80 41.9%	82 42.9%	40 20.9%	22 11.5%
	久喜東地区	240 100.0%	63 26.3%	12 5.0%	24 10.0%	104 43.3%	93 38.8%	60 25.0%	20 8.3%
	菖蒲地区	127 100.0%	38 29.9%	10 7.9%	11 8.7%	52 40.9%	49 38.6%	24 18.9%	13 10.2%
	栗橋地区	197 100.0%	71 36.0%	22 11.2%	18 9.1%	84 42.6%	70 35.5%	36 18.3%	17 8.6%
	鷲宮地区	195 100.0%	50 25.6%	11 5.6%	21 10.8%	80 41.0%	77 39.5%	37 19.0%	17 8.7%
要介護度	要支援1・2	273 100.0%	86 31.5%	20 7.3%	28 10.3%	111 40.7%	119 43.6%	59 21.6%	18 6.6%
	要介護1・2	477 100.0%	135 28.3%	32 6.7%	39 8.2%	195 40.9%	167 35.0%	103 21.6%	45 9.4%
	要介護3～5	200 100.0%	56 28.0%	14 7.0%	25 12.5%	94 47.0%	85 42.5%	35 17.5%	26 13.0%

(16) 介護保険サービスの利用状況

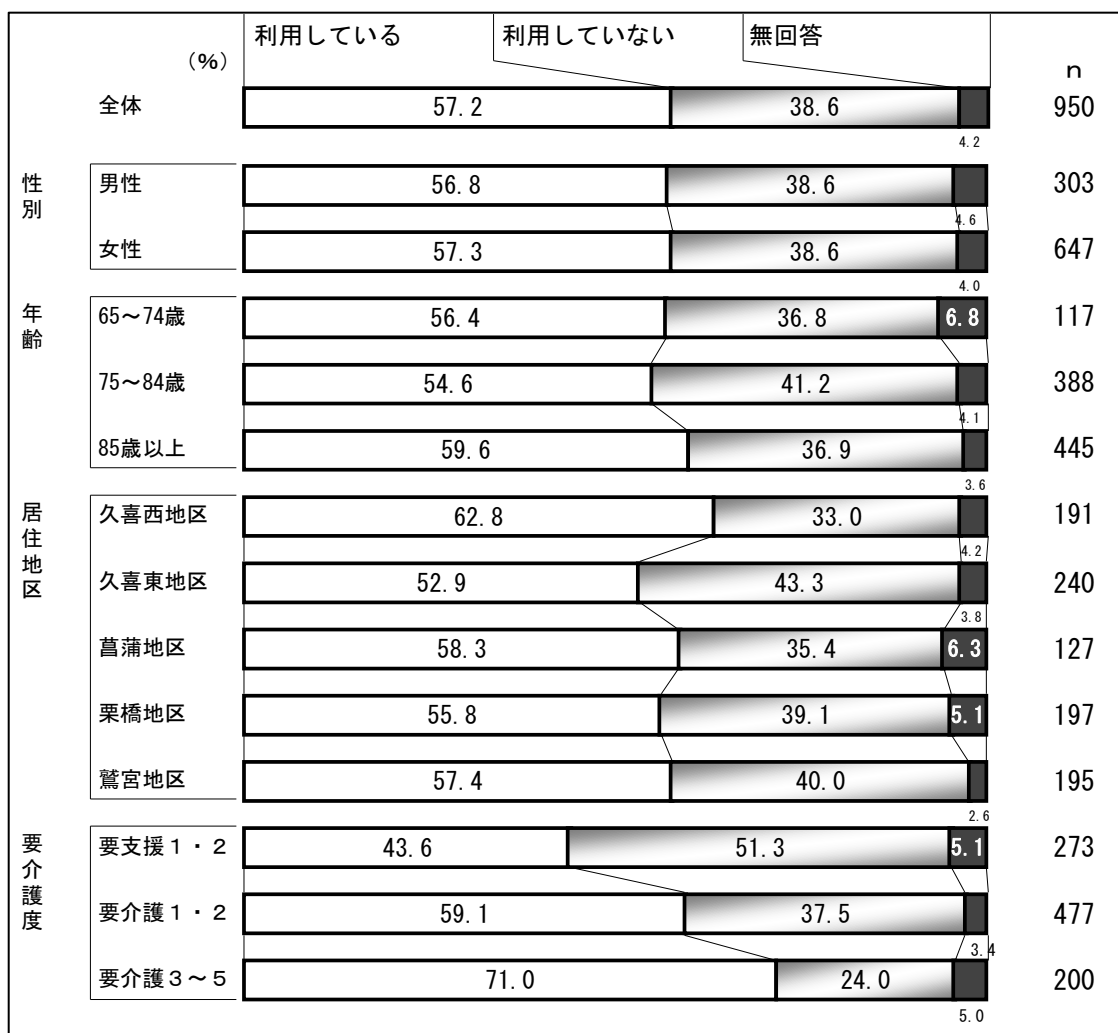
問 11 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか。

- 「利用している」が6割弱、「利用していない」が4割弱を占める。

介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が57.2%、「利用していない」が38.6%の順となっている。

要介護度でみると、要介護度が上昇するにつれて「利用している」の割合が高くなっている。

図表 介護保険サービスの利用状況 (全体・属性別)



(17) 介護保険サービスを利用していない理由

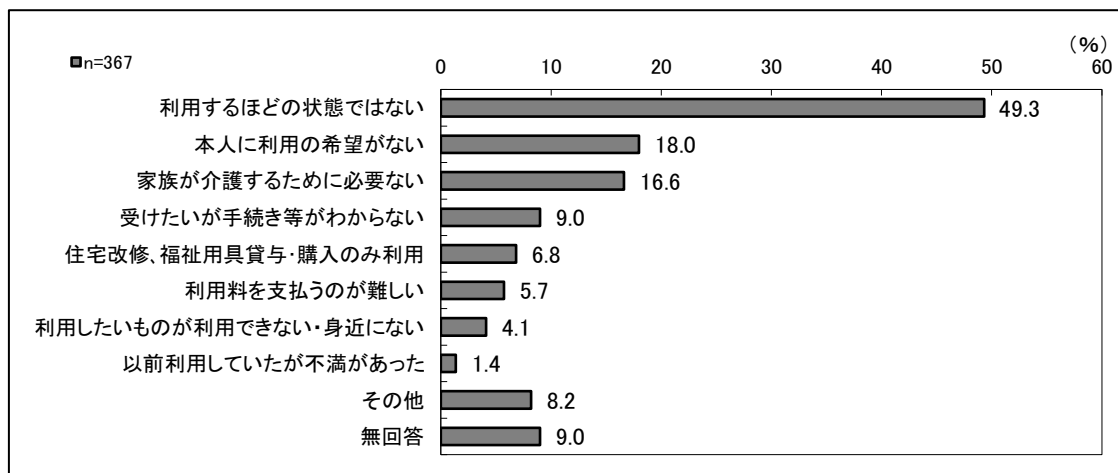
※問 11-1 は、問 11 で「2. 利用していない」と回答した方にお聞きします。
問 11-1 介護保険のサービスを利用していない理由は何ですか。【複数回答】

- 「利用するほどの状態ではない」が第1位。「本人に利用の希望がない」、「家族が介護するために必要ない」などが続く。

介護保険サービスを利用していない理由については、「利用するほどの状態ではない」(49.3%)が最も多く、次いで「本人に利用の希望がない」(18.0%)、「家族が介護するために必要ない」(16.6%)、「受けたいが手続き等がわからない」(9.0%)、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみ利用」(6.8%)、「利用料を支払うのが難しい」(5.7%)、「利用したいものが利用できない・身近にない」(4.1%)、「以前利用していたが不満があった」(1.4%)の順となっている。

要介護度でみると、要介護3～5では「家族が介護するために必要ない」が第1位となっている。

図表 介護保険サービスを利用していない理由（全体／複数回答）



図表 介護保険サービスを利用していない理由（全体・属性別—第1位／複数回答）

	合計	問11-1 介護保険サービスを利用していない理由									
		利用するほどの状態ではない	本人に利用の希望がない	家族が介護するために必要ない	以前利用していたが不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいものが利用できない・身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみ利用	受けたい手続き等がわからない	その他	
全体	367 100.0%	181 49.3%	66 18.0%	61 16.6%	5 1.4%	21 5.7%	15 4.1%	25 6.8%	33 9.0%	30 8.2%	
性別	男性	117 100.0%	63 53.8%	16 13.7%	22 18.8%	0 0.0%	10 8.5%	6 5.1%	4 3.4%	11 9.4%	9 7.7%
	女性	250 100.0%	118 47.2%	50 20.0%	39 15.6%	5 2.0%	11 4.4%	9 3.6%	21 8.4%	22 8.8%	21 8.4%
年齢	65～74歳	43 100.0%	21 48.8%	4 9.3%	9 20.9%	1 2.3%	5 11.6%	0 0.0%	3 7.0%	1 2.3%	3 7.0%
	75～84歳	160 100.0%	81 50.6%	31 19.4%	19 11.9%	2 1.3%	8 5.0%	8 5.0%	12 7.5%	17 10.6%	12 7.5%
	85歳以上	164 100.0%	79 48.2%	31 18.9%	33 20.1%	2 1.2%	8 4.9%	7 4.3%	10 6.1%	15 9.1%	15 9.1%
居住地区	久喜西地区	63 100.0%	32 50.8%	13 20.6%	7 11.1%	0 0.0%	3 4.8%	1 1.6%	5 7.9%	8 12.7%	5 7.9%
	久喜東地区	104 100.0%	48 46.2%	18 17.3%	19 18.3%	0 0.0%	4 3.8%	4 3.8%	6 5.8%	7 6.7%	11 10.6%
	菫蒲地区	45 100.0%	27 60.0%	11 24.4%	10 22.2%	0 0.0%	5 11.1%	1 2.2%	4 8.9%	2 4.4%	4 8.9%
	栗橋地区	77 100.0%	39 50.6%	14 18.2%	10 13.0%	2 2.6%	3 3.9%	4 5.2%	3 3.9%	8 10.4%	6 7.8%
	鷺宮地区	78 100.0%	35 44.9%	10 12.8%	15 19.2%	3 3.8%	6 7.7%	5 6.4%	7 9.0%	8 10.3%	4 5.1%
要介護度	要支援1・2	140 100.0%	90 64.3%	26 18.6%	15 10.7%	1 0.7%	5 3.6%	7 5.0%	7 5.0%	7 5.0%	9 6.4%
	要介護1・2	179 100.0%	79 44.1%	31 17.3%	31 17.3%	2 1.1%	10 5.6%	7 3.9%	13 7.3%	22 12.3%	14 7.8%
	要介護3～5	48 100.0%	12 25.0%	9 18.8%	15 31.3%	2 4.2%	6 12.5%	1 2.1%	5 10.4%	4 8.3%	7 14.6%

	合計	問11-1		
		無回答	非該当	
全体	367 100.0%	33 9.0%	583	
性別	男性	117 100.0%	11 9.4%	186
	女性	250 100.0%	22 8.8%	397
年齢	65～74歳	43 100.0%	8 18.6%	74
	75～84歳	160 100.0%	13 8.1%	228
	85歳以上	164 100.0%	12 7.3%	281
居住地区	久喜西地区	63 100.0%	5 7.9%	128
	久喜東地区	104 100.0%	9 8.7%	136
	菫蒲地区	45 100.0%	2 4.4%	82
	栗橋地区	77 100.0%	8 10.4%	120
	鷺宮地区	78 100.0%	9 11.5%	117
要介護度	要支援1・2	140 100.0%	15 10.7%	133
	要介護1・2	179 100.0%	14 7.8%	298
	要介護3～5	48 100.0%	4 8.3%	152

(18) 自由意見

問 12 在宅における医療や介護について、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

回答件数は 147 件となっている。以下に主な意見・要望を掲載する。

- 入浴が特に大変です。単身暮らしのため、風呂の中で立てなくなることがあり冬は寒さでつらい。
- 医療や介護の知識がない介護者に対して、介護を学ぶ機会があれば良いと思います。介護者が高齢である場合、着替え、移乗など、上手くできず、要介護者の負担になっていることがあります。
- 移動手段で車がないため（免許返納）に買物や通院が大変である。
- 昨年まで介護 2 であったが、介護 1 にされてしまい、昨年よりも体調はよくないのにおかしい。判断をしっかりして欲しい。ベッドも実費となり負担が多くなってしまった。
- 在宅医について、くわしく知りたい。
- 地域包括のかたの親身な訪問相談から介護認定に至りました。ケアマネジャーさんのアイデアや提案によって今はなんとか一人で父は生活しています。在宅での様々な介護サービス、ありがたいです。
- 利用したことがないため、利用する方法がよく判らない。
- 義母の面倒をみて思うこと、もっと早い時点で認知予防の対応が出来なかったのか。何のクスリも飲んで居なかった。80 歳代からオレオレ詐欺にあったりしていたが、子供達と何の対策もされていなかった。早いうちから、婆ちゃんの夫が亡くなってから子供達があまりかかわっていなかった。終身保険も何も入れず、何かあった時兄弟達は助けてくれるのか心配です。デイサービス、ショートステイ、ケアマネさん達に感謝です。何かと相談にのって頂いてました。
- 移送サービスを利用しているが、病院によって利用できない場合がある。
- 病院に行けなくなった時の医療が心配。
- 在宅における介護の住宅改善の補助を明確にしてほしい。
- 現在一日当り、紙パンツを 5 枚ぐらい、紙パットを 10～13 枚ぐらい使っています。この紙パンツと紙パットを支給（無料）して頂ければありがたい。現在は医師の証明をもらい、医療費控除を受けています。
- ふだんは介護の援助は必要ないが、介護者本人が病気やけがなどで動けなくなった時の介護のやりかた（緊急時にサービスを受けられることができるようにしてほしい）。
- 地域包括センターの方もよくしてくれている。
- 理学療法士による訪問リハビリはあるが、言語聴覚士による訪問リハビリがない。
- 要介護 4 から 2 に変更されました。介護者の負担は 4 の時と同じです。認定基準

度を見直して頂きたい。

- 民間の見守りサービスの補助金制度の充実をお願い致します。※人感センサー機器の取付など。
- ケアマネジャーが定期的に訪問して良く話を聞いて貰い精神的に救われています。最近訪看も受けて、健康面でも気持ちが安定します。
- 問 11、福祉用具購入大変助かりました。ありがとうございました。
- 日々努力。転倒せぬ様、滑らぬ様、一步一步確実なる歩みを運ぶのに、全神経を注ぐ故、とっても疲れる。福祉用具に助けられ余病と共に今を大切に一日を大切に、私なりの一生を、大切に生きて行きたい、と思っています。我が意に反し気力だけでは生きられぬ、他力本願でも頑張ります。
- 歯医者さんなど今の病気になっても自分で通院できないので（週末などは休診だから）心配です。
- デイサービスは負担する金額も多いので、減らしたら嬉しい。
- 昔ながらの日本家屋なため、バリアフリーにできません。庭にジャリや石が敷きつめられており、玄関も上がるのに足があがりません。在宅の介護になるには、ねたきり状態になったら動かず生活する時かと思えます。訪問医療は大変助かると思えます。
- 一人になった時の緊急対応に不安。
- 済生会病院への交通があると便利。ぜひお願いします。
- 検査のための通院が非常に苦であるため、どうにかしたい。
- ケアマネジャーさんに、何でも相談でき、よく話を聞いて頂けて感謝しています。
- 昔の建物（家）なので、生活するのが大変です。
- 出張医診察があれば結構と思う。現在入院中で代筆の事。
- まだ自分でできることが多いですが、年をとってお世話になることが増え、経済面で不可能になったらと不安です。
- 現状維持で行っていききたいので、がんばっています。今まで通りサポートして頂きたいと思えます。

2 主な介護者の方について

(1) 主な介護者の現在の勤務形態

問 13 主な介護者の方の現在の勤務形態についてご回答ください。

- 「働いていない」が5割強、「フルタイムで働いている」が2割弱を占める。

主な介護者の現在の勤務形態については、「働いていない」が53.8%、「フルタイムで働いている」が18.6%、「パートタイムで働いている」が14.6%、「主な介護者に確認しないとわからない」が1.2%の順となっている。

要介護度でみると要介護度が上昇するにつれて「働いていない」の割合が高くなっていく。

図表 主な介護者の現在の勤務形態（全体・属性別）

		フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主な介護者に確認しないとわからない	無回答	n
	(%)						
	全体	18.6	14.6	53.8	1.2	11.8	677
要介護度	要支援 1・2	21.6	12.7	41.8	0.7	23.1	134
	要介護 1・2	17.5	16.2	54.6	1.6	10.1	377
	要介護 3～5	18.7	12.7	61.4	0.6	6.6	166

(2) 主な介護者の働き方についての調整等

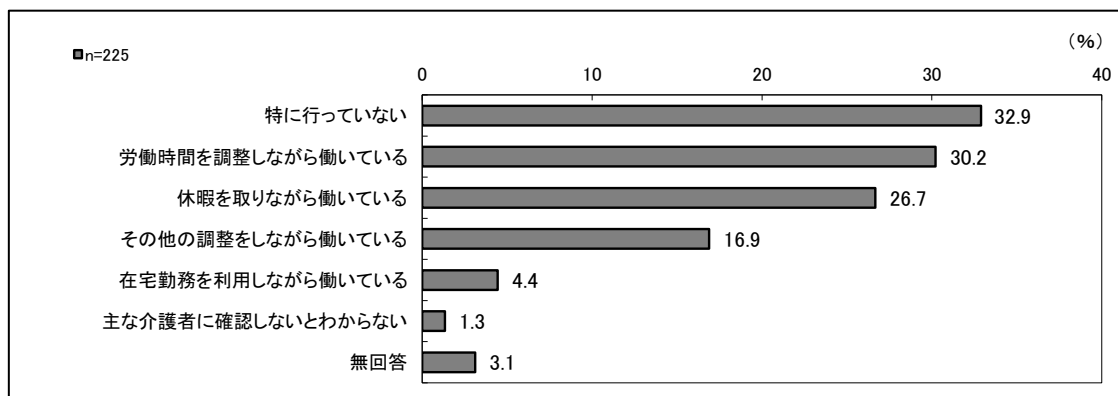
※問 13-1 から問 13-3 は、問 13 で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。
 問 13-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をして
 いますか。【複数回答】

- 「特に行っていない」が第1位。「労働時間を調整しながら働いている」、「休暇をとりながら働いている」などが続く。

主な介護者の働き方についての調整等については、「特に行っていない」(32.9%)が最も多く、次いで「労働時間を調整しながら働いている」(30.2%)、「休暇を取りながら働いている」(26.7%)、「その他の調整をしながら働いている」(16.9%)、「在宅勤務を利用しながら働いている」(4.4%)、「主な介護者に確認しないとわからない」(1.3%)の順となっている。

要介護度でみると、要介護3～5では「労働時間を調整しながら働いている」が第1位となっている。

図表 主な介護者の働き方についての調整等 (全体/複数回答)



図表 主な介護者の働き方についての調整等 (全体・属性別-第1位/複数回答)

	合計	問13-1 主な介護者の働き方についての調整等							無回答	非該当
		特に行っていない	労働時間を調整しながら働いている	休暇を取りながら働いている	在宅勤務を利用しながら働いている	その他の調整をしながら働いている	主な介護者に確認しないとわからない			
全体	225 100.0%	74 32.9%	68 30.2%	60 26.7%	10 4.4%	38 16.9%	3 1.3%	7 3.1%	725	
要介護度	要支援1・2	46 100.0%	20 43.5%	7 15.2%	11 23.9%	1 2.2%	9 19.6%	0 0.0%	4 8.7%	227
	要介護1・2	127 100.0%	41 32.3%	39 30.7%	33 26.0%	7 5.5%	20 15.7%	3 2.4%	2 1.6%	350
	要介護3～5	52 100.0%	13 25.0%	22 42.3%	16 30.8%	2 3.8%	9 17.3%	0 0.0%	1 1.9%	148

(3) 効果的な勤め先からの支援

問 13-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。【複数回答】

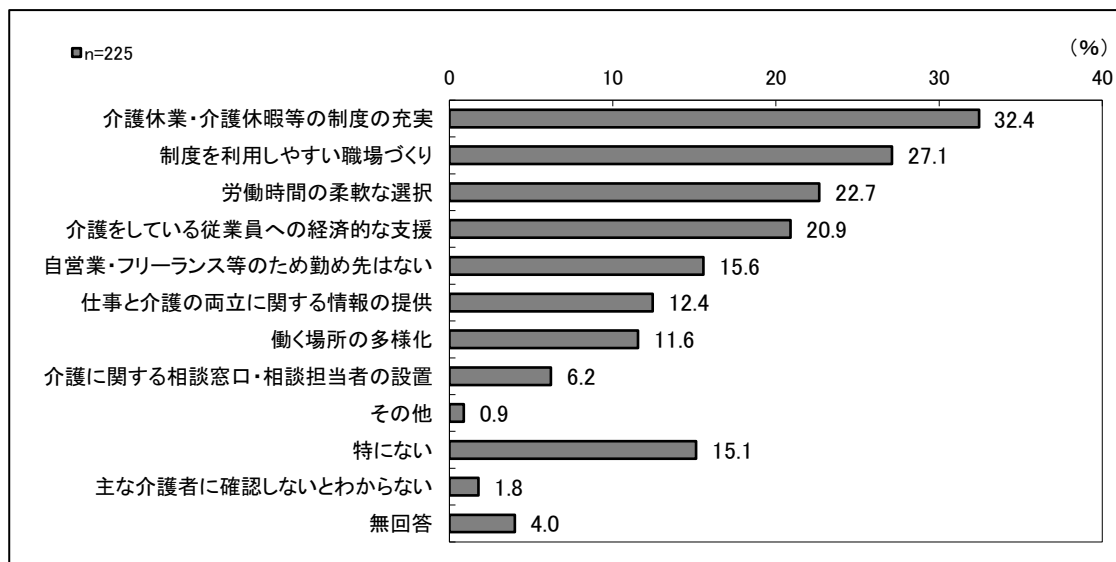
- 「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が第1位。「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択」などが続く。

効果的な勤め先からの支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(32.4%)が最も多く、「制度を利用しやすい職場づくり」(27.1%)、「労働時間の柔軟な選択」(22.7%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(20.9%)、「自営業・フリーランス等のため勤め先はない」(15.6%)、「仕事と介護の両立に関する情報の提供」(12.4%)、「働く場所の多様化」(11.6%)、「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」(6.2%)の順となっている。

なお、「特にない」は15.1%、「主な介護者に確認しないとわからない」は1.8%となっている。

要介護度でみると、いずれも「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が第1位となっている。

図表 効果的な勤め先からの支援（全体／複数回答）



図表 効果的な勤め先からの支援（全体・属性別—第1位／複数回答）

	合計	問13-2 効果的な勤め先からの支援									
		自営業・フリーランス等のため勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択	働く場所の多様化	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	
全体	225 100.0%	35 15.6%	73 32.4%	61 27.1%	51 22.7%	26 11.6%	28 12.4%	14 6.2%	47 20.9%	2 0.9%	
要介護度	要支援1・2	46 100.0%	7 15.2%	15 32.6%	12 26.1%	12 26.1%	8 17.4%	2 4.3%	2 4.3%	11 23.9%	1 2.2%
	要介護1・2	127 100.0%	16 12.6%	42 33.1%	38 29.9%	26 20.5%	13 10.2%	20 15.7%	8 6.3%	24 18.9%	0 0.0%
	要介護3～5	52 100.0%	12 23.1%	16 30.8%	11 21.2%	13 25.0%	5 9.6%	6 11.5%	4 7.7%	12 23.1%	1 1.9%

	合計	問13-2 効果的な勤め先からの支援				
		特にない	主な介護者に確認しないとわからない	無回答	非該当	
全体	225 100.0%	34 15.1%	4 1.8%	9 4.0%	725	
要介護度	要支援1・2	46 100.0%	5 10.9%	2 4.3%	3 6.5%	227
	要介護1・2	127 100.0%	22 17.3%	2 1.6%	5 3.9%	350
	要介護3～5	52 100.0%	7 13.5%	0 0.0%	1 1.9%	148

(4) 介護者の就労継続の可否に係る意識

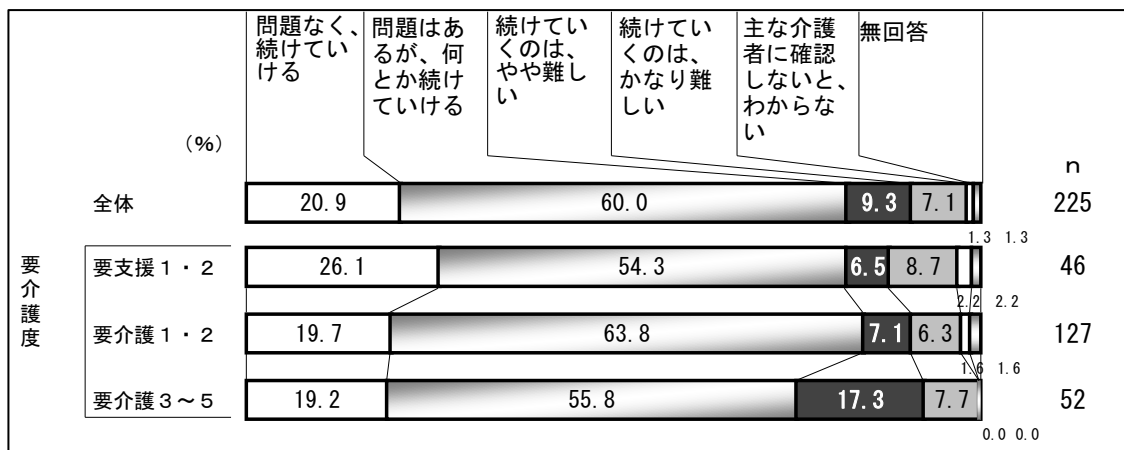
問 13-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

- 「問題はあるが、何とか続けていける」が6割、「問題なく、続けていける」が2割強を占める。

介護者の就労継続の可否に係る意識については、「問題はあるが、何とか続けていける」が60.0%、「問題なく、続けていける」が20.9%、「続けていくのは、やや難しい」が9.3%、「続けていくのは、かなり難しい」が7.1%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が1.3%の順となっている。

要介護度でみると、要介護3～5では「続けていくのは、やや難しい」が17.3%と他よりも高くなっている。

図表 介護者の就労継続の可否に係る意識（全体・属性別）



(5) 主な介護者が働いていない理由

※問 13-4 は、問 13 で「3.」と回答した方にお聞きします。
 問 13-4 主な介護者の方が働いていない理由は何ですか。

- 「高齢のため」が6割強を占める。

主な介護者が働いていない理由については、「高齢のため」が64.6%、「介護離職のため」が12.4%、「病気のため」が4.1%、「学生のため」が0.0%、「その他」が12.6%、「主な介護者に確認しないとわからない」が1.1%の順となっている。

要介護度でみると、要介護度が上昇するにつれて「介護離職のため」の割合が高くなっている。

図表 主な介護者が働いていない理由（全体・属性別）

		高齢のため	介護離職のため	病気のため	学生のため	その他	主な介護者に確認しないとわからない	無回答	n
全体		64.6	12.4	4.1	0.0	12.6	1.1	5.2	364
要介護度	要支援1・2	62.5	7.1	1.8	0.0	17.9	3.6	7.1	56
	要介護1・2	66.5	12.6	2.9	0.0	12.1	1.0	4.9	206
	要介護3～5	61.8	17.6	4.9	0.0	10.8	0.0	4.9	102

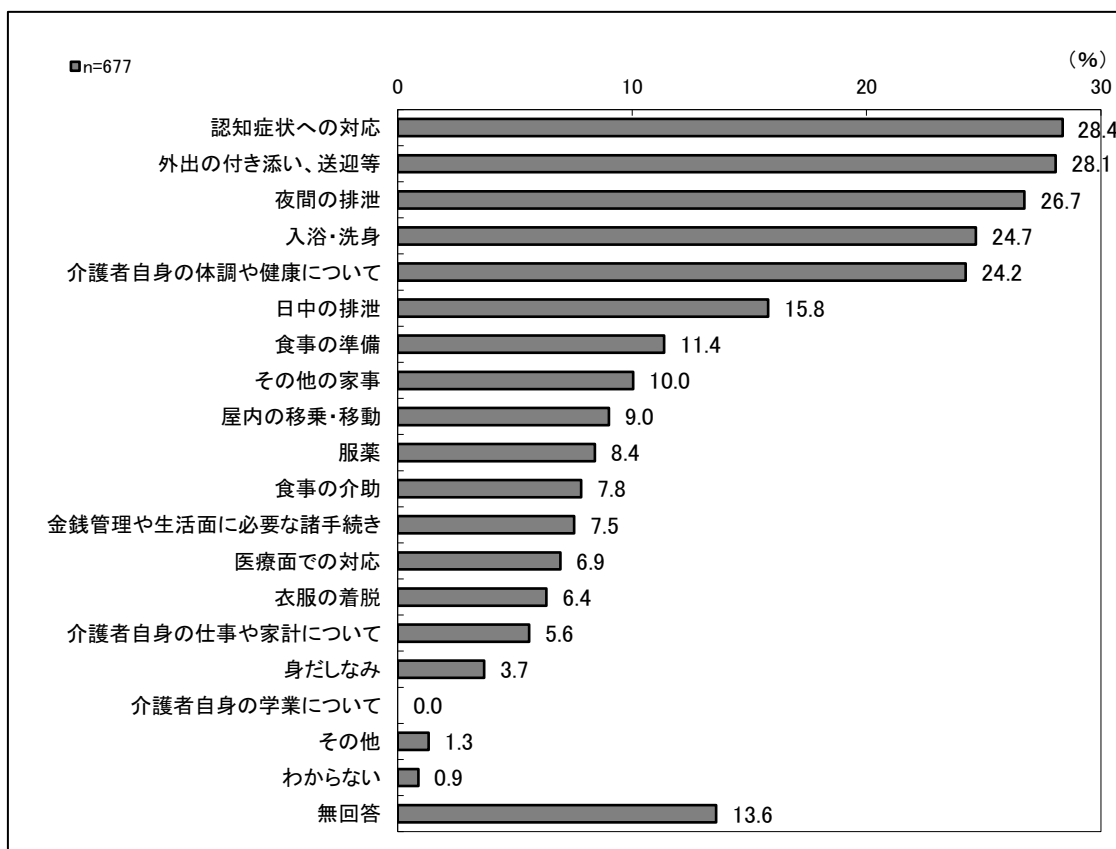
(6) 不安を感じる介護

問 14 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。現状で行っているか否かは問いません。【複数回答】

- 「認知症状への対応」が第1位。「外出の付き添い、送迎等」、「夜間の排泄」などが続く。

不安を感じる介護については、「認知症状への対応」(28.4%)が最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」(28.1%)、「夜間の排泄」(26.7%)、「入浴・洗身」(24.7%)、「介護者自身の体調や健康について」(24.2%)、「日中の排泄」(15.8%)、「食事の準備」(11.4%)、「その他の家事」(10.0%)、「屋内の移乗・移動」(9.0%)、「服薬」(8.4%)、「食事の介助」(7.8%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(7.5%)、「医療面での対応」(6.9%)、「衣服の着脱」(6.4%)、「介護者自身の仕事や家計について」(5.6%)、「身だしなみ」(3.7%)、「介護者自身の学業について」(0.0%)の順となっている。要介護度でみると、要介護3～5では「夜間の排泄」が第1位となっている。

図表 不安を感じる介護（全体／複数回答）



図表 不安を感じる介護（全体・属性別－第1位／複数回答）

	合計	問14 主な介護者が不安を感じる介護											
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助	入浴・洗身	身だしなみ	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応	
全体	677 100.0%	107 15.8%	181 26.7%	53 7.8%	167 24.7%	25 3.7%	43 6.4%	61 9.0%	190 28.1%	57 8.4%	192 28.4%	47 6.9%	
要介護度	要支援1・2	134 100.0%	8 6.0%	19 14.2%	2 1.5%	30 22.4%	2 1.5%	3 2.2%	12 9.0%	51 38.1%	9 6.7%	22 16.4%	9 6.7%
	要介護1・2	377 100.0%	59 15.6%	105 27.9%	25 6.6%	98 26.0%	18 4.8%	25 6.6%	34 9.0%	109 28.9%	36 9.5%	130 34.5%	25 6.6%
	要介護3～5	166 100.0%	40 24.1%	57 34.3%	26 15.7%	39 23.5%	5 3.0%	15 9.0%	15 9.0%	30 18.1%	12 7.2%	40 24.1%	13 7.8%

	合計	問14 主な介護者が不安を感じる介護										
		食事の準備	その他の家事	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	介護者自身の体調や健康について	介護者自身の学業について	介護者自身の仕事や家計について	その他	わからない	無回答	非該当	
全体	677 100.0%	77 11.4%	68 10.0%	51 7.5%	164 24.2%	0 0.0%	38 5.6%	9 1.3%	6 0.9%	92 13.6%	273 40.3%	
要介護度	要支援1・2	134 100.0%	18 13.4%	31 23.1%	17 12.7%	23 17.2%	0 0.0%	6 4.5%	1 0.7%	1 0.7%	33 24.6%	139 102.9%
	要介護1・2	377 100.0%	47 12.5%	33 8.8%	24 6.4%	90 23.9%	0 0.0%	26 6.9%	4 1.1%	3 0.8%	42 11.1%	100 26.5%
	要介護3～5	166 100.0%	12 7.2%	4 2.4%	10 6.0%	51 30.7%	0 0.0%	6 3.6%	4 2.4%	2 1.2%	17 10.2%	34 20.5%

(7) 自由意見

問15 介護保険制度や高齢者福祉について、本市へのご意見やご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。

回答件数は210件となっている。以下に主な意見・要望を掲載する。

- 介護保険料が高くて年金生活者にとっては生活が困難となっています。現在高齢者が高齢者を介護しているので、これから毎日のごみの出し方とか、認知症とか身体不自由になって生活ができなくなった場合のことをもっと将来を見据えて行政を考えないと手遅れになりますので、考えて下さい。
- デイサービスを利用することで、介護者が自分の時間を持つことができ大変助かっている。
- 要介護の認定を受けた時、ケアマネジャーを自分で探す（選ぶ）のが不安です。助言をいただきたい。
- 長生きしたら申し訳ないと思っている高齢者が多く、その下で控えている年代も長生きはしたくない……とよく聞きます。デジタル化などで自信を失っている様子も目立ちます。高齢者が笑顔で穏やかな気持ちで毎日過ごせるようなサポートが必要だと思う、この頃です。
- 保険料金が高い。年金が減る傾向、保険、税金が上がる方向という国家行政の課題と思うが、人は誰でも年を重ねる。国民を満足させた上での海外支援であるべきかと思える。
- 日に日に弱っていく母をみていると、不安は募っていくばかりですが、担当ケアマネからの迅速で的確なアドバイスと、ウチで働くスタッフさん達の手厚いフォローのおかげで助けられています。加えて医療費控除、デイサービス等の福祉サービスは大変助かります。感謝申し上げます。
- 介護をする人は、体力よりも精神がきついです。介護者のケアも必要だと思います。事業所、施設の情報やケアマネさんの情報がネットやホームページ等でもっとわかりやすく選べるといいと思います。
- 高齢者の多い世の中なので、もっと色々な面で介護保険制度や高齢者福祉など充実させて欲しい。
- 介護者への支援をして欲しい。相談窓口や情報交換の場とか。
- 現在は介護者が元気で何とか済んでいるが、病気が進んできた場合、他人の介護を受けなくてはならないので、介護の制度を勉強したい。
- とても丁寧に対応していただいている印象です。介護用品まで支給していただき、助かっています。今年は、住宅改修（スロープ、手すり）で、お世話になります。申請やっと承認されました。ありがとうございます。
- もっとヘルパーを増やしてほしい。ヘルパーさんも大変な仕事なので、もっと待遇改善をすべきと感ずる。

- 介護者が仕事を続けていける事を望みます。現状、家族の負担が大きく、このままでは離職もやむを得なくなってきました。家族だけでなく、行政に助けをいただきたいと思っています。
- 色々な介護サービスがわかるよう示してほしいです。私の場合はケアマネの方が相談にのってくれているので助かりましたが……。
- 済生会加須病院迄のバスを出して欲しい。
- わかりにくい。どこに相談に行ったらいいのかわからなかった。わかっているだろうという感じを受ける。初めてだと本当に何も分からないので、もう少し丁寧な対応をして欲しかった。
- 介護について市役所の窓口へ相談に行ったが、丁寧な対応、情報の提供をいただき、とてもありがたかった。
- 車いすで歩道を歩いていると傾斜しているところが多く歩行が困難です。排水のためなのでしょうが、かなりきついところもあり車道でないと歩けなかったりもするので、検討していただくとありがたいです。
- 単身世帯で、私も離れた所に住んでいるため、介護保険サービスの事業に従事している方々に助けられています。そういう人達が離職せず安心して働ける環境にしてもらうことが、私たちにとっても安心できることだと考えています。
- 介護認定に時間がかかりすぎるのでは。要介護4、5の違いがわからない。基準があいまいでは。
- デイサービスは支援2の場合2日まで利用可と聞いていますが、認知症予防の為には3日位利用可能になったら良いのではないのでしょうか？他のサービスを減らしてでも良いと思うのですが……人と話せること、一緒に運動出来ること、身だしなみを整えること等、脳の活性化につながり人生を楽しめると思います。
- 栗橋地区の医療を充実させてもらいたい。済生会加須への交通手段を何とかしてもらいたい。
- 自宅で過ごすことが本人のためにも良いと思いますが、土日や夜の支援が（この先、介護者として体力、年齢等を考えると）薄いと思います。現在はデイサービスと訪問入浴等でのいですが、今後（土日）のショートステイ等を試してみようと思っています。
- 要介護3になり、年末から特養に入所できました。介護していた私は、気持ちも身体も軽くなった様な気がします。職員さんの温かい手で穏やかに暮らしてほしいと願っています。
- 老人虐待を防ぐ為に、施設をオープンな形で、家族も自由に見学やイベント参加にしてほしい。施設に幼稚園児や小・中学校の子どもとの交流をもっと増やしてほしい。
- 要介護1、2の生活援助サービスを介護保険の対象から外さないでほしい。
- 役場の窓口で対応される職員の方により、とても不安になってしまったり、理解しにくかったりします。スキルを統一していただくとありがたいです。

介護保険施設等入所者調査 調査結果

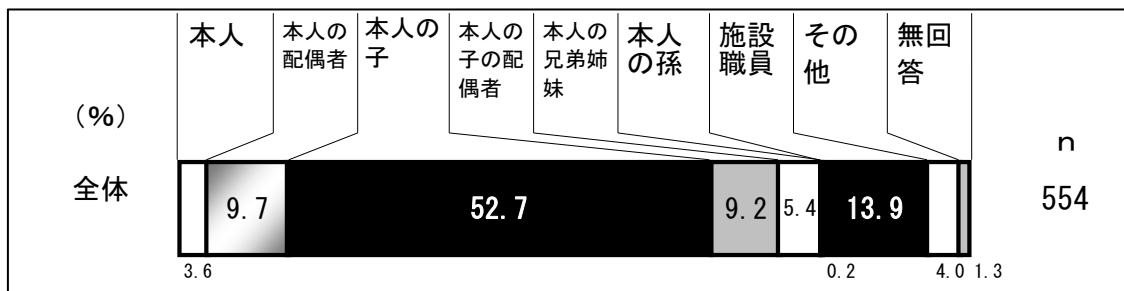
1 回答者について

(1) 回答者

問1 この調査の記入者はどなたですか。

回答者については、「本人の子」が 52.7%、「施設職員」が 13.9%、「本人の配偶者」が 9.7%、「本人の子の配偶者」が 9.2%、「本人の兄弟姉妹」が 5.4%、「本人」が 3.6%、「本人の孫」が 0.2%の順となっている。

図表 回答者（全体）

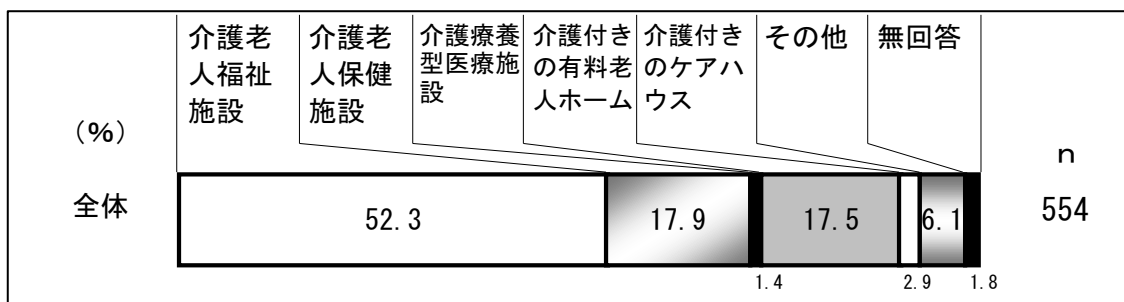


(2) 現在の入所施設

問2 現在の入所施設はどちらですか。

現在の入所施設については、「介護老人福祉施設」が 52.3%、「介護老人保健施設」が 17.9%、「介護療養型医療施設」が 1.4%、「介護付きの有料老人ホーム」が 17.5%、「介護付きのケアハウス」が 2.9%の順となっている。

図表 現在の入所施設（全体）



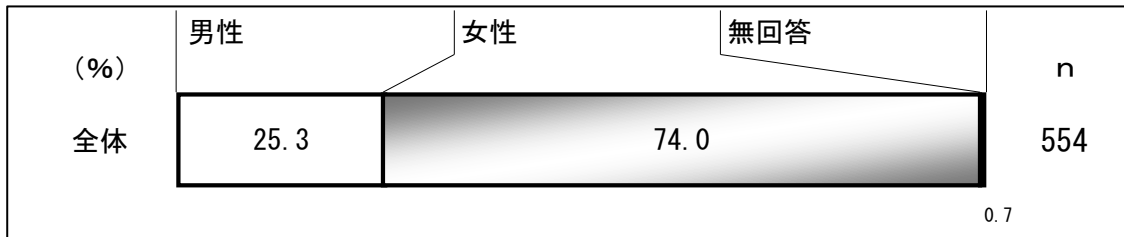
2 宛名の本人について

(1) 性別

問3 ご本人の性別をご回答ください。

性別については、「女性」が74.0%、「男性」が25.3%の順となっている。

図表 性別（全体）

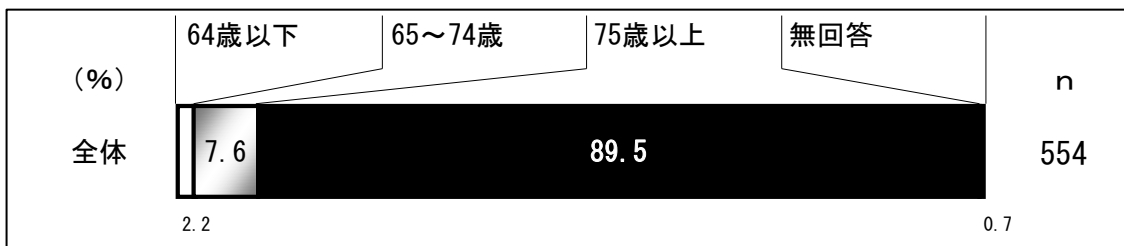


(2) 年齢

問4 ご本人の年齢をご回答ください。

年齢については、「75歳以上」が89.5%、「65～74歳」が7.6%、「64歳以下」が2.2%の順となっている。

図表 年齢（全体）



(3) 入所前の家族の状況

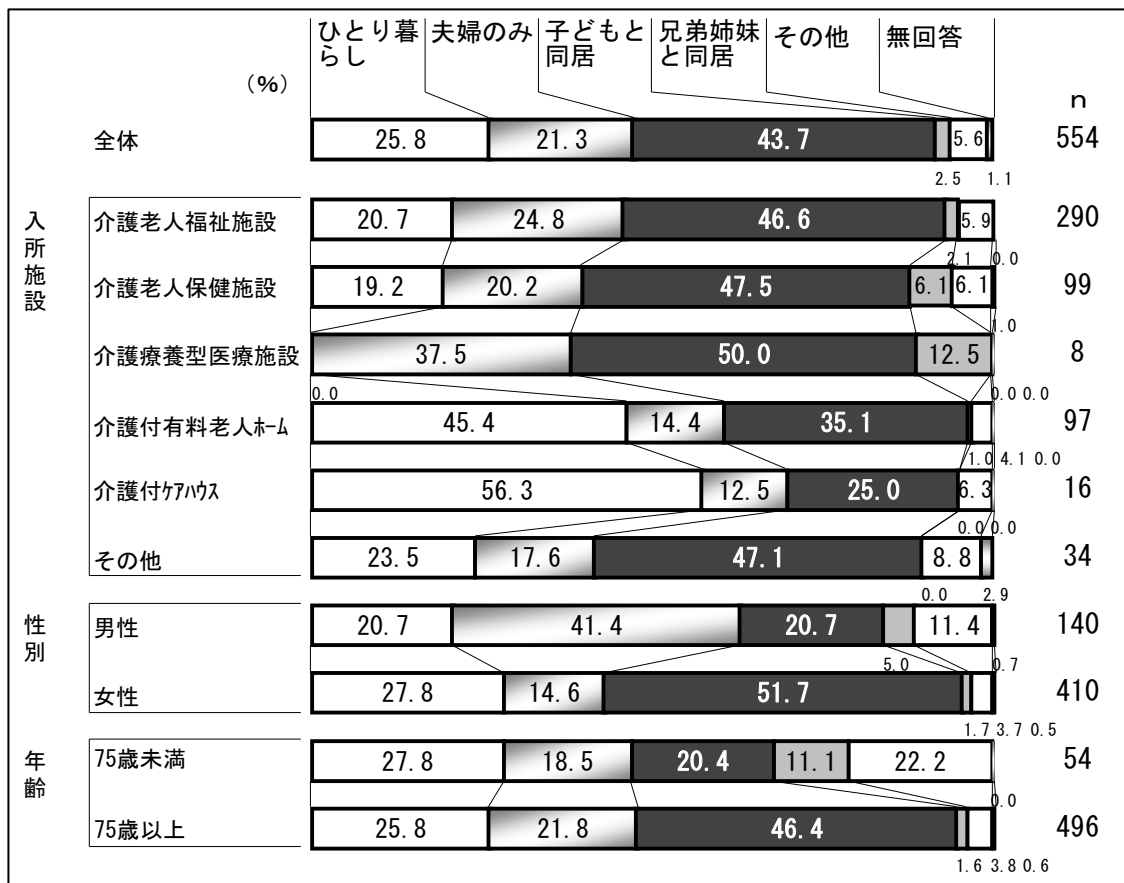
問5 入所前のご家族の状況について、ご回答ください。

- 「子どもと同居」が4割強、「ひとり暮らし」が3割弱を占める。

入所前の家族の状況については、「子どもと同居」が43.7%、「ひとり暮らし」が25.8%、「夫婦のみ」が21.3%、「兄弟姉妹と同居」が2.5%の順となっている。

入所施設でみると、介護付ケアハウス、介護付有料老人ホームでは「ひとり暮らし」がそれぞれ56.3%、45.4%となっている。

図表 入所前の家族の状況（全体・属性別）



(4) 現在の施設の利用期間

問6 現在の施設の利用期間はどの程度ですか。

- 「1年未満」が2割強を占める。

現在の施設の利用期間については、「1年未満」が23.3%、「5年以上」が19.9%、「2年以上3年未満」が18.1%、「1年以上2年未満」が17.7%、「3年以上4年未満」が11.0%、「4年以上5年未満」が9.0%の順となっている。

図表 現在の施設の利用期間（全体・属性別）

		1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上	無回答	n
全体		23.3	17.7	18.1	11.0	9.0	19.9	1.1	554
入所施設	介護老人福祉施設	20.3	16.9	16.9	14.5	10.0	21.4	0.0	290
	介護老人保健施設	32.3	17.2	25.3	8.1	13.1	0.0	0.0	99
	介護療養型医療施設	62.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8
	介護付有料老人ホーム	21.6	20.6	16.5	9.3	7.2	24.7	0.0	97
	介護付ケアハウス	18.8	25.0	25.0	12.5	12.5	6.3	0.0	16
	その他	26.5	17.6	8.8	11.8	11.8	23.5	0.0	34
性別	男性	27.1	24.3	14.3	10.7	6.4	16.4	0.7	140
	女性	22.2	15.6	19.3	11.2	10.0	21.2	0.5	410
年齢	75歳未満	27.8	18.5	20.4	7.4	11.1	13.0	1.9	54
	75歳以上	23.0	17.5	17.9	11.5	8.9	20.8	0.4	496

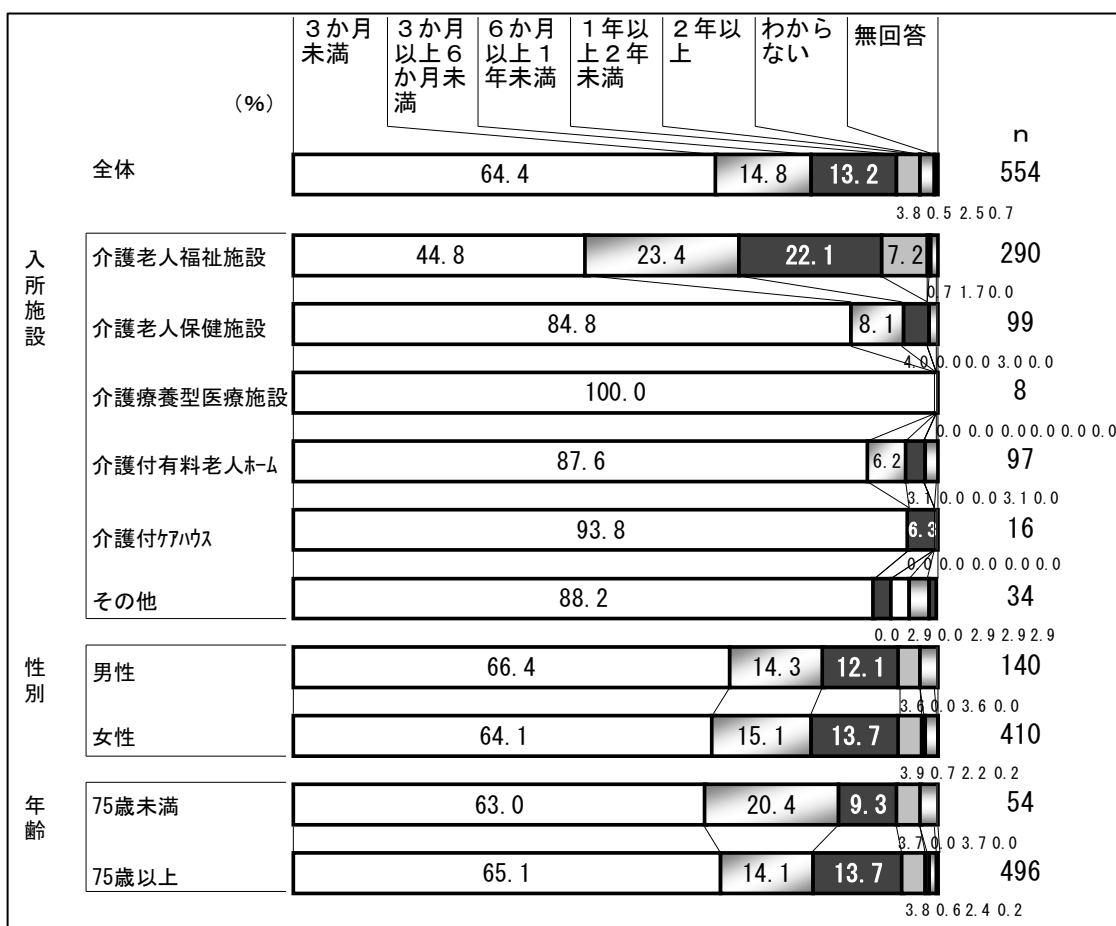
(5) 申し込みから入所するまでの待機期間

問7 申し込みから入所するまでの待機期間はどの程度ありましたか。

- 「3か月未満」が6割強を占める。

申し込みから入所するまでの待機期間については、「3か月未満」が64.4%、「3か月以上6か月未満」が14.8%、「6か月以上1年未満」が13.2%、「1年以上2年未満」が3.8%、「2年以上」が0.5%の順となっている。

図表 申し込みから入所するまでの待機期間（全体・属性別）



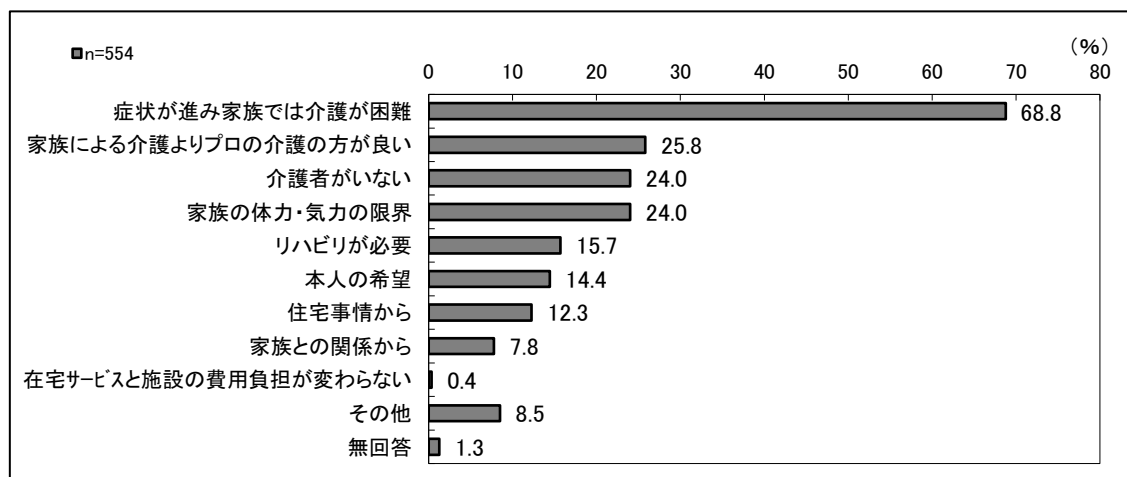
(6) 入所した理由

問8 どのような理由で入所されましたか。【複数回答】

- 「症状が進み家族では介護が困難」が第1位。「家族による介護よりプロの介護の方が良い」、「介護者がいない」・「家族の体力・気力が限界」などが続く。

入所した理由については、「症状が進み家族では介護が困難」(68.8%)が最も多く、次いで「家族による介護よりプロの介護の方が良い」(25.8%)、「介護者がいない」・「家族の体力・気力の限界」(同率 24.0%)、「リハビリが必要」(15.7%)、「本人の希望」(14.4%)、「住宅事情から」(12.3%)、「家族との関係から」(7.8%)、「在宅サービスと施設の費用負担が変わらない」(0.4%)の順となっている。

図表 入所した理由 (全体/複数回答)



図表 入所した理由（全体・属性別－第1位／複数回答）

	合計	問8 入所した理由									
		本人の希望	症状が進み家族では介護が困難	家族の体力・気力の限界	リハビリが必要	在宅サービスと施設の費用負担が変わらない	家族による介護よりプロの介護の方が良い	住宅事情から	家族との関係から	介護者がいない	
全体	554 100.0%	80 14.4%	381 68.8%	133 24.0%	87 15.7%	2 0.4%	143 25.8%	68 12.3%	43 7.8%	133 24.0%	
入所施設	介護老人福祉施設	290 100.0%	26 9.0%	227 78.3%	91 31.4%	26 9.0%	2 0.7%	60 20.7%	43 14.8%	18 6.2%	72 24.8%
	介護老人保健施設	99 100.0%	17 17.2%	55 55.6%	13 13.1%	47 47.5%	0 0.0%	33 33.3%	12 12.1%	10 10.1%	30 30.3%
	介護療養型医療施設	8 100.0%	0 0.0%	6 75.0%	1 12.5%	3 37.5%	0 0.0%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%
	介護付有料老人ホーム	97 100.0%	22 22.7%	56 57.7%	21 21.6%	5 5.2%	0 0.0%	31 32.0%	8 8.2%	8 8.2%	18 18.6%
	介護付ケアハウス	16 100.0%	6 37.5%	8 50.0%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	6 37.5%	3 18.8%	0 0.0%	5 31.3%
	その他	34 100.0%	8 23.5%	26 76.5%	5 14.7%	4 11.8%	0 0.0%	9 26.5%	1 2.9%	7 20.6%	5 14.7%
	性別	男性	140 100.0%	16 11.4%	101 72.1%	45 32.1%	28 20.0%	0 0.0%	36 25.7%	18 12.9%	14 10.0%
	女性	410 100.0%	64 15.6%	279 68.0%	87 21.2%	59 14.4%	2 0.5%	107 26.1%	50 12.2%	29 7.1%	97 23.7%
年齢	75歳未満	54 100.0%	7 13.0%	41 75.9%	11 20.4%	12 22.2%	0 0.0%	14 25.9%	4 7.4%	5 9.3%	18 33.3%
	75歳以上	496 100.0%	73 14.7%	340 68.5%	122 24.6%	75 15.1%	2 0.4%	129 26.0%	64 12.9%	38 7.7%	114 23.0%

	合計	問8 入所した理由	
		その他	無回答
全体	554 100.0%	47 8.5%	7 1.3%
入所施設	介護老人福祉施設	17 5.9%	1 0.3%
	介護老人保健施設	10 10.1%	0 0.0%
	介護療養型医療施設	2 25.0%	0 0.0%
	介護付有料老人ホーム	14 14.4%	1 1.0%
	介護付ケアハウス	0 0.0%	0 0.0%
	その他	3 8.8%	1 2.9%
	性別	男性	18 12.9%
	女性	29 7.1%	2 0.5%
年齢	75歳未満	5 9.3%	0 0.0%
	75歳以上	42 8.5%	4 0.8%

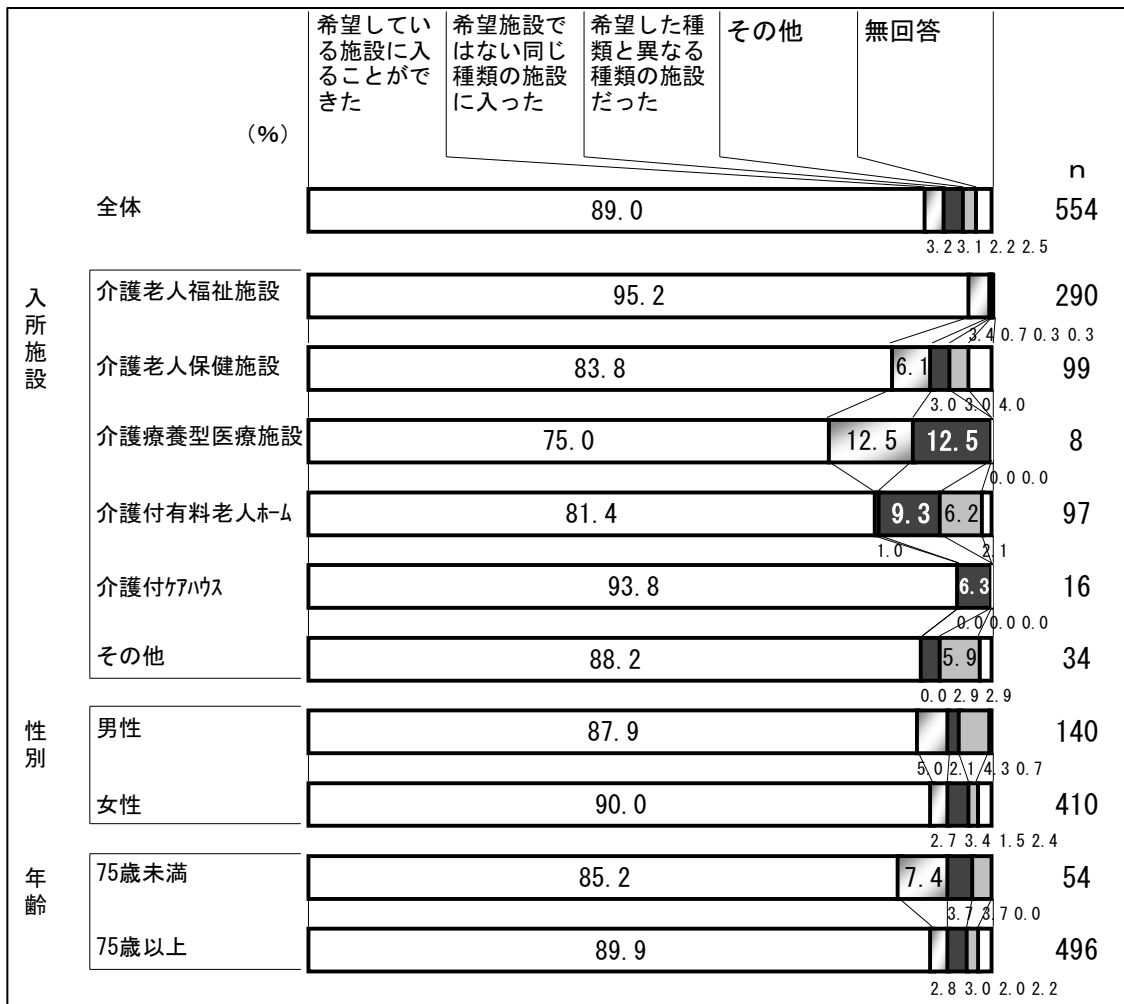
(7) 希望している施設に入所できたか

問9 希望している施設に入所できましたか。

- 「希望している施設に入所することができた」が9割弱を占める。

希望している施設に入所できたかについては、「希望している施設に入所することができた」が89.0%、「希望施設ではない同じ種類の施設に入った」が3.2%、「希望した種類と異なる種類の施設だった」が3.1%の順となっている。

図表 希望している施設に入所できたか（全体・属性別）



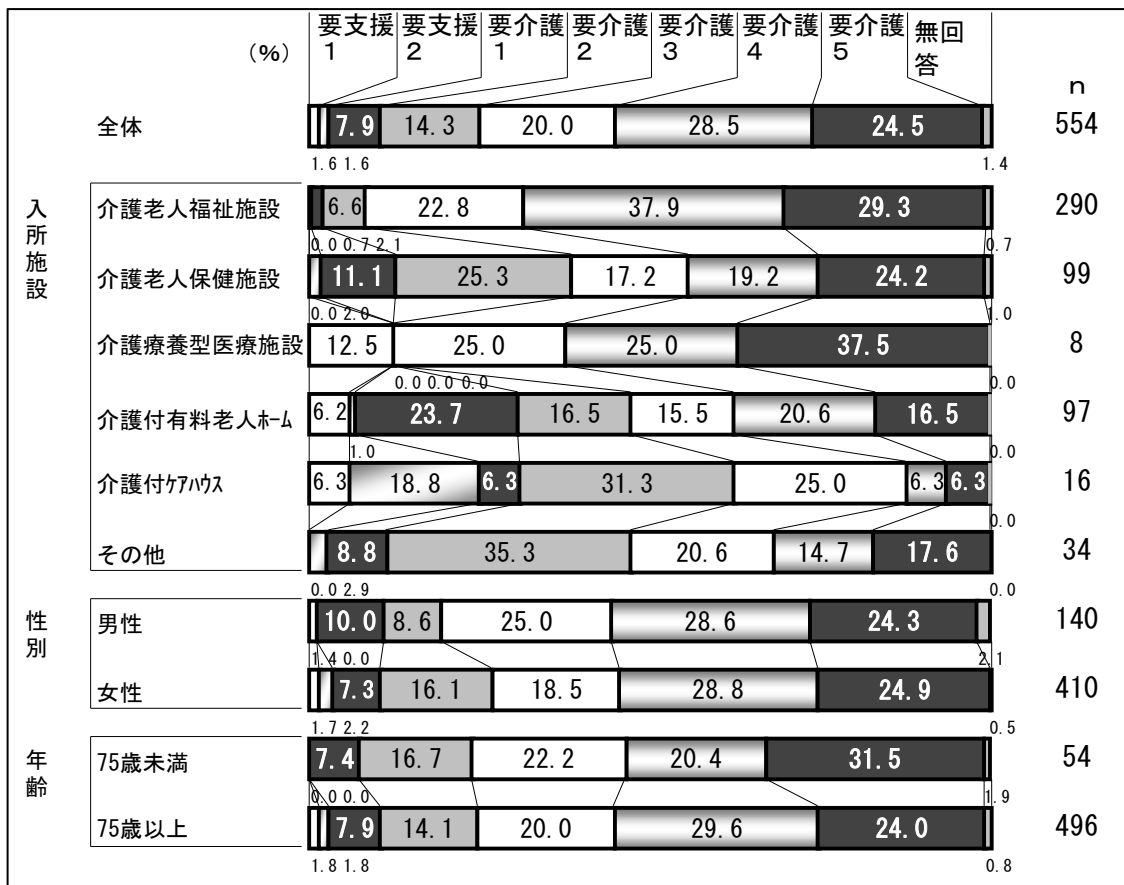
(8) 現在の要介護度

問 10 現在、認定されている要介護度について、ご回答ください。

- 「要介護4」が3割弱、「要介護5」が2割強を占める。

現在の要介護度については、「要介護4」が28.5%、「要介護5」が24.5%、「要介護3」が20.0%、「要介護2」が14.3%、「要介護1」が7.9%、「要支援1」・「要支援2」が同率で1.6%の順となっている。

図表 現在の要介護度（全体・属性別）



(9) 介護保険料について

問 11 介護保険料について、どう思いますか。

- 「高いが、仕方がないと思う」が4割弱、「ちょうどいいと思う」が2割弱を占める。

介護保険料については、「高いが、仕方がないと思う」が39.9%、「ちょうどいいと思う」が17.7%、「利用の適正化を図るなどでより低額にすべき」が14.1%、「安いと思う」が3.2%の順となっている。

図表 介護保険料について（全体・属性別）

		(%)	高いが、仕方がないと思う	利用の適正化を図るなどでより低額にすべき	ちょうどいいと思う	安いと思う	わからない	無回答	n
全体			39.9	14.1	17.7	3.2	17.5	7.6	554
入所施設	介護老人福祉施設		34.5	12.1	22.8	2.1	16.9	11.7	290
	介護老人保健施設		46.5		16.2	13.1	5.1	18.2	99
	介護療養型医療施設		50.0			37.5		12.5	8
	介護付有料老人ホーム		46.4		19.6	10.3		18.6	97
	介護付ケアハウス		37.5	6.3	12.5	12.5	4.1	25.0	16
	その他		52.9		8.8	14.7		23.5	34
性別	男性		43.6	16.4	17.1		13.6	5.7	140
	女性		39.0	13.2	18.0	3.6	19.0	7.6	410
年齢	75歳未満		38.9	14.8	13.0	3.2	22.2	7.4	54
	75歳以上		40.1	14.1	18.3	3.7	17.1	7.1	496

3 介護保険サービスについて

(1) 施設入所前の居宅介護サービスの利用状況

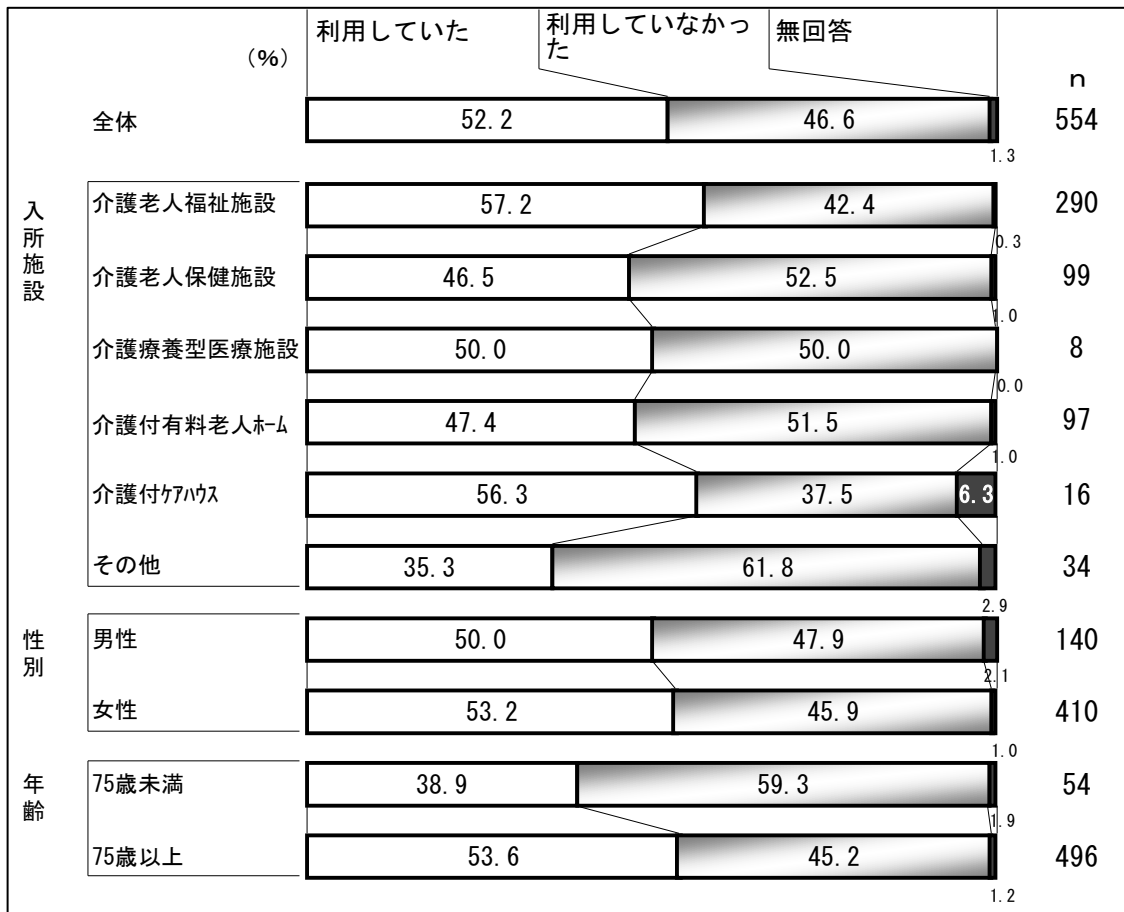
問 12 施設に入所する以前、自宅などで介護保険による居宅介護サービスを利用していましたか。

- 「利用していた」が5割強、「利用していなかった」が5割弱を占める。

施設入所前の居宅介護サービスの利用状況については、「利用していた」が 52.2%、「利用していなかった」が 46.6%の順となっている。

年齢で見ると、75歳未満では「利用していなかった」が 59.3%となっている。

図表 施設入所前の居宅介護サービスの利用状況（全体・属性別）



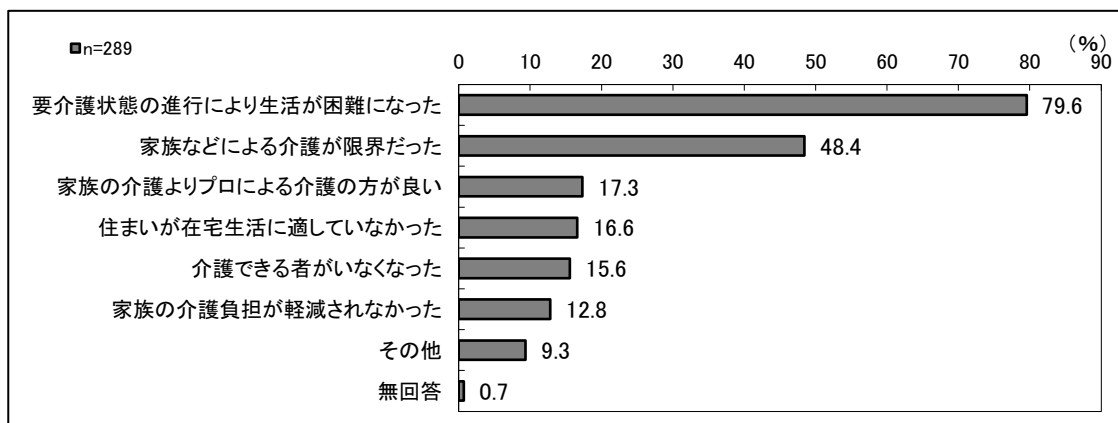
(2) 自宅での生活が続けられなかった理由

※問 12-1 は、問 12 で「1. 利用していた」に○をつけた方にお聞きします。
問 12-1 居宅介護サービスを利用しながら、自宅での生活が続けられなかった主な理由は何ですか。【複数回答】

- 「要介護状態の進行により生活が困難になった」が第1位。「家族などによる介護が限界だった」、「家族の介護よりプロによる介護の方が良い」などが続く。

自宅での生活が続けられなかった理由については、「要介護状態の進行により生活が困難になった」(79.6%) が最も多く、次いで「家族などによる介護が限界だった」(48.4%)、「家族の介護よりプロによる介護の方が良い」(17.3%)、「住まいが在宅生活に適していなかった」(16.6%)、「介護できる者がいなくなった」(15.6%)、「家族の介護負担が軽減されなかった」(12.8%) の順となっている。

図表 自宅での生活が続けられなかった理由 (全体/複数回答)



図表 自宅での生活が続けられなかった理由 (全体・属性別—第1位/複数回答)

	合計	問12-1 自宅での生活が続けられなかった理由								無回答	非該当
		要介護状態の進行により生活が困難になった	家族の介護負担が軽減されなかった	家族などによる介護が限界だった	家族の介護よりプロによる介護の方が良い	住まいが在宅生活に適していなかった	介護できる者がいなくなった	その他			
全体	289 100.0%	230 79.6%	37 12.8%	140 48.4%	50 17.3%	48 16.6%	45 15.6%	27 9.3%	2 0.7%	265	
入所施設	介護老人福祉施設	166 100.0%	139 83.7%	23 13.9%	90 54.2%	23 13.9%	25 15.1%	22 13.3%	13 7.8%	1 0.6%	124
	介護老人保健施設	46 100.0%	33 71.7%	8 17.4%	17 37.0%	5 10.9%	8 17.4%	10 21.7%	7 15.2%	1 2.2%	53
	介護療養型医療施設	4 100.0%	3 75.0%	0 0.0%	3 75.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4
	介護付有料老人ホーム	46 100.0%	33 71.7%	4 8.7%	20 43.5%	12 26.1%	7 15.2%	8 17.4%	6 13.0%	0 0.0%	51
	介護付ケアハウス	9 100.0%	6 66.7%	1 11.1%	5 55.6%	3 33.3%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7
	その他	12 100.0%	10 83.3%	1 8.3%	4 33.3%	4 33.3%	1 8.3%	3 25.0%	1 8.3%	0 0.0%	22
	性別	70 100.0%	61 87.1%	15 21.4%	38 54.3%	10 14.3%	6 8.6%	13 18.6%	5 7.1%	0 0.0%	70
女性	218 100.0%	168 77.1%	22 10.1%	102 46.8%	40 18.3%	42 19.3%	32 14.7%	22 10.1%	2 0.9%	192	
年齢	75歳未満	21 100.0%	16 76.2%	2 9.5%	8 38.1%	3 14.3%	0 0.0%	2 9.5%	3 14.3%	1 4.8%	33
	75歳以上	266 100.0%	213 80.1%	35 13.2%	131 49.2%	47 17.7%	47 17.7%	42 15.8%	24 9.0%	1 0.4%	230

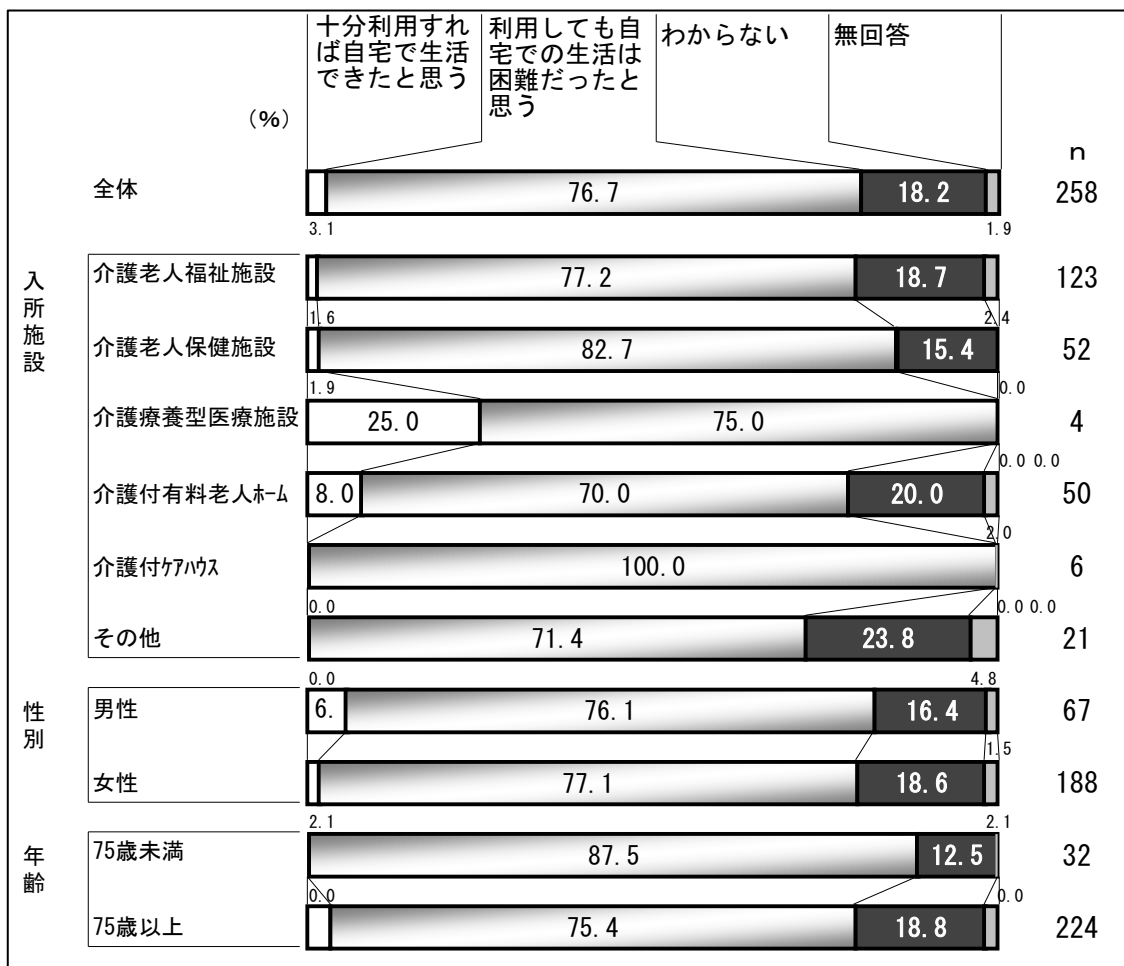
(3) 居宅介護サービスを利用すれば自宅で生活できたか

※問 12-2 は、問 12 で「2. 利用していなかった」に○をつけた方にお聞きます。
問 12-2 居宅介護サービスを利用すれば、自宅でも生活できたと思いますか。

- 「利用しても自宅での生活は困難だったと思う」が8割弱を占める。

居宅介護サービスを利用すれば自宅で生活できたかについては、「利用しても自宅での生活は困難だったと思う」が 76.7%、「十分利用すれば自宅で生活できたと思う」が 3.1%の順となっている。

図表 居宅介護サービスを利用すれば自宅で生活できたか（全体・属性別）



(4) 入所施設はどのように選んだか

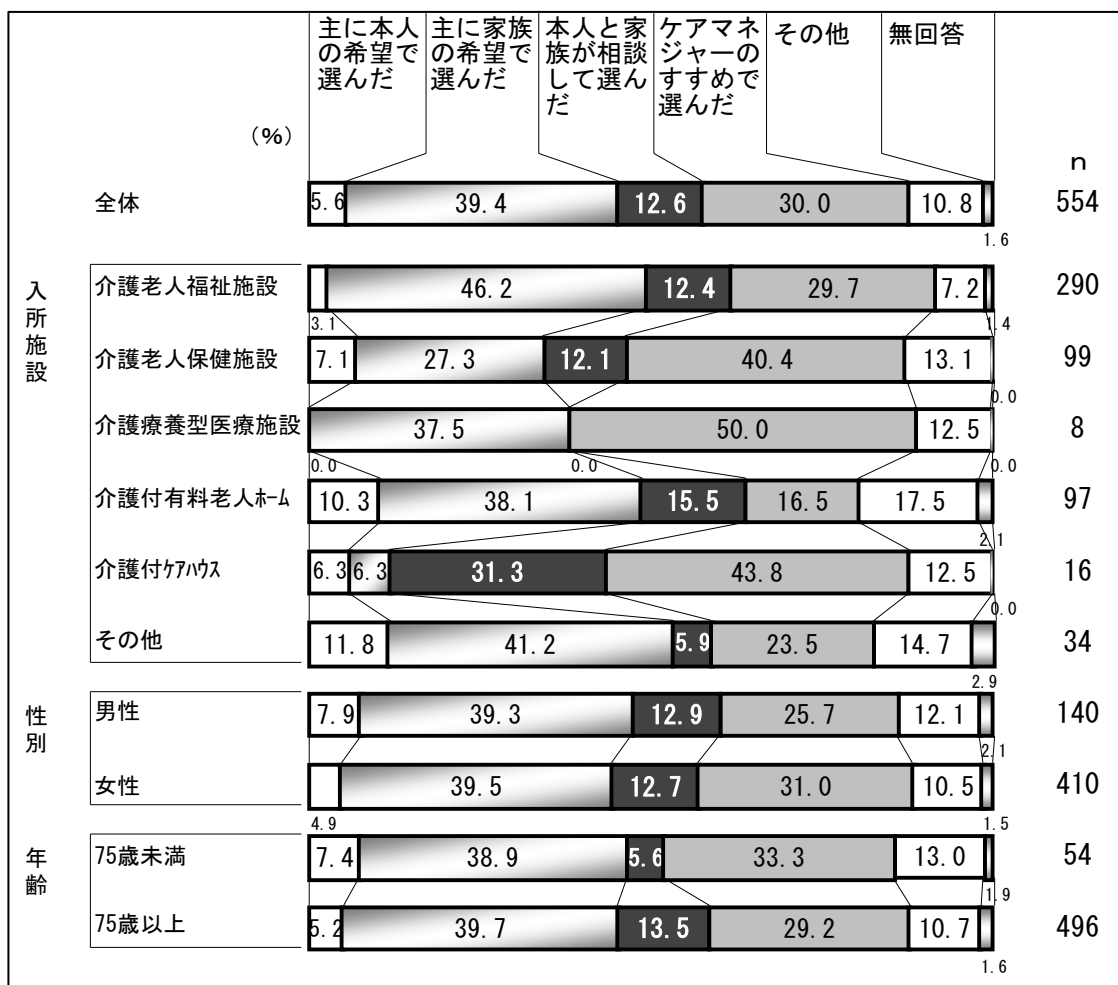
問 13 入所している施設は、どのように選びましたか。

- 「主に家族の希望で選んだ」が4割弱、「ケアマネジャーのすすめで選んだ」が3割を占める。

入所施設はどのように選んだかについては、「主に家族の希望で選んだ」が 39.4%、「ケアマネジャーのすすめで選んだ」が 30.0%、「本人と家族が相談して選んだ」が 12.6%、「主に本人の希望で選んだ」が 5.6%の順となっている。

入所施設でみると、介護付ケアハウスでは「本人と家族が相談して選んだ」が 31.3%となっている。

図表 入所施設はどのように選んだか（全体・属性別）



(5) 施設を選んだ時に重視したこと

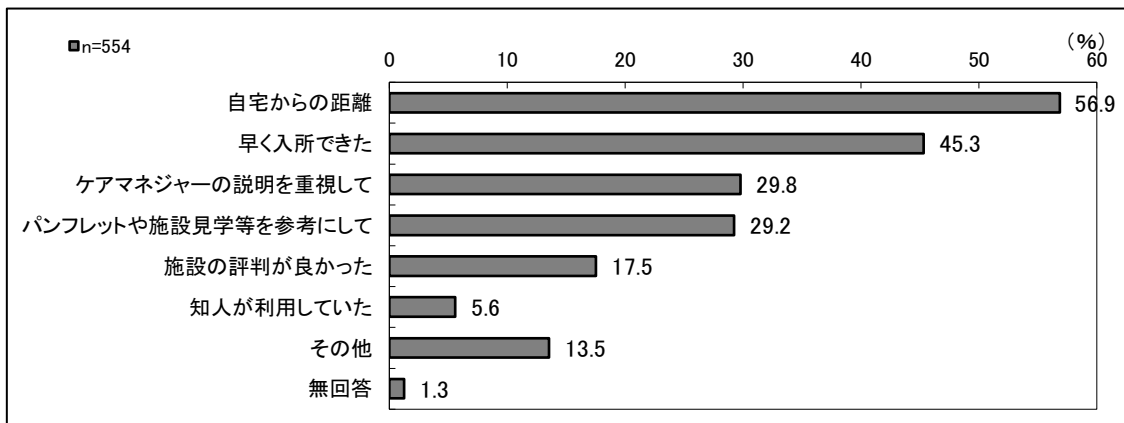
問14 施設を選んだ時に重視したことは何ですか。【複数回答】

- 「自宅からの距離」が第1位。「早く入所できた」、「ケアマネジャーの説明を重視して」などが続く。

施設を選んだ時に重視したことについては、「自宅からの距離」(56.9%)が最も多く、次いで「早く入所できた」(45.3%)、「ケアマネジャーの説明を重視して」(29.8%)、「パンフレットや施設見学等を参考にして」(29.2%)、「施設の評判が良かった」(17.5%)、「知人が利用していた」(5.6%)の順となっている。

年齢で見ると、75歳未満では「早く入所できた」が第1位となっている。

図表 施設を選んだ時に重視したこと（全体／複数回答）



図表 施設を選んだ時に重視したこと（全体・属性別—第1位／複数回答）

	合計	問14 施設を選んだ時に重視したこと								
		自宅からの距離	知人が利用していた	パンフレットや施設見学等を参考にして	ケアマネジャーの説明を重視して	施設の評判が良かった	早く入所できた	その他	無回答	
全体	554	315	31	162	165	97	251	75	7	
	100.0%	56.9%	5.6%	29.2%	29.8%	17.5%	45.3%	13.5%	1.3%	
入所施設	介護老人福祉施設	290	166	17	81	100	52	122	42	3
		100.0%	57.2%	5.9%	27.9%	34.5%	17.9%	42.1%	14.5%	1.0%
	介護老人保健施設	99	59	10	12	30	24	46	16	0
		100.0%	59.6%	10.1%	12.1%	30.3%	24.2%	46.5%	16.2%	0.0%
	介護療養型医療施設	8	3	0	3	2	1	4	0	1
		100.0%	37.5%	0.0%	37.5%	25.0%	12.5%	50.0%	0.0%	12.5%
	介護付有料老人ホーム	97	56	2	41	13	15	46	10	2
	100.0%	57.7%	2.1%	42.3%	13.4%	15.5%	47.4%	10.3%	2.1%	
その他	16	10	1	8	10	1	8	1	0	
	100.0%	62.5%	6.3%	50.0%	62.5%	6.3%	50.0%	6.3%	0.0%	
性別	男性	34	18	0	13	8	2	19	6	0
		100.0%	52.9%	0.0%	38.2%	23.5%	5.9%	55.9%	17.6%	0.0%
年齢	75歳未満	140	79	4	40	44	29	67	20	3
		100.0%	56.4%	2.9%	28.6%	31.4%	20.7%	47.9%	14.3%	2.1%
年齢	女性	410	236	27	120	120	67	181	55	4
		100.0%	57.6%	6.6%	29.3%	29.3%	16.3%	44.1%	13.4%	1.0%
年齢	75歳未満	54	22	4	13	14	6	32	5	1
		100.0%	40.7%	7.4%	24.1%	25.9%	11.1%	59.3%	9.3%	1.9%
年齢	75歳以上	496	293	27	146	150	90	217	70	6
		100.0%	59.1%	5.4%	29.4%	30.2%	18.1%	43.8%	14.1%	1.2%

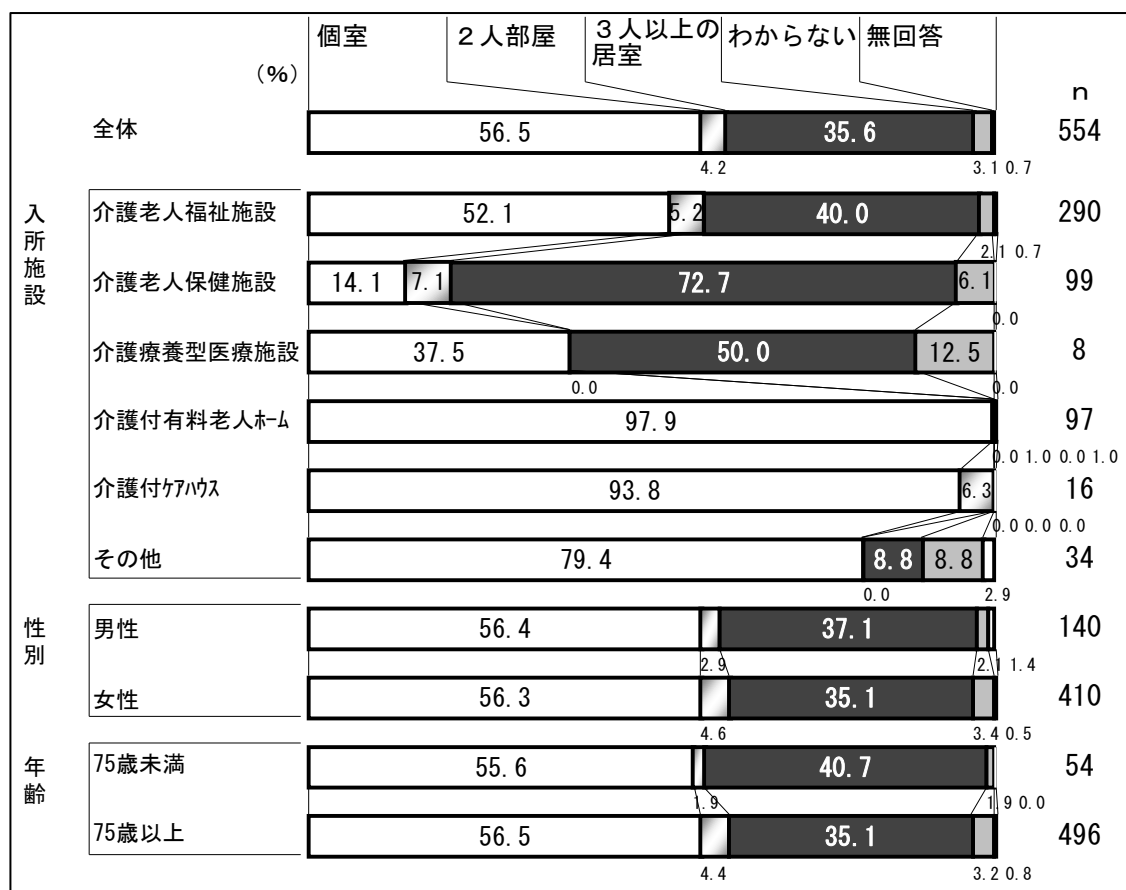
(6) 入所施設の本人の居室のタイプ

問 15 入所している施設のご本人の居室は、どのような部屋ですか。

- 「個室」が6割弱、「3人以上の居室」が4割弱を占める。

入所施設の本人の居室のタイプについては、「個室」が56.5%、「3人以上の居室」が35.6%、「2人部屋」が4.2%の順となっている。

図表 入所施設の本人の居室のタイプ（全体・属性別）



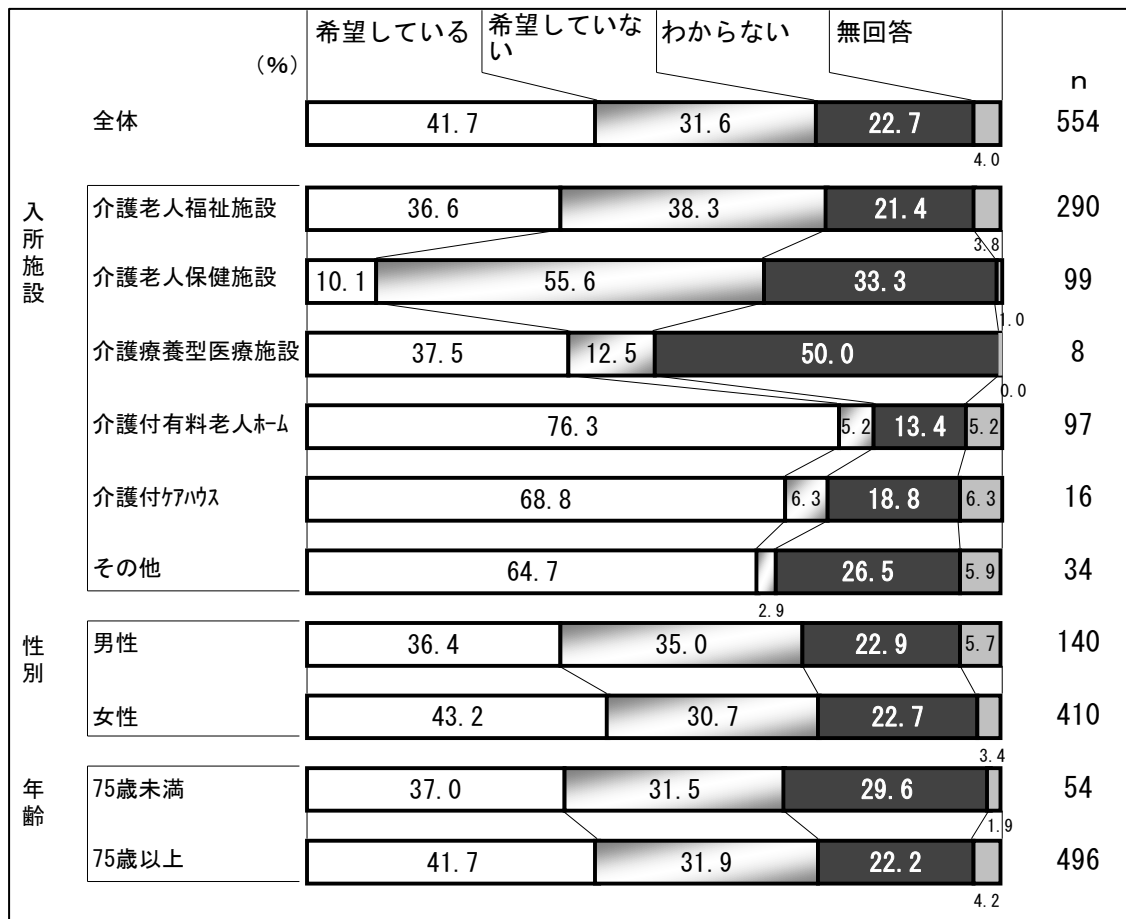
(7) 個室での暮らしを希望しているか

問 16 個室での暮らしを希望していますか。

- 「希望している」が4割強、「希望していない」が3割強を占める。

個室での暮らしを希望しているかについては、「希望している」が41.7%、「希望していない」が31.6%の順となっている。

図表 個室での暮らしを希望しているか（全体・属性別）



(8) 満足度

問 17 入所している施設について、サービスの満足度について項目ごとにご回答ください。

- すべての項目で“満足”が5割以上を占める。

各サービスの満足度については以下のとおり。

① 食事（食事時間やメニューなど）

「満足」（39.9%）と「やや満足」（24.5%）を合わせた“満足”が64.4%、「やや不満」（5.4%）と「不満」（2.9%）を合わせた“不満”が8.3%となっている。

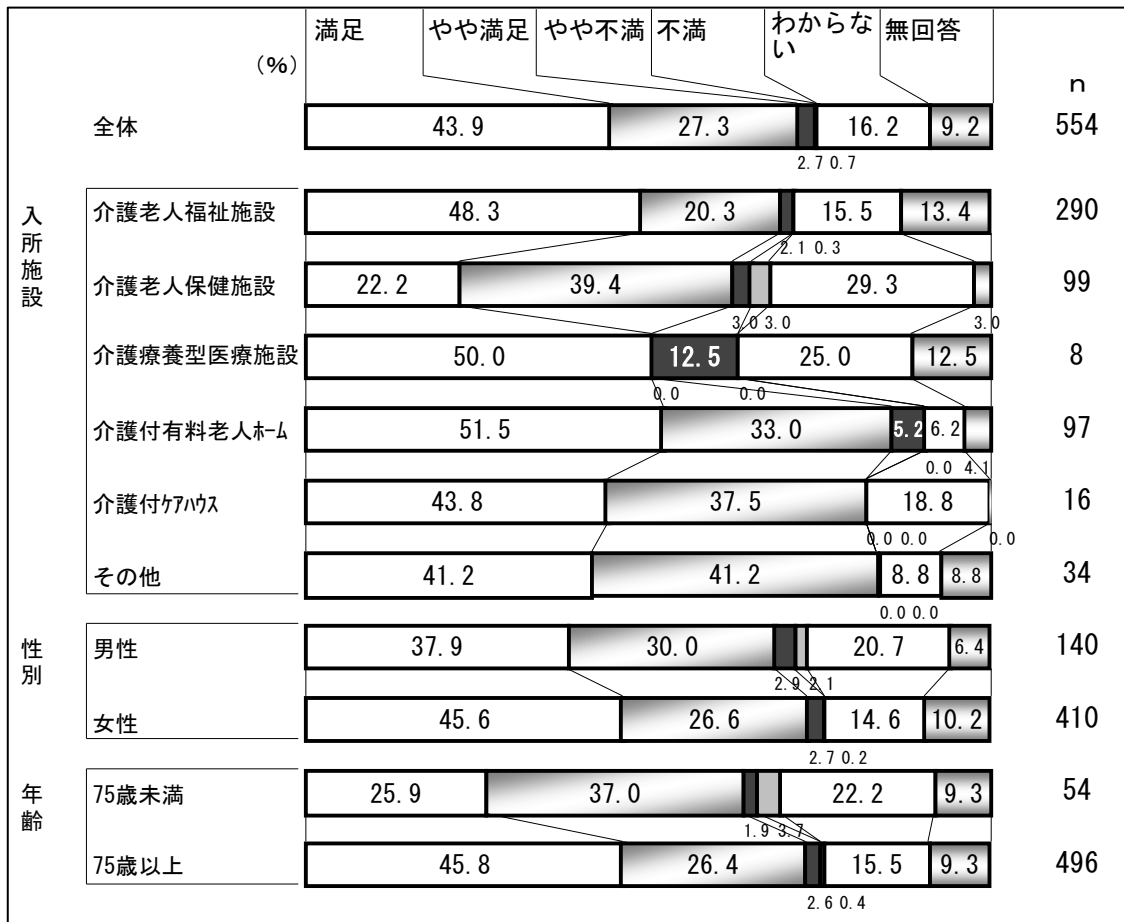
図表 ① 食事（食事時間やメニューなど）の満足度（全体・属性別）

		(%)						n
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	
入所施設	全体	39.9	24.5	5.4	2.9	18.4	8.8	554
	介護老人福祉施設	45.5	16.2	5.2	2.4	17.2	13.4	290
	介護老人保健施設	32.3	36.4	3.0	4.0	21.2	3.0	99
	介護療養型医療施設	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	8
	介護付有料老人ホーム	29.9	27.8	11.3	5.2	21.6	4.1	97
	介護付ケアハウス	43.8	43.8	0.0	0.0	12.5	0.0	16
	その他	47.1	35.3	11.8	5.9	0.0	0.0	34
性別	男性	35.0	25.7	8.6	4.3	20.0	6.4	140
	女性	41.5	24.1	4.4	2.4	17.8	9.8	410
年齢	75歳未満	25.9	29.6	5.6	4.4	27.8	7.4	54
	75歳以上	41.5	23.8	5.6	3.7	17.3	9.1	496

② 居室の空間

「満足」(43.9%)と「やや満足」(27.3%)を合わせた“満足”が71.2%、「やや不満」(2.7%)と「不満」(0.7%)を合わせた“不満”が3.4%となっている。

図表 ② 居室の空間の満足度 (全体・属性別)



③ 日ごろの介護、職員の接し方

「満足」(44.9%)と「やや満足」(28.0%)を合わせた“満足”が72.9%、「やや不満」(4.9%)と「不満」(1.1%)を合わせた“不満”が6.0%となっている。

図表 ③ 日ごろの介護、職員の接し方の満足度(全体・属性別)

		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	n
全体		44.9	28.0	4.9	1.1	11.6	9.6	554
入所施設	介護老人福祉施設	48.6	20.7	4.1	1.4	11.4	13.8	290
	介護老人保健施設	39.4	40.4	5.1	11.1	1.0	3.0	99
	介護療養型医療施設	37.5	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	8
	介護付有料老人ホーム	32.0	41.2	8.2	12.4	5.2	1.0	97
	介護付ケアハウス	68.8	18.8	12.5	0.0	0.0	0.0	16
	その他	50.0	29.4	5.9	5.9	8.8	0.0	34
性別	男性	42.1	27.1	6.4	15.0	7.1	0.0	140
	女性	45.6	28.5	10.2	10.5	4.4	0.7	410
年齢	75歳未満	29.6	31.5	9.3	16.7	9.3	3.7	54
	75歳以上	46.6	27.8	10.9	9.7	4.2	0.8	496

④ リハビリや生活訓練

「満足」(33.6%)と「やや満足」(23.1%)を合わせた“満足”が56.7%、「やや不満」(10.3%)と「不満」(5.4%)を合わせた“不満”が15.7%となっている。

図表 ④ リハビリや生活訓練の満足度(全体・属性別)

		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	n
全体		33.6	23.1	10.3	5.4	18.1	9.6	554
入所施設	介護老人福祉施設	37.6	17.2	7.6	5.5	17.9	14.1	290
	介護老人保健施設	35.4	31.3	12.1	3.0	15.2	3.0	99
	介護療養型医療施設	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	8
	介護付有料老人ホーム	21.6	24.7	17.5	8.2	22.7	5.2	97
	介護付ケアハウス	18.8	50.0	6.3	6.3	18.8	0.0	16
	その他	35.3	32.4	8.8	14.7	5.9	0.0	34
性別	男性	33.6	17.1	11.4	7.9	22.9	7.1	140
	女性	33.4	25.1	10.0	16.3	10.5	2.9	410
年齢	75歳未満	20.4	25.9	14.8	11.1	18.5	9.3	54
	75歳以上	35.1	22.8	9.7	17.9	9.7	4.8	496

⑤ 娯楽・レクリエーション

「満足」(35.6%)と「やや満足」(24.0%)を合わせた“満足”が59.6%、「やや不満」(7.4%)と「不満」(2.5%)を合わせた“不満”が9.9%となっている。

図表 ⑤ 娯楽・レクリエーションの満足度(全体・属性別)

		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	n
全体		35.6	24.0	7.4	2.5	20.9	9.6	554
入所施設	介護老人福祉施設	40.0	17.6	4.5	3.1	21.0	13.8	290
	介護老人保健施設	35.4	30.3	8.1	2.0	20.2	4.0	99
	介護療養型医療施設	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	8
	介護付有料老人ホーム	27.8	30.9	13.4	2.1	21.6	4.1	97
	介護付ケアハウス	18.8	43.8	12.5	0.0	25.0	0.0	16
	その他	35.3	35.3	8.8	2.9	11.8	5.9	34
	性別	男性	32.9	19.3	7.1	2.9	30.0	7.9
	女性	36.6	25.6	7.3	2.4	17.8	10.2	410
年齢	75歳未満	20.4	29.6	9.3	5.6	24.1	11.1	54
	75歳以上	37.5	23.4	6.9	2.2	20.6	9.5	496

(9) 入所している施設のサービスの全般的な満足度

問 18 入所している施設のサービスについて、全般的な満足度をご回答ください。

- “満足” が7割強を占める。

入所している施設のサービスの全般的な満足度については、「満足」(32.1%)と「ほぼ満足」(38.3%)を合わせた“満足”が70.4%、「ふつう」が13.7%、「やや不満」(5.6%)と「不満」(1.4%)を合わせた“不満”が7.0%となっている。

図表 入所している施設のサービスの全般的な満足度（全体・属性別）

		満足度 (%)						n
		満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	
入所施設	全体	32.1	38.3	13.7	5.6	1.4	8.8	554
	介護老人福祉施設	36.2	34.1	10.7	3.1	2.1	13.8	290
	介護老人保健施設	33.3	40.4	14.1	7.1	0.0	0.0	99
	介護療養型医療施設	25.0	37.5	25.0	12.5	0.0	0.0	8
	介護付有料老人ホーム	20.6	42.3	20.6	11.3	0.0	0.0	97
	介護付ケアハウス	25.0	68.8	6.3	0.0	0.0	0.0	16
	その他	32.4	38.2	17.6	8.8	0.0	0.0	34
性別	男性	30.7	37.1	15.7	6.4	7.1	0.2	140
	女性	32.4	38.5	13.2	5.4	9.5	0.9	410
年齢	75歳未満	22.2	37.0	20.4	5.6	5.6	9.3	54
	75歳以上	33.3	38.3	12.9	5.6	8.9	1.0	496

(10) 日常生活

問 19 入所してからの日常生活について、お聞きます。それぞれあてはまるものをご回答ください。

入所してからの日常生活については以下のとおり。

① 生活習慣

「規則正しくなった」が 60.5%、「変わらない」が 28.9%、「不規則になった」が 0.9% の順となっている。

図表 ① 生活習慣（全体・属性別）

		規則正しく なった (%)	変わらない	不規則になっ た	無回答	n
入 所 施 設	全体	60.5	28.9	9.7	0.9	554
	介護老人福祉施設	63.4	27.9	7.2	1.4	290
	介護老人保健施設	56.6	28.3	15.2	0.0	99
	介護療養型医療施設	37.5	37.5	25.0	0.0	8
	介護付有料老人ホーム	53.6	36.1	10.3	0.0	97
	介護付ケアハウス	87.5	12.5	0.0	0.0	16
	その他	67.6	20.6	8.8	2.9	34
性 別	男性	57.1	28.6	12.9	1.4	140
	女性	62.0	28.8	8.5	0.7	410
年 齢	75歳未満	53.7	33.3	11.1	1.9	54
	75歳以上	61.5	28.2	9.5	0.8	496

② 生活におけるハリ

「変わらない」が48.9%、「ハリが出た」が27.6%、「ハリがなくなった」が12.5%の順となっている。

図表 ② 生活におけるハリ（全体・属性別）

		(%)				n
		ハリが出た	変わらない	ハリがなくなった	無回答	
入所施設	全体	27.6	48.9	12.5	11.0	554
	介護老人福祉施設	31.4	49.3	11.4	7.9	290
	介護老人保健施設	24.2	43.4	15.2	17.2	99
	介護療養型医療施設	12.5	37.5	12.5	37.5	8
	介護付有料老人ホーム	21.6	51.5	15.5	11.3	97
	介護付ケアハウス	18.8	75.0	6.3	0.0	16
	その他	35.3	47.1	8.8	8.8	34
性別	男性	25.7	47.1	14.3	12.9	140
	女性	28.5	49.3	12.0	10.2	410
年齢	75歳未満	13.0	59.3	14.8	13.0	54
	75歳以上	29.4	47.6	12.3	10.7	496

③ ご本人の気持ち

「変わらない」が57.0%、「前向きになった」が23.5%、「ふさぎこみがちになった」が9.0%の順となっている。

図表 ③ ご本人の気持ち（全体・属性別）

		前向きになっ た	変わらない	ふさぎこみが ちになった	無回答	n
		（%）				
入 所 施 設	全体	23.5	57.0	9.0	10.5	554
	介護老人福祉施設	25.9	56.6	9.3	8.3	290
	介護老人保健施設	19.2	56.6	8.1	16.2	99
	介護療養型医療施設	12.5	50.0	37.5	0.0	8
	介護付有料老人ホーム	23.7	55.7	11.3	9.3	97
	介護付ケアハウス	31.3	62.5	6.3	0.0	16
	その他	20.6	64.7	8.8	5.9	34
性 別	男性	25.0	52.1	12.1	10.7	140
	女性	23.2	58.5	8.0	10.2	410
年 齢	75歳未満	13.0	63.0	13.0	11.1	54
	75歳以上	24.8	56.3	8.7	10.3	496

④ 服装・身だしなみ

「変わらない」が63.4%、「気にするようになった」が17.7%、「かまわなくなった」が8.8%の順となっている。

図表 ④ 服装・身だしなみ（全体・属性別）

		(%)				n
		気にするようになった	変わらない	かまわなくなった	無回答	
入所施設	全体	17.7	63.4	8.8	10.1	554
	介護老人福祉施設	20.7	63.8	7.9	7.6	290
	介護老人保健施設	15.2	61.6	8.1	15.2	99
	介護療養型医療施設	25.0	25.0	12.5	37.5	8
	介護付有料老人ホーム	12.4	68.0	10.3	9.3	97
	介護付ケアハウス	12.5	75.0	6.3	6.3	16
	その他	20.6	55.9	14.7	8.8	34
性別	男性	20.0	55.7	13.6	10.7	140
	女性	17.1	65.9	7.3	9.8	410
年齢	75歳未満	7.4	66.7	13.0	13.0	54
	75歳以上	19.0	62.9	8.5	9.7	496

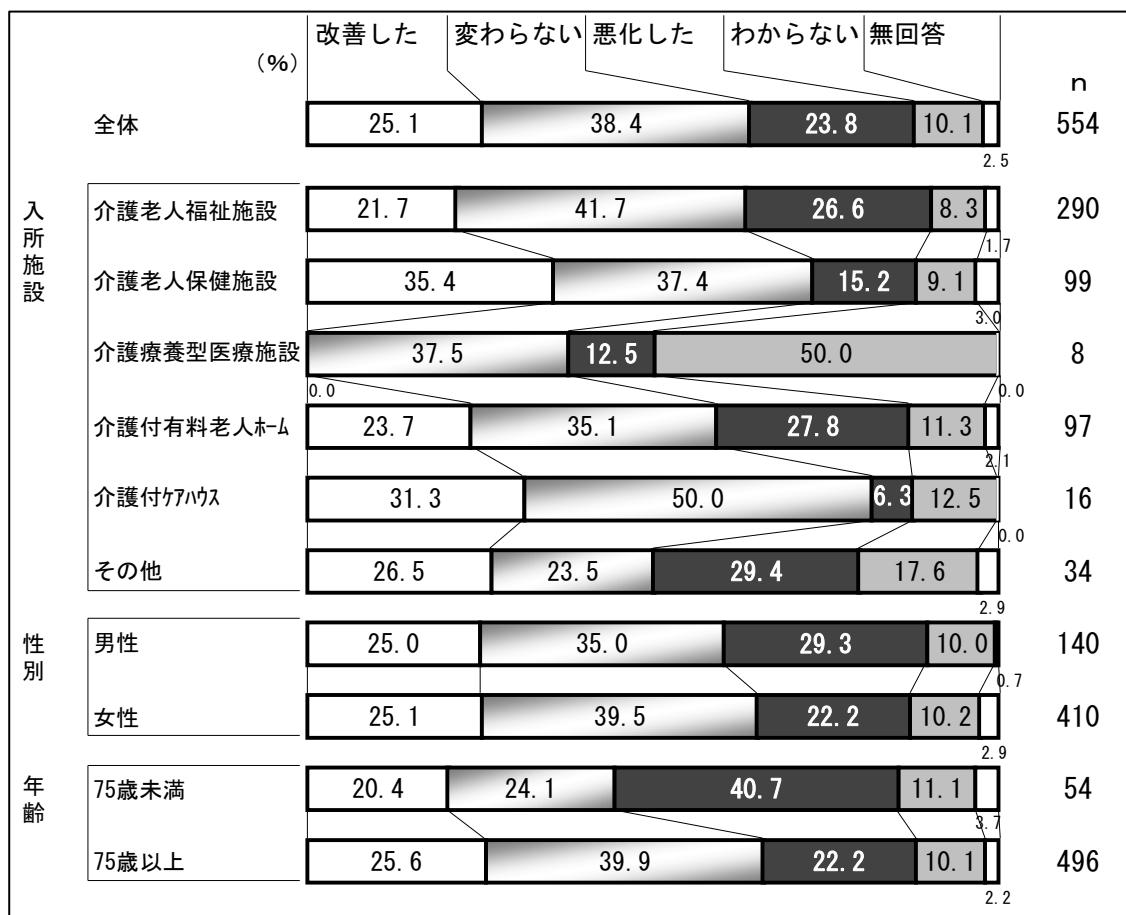
(11) 入所後の身体的な状態の改善

問 20 入所してから、身体的な状態は、改善しましたか。

- 「変わらない」が4割弱、「改善した」が3割弱を占める。

入所後の身体的な状態の改善については、「変わらない」が38.4%、「改善した」が25.1%、「悪化した」が23.8%の順となっている。

図表 入所後の身体的な状態の改善（全体・属性別）



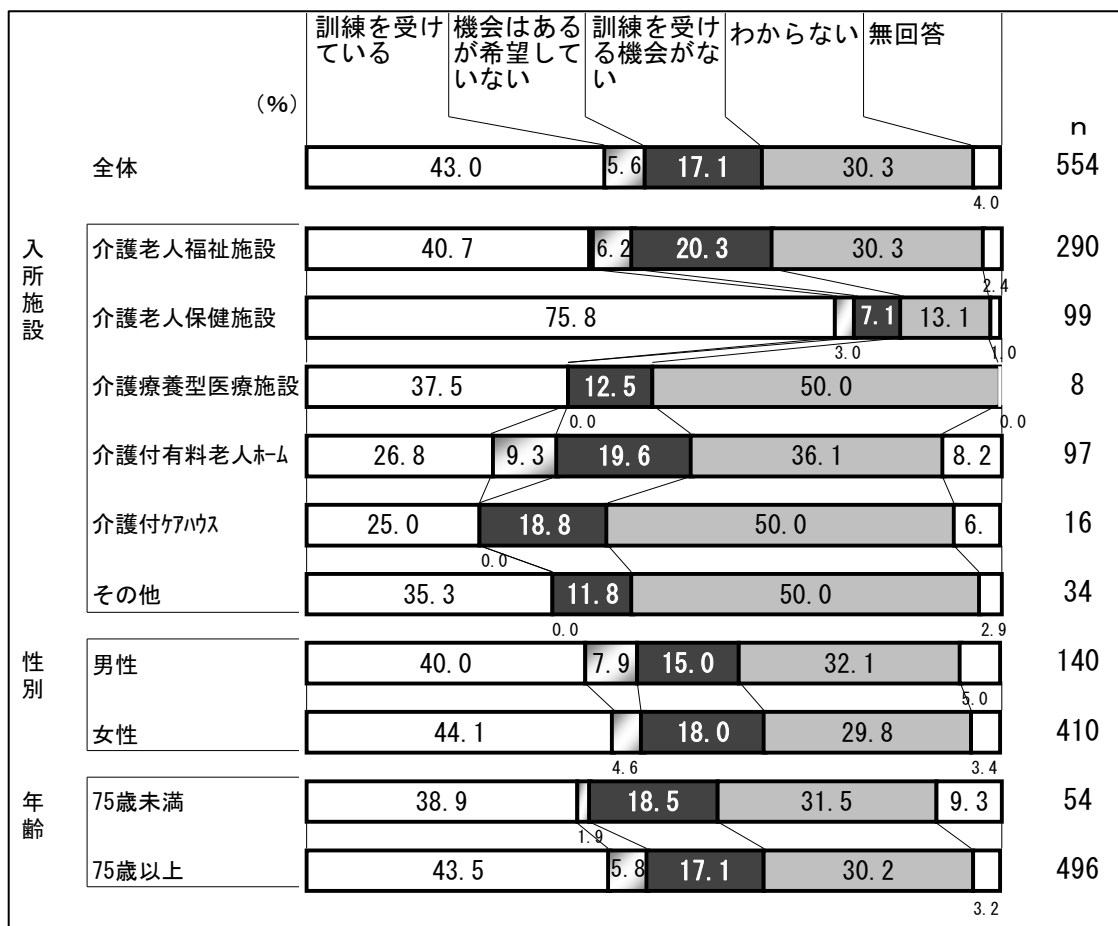
(12) 要介護状態を改善するための訓練を受けているか

問 21 要介護状態を改善するための訓練を受けていますか。

- 「訓練を受けている」が4割強、「訓練を受ける機会がない」が2割弱を占める。

要介護状態を改善するための訓練を受けているかについては、「訓練を受けている」が43.0%、「訓練を受ける機会がない」が17.1%、「機会はあるが希望していない」が5.6%の順となっている。

図表 要介護状態を改善するための訓練を受けているか（全体・属性別）



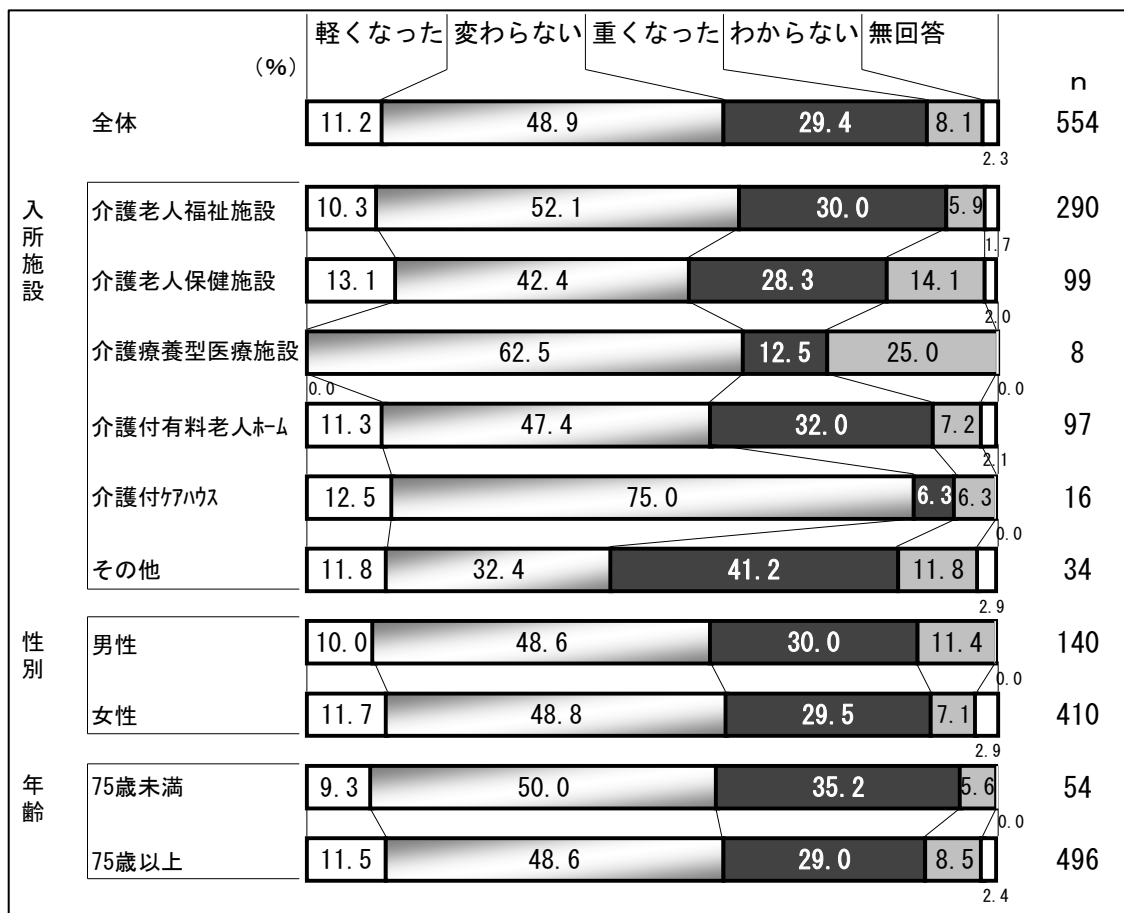
(13) 入所後の要介護度の変化

問 22 入所してから、要介護度に変化はありましたか。

- 「変わらない」が5割弱、「重くなった」が3割弱を占める。

入所後の要介護度の変化については、「変わらない」が48.9%、「重くなった」が29.4%、「軽くなった」が11.2%の順となっている。

図表 入所後の要介護度の変化（全体・属性別）



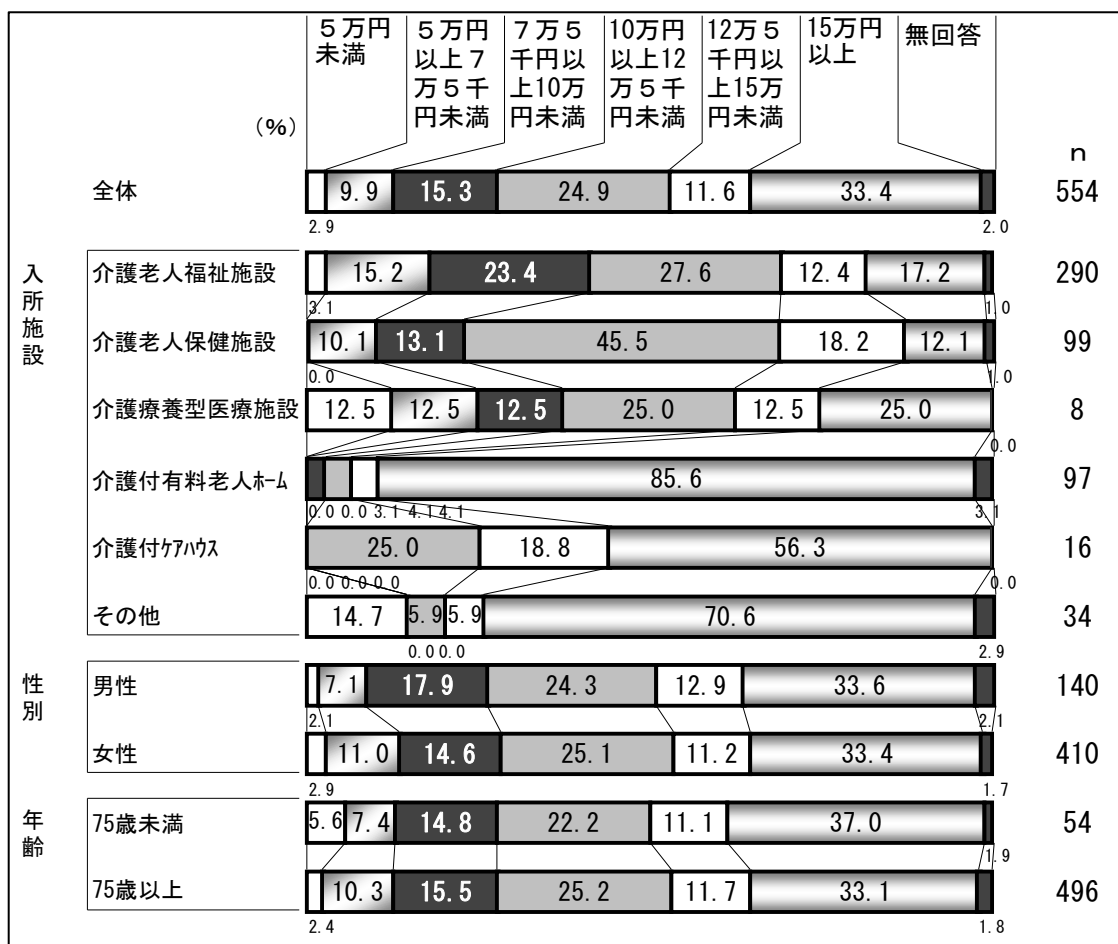
(14) 入所にかかる1か月の費用

問 23 入所にかかる1か月の費用（介護サービスの1割～3割負担や食費等の自己負担分の総額）はどのくらいになりますか。

- 「15万円以上」が3割強、「10万円以上12万5千円未満」が2割強を占める。

入所にかかる1か月の費用については、「15万円以上」が33.4%、「10万円以上12万5千円未満」が24.9%、「7万5千円以上10万円未満」が15.3%、「12万5千円以上15万円未満」が11.6%、「5万円以上7万5千円未満」が9.9%、「5万円未満」が2.9%の順となっている。

図表 入所にかかる1か月の費用（全体・属性別）



(15) 入所費用について感じる事

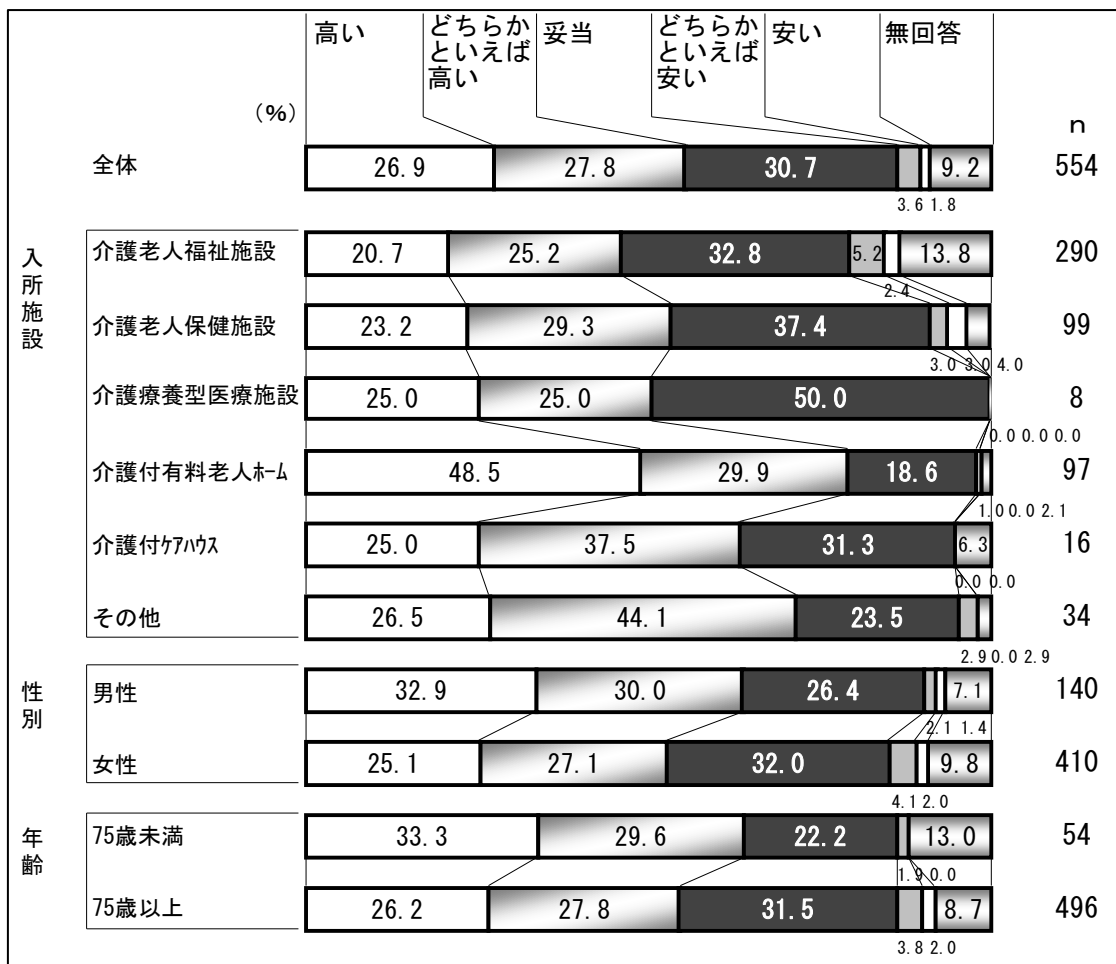
問 24 入所にかかる1か月の費用（自己負担分）について、どのように感じますか。

- “高い” が5割強、「妥当」が3割強を占める。

入所費用について感じる事については、「高い」(26.9%)と「どちらかといえば高い」(27.8%)を合わせた“高い”が54.7%、「妥当」が30.7%、「どちらかといえば安い」(3.6%)と「安い」(1.8%)を合わせた“安い”が5.4%となっている。

性別でみると、女性よりも男性の“高い”の割合が高く62.9%となっている。

図表 入所費用について感じる事（全体・属性別）



(16) 本人に認知症の症状が見られるか

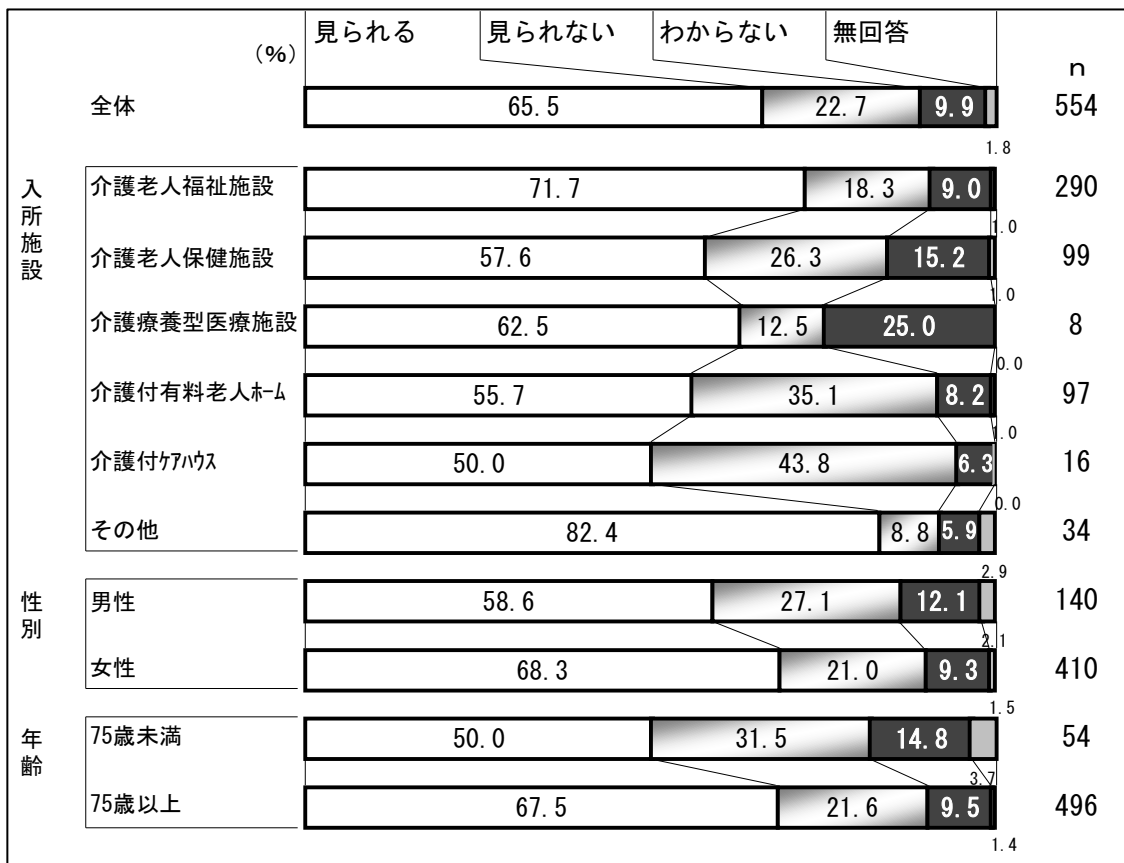
問 25 ご本人に認知症の症状は見られますか。

- 「見られる」が7割弱、「見られない」が2割強を占める。

本人に認知症の症状が見られるかについては、「見られる」が65.5%、「見られない」が22.7%の順となっている。

性別でみると、男性よりも女性の「見られる」の割合が高く68.3%となっている。

図表 本人に認知症の症状が見られるか（全体・属性別）



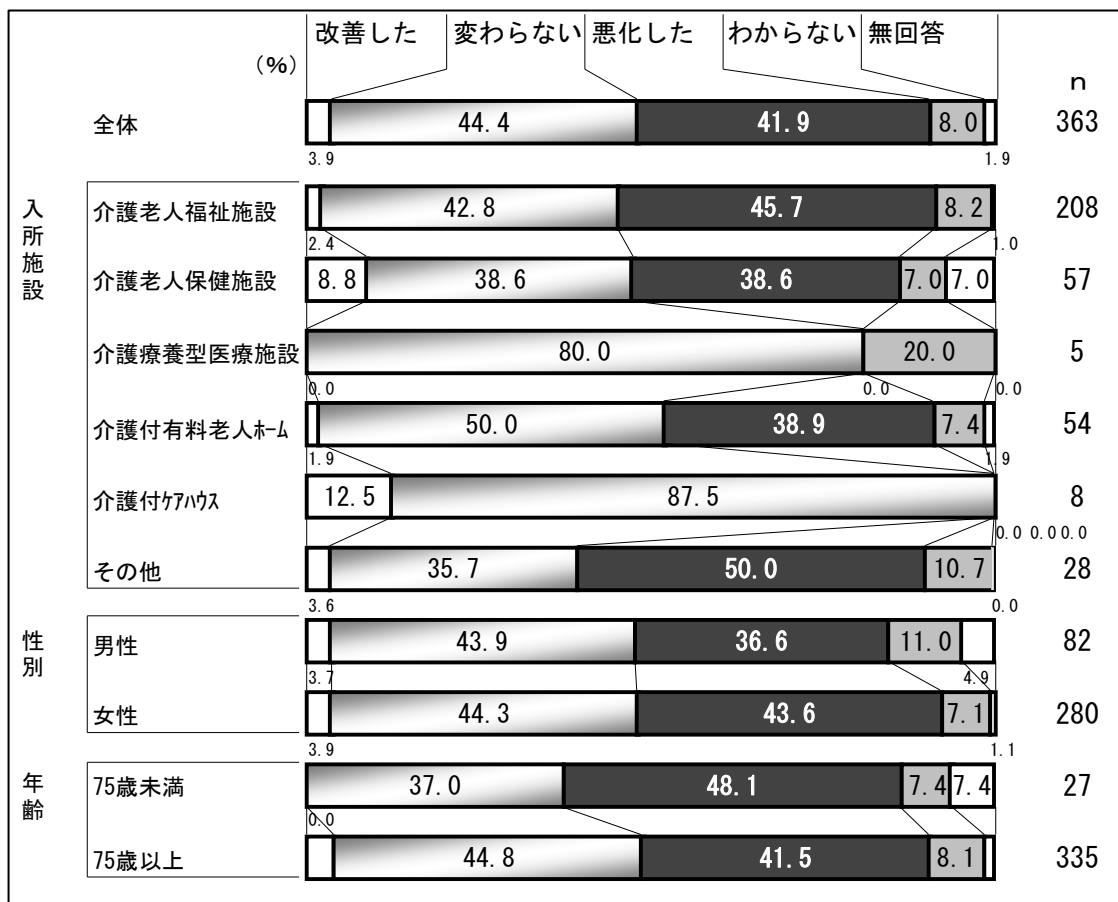
(17) 入所後の認知症の改善状況

※問 25-1 は、問 25 で「1. 見られる」と回答した方にお聞きします。
 問 25-1 入所してから、認知症の症状は、改善しましたか。

- 「変わらない」、「悪化した」がともに4割強を占める。

入所後の認知症の改善状況については、「変わらない」が44.4%、「悪化した」が41.9%、「改善した」が3.9%の順となっている。

図表 入所後の認知症の改善状況（全体・属性別）



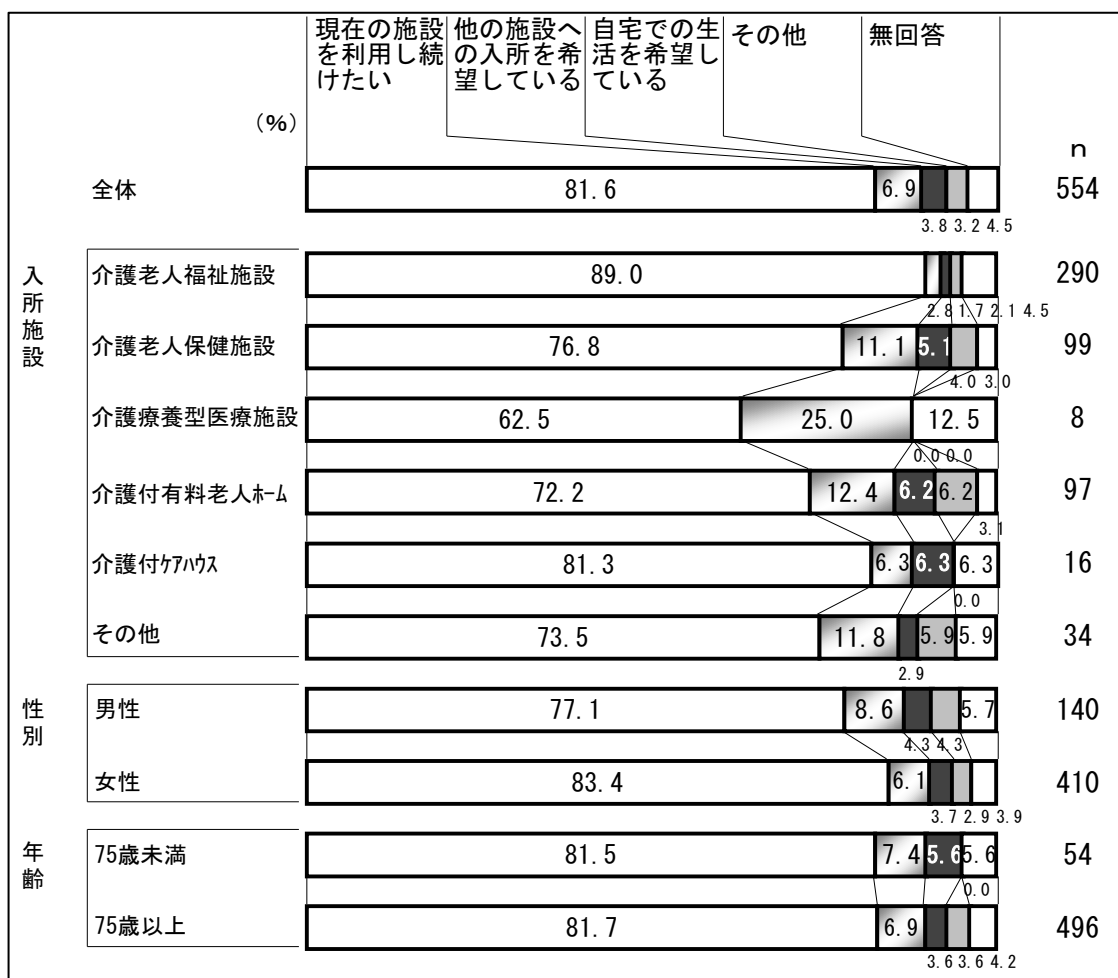
(18) 他施設への入所・自宅での生活への意向

問 26 現在の施設を退所して、他の施設への入所や自宅での生活を希望していますか。

- 「現在の施設を利用し続けたい」が8割強を占める。

他施設への入所・自宅での生活への意向については、「現在の施設を利用し続けたい」が81.6%、「他の施設への入所を希望している」が6.9%、「自宅での生活を希望している」が3.8%の順となっている。

図表 他施設への入所・自宅での生活への意向（全体・属性別）



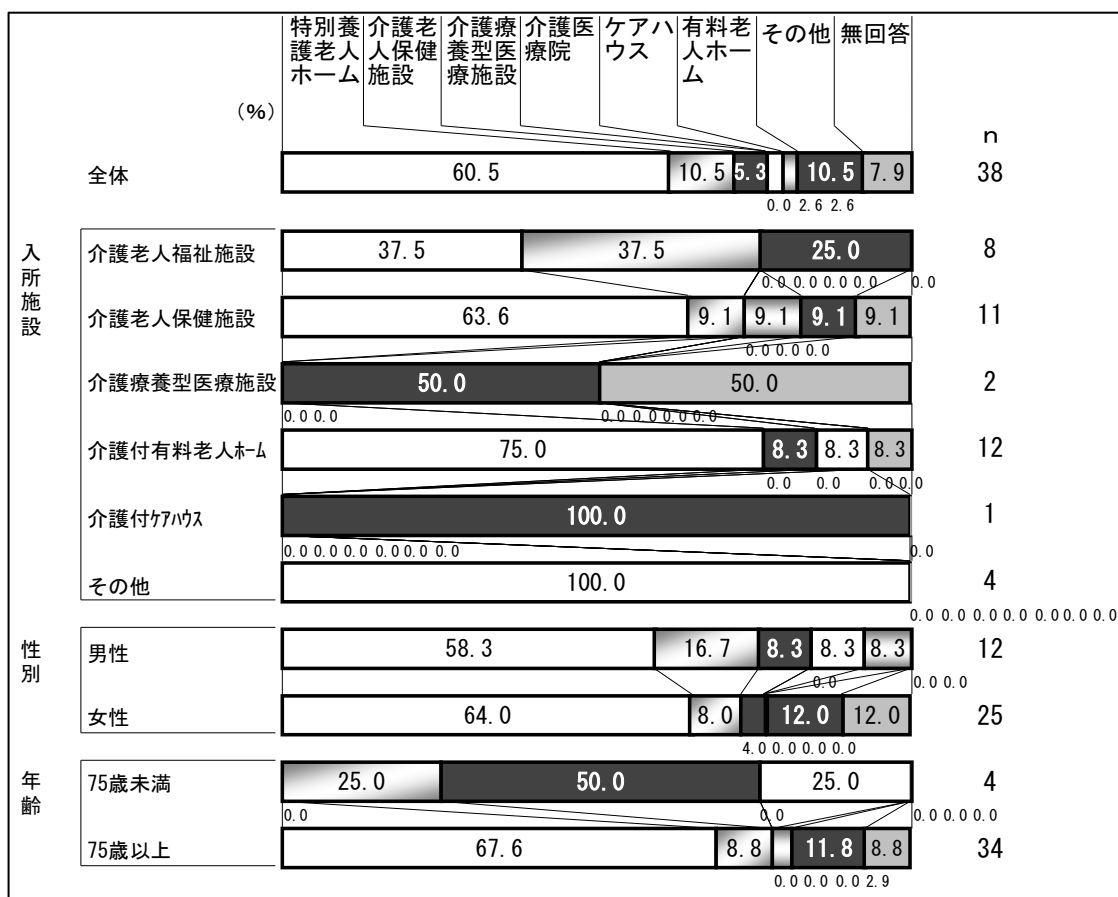
(19) 希望する入所施設

問 26-1 は、問 26 で「2. 他の施設への入所を希望している」と回答した方にお聞きします。
 問 26-1 希望する施設をご回答ください。

- 「特別養護老人ホーム」が6割強を占める。

希望する入所施設については、「特別養護老人ホーム」が60.5%、「介護老人保健施設」が10.5%、「介護療養型医療施設」が5.3%、「ケアハウス」・「有料老人ホーム」が同率で2.6%、「介護医療院」が0.0%の順となっている。

図表 希望する入所施設（全体・属性別）



(20) 自宅などで生活するための必要な条件

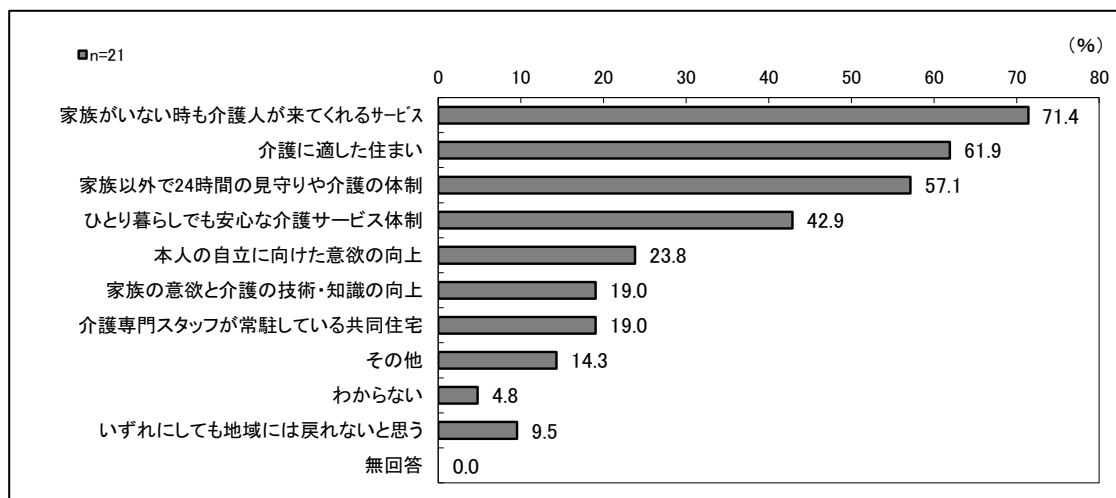
※問 26-2 は、問 26 で「3. 自宅での生活を希望している」と回答した方にお聞きします。
問 26-2 現在の施設を退所し、自宅などの住み慣れた地域で生活するためには、どのような条件が整うことが必要だと思いますか。【複数回答】

- 「家族がいない時も介護人が来てくれるサービス」が第1位。「介護に適した住まい」、「家族以外で24時間の見守りや介護の体制」などが続く。

自宅などで生活するための必要な条件については、「家族がいない時も介護人が来てくれるサービス」(71.4%) が最も多く、次いで「介護に適した住まい」(61.9%)、「家族以外で24時間の見守りや介護の体制」(57.1%)、「ひとり暮らしでも安心な介護サービス体制」(42.9%)、「本人の自立に向けた意欲の向上」(23.8%)、「家族の意欲と介護の技術・知識の向上」・「介護専門スタッフが常駐している共同住宅」(同率 19.0%) の順となっている。

なお、「いずれにしても地域には戻れないと思う」は9.5%となっている。

図表 自宅などで生活するための必要な条件 (全体・属性別)



図表 自宅などで生活するための必要な条件（全体・属性別－第1位／複数回答）

	合計	問26-2 自宅などで生活するための必要な条件									
		介護に適した住まい	家族がいない時も介護人が来てくれるサービス	家族以外で24時間の見守りや介護の体制	家族の意欲と介護の技術・知識の向上	ひとり暮らしでも安心な介護サービス体制	介護専門スタッフが常駐している共同住宅	本人の自立に向けた意欲の向上	その他	わからない	
全体	21 100.0%	13 61.9%	15 71.4%	12 57.1%	4 19.0%	9 42.9%	4 19.0%	5 23.8%	3 14.3%	1 4.8%	
入所施設	介護老人福祉施設	5 100.0%	5 100.0%	4 80.0%	4 80.0%	2 40.0%	2 40.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%
	介護老人保健施設	5 100.0%	2 40.0%	5 100.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%
	介護療養型医療施設	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	介護付有料老人ホーム	6 100.0%	4 66.7%	4 66.7%	3 50.0%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	介護付ケアハウス	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	性別	男性 6 100.0%	4 66.7%	3 50.0%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%
	女性 15 100.0%	9 60.0%	12 80.0%	9 60.0%	3 20.0%	8 53.3%	3 20.0%	3 20.0%	2 13.3%	1 6.7%	
年齢	75歳未満 3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	
	75歳以上 18 100.0%	11 61.1%	13 72.2%	10 55.6%	4 22.2%	8 44.4%	3 16.7%	5 27.8%	2 11.1%	1 5.6%	

	合計	問26-2			
		いずれにしても地域には戻れないと思う	無回答	非該当	
全体	21 100.0%	2 9.5%	0 0.0%	533	
入所施設	介護老人福祉施設	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	285
	介護老人保健施設	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	94
	介護療養型医療施設	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8
	介護付有料老人ホーム	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	91
	介護付ケアハウス	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	15
	その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	33
	性別	男性 6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	134
	女性 15 100.0%	1 6.7%	0 0.0%	395	
年齢	75歳未満 3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	51	
	75歳以上 18 100.0%	1 5.6%	0 0.0%	478	

4 自由意見

(1) 自由意見

問 27 最後に、介護保険制度や高齢者福祉について、本市へのご意見やご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。

回答件数は 154 件となっている。以下に主な意見・要望を掲載する。

- 特養では、良くしていただいていると思います。身体や認知症が悪化したのは、年齢によるもので、仕方がないことです。コロナの関係で面会ができないので、もっと工夫してほしい。働く方の条件を良くしてほしい。もしも在宅で介護するとなれば、在宅の介護でどの程度清潔が保てるのか、不安がある。
- 毎月の費用が高いです。せめて、おむつ代だけでも何か補助が欲しいです。認定が確定するまでが長いと思います。老人ホームに対しても、見張りのシステムが欲しいです。最初にいいと思って入所したホームは、老人を人として見ていない部分もありました。
- 施設で介護していただき、心より感謝している。介護保険制度の恩恵を受けられ、本当に助かっている。高齢者福祉に携わる人、特に現場の方の待遇改善をお願いしたい。
- 支払金額が高い安いは別として、このような制度がありました事がわかり、利用出来ましたことは、非常にありがたい事でした。今後も、わからないことは、相談してまいりたいと思います。
- 家族での介護に限界を感じ、施設への入所をしてもらいました。自身の子どもの育児、家事との両立は想像を超えるほど大変でした。今では施設のスタッフさん達にお世話になりながら元気で生活しているので、私達もホッとしています。
- 両親を1人で介護していたので、ケアマネジャーさんの存在は大きかったです。これ以上自宅（在宅）にいるままでいたら、私自身も仕事を辞めることになっていたと思うと、私の生活を守るためにもとても大切な存在だったことを改めて実感します。時々、お忙しいのか電話が繋がらなかつたりしてました。介護は24時間途切れることがないので、携わる方の安全や健康が守られる制度であることを切に願います。
- 今お世話になっているわが施設は、食事、リハビリ、環境等、又利用者に対する心配りは最高と毎日有難く安心して暮らしております。職員さんが少なく大変だと思っております。
- 市役所に相談に行った時も、丁寧に対応していただき、感謝しています。市からのいろいろ介護サービス利用者負担助成金や高額介護費の支援があり、大変助かっています。ありがとうございます。

介護サービス事業所調査 調査結果

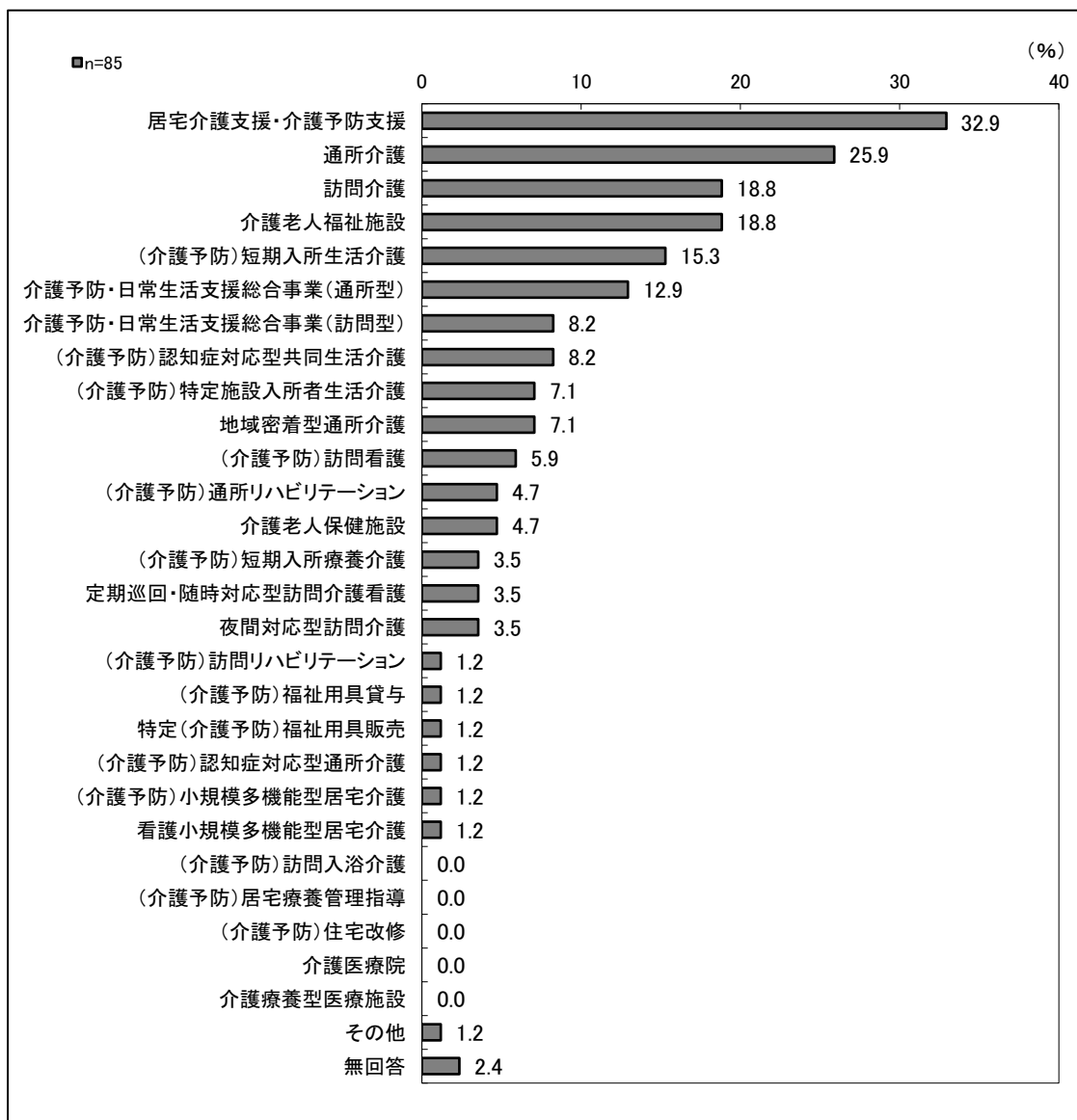
1 事業所で実施しているサービスについて

(1) 提供している介護サービス

問2 貴事業所で提供している介護サービスをご回答ください。

提供している介護サービスについては、「居宅介護支援・介護予防支援」(32.9%)が最も多く、次いで「通所介護」(25.9%)、「訪問介護」・「介護老人福祉施設」(同率 18.8%)、「(介護予防)短期入所生活介護」(15.3%)、「介護予防・日常生活支援総合事業(通所型)」(12.9%)、「介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型)」・「(介護予防)認知症対応型共同生活介護」(同率 8.2%)、「(介護予防)特定施設入所者生活介護」・「地域密着型通所介護」(同率 7.1%)、「(介護予防)訪問看護」(5.9%)、「(介護予防)通所リハビリテーション」・「介護老人保健施設」(同率 4.7%)、「(介護予防)短期入所療養介護」・「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」・「夜間対応型訪問介護」(同率 3.5%)、「(介護予防)訪問リハビリテーション」・「(介護予防)福祉用具貸与」・「特定(介護予防)福祉用具販売」・「(介護予防)認知症対応型通所介護」・「(介護予防)小規模多機能型居宅介護」・「看護小規模多機能型居宅介護」(同率 1.2%)、「(介護予防)訪問入浴介護」・「(介護予防)居宅療養管理指導」・「(介護予防)住宅改修」・「介護医療院」・「介護療養型医療施設」(同率 0.0%)の順となっている。

図表 提供している介護サービス（全体／複数回答）



(2) 施設定員・施設利用希望者数・新規利用者数

※問 2-1 は、介護老人福祉施設の事業所の方にお聞きします。

問 2-1 貴事業所における(1)施設定員、(2)令和4年10月末時点での施設利用希望者数、(3)過去1年間(令和3年11月～令和4年10月)の施設の新規利用者数をお答えください。また、それぞれについて、本市の方の人数をお答えください。

施設定員・施設利用希望者数・新規利用者数については以下のとおり。

図表 施設定員(全体)

	(1) 施設定員		(2) 施設利用希望者数		(3) 新規利用者数	
	人数	うち本市の人数	人数	うち本市の人数	人数	うち本市の人数
全体	1,101.00	735.00	202.00	431.00	445.00	130.00
平均	84.69	56.54	15.54	33.15	34.23	10.00
最大値	129.00	129.00	49.00	120.00	103.00	32.00
最小値	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無回答	0	0	0	0	0	0
非該当	72	72	72	72	72	72
合計	13	13	13	13	13	13

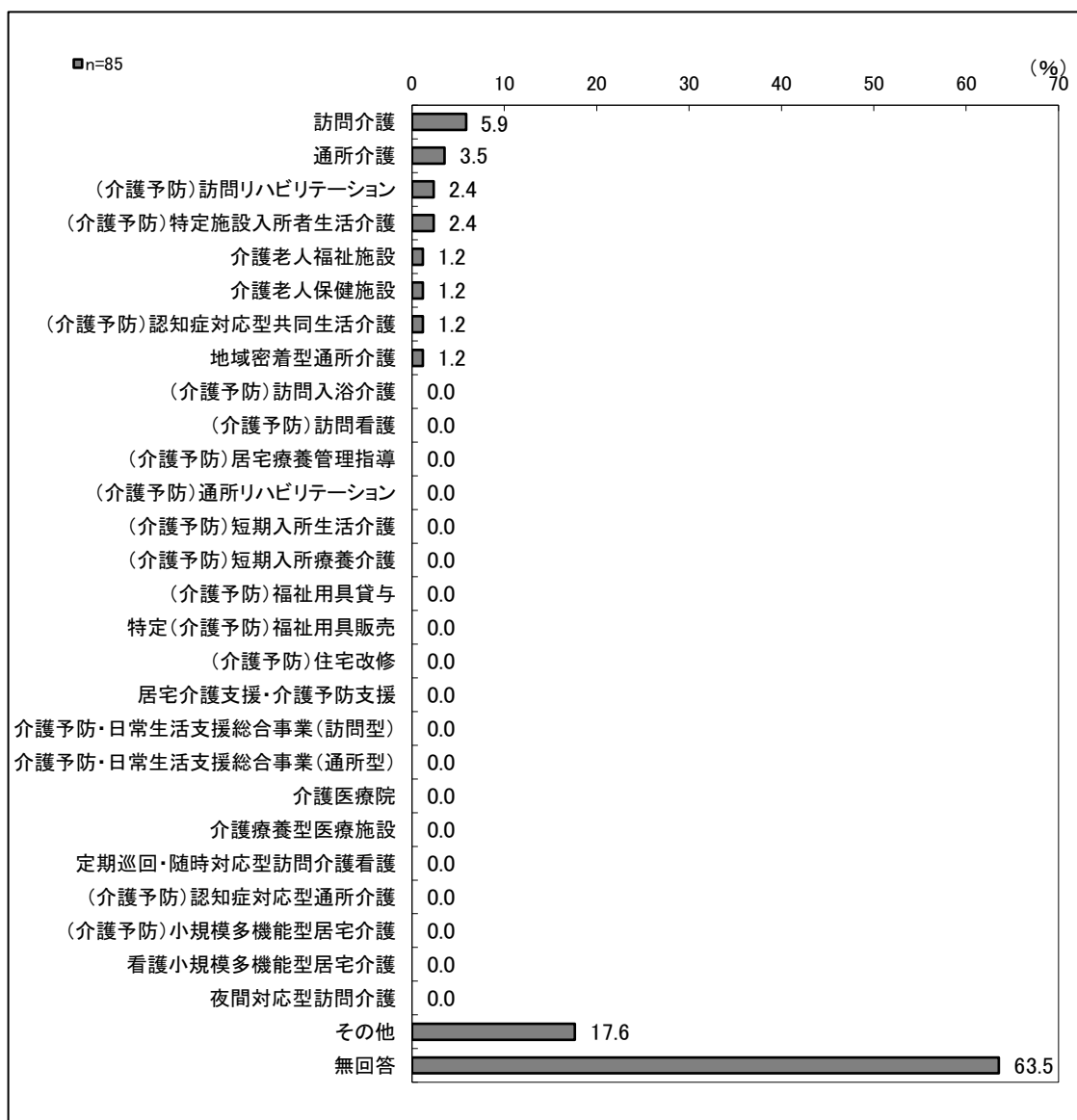
(3) 拡大したい介護サービス

問3 今後の方針として、拡大（新規参入）したい介護サービスをご回答ください。【複数回答】

拡大したい介護サービスについては、「訪問介護」（5.9%）が最も多く、次いで「通所介護」（3.5%）、「（介護予防）訪問リハビリテーション」・「（介護予防）特定施設入所者生活介護」（同率 2.4%）、「介護老人福祉施設」・「介護老人保健施設」・「（介護予防）認知症対応型共同生活介護」・「地域密着型通所介護」（同率 1.2%）、「（介護予防）訪問入浴介護」・「（介護予防）訪問看護」・「（介護予防）居宅療養管理指導」・「（介護予防）通所リハビリテーション」・「（介護予防）短期入所生活介護」・「（介護予防）短期入所療養介護」・「（介護予防）福祉用具貸与」・「特定（介護予防）福祉用具販売」・「（介護予防）住宅改修」・「居宅介護支援・介護予防支援」・「介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型）」・「介護予防・日常生活支援総合事業（通所型）」・「介護医療院」・「介護療養型医療施設」・「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」・「（介護予防）認知症対応型通所介護」・「（介護予防）小規模多機能型居宅介護」・「看護小規模多機能型居宅介護」・「夜間対応型訪問介護」（同率 0.0%）の順となっている。

なお、「その他」の回答には「特にない」などが多くなっている。

図表 拡大したい介護サービス（全体／複数回答）



(4) 新規事業に参入する際に課題となること

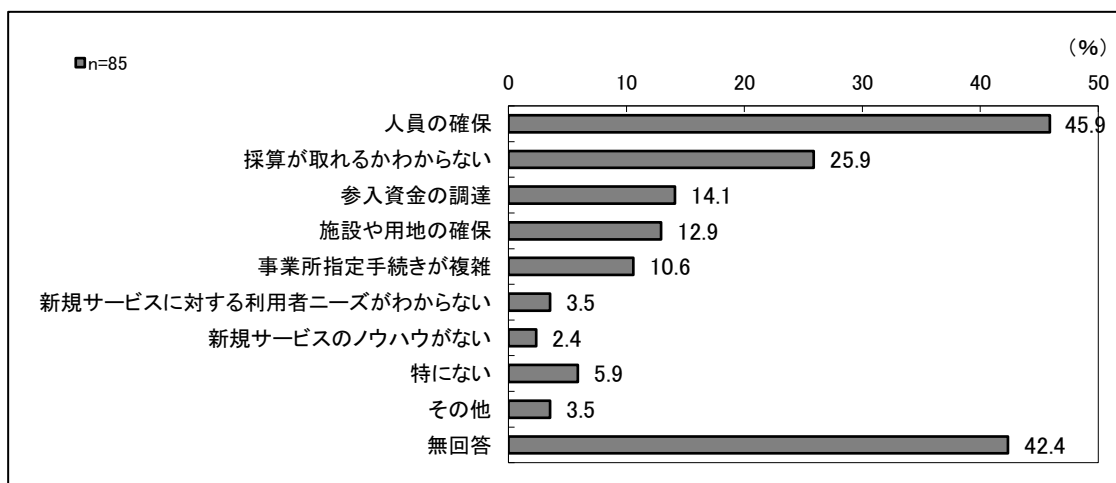
問4 貴事業所が新規事業に参入する際に課題となることは何ですか。【複数回答】

- 「人員の確保」が第1位。「採算が取れるかわからない」、「参入資金の調達」などが続く。

新規事業に参入する際に課題となることについては、「人員の確保」(45.9%)が最も多く、次いで「採算が取れるかわからない」(25.9%)、「参入資金の調達」(14.1%)、「施設や用地の確保」(12.9%)、「事業所指定手続きが複雑」(10.6%)、「新規サービスに対する利用者ニーズがわからない」(3.5%)、「新規サービスのノウハウがない」(2.4%)の順となっている。

なお、「特にない」は5.9%となっている。

図表 新規事業に参入する際に課題となること (全体/複数回答)



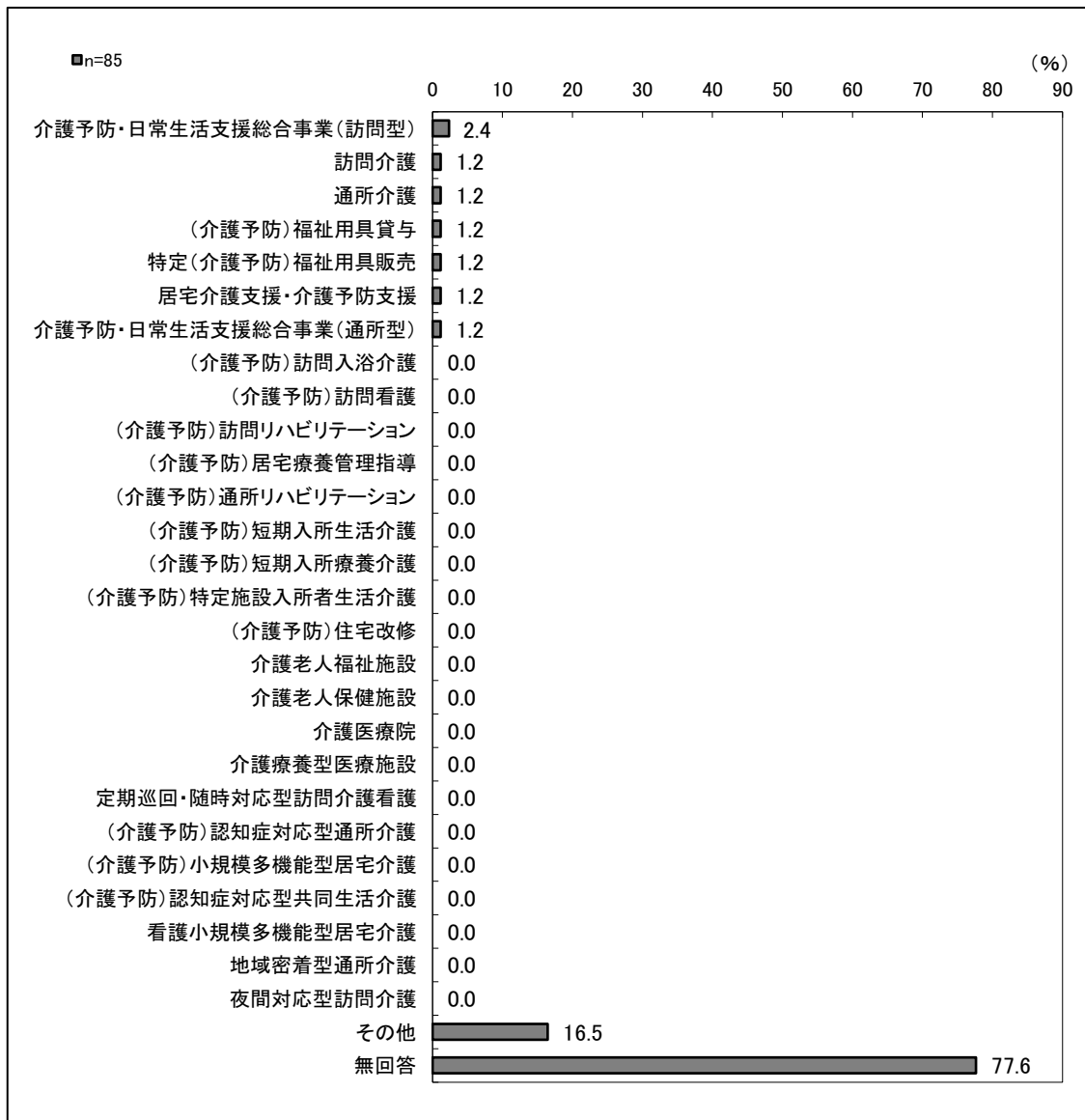
(5) 縮小したい介護サービス

問5 今後の方針として、縮小（休止）したい介護サービスをご回答ください。【複数回答】

縮小したい介護サービスについては、「介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型）」（2.4%）が最も多く、次いで「訪問介護」・「通所介護」・「（介護予防）福祉用具貸与」・「特定（介護予防）福祉用具販売」・「居宅介護支援・介護予防支援」・「介護予防・日常生活支援総合事業（通所型）」（同率 1.2%）、「（介護予防）訪問入浴介護」・「（介護予防）訪問看護」・「（介護予防）訪問リハビリテーション」・「（介護予防）居宅療養管理指導」・「（介護予防）通所リハビリテーション」・「（介護予防）短期入所生活介護」・「（介護予防）短期入所療養介護」・「（介護予防）特定施設入所者生活介護」・「（介護予防）住宅改修」・「介護老人福祉施設」・「介護老人保健施設」・「介護医療院」・「介護療養型医療施設」・「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」・「（介護予防）認知症対応型通所介護」・「（介護予防）小規模多機能型居宅介護」・「（介護予防）認知症対応型共同生活介護」・「看護小規模多機能型居宅介護」・「地域密着型通所介護」・「夜間対応型訪問介護」（同率 0.0%）の順となっている。

なお、「その他」の回答には「特にない」などが多くなっている。

図表 縮小したい介護サービス（全体／複数回答）



(6) 家族から虐待が疑われる事例の経験

問6 貴事業所のサービス利用者の中で、家族からの虐待が疑われるような事例を経験したことはありますか。

- 「ない」が8割弱、「ある」が1割強を占める。

家族から虐待が疑われる事例の経験については、「ない」が75.3%、「ある」が10.6%の順となっている。

図表 家族から虐待が疑われる事例の経験（全体）

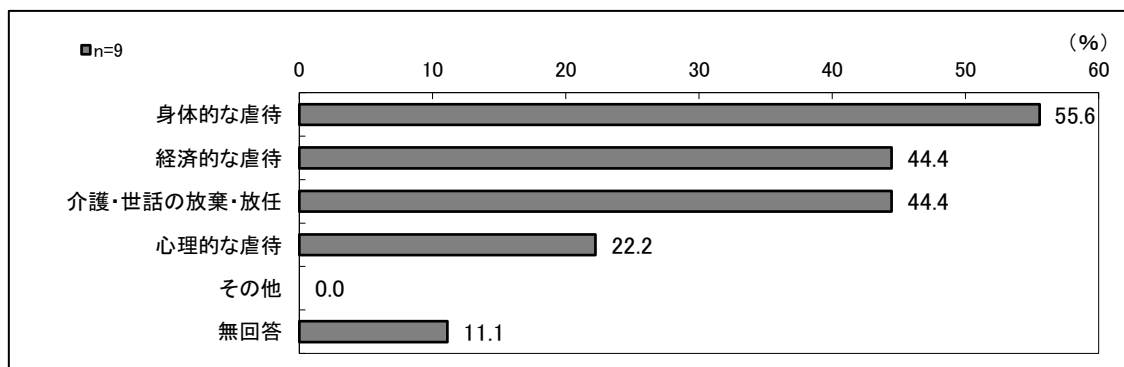
(%)	ある	ない	無回答	n
全体	10.6	75.3	14.1	85

(7) 虐待の内容

※問6-1と問6-2は、問6で「1. ある」と回答した方にお聞きします。
問6-1 それはどのような内容ですか。【複数回答】

虐待の内容については、「身体的な虐待」(55.6%)が最も多く、次いで「経済的な虐待」・「介護・世話の放棄・放任」(同率44.4%)、「心理的な虐待」(22.2%)の順となっている。

図表 虐待の内容（全体／複数回答）

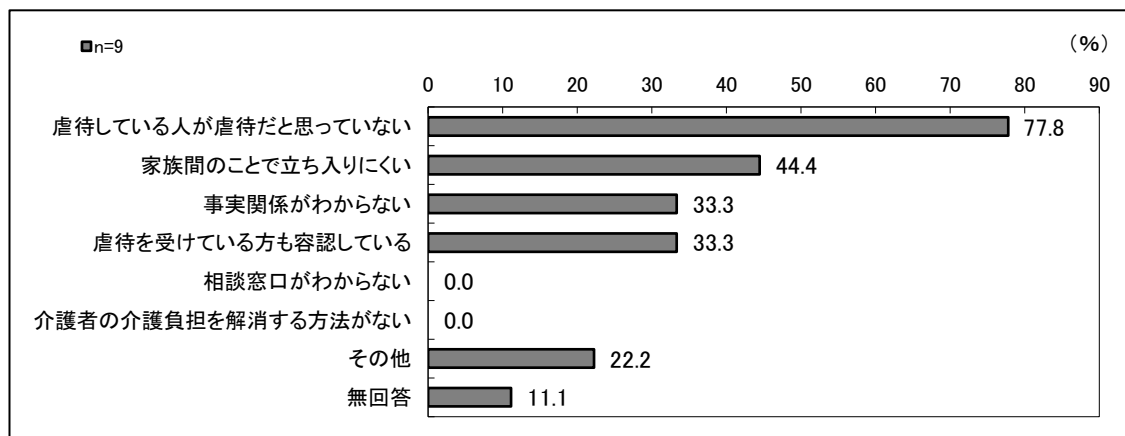


(8) 高齢者への虐待の対応についての問題

問 6-2 高齢者への虐待の対応にあたり、どのような問題がありますか。【複数回答】

高齢者への虐待の対応についての問題については、「虐待している人が虐待だと思っていない」(77.8%)が最も多く、次いで「家族間のことで立ち入りにくい」(44.4%)、「事実関係がわからない」・「虐待を受けている方も容認している」(同率 33.3%)の順となっている。

図表 高齢者への虐待の対応についての問題 (全体/複数回答)



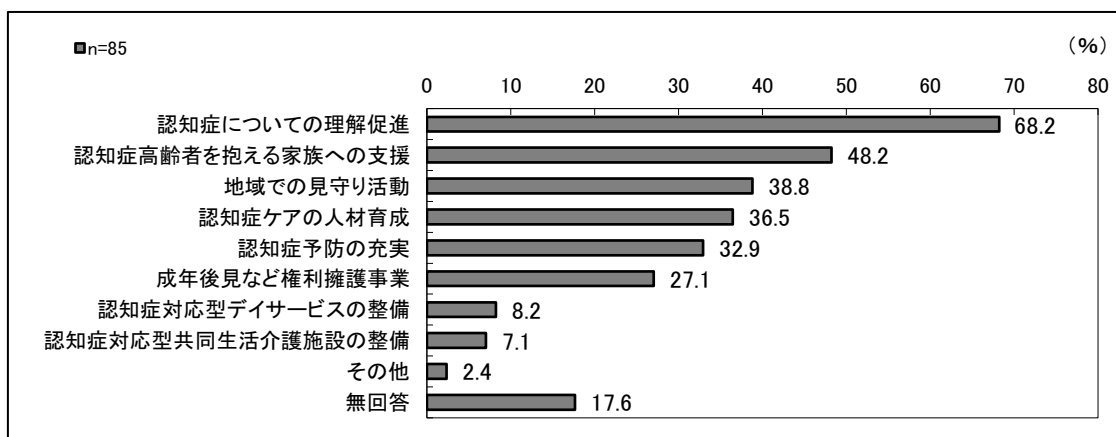
(9) 認知症高齢者の介護に必要なこと

問7 認知症高齢者の介護に関して、今後どのようなことを進める必要があると思いますか。
【複数回答】

- 「認知症についての理解促進」が第1位。「認知症高齢者を抱える家族への支援」、「地域での見守り活動」などが続く。

認知症高齢者の介護に必要なことについては、「認知症についての理解促進」(68.2%)が最も多く、次いで「認知症高齢者を抱える家族への支援」(48.2%)、「地域での見守り活動」(38.8%)、「認知症ケアの人材育成」(36.5%)、「認知症予防の充実」(32.9%)、「成年後見など権利擁護事業」(27.1%)、「認知症対応型デイサービスの整備」(8.2%)、「認知症対応型共同生活介護施設の整備」(7.1%)の順となっている。

図表 認知症高齢者の介護に必要なこと（全体／複数回答）



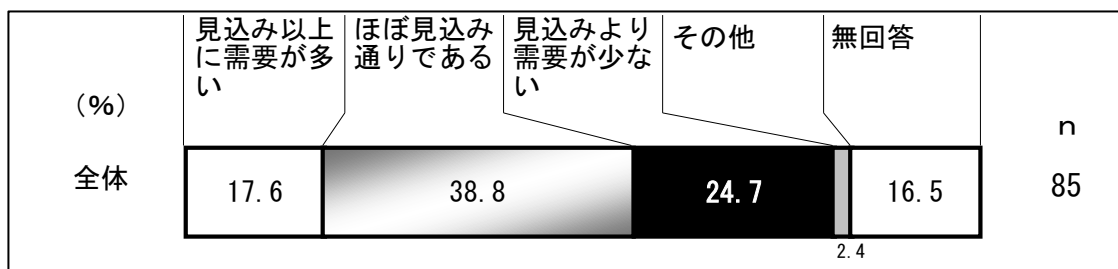
(10) サービス開始当初の見込みと比較した現在の需要

問8 貴事業所のサービスの開始当初の見込みと比較して、現在の需要はいかがですか。

- 「ほぼ見込み通りである」が4割強、「見込みより需要が少ない」が2割強、「見込み以上に需要が多い」が2割弱を占める。

サービス開始当初の見込みと比較した現在の需要については、「ほぼ見込み通りである」が38.8%、「見込みより需要が少ない」が24.7%、「見込み以上に需要が多い」が17.6%の順となっている。

図表 サービス開始当初の見込みと比較した現在の需要（全体）



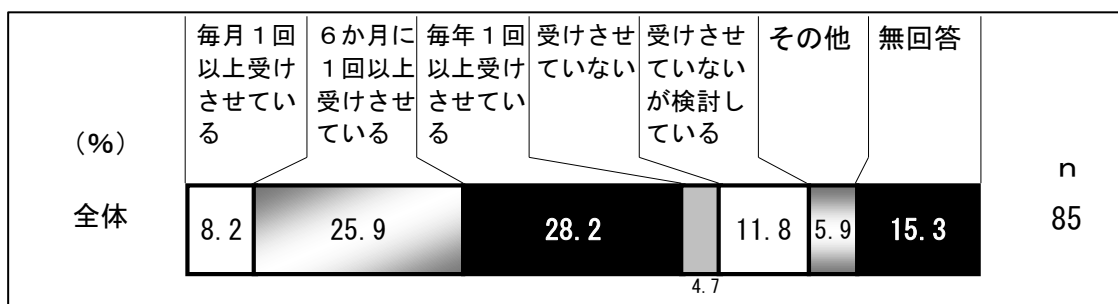
(11) 職員の技術・知識向上のための外部研修

問9 職員の技術・知識向上のための外部研修を受講していますか。

- 「毎年1回以上受けさせている」、「6か月に1回以上受けさせている」がともに3割弱を占める。

職員の技術・知識向上のための外部研修については、「毎年1回以上受けさせている」が28.2%、「6か月に1回以上受けさせている」が25.9%、「受けさせていないが検討している」が11.8%、「毎月1回以上受けさせている」が8.2%、「受けさせていない」が4.7%の順となっている。

図表 職員の技術・知識向上のための外部研修（全体）



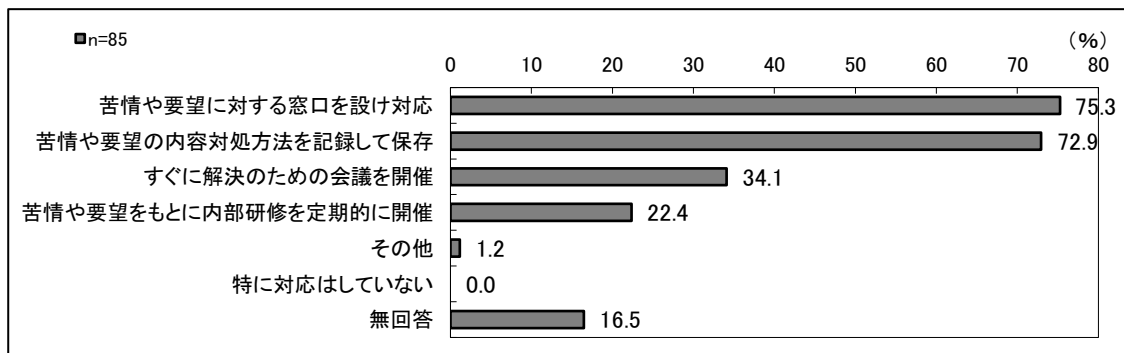
(12) 苦情や要望があった場合の対応

問 10 苦情や要望があった場合、どのような対応をしていますか。【複数回答】

- 「苦情や要望に対する窓口を設け対応」が第1位。「苦情や要望の内容対処方法を記録して保存」、「すぐに解決のための会議を開催」などが続く。

苦情や要望があった場合の対応については、「苦情や要望に対する窓口を設け対応」(75.3%)が最も多く、次いで「苦情や要望の内容対処方法を記録して保存」(72.9%)、「すぐに解決のための会議を開催」(34.1%)、「苦情や要望をもとに内部研修を定期的で開催」(22.4%)の順となっている。

図表 苦情や要望があった場合の対応（全体／複数回答）



(13) サービス利用者から不当な要求を受けたこと

問 11 サービス利用者から不当な要求を受けたことはありますか。

- 「ない」が6割強、「ある」が2割強を占める。

サービス利用者から不当な要求を受けたことについては、「ない」が58.8%、「ある」が24.7%の順となっている。

図表 サービス利用者から不当な要求を受けたこと（全体）

(%)	ある	ない	無回答	n
全体	24.7	58.8	16.5	85

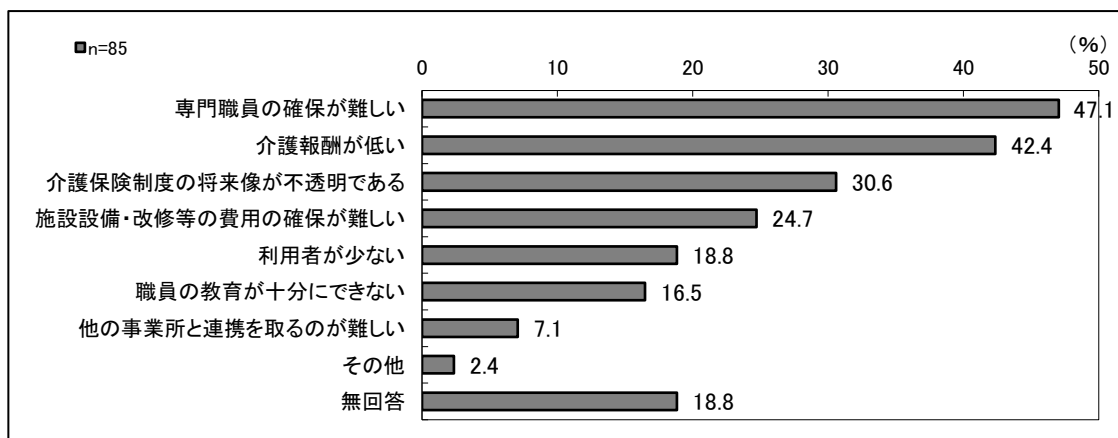
(14) 事業展開上の課題

問 12 貴事業所の事業展開上、どのような課題がありますか。【複数回答】

- 「専門職員の確保が難しい」が第1位。「介護報酬が低い」、「介護保険制度の将来像が不透明である」などが続く。

事業展開上の課題については、「専門職員の確保が難しい」(47.1%)が最も多く、次いで「介護報酬が低い」(42.4%)、「介護保険制度の将来像が不透明である」(30.6%)、「施設設備・改修等の費用の確保が難しい」(24.7%)、「利用者が少ない」(18.8%)、「職員の教育が十分にできない」(16.5%)、「他の事業所と連携を取るのが難しい」(7.1%)の順となっている。

図表 事業展開上の課題（全体／複数回答）



(15) 1年間の人材の確保の状況

問13 貴事業所のこの1年間（令和3年11月～令和4年10月）の人材の確保の状況はいかがですか。



- “不足している”が5割強、“確保できている”が3割弱を占める。

1年間の人材の確保の状況については、「不足している」（23.5%）と「多少不足している」（28.2%）を合わせた“不足している”が51.7%、「確保できている」（11.8%）と「おおむね確保できている」（16.5%）を合わせた“確保できている”が28.3%となっている。

図表 1年間の人材の確保の状況（全体）

(%)	確保できている	おおむね確保できている	多少不足している	不足している	無回答	n
全体	11.8	16.5	28.2	23.5	20.0	85

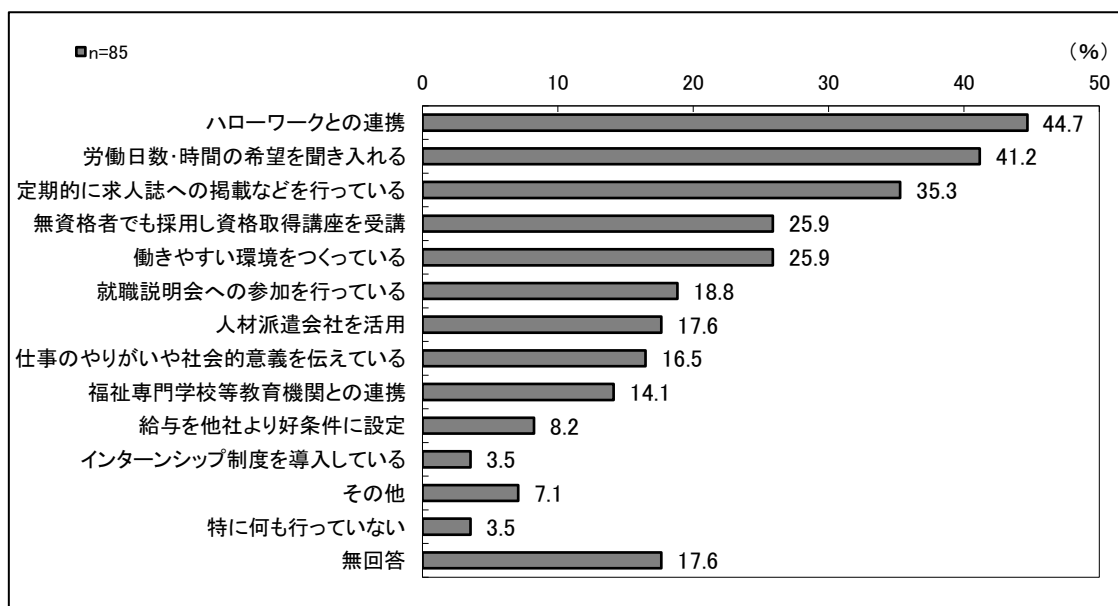
(16) 人材の確保についての取り組み

問 14 貴事業所では、人材の確保について、どのような取り組みを行っていますか。【複数回答】

- 「ハローワークとの連携」が第1位。「労働日数・時間の希望を聞き入れる」、「定期的に求人誌への掲載などを行っている」などが続く。

人材の確保についての取り組みについては、「ハローワークとの連携」(44.7%)が最も多く、次いで「労働日数・時間の希望を聞き入れる」(41.2%)、「定期的に求人誌への掲載などを行っている」(35.3%)、「無資格者でも採用し資格取得講座を受講」・「働きやすい環境をつくっている」(同率 25.9%)、「就職説明会への参加を行っている」(18.8%)、「人材派遣会社を活用」(17.6%)、「仕事のやりがいや社会的意義を伝えている」(16.5%)、「福祉専門学校等教育機関との連携」(14.1%)、「給与を他社より好条件に設定」(8.2%)、「インターンシップ制度を導入している」(3.5%)の順となっている。

図表 人材の確保についての取り組み (全体/複数回答)



(17) 1年間の離職率

問 15 貴事業所のこの1年間（令和3年10月～令和4年10月）の離職率はどれくらいですか。



● 「この1年間に離職者はいない」が3割強、「10%未満」が2割強を占める。

1年間の離職率については、「この1年間に離職者はいない」が32.9%、「10%未満」が24.7%、「10%以上20%未満」が11.8%、「20%以上30%未満」が7.1%、「30%以上」が1.2%の順となっている。

図表 1年間の離職率（全体）

(%)	この1年間に離職者はいない	10%未満	10%以上20%未満	20%以上30%未満	30%以上	わからない	無回答	n
全体	32.9	24.7	11.8	7.1	1.2	1.2	21.2	85

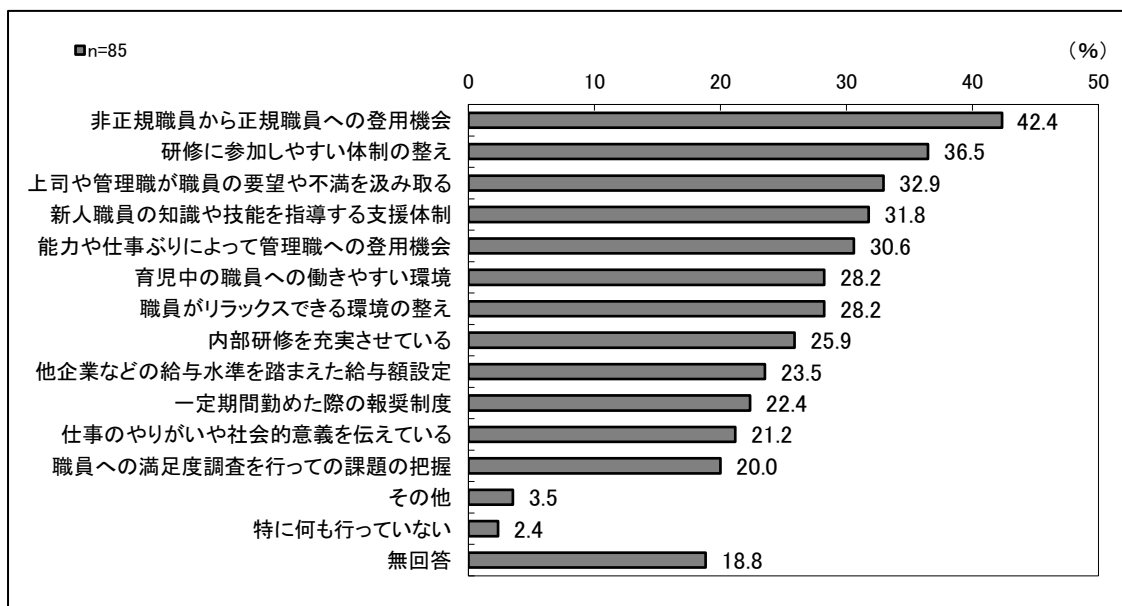
(18) 人材の定着・育成についての取り組み

問 16 貴事業所では、人材の定着・育成について、どのような取り組みを行っていますか。
【複数回答】

- 「非正規職員から正規職員への登用機会」が第1位。「研修に参加しやすい体制の整え」、「上司や管理職が職員の要望や不満を汲み取る」などが続く。

人材の定着・育成についての取り組みについては、「非正規職員から正規職員への登用機会」(42.4%)が最も多く、次いで「研修に参加しやすい体制の整え」(36.5%)、「上司や管理職が職員の要望や不満を汲み取る」(32.9%)、「新人職員の知識や技能を指導する支援体制」(31.8%)、「能力や仕事ぶりによって管理職への登用機会」(30.6%)、「育児中の職員への働きやすい環境」・「職員がリラックスできる環境の整え」(同率 28.2%)、「内部研修を充実させている」(25.9%)、「他企業などの給与水準を踏まえた給与額設定」(23.5%)、「一定期間勤めた際の報奨制度」(22.4%)、「仕事のやりがいや社会的意義を伝えている」(21.2%)、「職員への満足度調査を行っての課題の把握」(20.0%)の順となっている。

図表 人材の定着・育成についての取り組み (全体/複数回答)



(19) ケアマネジャーとの連携

問 17 貴事業所において、ケアマネジャーとの連携は取れていますか。

- “取れている” が8割弱を占める。

ケアマネジャーとの連携については、「取れている」(48.2%)と「おおむね取れている」(30.6%)を合わせた“取れている”が78.8%、「あまり取れていない」(0.0%)と「取れていない」(0.0%)を合わせた“取れていない”が0.0%となっている。

図表 ケアマネジャーとの連携 (全体)

(%)	取れている	おおむね取れている	あまり取れていない	取れていない	無回答	n
全体	48.2			30.6	21.2	85
				0.0	0.0	

(20) 医療機関との連携

問 18 貴事業所において、医療機関との連携は取れていますか。

- “取れている” が6割強、“取れていない” が2割弱を占める。

医療機関との連携については、「取れている」(23.5%)と「おおむね取れている」(37.6%)を合わせた“取れている”が61.1%、「あまり取れていない」(10.6%)と「取れていない」(8.2%)を合わせた“取れていない”が18.8%となっている。

図表 医療機関との連携 (全体)

(%)	取れている	おおむね取れている	あまり取れていない	取れていない	無回答	n
全体	23.5			10.6	8.2	85
				37.6	20.0	

(21) 他のサービス事業所との連携

問 19 貴事業所において、他のサービス事業所との連携は取れていますか。

- “取れている” が7割弱を占める。

他のサービス事業所との連携については、「取れている」(21.2%)と「おおむね取れている」(45.9%)を合わせた“取れている”が67.1%、「あまり取れていない」(9.4%)と「取れていない」(3.5%)を合わせた“取れていない”が12.9%となっている。

図表 他のサービス事業所との連携（全体）

(%)	取れている	おおむね取れている	あまり取れていない	取れていない	無回答	n
全体	21.2	45.9	9.4	3.5	20.0	85

(22) 現状の在宅における医療と介護の連携は十分か

問 20 現状、在宅における医療と介護の連携は十分だと思いますか。

- 「十分ではないと思う」が5割強、「十分だと思う」が2割強を占める。

現状の在宅における医療と介護の連携は十分かについては、「十分ではないと思う」が54.1%、「十分だと思う」が23.5%の順となっている。

図表 現状の在宅における医療と介護の連携は十分か（全体）

(%)	十分だと思う	十分ではないと思う	無回答	n
全体	23.5	54.1	22.4	85

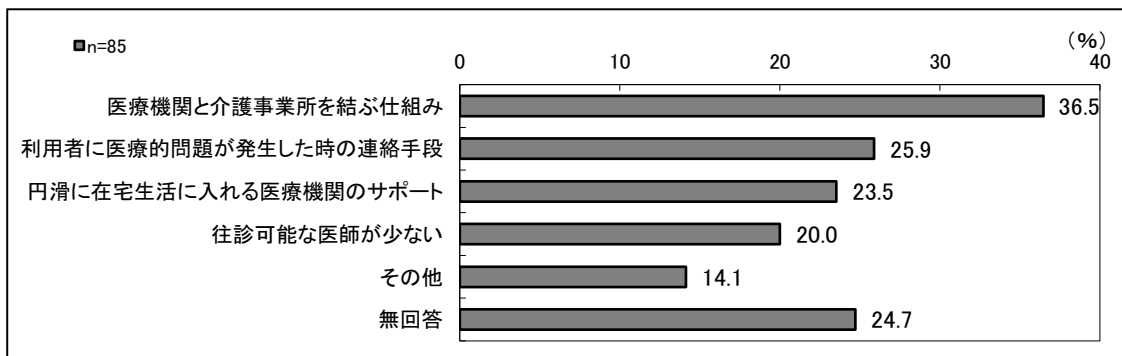
(23) 在宅における医療と介護の連携についての課題

問 21 在宅における医療と介護の連携について、課題だと思うことは何ですか。【複数回答】

- 「医療機関と介護事業所を結ぶ仕組み」が第1位。「利用者に医療的問題が発生した時の連絡手段」、「円滑に在宅生活に入れる医療機関のサポート」などが続く。

在宅における医療と介護の連携についての課題については、「医療機関と介護事業所を結ぶ仕組み」(36.5%)が最も多く、次いで「利用者に医療的問題が発生した時の連絡手段」(25.9%)、「円滑に在宅生活に入れる医療機関のサポート」(23.5%)、「往診可能な医師が少ない」(20.0%)の順となっている。

図表 在宅における医療と介護の連携についての課題（全体／複数回答）



(24) 自由意見

問 22 最後に、介護保険制度や高齢者福祉について、本市へのご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

回答件数は 16 件となっている。以下に主な意見・要望を掲載する。

- 人材不足はどこ事業所もあります。他市では介護職員になる方への資金や引っ越し代を負担するところも聞きます。久喜市では人材確保するためのどのような方策をするのか聞きたいです。認知症の方は増えてきています。主介護者の負担はとてもあると思います。少しでも休める場所や溜まったストレスを発散できる聞き役を作れたらいいなと思うことはあります。事業所は地域に開かれた関係性を作りたいと思っています。何か手伝える事があれば発信してほしいしもっとコラボすればいいのと思うことはあります。行政として一事業所に対して接触は厳しいと感じますが地域に近いところは情報を発信してほしいです。
- 介護保険の仕組みが複雑で利用者や家族が理解できない場面が多いです。介護保険を利用すると家族は介護しなくていいと考える方々が一定数います。介護保険について、市民に周知が必要と思います。
- 介護が魅力ある職場になるような報酬や制度にしてほしい。
- 介護保険制度について、市と事業所で意見交換できる場をもっと増やして、現状に合った政策をお願いできるといいなと感じました。よろしくお願いします。
- ケアマネジャー 1 人で業務している為、現在限界がある。
- 介護人材が不足していると感じます。特に現場の介護福祉士等が不足と感じています。
- コロナにより病床が埋まってしまっている事は理解しているが、救急隊の方でも病院を探せない状況の改善が必要と感じています。
- 派遣職員という社会的な仕組みを考えて欲しいと思います。
- 介護が魅力ある職場になるような報酬や制度にしてほしい。
- 介護保険制度で、施設入所者への福祉用具貸与を取り入れてほしいと思います。
- 利用者支援に必要な個人情報（例：一次判定で支援相当等）を必要に応じて開示してほしい。

ケアマネジャー調査 調査結果

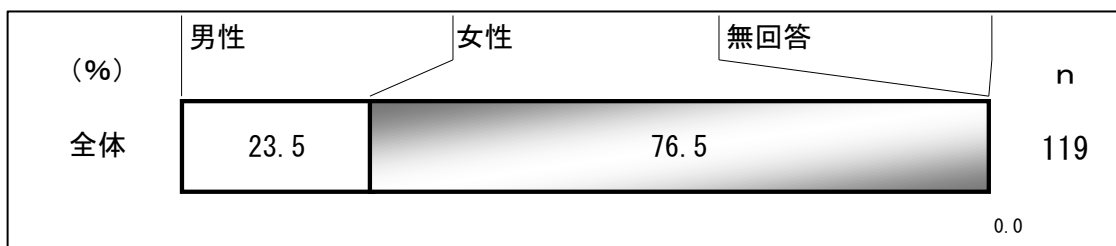
1 回答者について

(1) 性別

問1 あなたの性別をお選びください。

性別は、「女性」が76.5%、「男性」が23.5%の順となっている。

図表 性別 (全体)

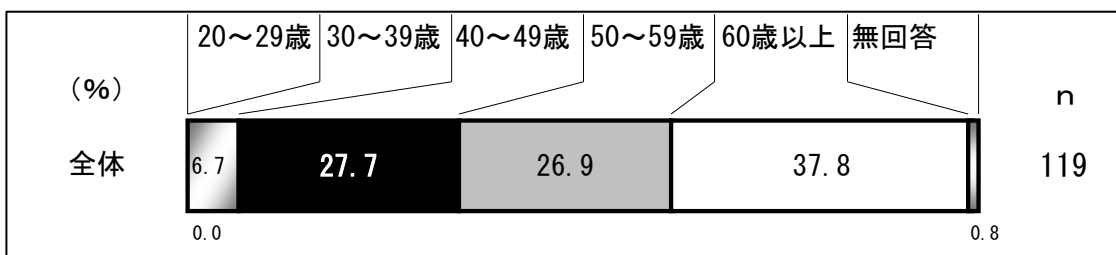


(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお選びください。

年齢については、「60歳以上」が37.8%、「40～49歳」が27.7%、「50～59歳」が26.9%、「30～39歳」が6.7%、「20～29歳」が0.0%の順となっている。

図表 年齢 (全体)

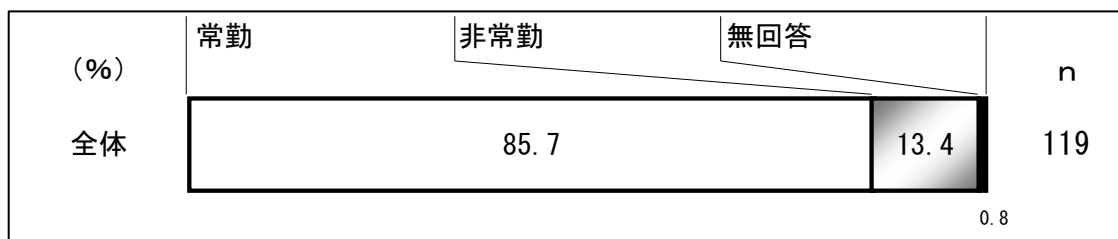


(3) 勤務形態

問3 あなたの勤務形態をお選びください。

勤務形態については、「常勤」が85.7%、「非常勤」が13.4%の順となっている。

図表 勤務形態（全体）

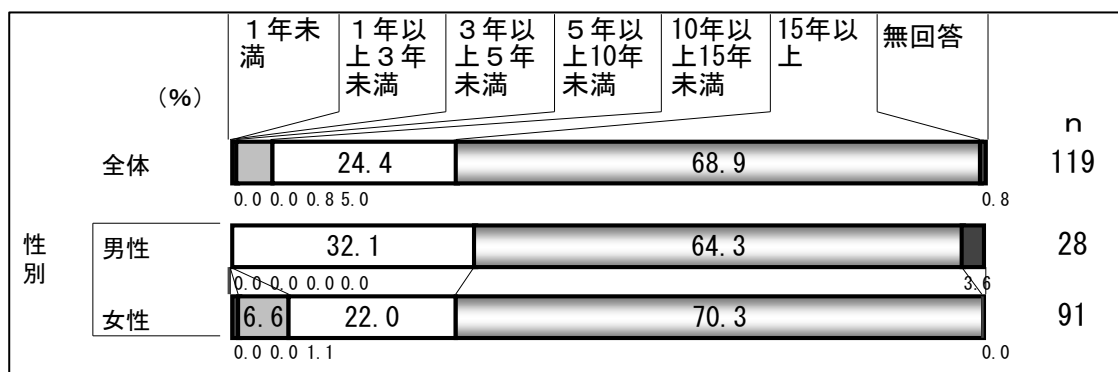


(4) 福祉・保健サービスの従事期間

問4 あなたは、福祉や保健サービスの仕事に関してどのくらいになりますか。

福祉・保健サービスの従事期間については、「15年以上」が68.9%、「10年以上15年未満」が24.4%、「5年以上10年未満」が5.0%、「3年以上5年未満」が0.8%、「1年未満」・「1年以上3年未満」が同率で0.0%の順となっている。

図表 福祉・保健サービスの従事期間（全体・属性別）



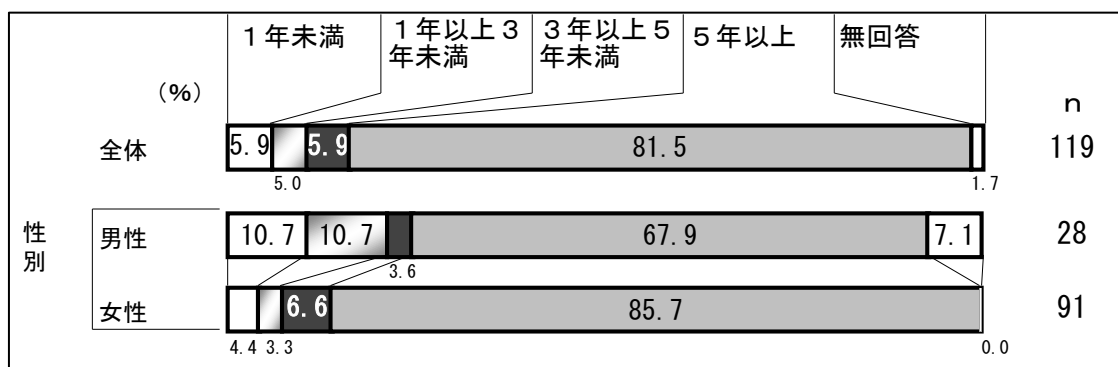
(5) ケアマネジャーとしての従事期間

問5 あなたは、ケアマネジャーの仕事をしてどのくらいになりますか。

ケアマネジャーとしての従事期間については、「5年以上」が81.5%、「1年未満」・「3年以上5年未満」が同率で5.9%、「1年以上3年未満」が5.0%の順となっている。

性別で見ると、女性のほうが、従事期間が長い人の割合が高くなっている。

図表 ケアマネジャーとしての従事期間（全体・ 属性別）



(6) 他の業務との兼務状況

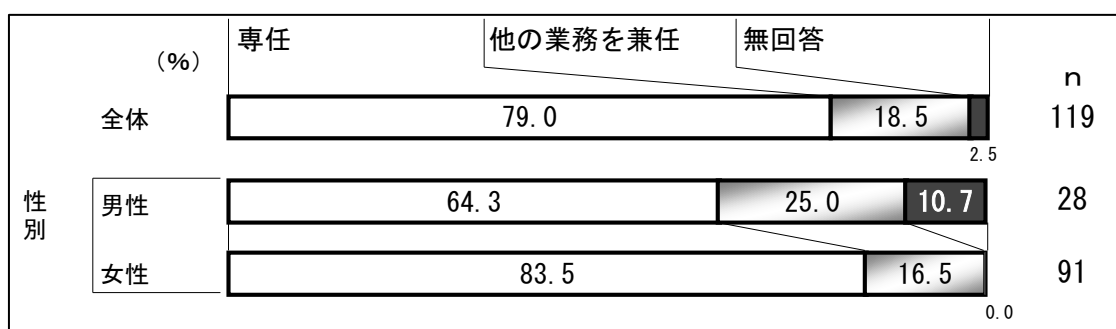
問6 あなたは、ケアマネジャーの専任ですか。または他の業務を兼務していますか。兼務の場合はその業務名もあわせて記入してください。

- 「専任」が8割弱、「他の業務を兼任」が2割弱を占める。

他の業務との兼務状況については、「専任」が79.0%、「他の業務を兼任」が18.5%の順となっている。

性別でみると、男性では「他の業務を兼任」が25.0%と女性よりも高くなっている。

図表 他の業務との兼務状況（全体・属性別）



なお、兼務している業務としては以下の回答があった。

- ・ 管理者
- ・ 管理者代行業務
- ・ 包括業務
- ・ 社協業務
- ・ 介護職
- ・ 地域福祉の関連
- ・ 法人業務

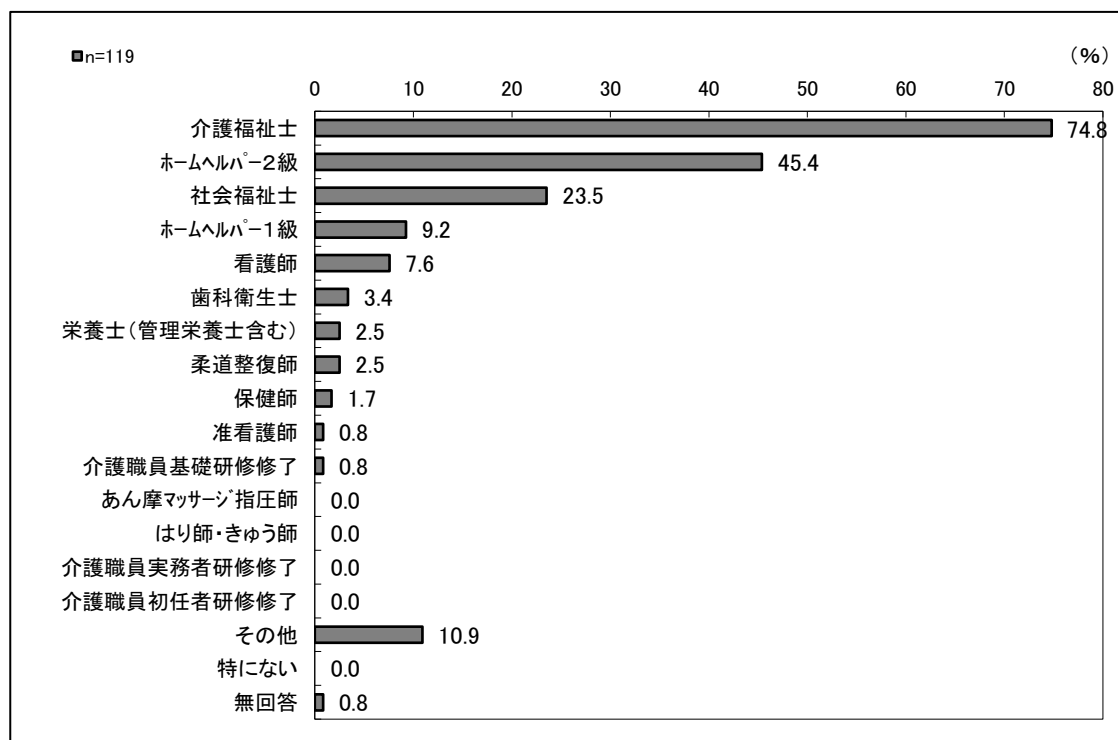
(7) 保有している資格

問7 あなたは、介護支援専門員以外にどのような資格をお持ちですか。【複数回答】

- 「介護福祉士」が第1位。「ホームヘルパー2級」、「社会福祉士」などが続く。

保有している資格については、「介護福祉士」(74.8%)が最も多く、次いで「ホームヘルパー2級」(45.4%)、「社会福祉士」(23.5%)、「ホームヘルパー1級」(9.2%)、「看護師」(7.6%)、「歯科衛生士」(3.4%)、「栄養士(管理栄養士含む)」・「柔道整復師」(同率2.5%)、「保健師」(1.7%)、「准看護師」・「介護職員基礎研修修了」(同率0.8%)、「あん摩マッサージ指圧師」・「はり師・きゅう師」・「介護職員実務者研修修了」・「介護職員初任者研修修了」(同率0.0%)の順となっている。

図表 保有している資格(全体/複数回答)



図表 保有している資格（全体・属性別—第1位／複数回答）

		合計	問7 保有している資格								
			社会福祉士	介護福祉士	保健師	看護師	准看護師	歯科衛生士	栄養士 (管理栄養士含む)	あん摩マッサージ指圧師	はり師・きゆう師
全体		119 100.0%	28 23.5%	89 74.8%	2 1.7%	9 7.6%	1 0.8%	4 3.4%	3 2.5%	0 0.0%	0 0.0%
性別	男性	28 100.0%	10 35.7%	21 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	女性	91 100.0%	18 19.8%	68 74.7%	2 2.2%	9 9.9%	1 1.1%	4 4.4%	3 3.3%	0 0.0%	0 0.0%

		合計	問7 保有している資格							特にない	無回答
			柔道整復師	ホームヘルパー 1級	介護職員 実務者研 修修了	ホームヘルパー 2級	介護職員 初任者研 修修了	介護職員 基礎研修 修了	その他		
全体		119 100.0%	3 2.5%	11 9.2%	0 0.0%	54 45.4%	0 0.0%	1 0.8%	13 10.9%	0 0.0%	1 0.8%
性別	男性	28 100.0%	2 7.1%	3 10.7%	0 0.0%	11 39.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 10.7%	0 0.0%	1 3.6%
	女性	91 100.0%	1 1.1%	8 8.8%	0 0.0%	43 47.3%	0 0.0%	1 1.1%	10 11.0%	0 0.0%	0 0.0%

2 介護支援専門員の業務について

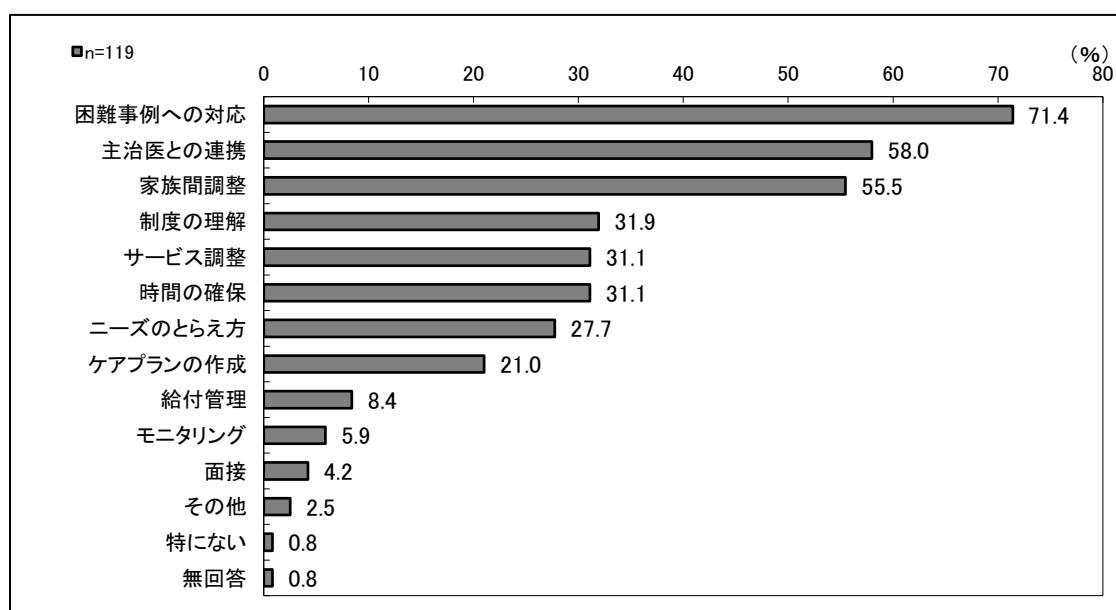
(1) 介護支援専門員の業務で難しいこと

問8 介護支援専門員の業務として難しいと思っていることは何ですか。【複数回答】

- 「困難事例への対応」が第1位。「主治医との連携」、「家族間調整」などが続く。

介護支援専門員の業務で難しいことについては、「困難事例への対応」(71.4%)が最も多く、次いで「主治医との連携」(58.0%)、「家族間調整」(55.5%)、「制度の理解」(31.9%)、「サービス調整」・「時間の確保」(同率 31.1%)、「ニーズのとらえ方」(27.7%)、「ケアプランの作成」(21.0%)、「給付管理」(8.4%)、「モニタリング」(5.9%)、「面接」(4.2%)の順となっている。

図表 介護支援専門員の業務で難しいこと (全体/複数回答)



図表 介護支援専門員の業務で難しいこと（全体・属性別—第1位／複数回答）

		合計	問8 介護支援専門員の業務で難しいこと								
			サービス調整	家族間調整	時間の確保	ケアプランの作成	ニーズのとらえ方	面接	給付管理	困難事例への対応	主治医との連携
全体		119 100.0%	37 31.1%	66 55.5%	37 31.1%	25 21.0%	33 27.7%	5 4.2%	10 8.4%	85 71.4%	69 58.0%
性別	男性	28 100.0%	13 46.4%	13 46.4%	9 32.1%	7 25.0%	10 35.7%	0 0.0%	2 7.1%	22 78.6%	16 57.1%
	女性	91 100.0%	24 26.4%	53 58.2%	28 30.8%	18 19.8%	23 25.3%	5 5.5%	8 8.8%	63 69.2%	53 58.2%

		合計	問8 介護支援専門員の業務で難しいこと				
			モニタリング	制度の理解	その他	特になし	無回答
全体		119 100.0%	7 5.9%	38 31.9%	3 2.5%	1 0.8%	1 0.8%
性別	男性	28 100.0%	2 7.1%	9 32.1%	2 7.1%	0 0.0%	1 3.6%
	女性	91 100.0%	5 5.5%	29 31.9%	1 1.1%	1 1.1%	0 0.0%

(2) 予防支援者数・介護支援者数

問9 令和4年10月末現在、あなたが担当している支援者数は何人ですか。

予防支援者数・介護支援者数については以下のとおり。

- ①予防支援者数 平均 6.7人
- ②介護支援者数 平均 24.1人

(3) サービス担当者会議への全員の参加状況

問10 担当している利用者について、サービス担当者会議を開催するにあたり、サービス担当者は全員参加できていますか。

- 「時々照会用紙等を利用している」が6割強、「ほぼ照会用紙等を利用している」、「ほぼ全員参加できています」がともに2割弱を占める。

サービス担当者会議への全員の参加状況については、「時々照会用紙等を利用している」が63.9%、「ほぼ照会用紙等を利用している」が16.8%、「ほぼ全員参加できています」が16.0%の順となっている。

図表 サービス担当者会議への全員の参加状況（全体・属性別）

		ほぼ全員参加 できています	時々照会用紙 等を利用して いる	ほぼ照会用紙 等を利用して いる	無回答	n
性別	全体	16.0	63.9	16.8	3.4	119
	男性	14.3	60.7	17.9	7.1	28
	女性	16.5	64.8	16.5	2.2	91

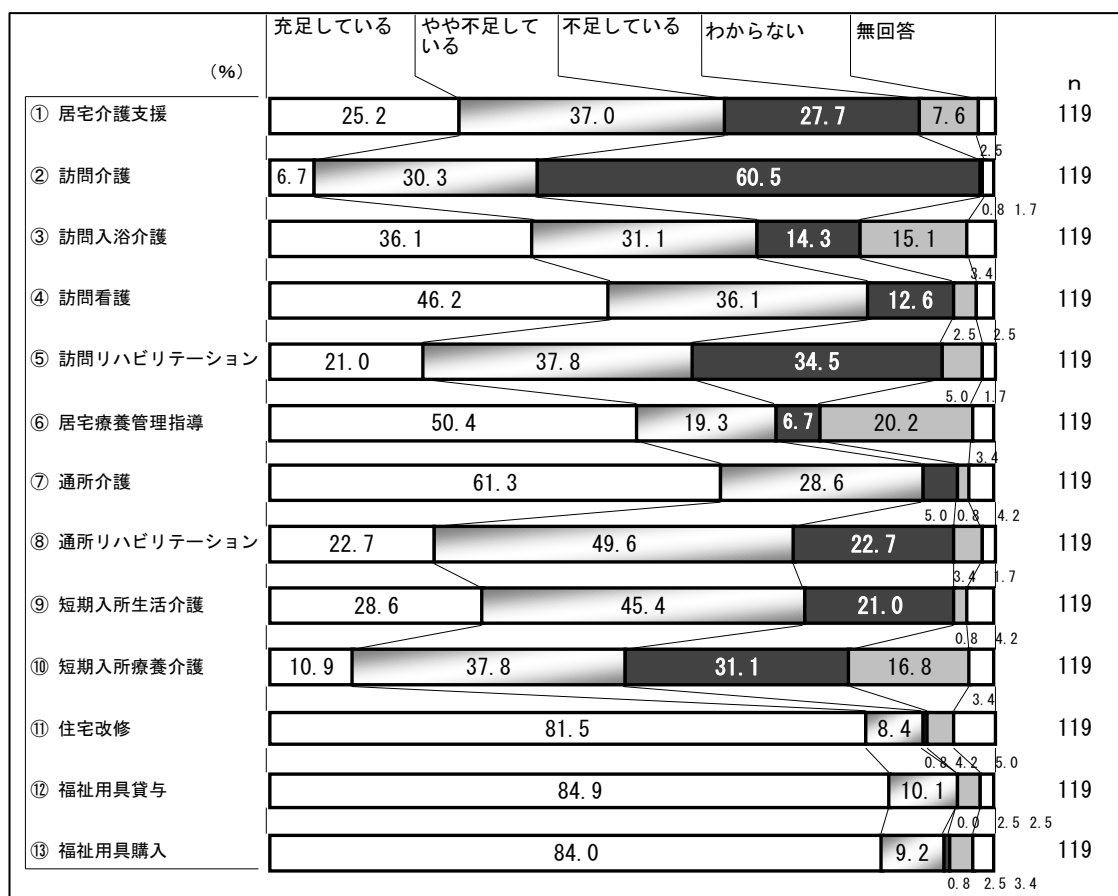
(4) 充足状況

問 11 あなたは、この地域（本市内）での介護サービスの種類や量は、それぞれの利用者の需要（希望）に対して、充足していると思いますか。

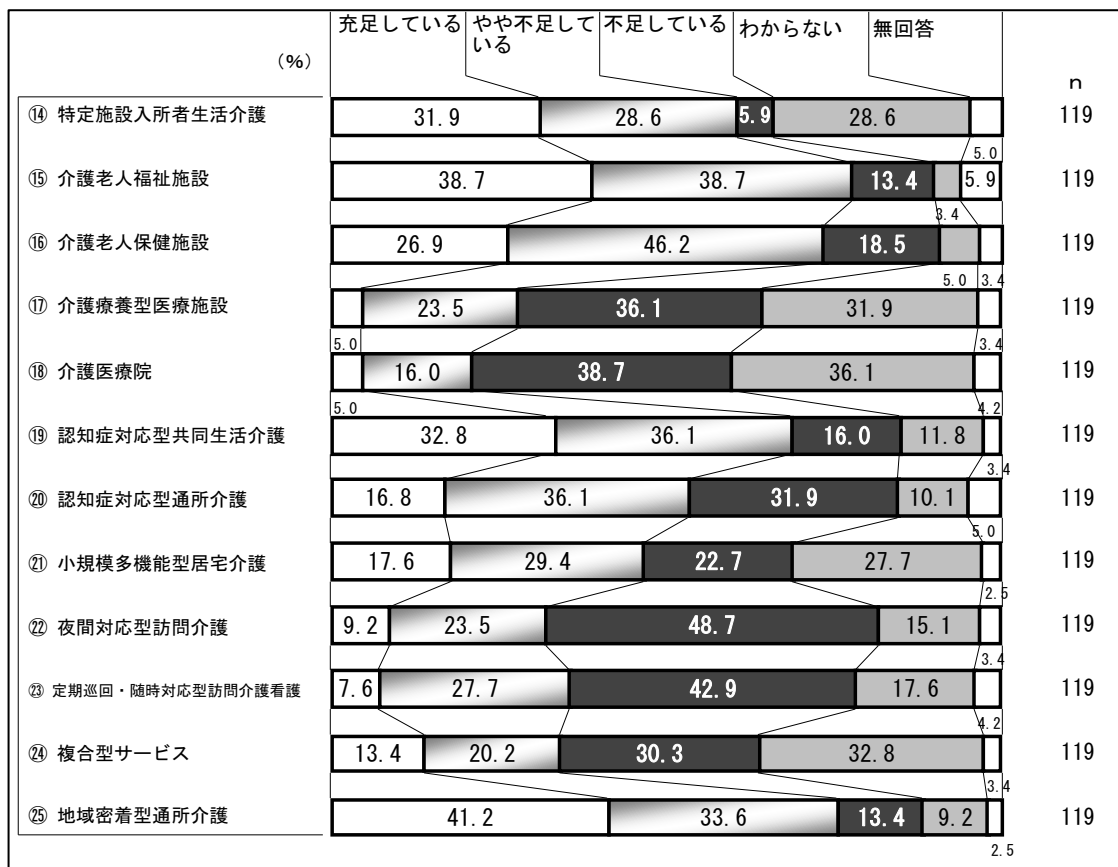
- 「やや不足している」と「不足している」の割合が比較的高いサービスは②訪問介護（90.8%）、⑤訪問リハビリテーション・⑧通所リハビリテーション（同率 72.3%）、⑫夜間対応型訪問介護（72.2%）、⑬定期巡回・随時対応型訪問介護看護（70.6%）となっている。

介護サービスの充足状況については以下のとおり。

図表 充足状況①～⑬（全体・属性別）



図表 充足状況⑭～⑳ (全体・属性別)



(5) 組み合わせたことがある介護保険以外のサービス

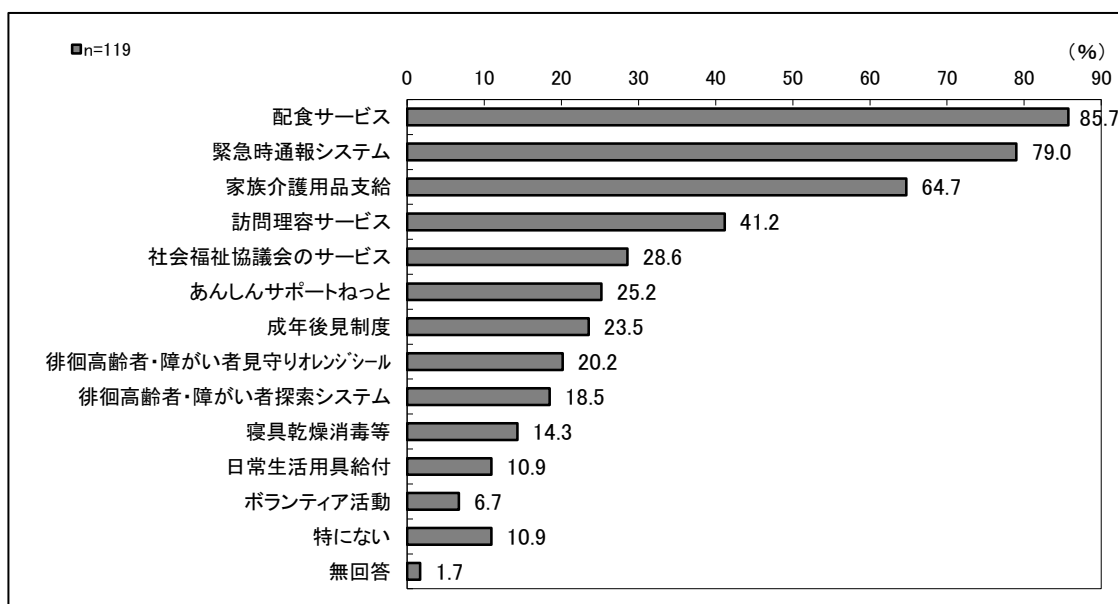
問 12 ケアプランを作成する際に、介護保険以外のサービスで組み合わせたことのあるサービスはどんなサービスですか。【複数回答】

- 「配食サービス」が第1位。「緊急時通報システム」、「家族介護用品支給」などが続く。

組み合わせたことがある介護保険以外のサービスについては、「配食サービス」(85.7%)が最も多く、次いで「緊急時通報システム」(79.0%)、「家族介護用品支給」(64.7%)、「訪問理容サービス」(41.2%)、「社会福祉協議会のサービス」(28.6%)、「あんしんサポートねっと」(25.2%)、「成年後見制度」(23.5%)、「徘徊高齢者・障がい者見守りオレンジシール」(20.2%)、「徘徊高齢者・障がい者探索システム」(18.5%)、「寝具乾燥消毒等」(14.3%)、「日常生活用具給付」(10.9%)、「ボランティア活動」(6.7%)の順となっている。

なお、「特にない」は10.9%となっている。

図表 組み合わせたことがある介護保険以外のサービス (全体/複数回答)



図表 組み合わせたことがある介護保険以外のサービス
(全体・属性別－第1位／複数回答)

		合計	問12 組み合わせたことがある介護保険以外のサービス								
			配食サービス	家族介護用品支給	日常生活用具給付	緊急時通報システム	寝具乾燥消毒等	訪問理容サービス	徘徊高齢者・障がい者探索システム	徘徊高齢者・障がい者見守りセンサー	あんしんサポートねっと
全体		119 100.0%	102 85.7%	77 64.7%	13 10.9%	94 79.0%	17 14.3%	49 41.2%	22 18.5%	24 20.2%	30 25.2%
性別	男性	28 100.0%	21 75.0%	16 57.1%	3 10.7%	19 67.9%	2 7.1%	9 32.1%	6 21.4%	3 10.7%	4 14.3%
	女性	91 100.0%	81 89.0%	61 67.0%	10 11.0%	75 82.4%	15 16.5%	40 44.0%	16 17.6%	21 23.1%	26 28.6%

		合計	問12 組み合わせたことがある介護保険以外のサービス				
			成年後見制度	社会福祉協議会のサービス	ボランティア活動	特にない	無回答
全体		119 100.0%	28 23.5%	34 28.6%	8 6.7%	13 10.9%	2 1.7%
性別	男性	28 100.0%	4 14.3%	6 21.4%	2 7.1%	5 17.9%	1 3.6%
	女性	91 100.0%	24 26.4%	28 30.8%	6 6.6%	8 8.8%	1 1.1%

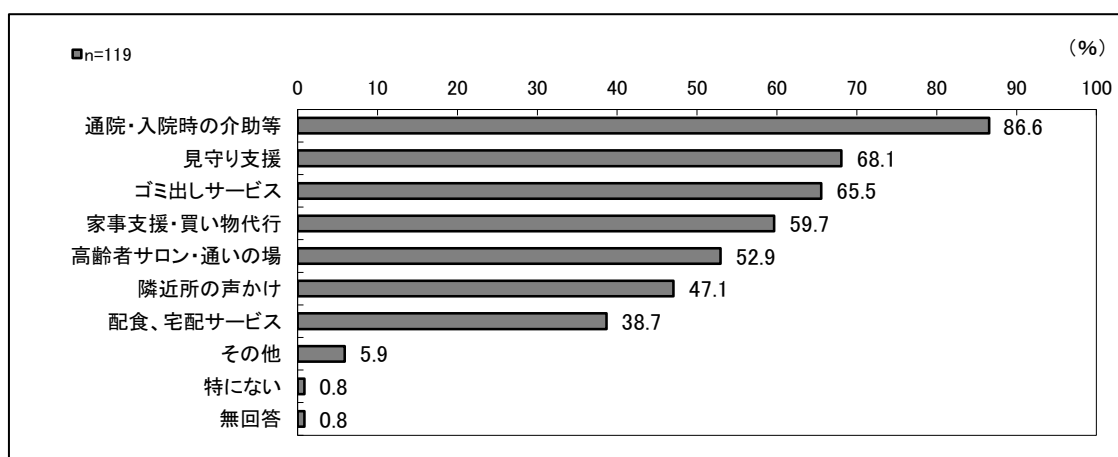
(6) 必要な介護保険以外のサービス

問13 上記の他に、介護保険以外の高齢者向けサービスで、どのようなサービスが必要だと思いますか。【複数回答】

- 「通院・入院時の介助等」が第1位。「見守り支援」、「ゴミ出しサービス」などが続く。

必要な介護保険以外のサービスについては、「通院・入院時の介助等」(86.6%)が最も多く、次いで「見守り支援」(68.1%)、「ゴミ出しサービス」(65.5%)、「家事支援・買い物代行」(59.7%)、「高齢者サロン・通いの場」(52.9%)、「隣近所の声かけ」(47.1%)、「配食、宅配サービス」(38.7%)の順となっている。

図表 必要な介護保険以外のサービス (全体/複数回答)



図表 必要な介護保険以外のサービス (全体・属性別—第1位/複数回答)

	合計	問13 必要な介護保険以外のサービス										
		通院・入院時の介助等	家事支援・買い物代行	見守り支援	隣近所の声かけ	配食、宅配サービス	ゴミ出しサービス	高齢者サロン・通いの場	その他	特にない	無回答	
全体	119 100.0%	103 86.6%	71 59.7%	81 68.1%	56 47.1%	46 38.7%	78 65.5%	63 52.9%	7 5.9%	1 0.8%	1 0.8%	
性別	男性	28 100.0%	23 82.1%	17 60.7%	18 64.3%	12 42.9%	7 25.0%	15 53.6%	14 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.6%
	女性	91 100.0%	80 87.9%	54 59.3%	63 69.2%	44 48.4%	39 42.9%	63 69.2%	49 53.8%	7 7.7%	1 1.1%	0 0.0%

(7) ケアプラン作成における問題

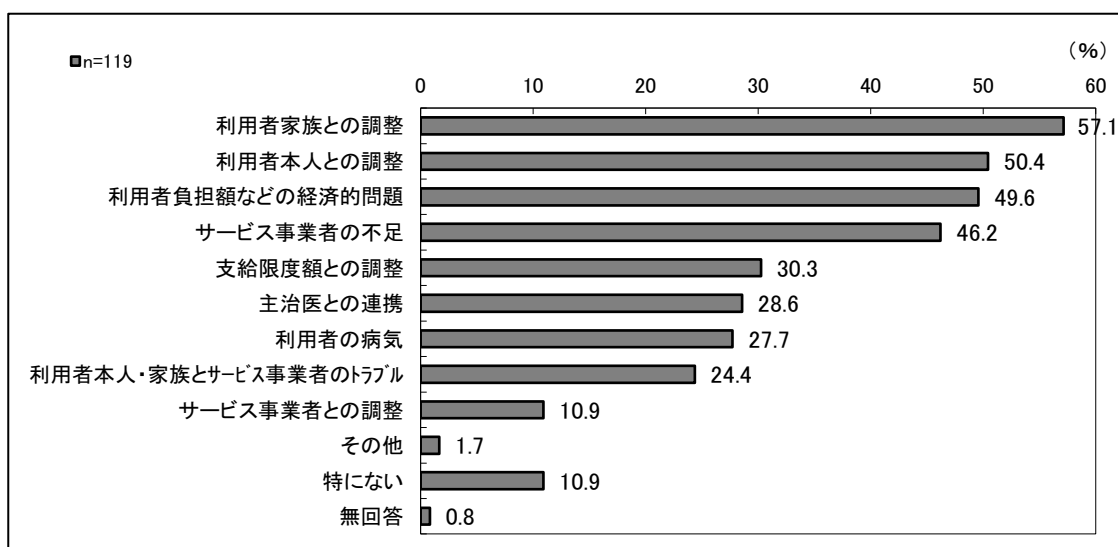
問 14 あなたが担当する利用者について、ケアプラン作成などで何か問題が生じたことはありますか。それはどんなことですか。【複数回答】

- 「利用者家族との調整」が第1位。「利用者本人との調整」、「利用者負担額などの経済的問題」などが続く。

ケアプラン作成における問題については、「利用者家族との調整」(57.1%)が最も多く、次いで「利用者本人との調整」(50.4%)、「利用者負担額などの経済的問題」(49.6%)、「サービス事業者の不足」(46.2%)、「支給限度額との調整」(30.3%)、「主治医との連携」(28.6%)、「利用者の病気」(27.7%)、「利用者本人・家族とサービス事業者のトラブル」(24.4%)、「サービス事業者との調整」(10.9%)の順となっている。

なお、「特にない」は10.9%となっている。

図表 ケアプラン作成における問題（全体／複数回答）



図表 ケアプラン作成における問題（全体・属性別－第1位／複数回答）

	合計	問14 ケアプラン作成における問題								
		利用者本人との調整	利用者家族との調整	サービス事業者との調整	サービス事業者の不足	支給限度額との調整	利用者負担額などの経済的問題	利用者本人・家族とサービス事業者のトラブル	利用者の病気	主治医との連携
全体	119 100.0%	60 50.4%	68 57.1%	13 10.9%	55 46.2%	36 30.3%	59 49.6%	29 24.4%	33 27.7%	34 28.6%
性別	男性	28 100.0%	16 57.1%	17 60.7%	4 14.3%	15 53.6%	6 21.4%	14 50.0%	9 32.1%	6 21.4%
	女性	91 100.0%	44 48.4%	51 56.0%	9 9.9%	40 44.0%	30 33.0%	45 49.5%	20 22.0%	27 29.7%

	合計	問14 ケアプラン作成における問題		
		その他	特にない	無回答
全体	119 100.0%	2 1.7%	13 10.9%	1 0.8%
性別	男性	28 100.0%	0 0.0%	3 10.7%
	女性	91 100.0%	2 2.2%	10 11.0%

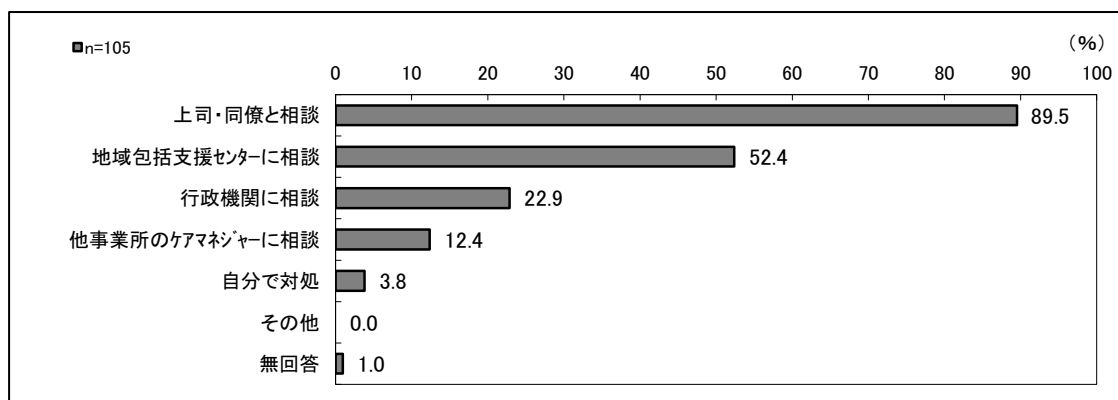
(8) 問題解決のための対処

※問 14-1 は、問 14 で「1.」～「10.」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。
 問 14-1 問題解決のために、どのように対処していますか。【複数回答】

- 「上司・同僚と相談」が第1位。「地域包括支援センターに相談」、「行政機関に相談」などが続く。

問題解決のための対処については、「上司・同僚と相談」(89.5%)、「地域包括支援センターに相談」(52.4%)、「行政機関に相談」(22.9%)、「他事業所のケアマネジャーに相談」(12.4%)、「自分で対処」(3.8%)の順となっている。

図表 問題解決のための対処（全体／複数回答）



図表 問題解決のための対処（全体・属性別－第1位／複数回答）

	合計	問14-1 問題解決のための対処							非該当	
		上司・同僚と相談	他事業所のケアマネジャーに相談	地域包括支援センターに相談	行政機関に相談	自分で対処	その他	無回答		
全体	105 100.0%	94 89.5%	13 12.4%	55 52.4%	24 22.9%	4 3.8%	0 0.0%	1 1.0%	14	
性別	男性	24 100.0%	20 83.3%	3 12.5%	13 54.2%	6 25.0%	1 4.2%	0 0.0%	1 4.2%	4
	女性	81 100.0%	74 91.4%	10 12.3%	42 51.9%	18 22.2%	3 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	10

(9) 在宅生活が困難な事例の有無

問 15 あなたが担当している利用者について、過去1年間(令和3年11月~令和4年10月)に在宅での生活が困難と思われる事例はありますか。

- 「ある」が5割強、「ない」が4割弱を占める。

在宅生活が困難な事例の有無については、「ある」が54.6%、「ない」が37.0%の順となっている。

図表 在宅生活が困難な事例の有無(全体・属性別)

		(%)	ある	ない	無回答	n
	全体		54.6	37.0	8.4	119
性別	男性		50.0	35.7	14.3	28
	女性		56.0	37.4	6.6	91

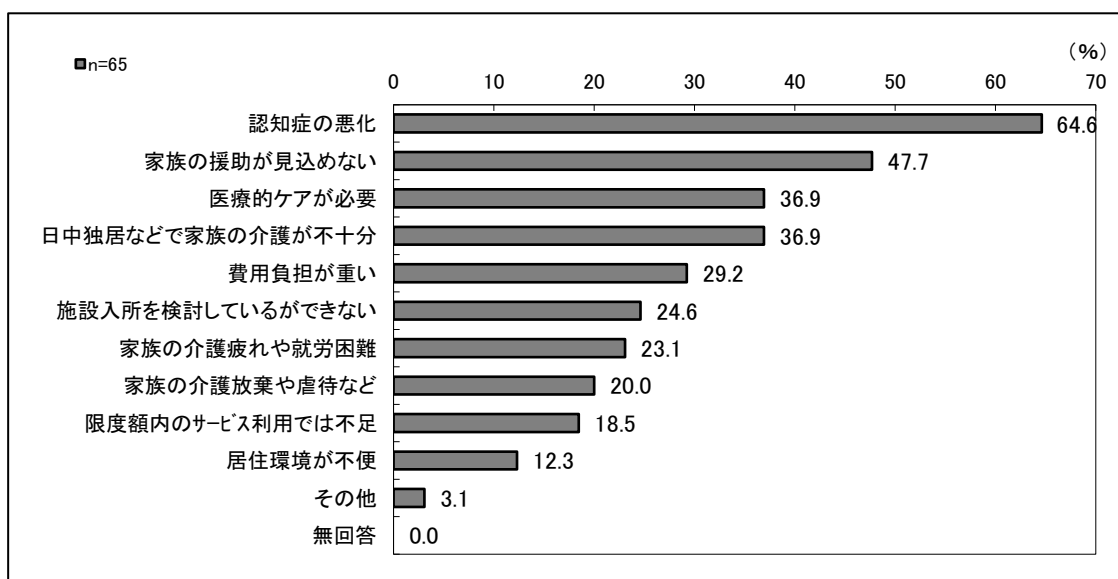
(10) 在宅生活が困難な理由

※問 15 で「1. ある」と答えた方にお聞きします。
 問 15-1 それは、具体的にどのような理由ですか。【複数回答】

- 「認知症の悪化」が第1位。「家族の援助が見込めない」、「医療的ケアが必要」・「日中独居などで家族の介護が不十分」などが続く。

在宅生活が困難な理由については、「認知症の悪化」(64.6%)が最も多く、次いで「家族の援助が見込めない」(47.7%)、「医療的ケアが必要」・「日中独居などで家族の介護が不十分」(同率 36.9%)、「費用負担が重い」(29.2%)、「施設入所を検討しているができない」(24.6%)、「家族の介護疲れや就労困難」(23.1%)、「家族の介護放棄や虐待など」(20.0%)、「限度額内のサービス利用では不足」(18.5%)、「居住環境が不便」(12.3%)の順となっている。

図表 在宅生活が困難な理由 (全体/複数回答)



図表 在宅生活が困難な理由（全体・属性別—第1位／複数回答）

		合計	問15-1 在宅生活が困難な理由								
			限度額内のサービス利用では不足	認知症の悪化	医療的ケアが必要	費用負担が重い	居住環境が不便	日中独居などで家族の介護が不十分	家族の援助が見込めない	家族の介護放棄や虐待など	家族の介護疲れや就労困難
全体		65 100.0%	12 18.5%	42 64.6%	24 36.9%	19 29.2%	8 12.3%	24 36.9%	31 47.7%	13 20.0%	15 23.1%
性別	男性	14 100.0%	2 14.3%	8 57.1%	4 28.6%	4 28.6%	0 0.0%	6 42.9%	7 50.0%	3 21.4%	3 21.4%
	女性	51 100.0%	10 19.6%	34 66.7%	20 39.2%	15 29.4%	8 15.7%	18 35.3%	24 47.1%	10 19.6%	12 23.5%

		合計	問15-1 在宅生活が困難な理由			
			施設入所を検討しているができない	その他	無回答	非該当
全体		65 100.0%	16 24.6%	2 3.1%	0 0.0%	54
性別	男性	14 100.0%	3 21.4%	1 7.1%	0 0.0%	14
	女性	51 100.0%	13 25.5%	1 2.0%	0 0.0%	40

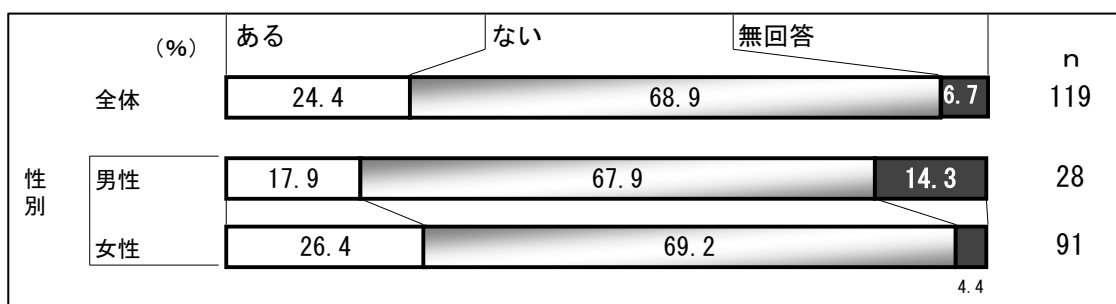
(11) 過去1年における虐待の可能性のある事案の有無

問 16 あなたが担当している（した）利用者の中で、過去1年間（令和3年11月～令和4年10月）に虐待が疑われるような事例を経験したことはありますか。

- 「ない」が7割強、「ある」が2割強を占める。

過去1年における虐待の可能性のある事案の有無については、「ない」が68.9%、「ある」が24.4%の順となっている。

図表 過去1年における虐待の可能性のある事案の有無（全体・属性別）



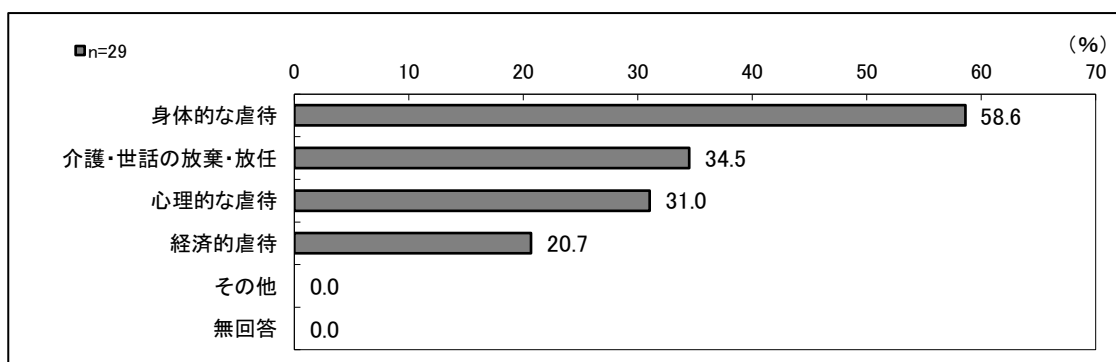
(12) 虐待の種類

※問 16-1 と問 16-2 は、問 16 で「1. ある」と答えた方にお聞きします。
問 16-1 それはどのような内容ですか。【複数回答】

- 「身体的な虐待」が第1位。「介護・世話の放棄・放任」、「心理的な虐待」などが続く。

虐待の種類については、「身体的な虐待」(58.6%)が最も多く、次いで「介護・世話の放棄・放任」(34.5%)、「心理的な虐待」(31.0%)、「経済的虐待」(20.7%)の順となっている。

図表 虐待の種類 (全体/複数回答)



図表 虐待の種類 (全体・属性別 - 第1位/複数回答)

	合計	問16-1 虐待の種類						非該当	
		身体的な虐待	心理的な虐待	経済的虐待	介護・世話の放棄・放任	その他	無回答		
全体	29 100.0%	17 58.6%	9 31.0%	6 20.7%	10 34.5%	0 0.0%	0 0.0%	90	
性別	男性	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	23
	女性	24 100.0%	13 54.2%	8 33.3%	4 16.7%	9 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	67

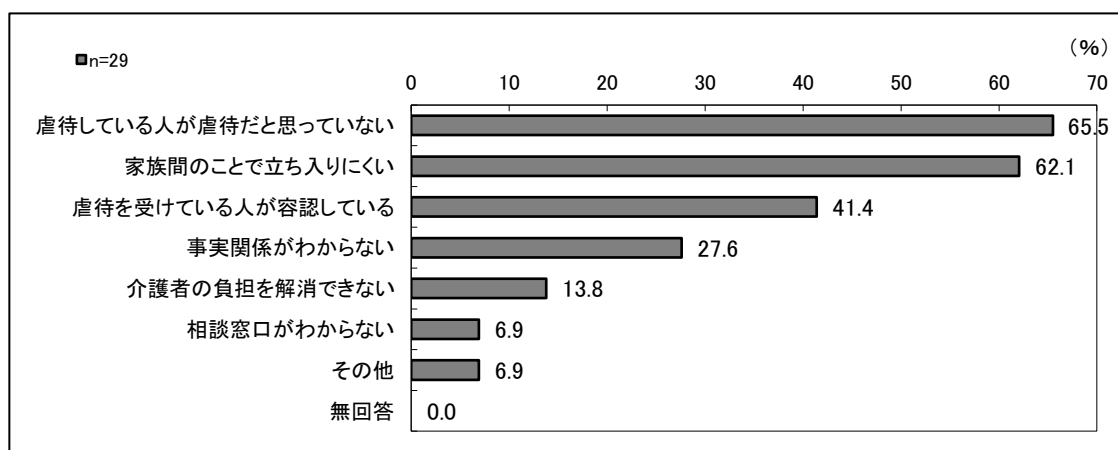
(13) 虐待事案への対応の問題点

問 16-2 高齢者への虐待の対応にあたり、どのような問題がありますか。【複数回答】

- 「虐待している人が虐待だと思っていない」が第1位。「家族間のことで立ち入りにくい」、「虐待を受けている人が容認している」などが続く。

虐待事案への対応の問題点については、「虐待している人が虐待だと思っていない」(65.5%)が最も多く、次いで「家族間のことで立ち入りにくい」(62.1%)、「虐待を受けている人が容認している」(41.4%)、「事実関係がわからない」(27.6%)、「介護者の負担を解消できない」(13.8%)、「相談窓口がわからない」(6.9%)の順となっている。

図表 虐待事案への対応の問題点 (全体/複数回答)



図表 虐待事案への対応の問題点 (全体・属性別-第1位/複数回答)

	合計	問16-2 虐待事案への対応の問題点									
		相談窓口 がわから ない	事実関係 がわから ない	虐待している 人が虐待だ と思ってい ない	家族間の ことで立 ち入りに くい	介護者の 負担を解 消できな い	虐待を受け ている人 が容認し ている	その他	無回答	非該当	
全体	29 100.0%	2 6.9%	8 27.6%	19 65.5%	18 62.1%	4 13.8%	12 41.4%	2 6.9%	0 0.0%	90	
性別	男性	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	23
	女性	24 100.0%	2 8.3%	6 25.0%	16 66.7%	16 66.7%	4 16.7%	11 45.8%	1 4.2%	0 0.0%	67

3 業務連携の状況について

(1) 認知症について相談できる医療機関の有無

問 17 あなたには、認知症に関して相談のできる医療機関がありますか。



- 「ある」が7割弱、「ない」が3割弱を占める。

認知症について相談できる医療機関の有無については、「ある」が68.9%、「ない」が28.6%の順となっている。

図表 認知症について相談できる医療機関の有無（全体・属性別）

		(%)	ある	ない	無回答	n
性別	全体		68.9	28.6	2.5	119
	男性		60.7	32.1	7.1	28
	女性		71.4	27.5	1.1	91

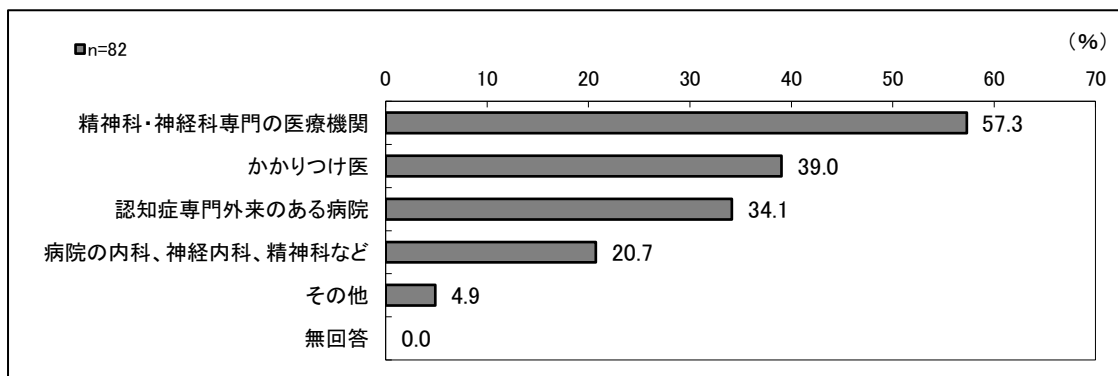
(2) 認知症に関する相談先

※問 17-1 は、問 17 で「1. ある」と答えた方にお聞きします。
 問 17-1 相談している医療機関は、次のうちどれですか。【複数回答】

- 「精神科・神経科専門の医療機関」が第1位。「かかりつけ医」、「認知症専門外来のある病院」などが続く。

認知症に関する相談先については、「精神科・神経科専門の医療機関」(57.3%)が最も多く、次いで「かかりつけ医」(39.0%)、「認知症専門外来のある病院」(34.1%)、「病院の内科、神経内科、精神科など」(20.7%)の順となっている。

図表 認知症に関する相談先 (全体/複数回答)



図表 認知症に関する相談先 (全体・属性別—第1位/複数回答)

	合計	問17-1 認知症に関する相談先						非該当
		かかりつけ医	病院の内科、神経内科、精神科など	認知症専門外来のある病院	精神科・神経科専門の医療機関	その他	無回答	
全体	82	32	17	28	47	4	0	37
	100.0%	39.0%	20.7%	34.1%	57.3%	4.9%	0.0%	
性別	男性	17	9	3	8	10	0	11
	100.0%	52.9%	17.6%	47.1%	58.8%	0.0%	0.0%	
女性	65	23	14	20	37	4	0	26
	100.0%	35.4%	21.5%	30.8%	56.9%	6.2%	0.0%	

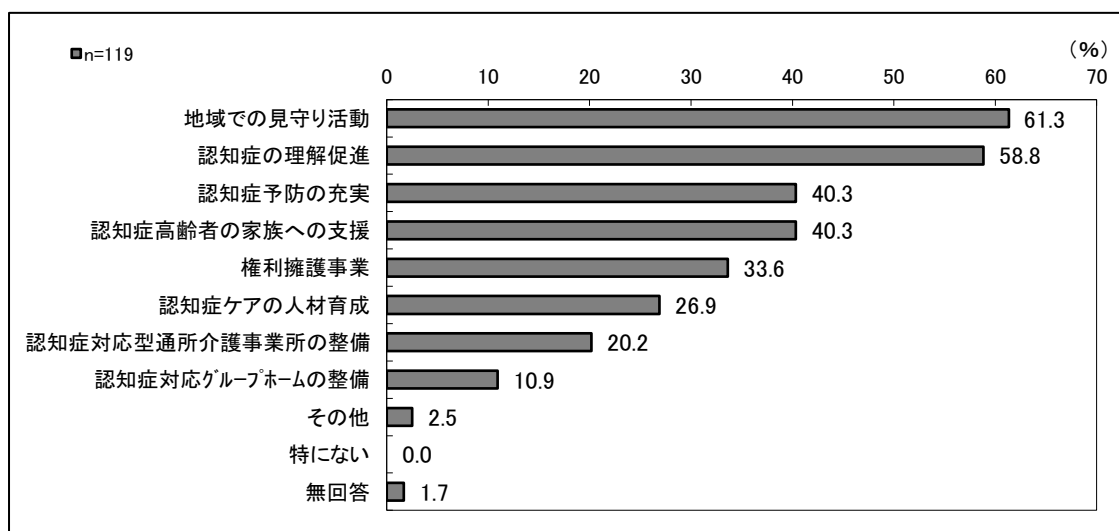
(3) 認知症高齢者の介護に必要な取り組み

問 18 認知症高齢者の介護に関して、今後どのようなことを進める必要があると思いますか。
【複数回答】

- 「地域での見守り活動」が第1位。「認知症の理解促進」、「認知症予防の充実」・「認知症高齢者の家族への支援」などが続く。

認知症高齢者の介護に必要な取り組みについては、「地域での見守り活動」(61.3%)が最も多く、次いで「認知症の理解促進」(58.8%)、「認知症予防の充実」・「認知症高齢者の家族への支援」(同率 40.3%)、「権利擁護事業」(33.6%)、「認知症ケアの人材育成」(26.9%)、「認知症対応型通所介護事業所の整備」(20.2%)、「認知症対応グループホームの整備」(10.9%)の順となっている。

図表 認知症高齢者の介護に必要な取り組み (全体/複数回答)



図表 認知症高齢者の介護に必要な取り組み（全体・属性別—第1位／複数回答）

	合計	問18 認知症高齢者の介護に必要な取り組み								
		認知症の理解促進	認知症予防の充実	認知症高齢者の家族への支援	認知症ケアの人材育成	権利擁護事業	地域での見守り活動	認知症対応型通所介護事業所の整備	認知症対応グループホームの整備	その他
全体	119 100.0%	70 58.8%	48 40.3%	48 40.3%	32 26.9%	40 33.6%	73 61.3%	24 20.2%	13 10.9%	3 2.5%
性別	男性	28 100.0%	19 67.9%	10 35.7%	10 35.7%	5 17.9%	7 25.0%	18 64.3%	2 7.1%	2 3.6%
	女性	91 100.0%	51 56.0%	38 41.8%	38 41.8%	27 29.7%	33 36.3%	55 60.4%	22 24.2%	11 12.1%

	合計	問18 認知症高齢者	
		特にない	無回答
全体	119 100.0%	0 0.0%	2 1.7%
性別	男性	28 100.0%	2 7.1%
	女性	91 100.0%	0 0.0%

(4) 成年後見人の選任に至ったケースの有無

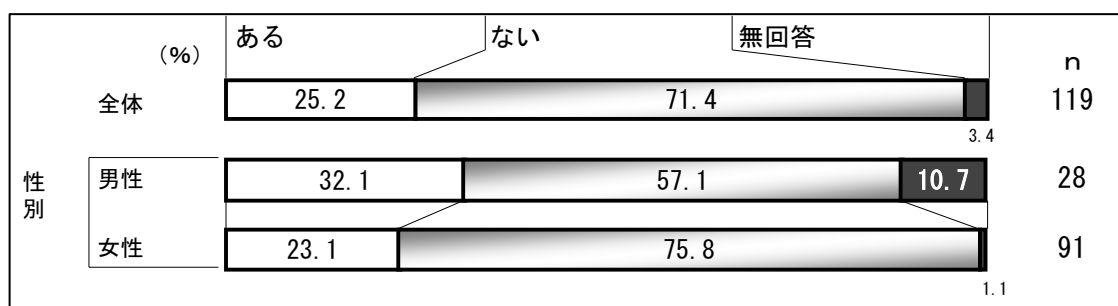
問 19 高齢者や高齢者の家族から相談を受け、成年後見人の選任に至ったケースがありますか。(1つに○。あるに○をつけた場合は()にその件数も記入してください。)



- 「ない」が7割強、「ある」が3割弱を占める。

成年後見人の選任に至ったケースの有無については、「ない」が71.4%、「ある」が25.2%の順となっている。

図表 成年後見人の選任に至ったケースの有無（全体・属性別）



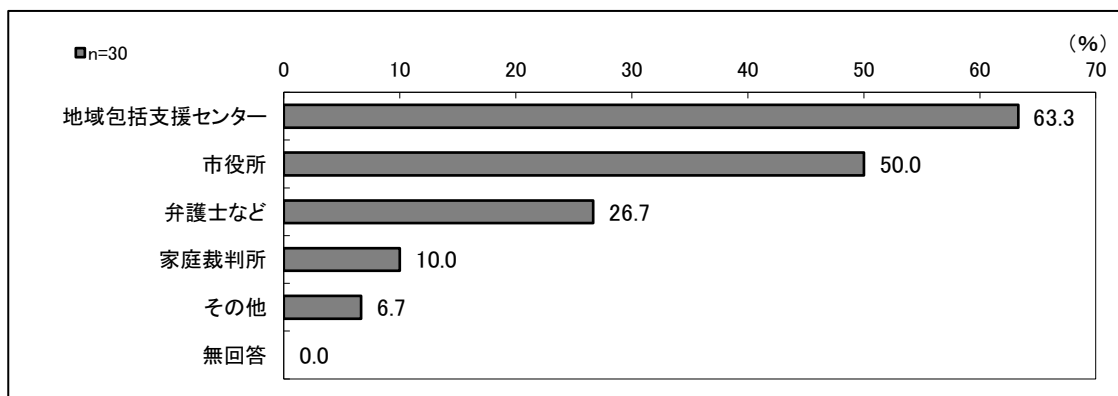
(5) 成年後見人の選任のために連絡した機関

※問 19-1 と問 19-2 は、問 19 で「1. ある」と答えた方にお聞きします。
 問 19-1 成年後見人の選任に向けて、どのような機関に連絡をとりましたか。【複数回答】

- 「地域包括支援センター」が第1位。「市役所」、「弁護士など」が続く。

成年後見人の選任のために連絡した機関については、「地域包括支援センター」(63.3%)が最も多く、次いで「市役所」(50.0%)、「弁護士など」(26.7%)、「家庭裁判所」(10.0%)の順となっている。

図表 成年後見人の選任のために連絡した機関（全体／複数回答）



図表 成年後見人の選任のために連絡した機関（全体・属性別－第1位／複数回答）

	合計	問19-1 成年後見人の選任のために連絡した機関						無回答	非該当
		家庭裁判所	地域包括支援センター	弁護士など	市役所	その他			
全体	30 100.0%	3 10.0%	19 63.3%	8 26.7%	15 50.0%	2 6.7%	0 0.0%	89	
性別	男性	9 100.0%	2 22.2%	3 33.3%	3 33.3%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	19
	女性	21 100.0%	1 4.8%	16 76.2%	5 23.8%	10 47.6%	2 9.5%	0 0.0%	70

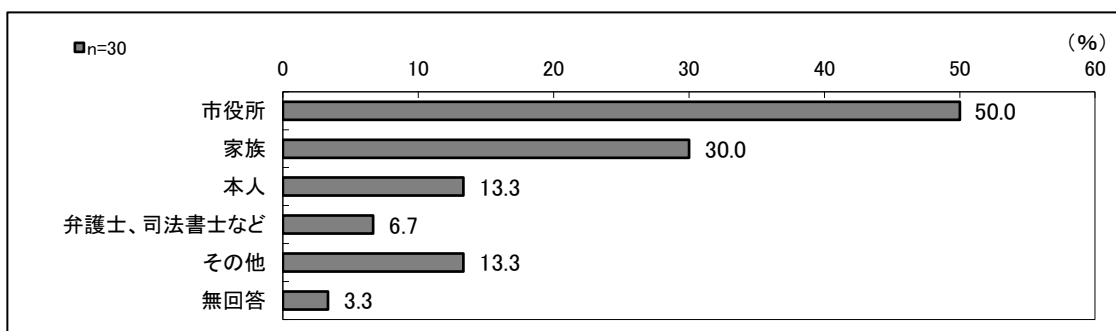
(6) 成年後見人の選任申立てをした人

問 19-2 成年後見人の選任申立ては誰が行いましたか。【複数回答】

- 「市役所」が第1位。「家族」、「本人」、「その他」などが続く。

成年後見人の選任申立てをした人については、「市役所」(50.0%)が最も多く、次いで「家族」(30.0%)、「本人」(13.3%)、「弁護士、司法書士など」(6.7%)の順となっている。

図表 成年後見人の選任申立てをした人 (全体/複数回答)



図表 成年後見人の選任申立てをした人 (全体・属性別 - 第1位/複数回答)

	合計	問19-2 成年後見人の選任申立てをした人						非該当
		本人	家族	弁護士、 司法書士 など	市役所	その他	無回答	
全体	30	4	9	2	15	4	1	89
	100.0%	13.3%	30.0%	6.7%	50.0%	13.3%	3.3%	
性別	男性	9	3	0	5	2	0	19
	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	55.6%	22.2%	0.0%	
女性	21	4	6	2	10	2	1	70
	100.0%	19.0%	28.6%	9.5%	47.6%	9.5%	4.8%	

(7) 申立てに至らなかったケースの有無

問 20 高齢者や高齢者の家族から相談を受け、成年後見人の選任申立てをすべきだと考えたが、結局申立てに至らなかったケースがありますか。

- 「ない」が8割弱、「ある」が2割弱を占める。

申立てに至らなかったケースの有無については、「ない」が76.5%、「ある」が17.6%の順となっている。

図表 申立てに至らなかったケースの有無（全体・属性別）

		（%）			n
		ある	ない	無回答	
性別	全体	17.6	76.5	5.9	119
	男性	17.9	71.4	10.7	28
	女性	17.6	78.0	4.4	91

(8) 申立てに至らなかった理由

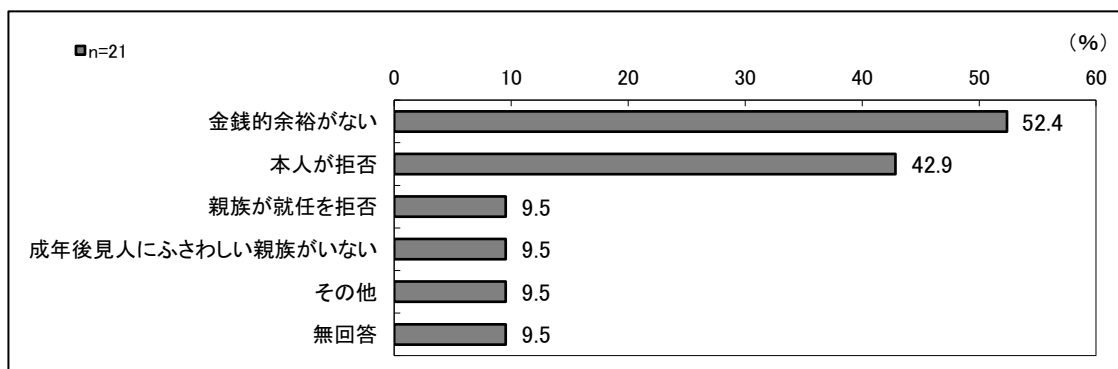
※問 20-1 は、問 20 で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問 20-1 成年後見人の申立てに至らなかった理由はどのようなものですか。【複数回答】

- 「金銭的余裕がない」が第1位。「本人が拒否」などが続く。

申立てに至らなかった理由については、「金銭的余裕がない」(52.4%)が最も多く、次いで「本人が拒否」(42.9%)、「親族が就任を拒否」・「成年後見人にふさわしい親族がない」(同率9.5%)の順となっている。

図表 申立てに至らなかった理由（全体／複数回答）



図表 申立てに至らなかった理由（全体・属性別—第1位／複数回答）

	合計	問20-1 申立てに至らなかった理由							非該当
		本人が拒否	親族が就任を拒否	成年後見人にふさわしい親族がない	金銭的余裕がない	その他	無回答		
全体	21 100.0%	9 42.9%	2 9.5%	2 9.5%	11 52.4%	2 9.5%	2 9.5%	2 9.5%	98
性別	男性	5 100.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 20.0%	1 23
	女性	16 100.0%	6 37.5%	1 6.3%	2 12.5%	9 56.3%	2 12.5%	1 6.3%	75

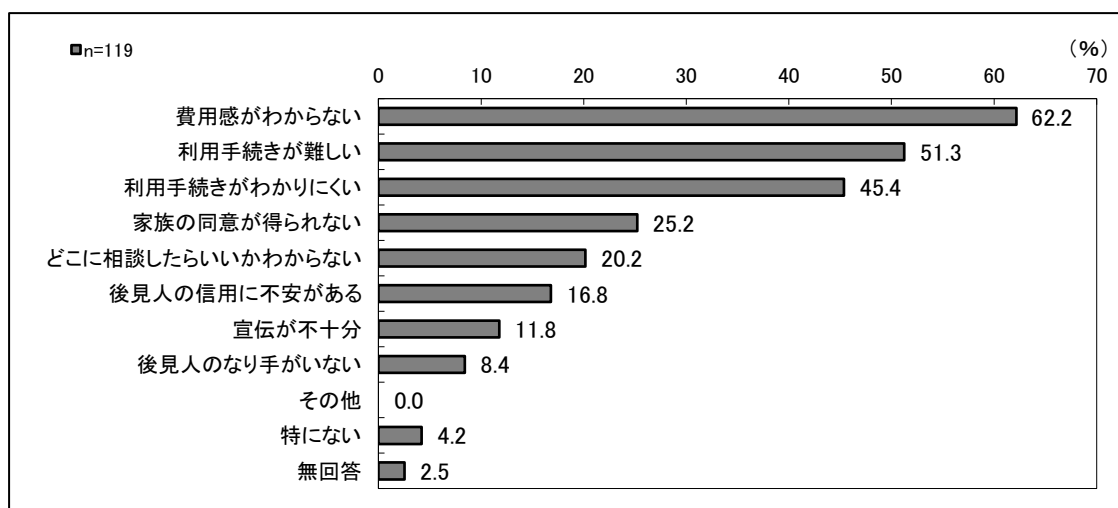
(9) 成年後見制度が利用しにくい点

問 21 成年後見制度が利用しにくいと思うのはどんな点ですか。【複数回答】

- 「費用感がわからない」が第1位。「利用手続きが難しい」、「利用手続きがわかりにくい」などが続く。

成年後見制度が利用しにくい点については、「費用感がわからない」(62.2%)が最も多く、次いで「利用手続きが難しい」(51.3%)、「利用手続きがわかりにくい」(45.4%)、「家族の同意が得られない」(25.2%)、「どこに相談したらいいかわからない」(20.2%)、「後見人の信用に不安がある」(16.8%)、「宣伝が不十分」(11.8%)、「後見人のなり手がいない」(8.4%)の順となっている。

図表 成年後見制度が利用しにくい点 (全体/複数回答)



図表 成年後見制度が利用しにくい点（全体・属性別－第1位／複数回答）

		合計	問21 成年後見制度が利用しにくい点								
			利用手続きがわかりにくい	家族の同意が得られない	費用感がわからない	宣伝が不十分	利用手続きが難しい	どこに相談したらいいかわからない	後見人の信用に不安がある	後見人のなり手がいない	その他
全体		119 100.0%	54 45.4%	30 25.2%	74 62.2%	14 11.8%	61 51.3%	24 20.2%	20 16.8%	10 8.4%	0 0.0%
性別	男性	28 100.0%	14 50.0%	7 25.0%	13 46.4%	2 7.1%	15 53.6%	7 25.0%	4 14.3%	5 17.9%	0 0.0%
	女性	91 100.0%	40 44.0%	23 25.3%	61 67.0%	12 13.2%	46 50.5%	17 18.7%	16 17.6%	5 5.5%	0 0.0%

		合計	問21	
			特にない	無回答
全体		119 100.0%	5 4.2%	3 2.5%
性別	男性	28 100.0%	2 7.1%	3 10.7%
	女性	91 100.0%	3 3.3%	0 0.0%

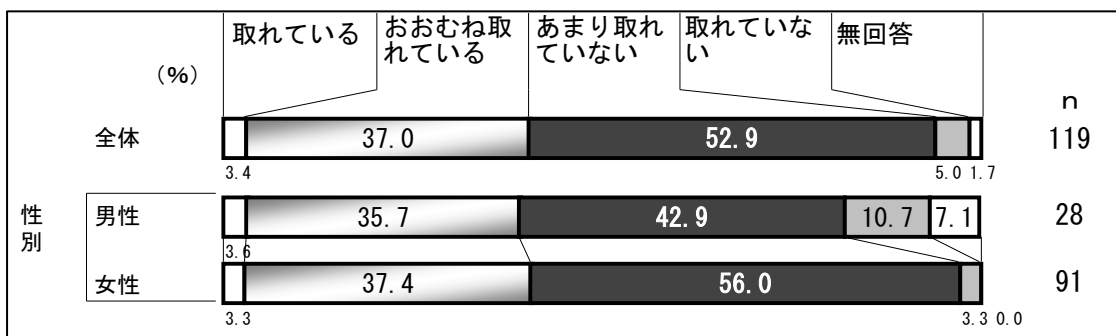
(10) 主治医との連携状況

問 22 主治医との連携は取れていますか。

- “取れていない” が5割強、“取れている” が4割強を占める。

主治医との連携状況については、「あまり取れていない」(52.9%)と「取れていない」(5.0%)を合わせた“取れていない”が57.9%、「取れている」(3.4%)と「おおむね取れている」(37.0%)を合わせた“取れている”が40.4%となっている。

図表 主治医との連携状況（全体・属性別）



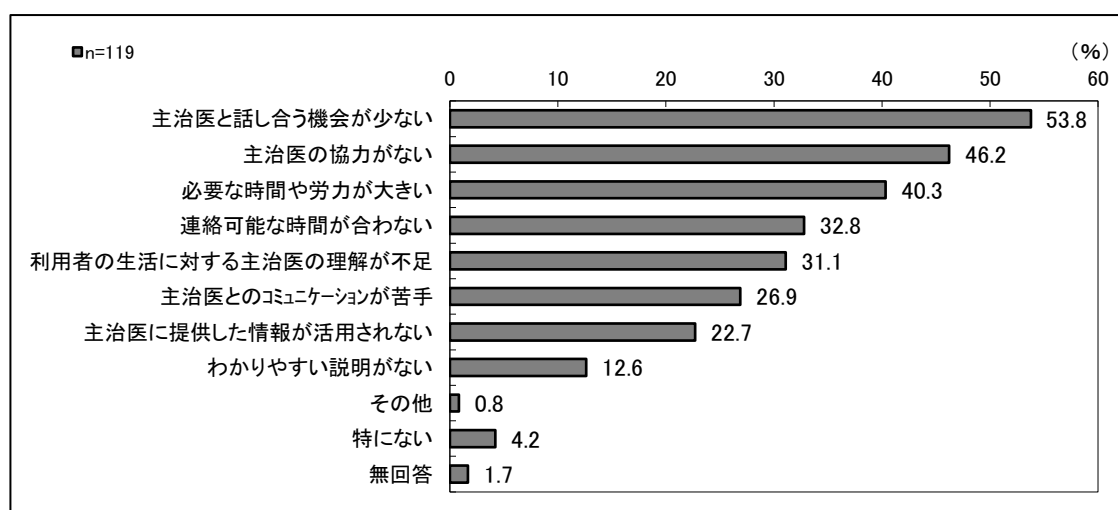
(11) 主治医との連携における課題

問 23 主治医との連携における課題は何だと思いますか。【複数回答】

- 「主治医と話し合う機会が少ない」が第1位。「主治医の協力が無い」、「必要な時間や労力が大きい」などが続く。

主治医との連携における課題については、「主治医と話し合う機会が少ない」(53.8%)が最も多く、次いで「主治医の協力が無い」(46.2%)、「必要な時間や労力が大きい」(40.3%)、「連絡可能な時間が合わない」(32.8%)、「利用者の生活に対する主治医の理解が不足」(31.1%)、「主治医とのコミュニケーションが苦手」(26.9%)、「主治医に提供した情報が活用されない」(22.7%)、「わかりやすい説明がない」(12.6%)の順となっている。

図表 主治医との連携における課題（全体／複数回答）



図表 主治医との連携における課題（全体・属性別—第1位／複数回答）

		合計	問23 主治医との連携における課題								
			必要な時間や労力が大きい	わかりやすい説明がない	主治医とのコミュニケーションが苦手	主治医の協力が無い	主治医に提供した情報が活用されない	主治医と話し合う機会が少ない	連絡可能な時間が合わない	利用者の生活に対する主治医の理解が不足	その他
全体		119 100.0%	48 40.3%	15 12.6%	32 26.9%	55 46.2%	27 22.7%	64 53.8%	39 32.8%	37 31.1%	1 0.8%
性別	男性	28 100.0%	11 39.3%	3 10.7%	7 25.0%	11 39.3%	4 14.3%	16 57.1%	6 21.4%	7 25.0%	0 0.0%
	女性	91 100.0%	37 40.7%	12 13.2%	25 27.5%	44 48.4%	23 25.3%	48 52.7%	33 36.3%	30 33.0%	1 1.1%

		合計	問23	
			特になし	無回答
全体		119 100.0%	5 4.2%	2 1.7%
性別	男性	28 100.0%	1 3.6%	2 7.1%
	女性	91 100.0%	4 4.4%	0 0.0%

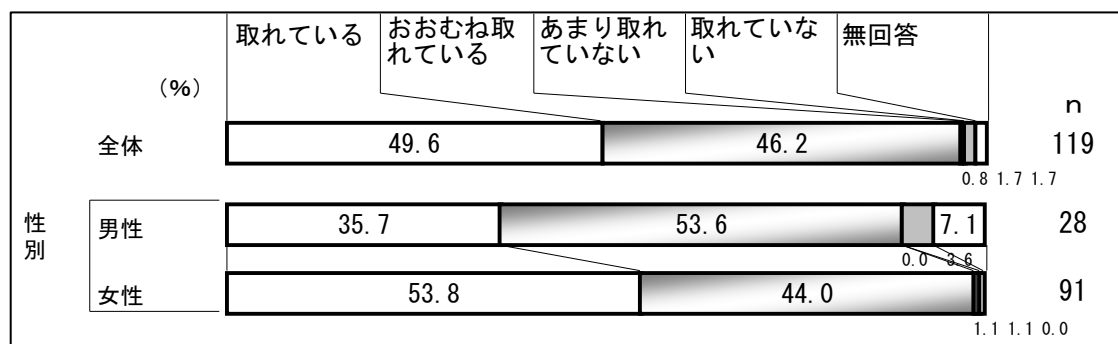
(12) 介護保険サービス事業所との連携

問 24 介護保険サービス提供事業所との連携は取れていますか。

- “取れている” が9割以上を占める。“取れていない” は1割に満たない。

介護保険サービス事業所との連携については、「取れている」(49.6%)と「おおむね取れている」(46.2%)を合わせた“取れている”が95.8%、「取れていない」(1.7%)と「あまり取れていない」(0.8%)を合わせた“取れていない”が2.5%となっている。

図表 介護保険サービス事業所との連携（全体・属性別）



(13) 介護保険サービス事業所との連携における課題

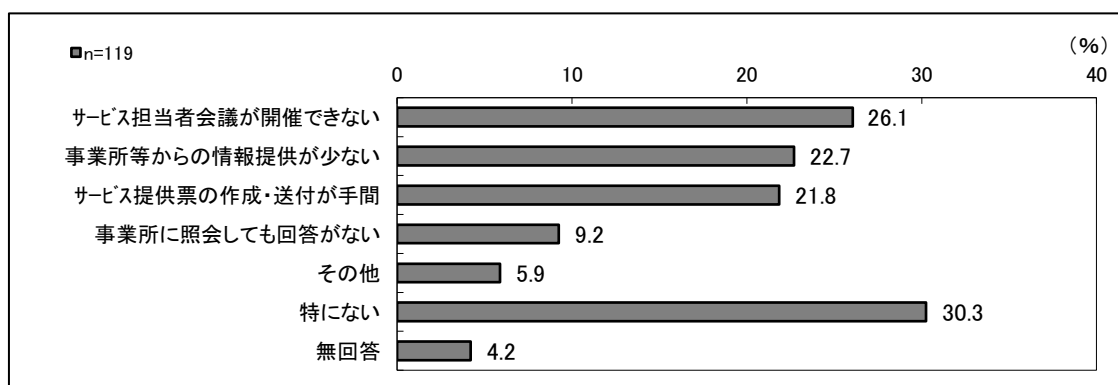
問 25 介護保険サービス事業所との連携における課題は何だと思いますか。【複数回答】

- 「特にない」が30.3%を占める。

介護保険サービス事業所との連携における課題については、「サービス担当者会議が開催できない」(26.1%)が最も多く、「事業所等からの情報提供が少ない」(22.7%)、「サービス提供票の作成・送付が手間」(21.8%)、「事業所に照会しても回答がない」(9.2%)の順となっている。

なお、「特にない」は30.3%となっている。

図表 介護保険サービス事業所との連携における課題（全体／複数回答）



図表 介護保険サービス事業所との連携における課題（全体・属性別－第1位／複数回答）

	合計	問25 介護保険サービス事業所との連携における課題							
		サービス提供票の作成・送付が手間	事業所等からの情報提供が少ない	事業所に照会しても回答がない	サービス担当者会議が開催できない	その他	特にない	無回答	
全体	119	26	27	11	31	7	36	5	
	100.0%	21.8%	22.7%	9.2%	26.1%	5.9%	30.3%	4.2%	
性別	男性	28	5	3	3	8	1	9	2
		100.0%	17.9%	10.7%	10.7%	28.6%	3.6%	32.1%	7.1%
	女性	91	21	24	8	23	6	27	3
	100.0%	23.1%	26.4%	8.8%	25.3%	6.6%	29.7%	3.3%	

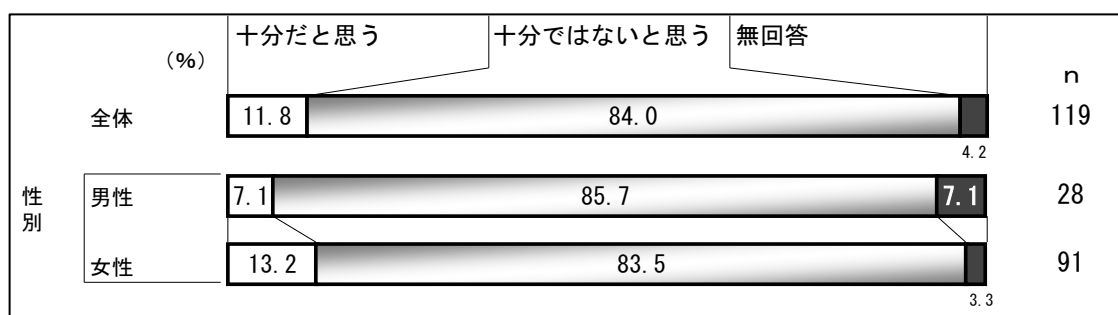
(14) 在宅医療・介護の連携は十分か

問 26 現状、在宅における医療と介護の連携は十分だと思いますか。

- 「十分ではないと思う」が8割強、「十分だと思う」が1割強を占める。

在宅医療・介護の連携は十分かについては、「十分ではないと思う」が84.0%、「十分だと思う」が11.8%となっている。

図表 在宅医療・介護の連携は十分か（全体・属性別）



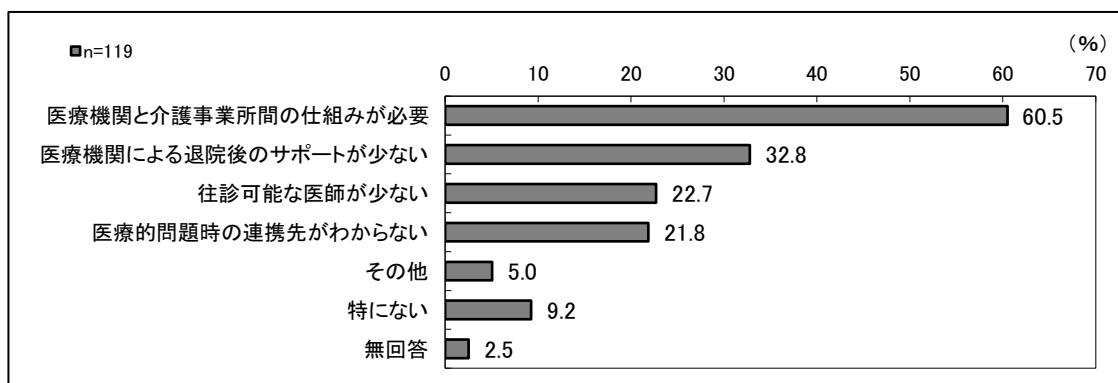
(15) 在宅医療・介護の連携における課題

問 27 在宅における医療と介護の連携について、課題だと思うことは何ですか。【複数回答】

- 「医療機関と介護事業所間の仕組みが必要」が第1位。「医療機関による退院後のサポートが少ない」、「往診可能な医師が少ない」などが続く。

在宅医療・介護の連携における課題については、「医療機関と介護事業所間の仕組みが必要」(60.5%)が最も多く、次いで「医療機関による退院後のサポートが少ない」(32.8%)、「往診可能な医師が少ない」(22.7%)、「医療的問題時の連携先がわからない」(21.8%)の順となっている。

図表 在宅医療・介護の連携における課題（全体／複数回答）



図表 在宅医療・介護の連携における課題（全体・属性別－第1位／複数回答）

	合計	問27 在宅医療・介護の連携における課題							
		医療機関による退院後のサポートが少ない	往診可能な医師が少ない	医療的問題時の連携先がわからない	医療機関と介護事業所間の仕組みが必要	その他	特にない	無回答	
全体	119 100.0%	39 32.8%	27 22.7%	26 21.8%	72 60.5%	6 5.0%	11 9.2%	3 2.5%	
性別	男性	28 100.0%	12 42.9%	6 21.4%	5 17.9%	18 64.3%	1 3.6%	1 3.6%	2 7.1%
	女性	91 100.0%	27 29.7%	21 23.1%	21 23.1%	54 59.3%	5 5.5%	10 11.0%	1 1.1%

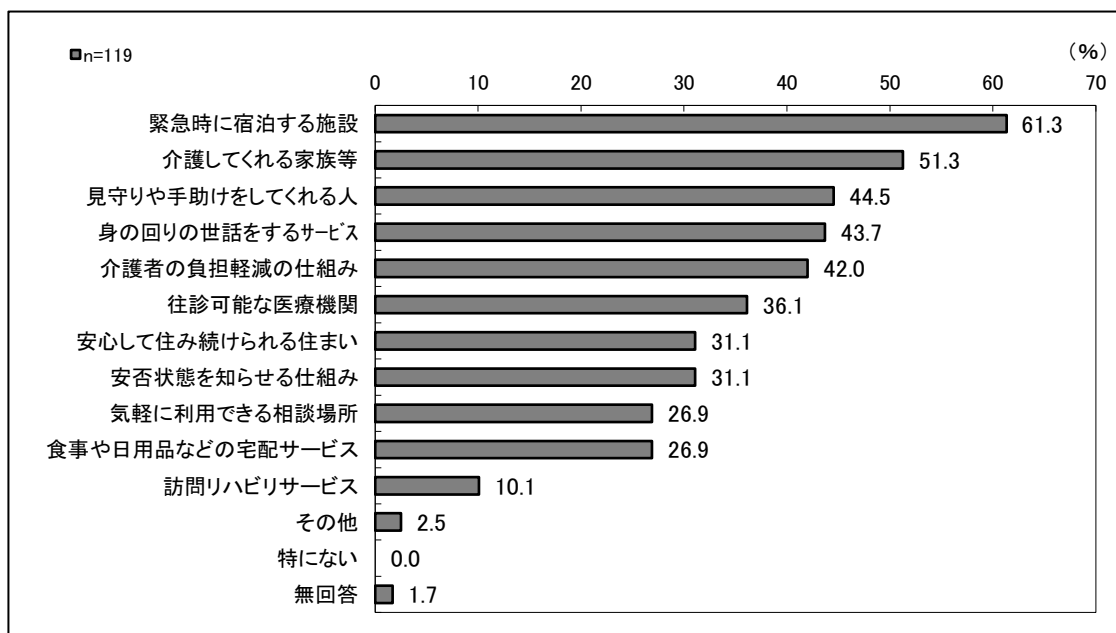
(16) 在宅生活を継続する上で重要なこと

問 28 要介護者等が在宅で暮らし続けるために、特に重要だと思うものは何ですか。【複数回答】

- 「緊急時に宿泊する施設」が第1位。「介護してくれる家族等」、「見守りや手助けをしてくれる人」などが続く。

在宅生活を継続する上で重要なことについては、「緊急時に宿泊する施設」(61.3%)が最も多く、次いで「介護してくれる家族等」(51.3%)、「見守りや手助けをしてくれる人」(44.5%)、「身の回りの世話をするサービス」(43.7%)、「介護者の負担軽減の仕組み」(42.0%)、「往診可能な医療機関」(36.1%)、「安心して住み続けられる住まい」・「安否状態を知らせる仕組み」(同率 31.1%)、「気軽に利用できる相談場所」・「食事や日用品などの宅配サービス」(同率 26.9%)、「訪問リハビリサービス」(10.1%)の順となっている。

図表 在宅生活を継続する上で重要なこと (全体/複数回答)



図表 在宅生活を継続する上で重要なこと（全体・属性別—第1位／複数回答）

		合計	問28 在宅生活を継続する上で重要なこと								
			介護してくれる家族等	安心して住み続けられる住まい	往診可能な医療機関	身の回りの世話をするサービス	緊急時に宿泊する施設	訪問リハビリサービス	気軽に利用できる相談場所	見守りや手助けをしてくれる人	食事や日用品などの宅配サービス
全体		119 100.0%	61 51.3%	37 31.1%	43 36.1%	52 43.7%	73 61.3%	12 10.1%	32 26.9%	53 44.5%	32 26.9%
性別	男性	28 100.0%	20 71.4%	6 21.4%	11 39.3%	7 25.0%	14 50.0%	2 7.1%	5 17.9%	11 39.3%	4 14.3%
	女性	91 100.0%	41 45.1%	31 34.1%	32 35.2%	45 49.5%	59 64.8%	10 11.0%	27 29.7%	42 46.2%	28 30.8%

		合計	問28 在宅生活を継続する上で重要なこと				
			安否状態を知らせる仕組み	介護者の負担軽減の仕組み	その他	特にない	無回答
全体		119 100.0%	37 31.1%	50 42.0%	3 2.5%	0 0.0%	2 1.7%
性別	男性	28 100.0%	8 28.6%	10 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.1%
	女性	91 100.0%	29 31.9%	40 44.0%	3 3.3%	0 0.0%	0 0.0%

4 自由意見

(1) 自由意見

問 29 最後に、介護保険制度や高齢者福祉について、本市へのご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください。

回答件数は 27 件となっている。以下に主な意見・要望を掲載する。

- 在宅で透析通院のある利用者、歩行困難な場合、車椅子対応での乗降介助が必要です。介護タクシーの事業所が不足しています。利用者が利用しやすい料金で提供可能なタクシーを公的機関で考えていただけないでしょうか。介護保険のサービス外でのことです。
- 介護タクシー（通院等乗降介助）をやっている事業所が少ないので、増やすよう働きかけていただきたいです。
- 訪問介護事業所が減少しヘルパー不足。乗降介助を依頼できる事業所がほとんどない。在宅生活を維持するには必要なサービスが使えないこと。
- 要介護認定がおりると、高齢者事業など利用できなくなるサービスがある。まだまだ元気で、何らかの方法を考えれば、楽しみ場や活躍の場を広げていけると思う。市が地域や事業所と協力して、活動の場を広げていければいいのではないかと思う。
- ここ最近には特に居宅介護支援におけるケアマネジャーの人数が不足していると感じます。積極的に市内のケアマネジャーの人数を増やすような取り組みや呼びかけなど対策を講じていただきたいです。
- 予防でも介護でも引き受けてくれるケアマネが欲しい。申請したらすぐに調査ができるような人材及び仕組みが欲しい。家族がいても仕事をしている人が多く日中会えない。制度について区長会や民生委員、もっと一般に知ってほしい。
- 認定を受ける方とケアマネの数が反比例している状況。認定を受けてもケアマネが見つからない。
- 課税世帯が利用できる市のサービス。特におむつ支給があれば。特養入所は待機期間が短くなっていて入所しやすい。
- 今後、認知症の利用者が増えてきて、家族が介護できなくなった時は、施設入所を希望されるケースが増えてくると予想される。若い世代を支えることで負担が増えてくるため、安い料金で入所できる施設があってほしい。
- 市民全てに介護保険や認知症について、周知が必要と思います。
- 施設重視ではなく、在宅生活維持できるように必要な介護保険サービスの充実を望みます。
- 以前に比べ、介護保険の窓口の対応が事務的で冷たい印象を受けます。制度決まりを押し付けるのではなく、制度の狭間で苦しんでいる市民をどのように連携して支えていくかという視点で窓口に立っていただきたいです。

令和4年度
久喜市高齢者実態調査報告書

令和5年3月

発行 久喜市
編集 久喜市福祉部介護保険課
〒346-8501 埼玉県久喜市下早見 85 番地の3
電話 0480-22-1111 (代表)
